現　場　説　明　事　項

工事名称　　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
担当部署　　総務部　営繕課

「説明事項」
１．工事目的
　本工事は、富士見市民文化会館キラリふじみの中長期保全計画書における下記の改修のための電気設備工事を行う。(建築工事・機械設備工事は別途発注)

(建築工事)
・金属屋根（金属屋根修繕・竪樋の更新・シーリングの更新)
・屋上防水改修（床・立上りの更新・笠木の更新)
・外壁塗装改修（補修部分のアスベスト撤去工事を含む)
・内部壁タイル浮き部分補修
・外部シーリング改修
・特定天井改修（メインホール・メインホールホワイエ・マルチホール)
・太陽光パネル撤去（建材一体型、現況 30kW)
・外部建具シャッター更新（SS-1, SS-2, SS-4, SS-6, メイン搬入口）
・カスケード漏水修繕
・ラグーン汚泥引抜清掃、修繕
(電気設備工事)
・メインホール、マルチホールの特定天井改修(建築工事）に伴う電気設備工事
　（舞台音響設備、舞台照明設備、放送設備、火災報知設備等）
・空調設備用電源工事
・太陽光発電設備更新
・柱上高圧交流負荷開閉器（ＧＲ付ＰＡＳ）更新
(機械設備工事)
・空調熱源機器更新（冷温水発生機、チリングユニット、空調ポンプ、熱交換器、冷却塔、薬注装置等)
・マルチホール、メインホール、ホワイエの天井耐震化に伴い天井内ダクト、スプリンクラー配管撤去、新設
・ラグーン井戸ポンプ更新（埼玉県生活環境保全条例の地下水採取の規制のため、設置４５日前に監督員に通知すること）
２．工事概要
　特記仕様書、設計図書による。
３．工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

４．特記事項

１）本工事は、週休２日制モデル工事の試行対象工事である。
試行の実施は、富士見市週休２日制モデル工事施行要領（現場閉所型・通期）によるものとする。

２）本工事は、当施設事務所内で施設管理者が常駐する執務並行改修工事とする。

３）令和 7 年 12 月 2 日～令和 8 年 11 月 30 日のうち、毎月 1 日と 16 日は休工とすること。ただし、1 月は、令和 8 年 1 月 5 日と令和 8 年 1 月 16 日が休工とする。

４）契約後速やかに、設計図製本３部（見開きＡ３版）を提出すること。

５）関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。

６）仮設については、施設管理者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、施設管理者と協議し設置すること。

７）工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。

８）工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。

９）富士見市民文化会館キラリふじみの周辺環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、執務環境に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、施設管理者及び監督員に相談の上、行うこと。

１０）現場施工期間は関連工事（建築工事、機械設備工事）を含め　令和 7 年 12 月 2 日から令和 9 年 5 月 31 日とする。また、下記①～③の事項に留意し、工事を進めること。

①施工にあたっての調査・準備は施設管理者及び監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。

②Ⅰ工区（主にマルチホール関連工事）は、令和 8 年 11 月 30 日までに、各種検査を終え、施設管理者へ引き渡すこと。

③Ⅱ工区は、令和 9 年 5 月 31 日までに、各種検査を終え施設管理者へ引き渡すこと。

１１）例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。

１２）ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。

１３）竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。

１４）提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

１５）同施設において、「富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事」「富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修機械設備工事」を予定している

ため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

１６）メインホール・メインホールホワイエ・マルチホールにおける既設 WiFi については下記のとおりとすること。※配置図・詳細図等は受注後提供（電気設備工事）

①AP

・撤去および再設置作業は、以下の 6 台を対象とする。
AP15（メインホールホワイエ）、AP16（メインホールホワイエ 2F）、AP19、AP20、AP21（メインホール天井裏）、AP22（マルチホールキャットウォーク）

・AP は本体と台座に分かれているが、AP 本体のみの取外しを行う。（塗装作業は行わない前提。）

・工事期間中、台座は、粉塵等の付着防止のため、養生等でカバーする。

・取外し後に、監督員立会いのもと AP 本体の通電確認を行う。

・AP 本体は、取外し後から再設置までの期間中、ICT 推進課内で保管する。

・AP の再設置位置は、取外し前の位置から、約 1m以内とする。

・再設置位置が取外し前の位置から変わる場合、台座の取外しと再設置も併せて行う。

・AP の設置方向については、取外し前と同じ方向とする。

・再設置位置や方向について、再設置作業前に、ICT 推進課と事前に協議を行うものとする。

・再設置後の電波強度調査は、別業者が行う。

②HUBBOX（壁面取付）

・取外しは行わず、電源を切り、養生でカバーした状態で、残置する。
なお、養生作業の対象は以下の機器。
PoEHUB03（マルチホール別室）
PoEHUB04（マルチホール楽屋付近）
PoEHUB07（メインホールホワイエ）
PoEHUB08（舞台キャットウォーク）
PoEHUB09（メインホール天井裏）

・工事期間中、HUBBOX は電源を切った状態で残置する。なお電源の入切は市で行う。

③配線

・光ケーブルについては、残置する。

１７）全体停電を要する作業は、電気主任技術者立会いの上、行うこと。また、停電（工事、電気設備点検等）時に必要な仮設電源は各社で対応をすること。
（電気主任技術者　株式会社サイオー　℡048-710-5588）

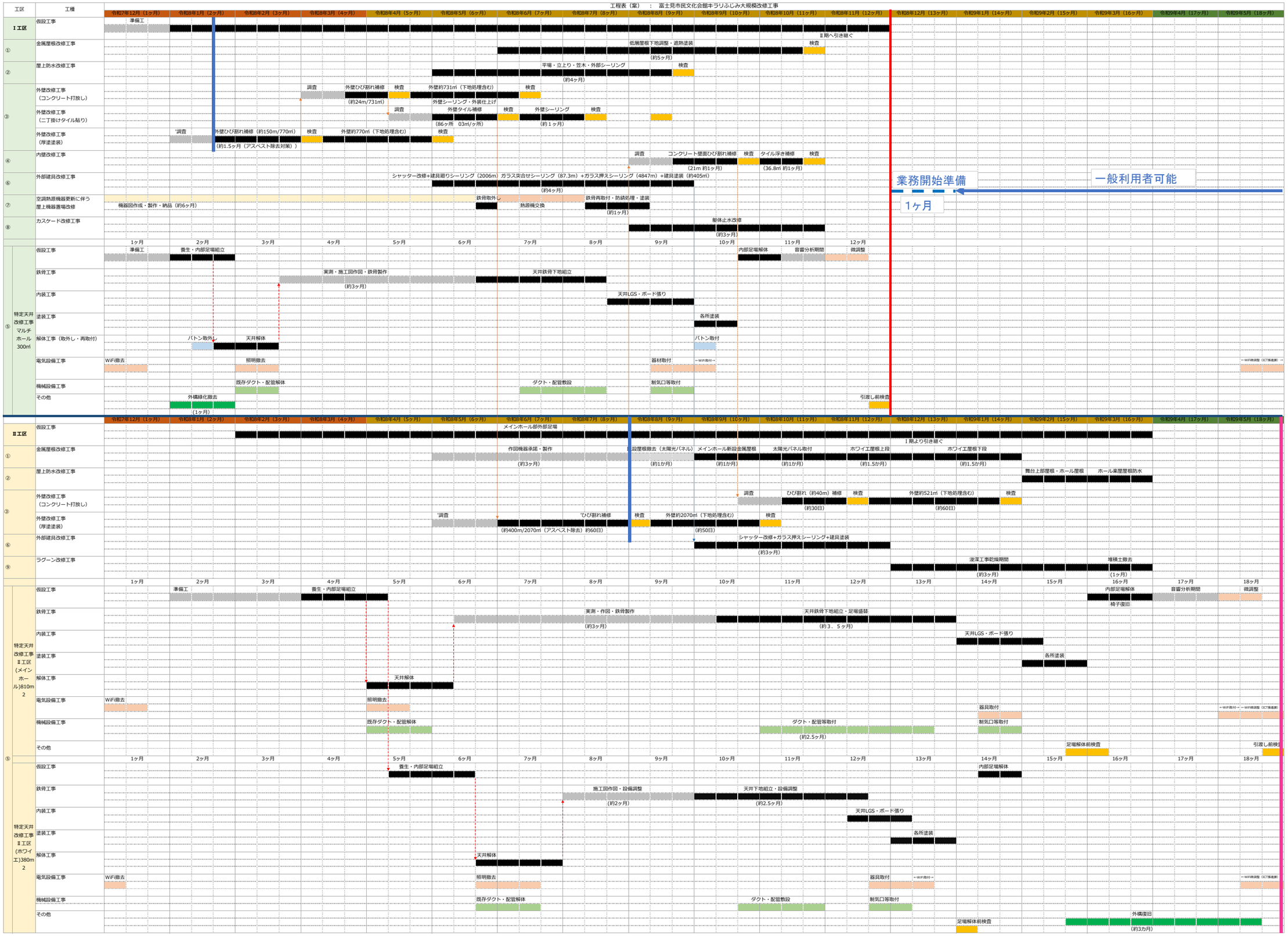
１８）工事期間中の機械警備仮設工事は本工事に含むものとする。

（機械警備　綜合警備保障株式会社　ふじみ野営業所　℡049-262-0712）

工程表（案）　：　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事

富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事設計業務委託

作成日	2025/3/7



設　計　仕　様　書

工事名称　　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

工事場所　　富士見市　大字鶴馬　地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
請負工事費	
工事概要	・メインホール、マルチホールの特定天井改修(建築工事)に伴う電気設備工事 （舞台音響設備、舞台照明設備、放送設備、火災報知設備等） ・空調設備用電源工事 ・太陽光発電設備更新 ・柱上高圧交流負荷開閉器(GR付PAS)更新

総括表

上段　設計変更
下段　原 設計

名称	摘要	数量	単位	金額	備考
電気設備工事		1	式		
計		1	式		
共通仮設費		1	式		
純工事費		1	式		
現場経費		1	式		
工事原価		1	式		
一般管理費		1	式		
工事価格		1	式		
改め		1	式		
消費税相当額		1	式		10%
請負工事費		1	式		

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	工事共通仮設費						
	準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
		現場事務所、倉庫、下小屋、					
	仮設建物費	作業員施設等の費用	1.0	式			
		場内通信設備等の工事用施設に					
	工事施設費	要する費用	1.0	式			
		安全標識、消火設備等の施設の設置					
	環境安全費	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
		工事用電気設備及び工事用給排水設備					(共通仮設費率)+
	動力用水光熱費	とその料金に要する費用	支給				(積上げ)
		屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の					
	屋外整理清掃費	整理清掃に要する費用	1.0	式			
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	積上げ						
	電気主任技術者立会費		1.0	日			
	高所作業車		1.0	日			
	揚重機	50t　オペレーター付	2.0	日			
	交通誘導員		3.0	人			
		仮設工事					
	機械警備	キーボックス　移設・復旧×1	1.0	式			
		センサー　撤去・再取り付け×6					
		EM-FA0.9-2P　200m、Fモール10m等					
		システム調整・試験調整費×3回					
	レントゲン撮影	調査費用	2.0	日			
	レントゲン撮影	フルム・作業費	24.0	箇所			
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
E	電気設備工事						
Ⅰ	メインホール		1.0	式			
Ⅱ	マルチホール		1.0	式			
	合　　計						
Ⅰ	メインホール	スクラップ	1.0	式			
Ⅱ	マルチホール	スクラップ	1.0	式			
	合　　計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅰ	メインホール						
A1	幹線設備		1.0	式			
A2	電灯設備		1.0	式			
A3	動力設備		1.0	式			
A4	構内交換設備		1.0	式			
A5	テレビ共同受信設備		1.0	式			
A6	放送設備		1.0	式			
A7	時計設備		1.0	式			
A8	避雷針設備		1.0	式			
A9	火災報知設備		1.0	式			
A10	太陽光発電設備		1.0	式			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A11	舞台照明設備		1.0	式			
A12	舞台音響設備		1.0	式			
A13	発生材処分費		1.0	式			
	小　　計						
A14	スクラップ		1.0	式			
	小　　計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A1	幹線設備						
	電線	EM-IE 14(管内)	3.0	m			
	電線	EM-IE 14(ころがし)	50.0	m			
	電線	EM-IE 22(管内)	3.0	m			
	電線	EM-IE 22(ころがし)	40.0	m			
	ケーブル	EM-CET 60(管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET 60(ころがし)	50.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(ころがし)	40.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	幹線分岐材	ケーブル直線接続材 CET60	1.0	個			
	幹線分岐材	ケーブル直線接続材 CET100	1.0	個			
	プルボックス	SS400×400×200 (0.64㎜)	1.0	個			
	壁貫通処理	50φ×1(コア抜き、補修共)	2.0	箇所			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	高圧区分開閉器(GR付PAS)SUS製	VT・LA内蔵 方向性7.2kV 400A SOG制御盤付き	1.0	基			
	腕金	1800L	1.0	本			
	腕金	1050L	3.0	本			
	高圧ピン碍子	耐塩形	3.0	個			
	分岐支持バンド	ｺﾞﾑｽﾍﾟｰｻ付　60用	1.0	個			
	端末処理　屋内	6kV EM-CET用　60用	1.0	箇所			
	端末処理　屋外耐塩	6kV EM-CET用　60用	1.0	箇所			
	接地端子盤(SUS)	接地端子3組、測定用補助端子1組	1.0	面			
	柱上開閉器地上操作装置	本体、ﾛｰﾌﾟ、ﾛｰﾌﾟｶﾞｲﾄﾞ×6	1.0	式			
	高圧ケーブル	EM-CET(EE) 60(管内)	10.0	m			
	高圧ケーブル	EM-CET 60(EE)(FEP内)	55.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	PAS制御ケーブル	管内(付属ケーブル施工費)	10.0	m			
	電線	EM-IE 14 (VE管内)	13.0	m			
	電線	EM-IE 5.5 (VE管内)	13.0	m			
	電線管	VE16 (露出)	12.0	m			
	電線管	VE28 (露出)	6.0	m			
	電線管	PF-D-16 (露出)	1.0	m			
	電線管	PF-D-22 (露出)	1.0	m			
	電線管	PF-D-28 (露出)	2.5	m			
	ブランクプレート	t 1.6　塗装(SOG 撤去部)	1.0	個			
	ブランクプレート	t 1.6　塗装(表示器 撤去部)	1.0	個			
	柱上開閉器地上操作装置操作棒		1.0	本			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
C1	幹線設備 撤去		1.0	式			別紙明細-1

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A2	電灯設備						
-1	電灯分岐						
-2	コンセント分岐						
-3	非常照明・誘導灯分岐						
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-1	電灯分岐						
	電線	EM-IE 2.0(管内)	477.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(管内)	392.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(ころがし)	734.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C(管内)	517.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C(ころがし)	730.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 1.2-1P(管内)	617.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 1.2-1P(ころがし)	1,096.0	m			
	電線管	(PF16)隠ぺい	30.0	m			
	電線管	(E19)露出	184.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	電線管	(E25)隠ぺい	1.0	m			
	電線管	(E25)露出	72.0	m			
	電線管	(E31)露出	47.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	1.0	m			
	電線管	(E39)露出	6.0	m			
	電線管	(E51)露出	10.0	m			
	電線管	(E51)露出 塗装	3.0	m			
	電線管	(E75)露出	40.0	m			
	電線管	(E75)露出 塗装	11.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	アウトレットボックス	四角中浅 C付	2.0	個			
	アウトレットボックス	中深 C付	8.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E19)ﾎﾞﾝﾄﾞ共	4.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)ﾎﾞﾝﾄﾞ共	2.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用 1方出(E19)	4.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用 1方出(E25)	2.0	個			
	プルボックス	SS300×300×200C(0.42㎜)	5.0	個			
	プルボックス	SS400×400×200C (0.64㎜)	1.0	個			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	床貫通処理	50φ×1(コア抜き、補修共)	5.0	箇所			
	防火区画貫通処理	金属短管工法 (E25)	5.0	箇所			
	壁貫通処理	50φ×1(コア抜き、補修共)	4.0	箇所			
	壁貫通処理	75φ×1(コア抜き、補修共)	2.0	箇所			
	壁貫通処理	100φ×1(コア抜き、補修共)	8.0	箇所			
	A1 LED照明器具	LEDｼｱｱﾀｰﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LED91.5W	84.0	台			
	B1 照明器具	LEDｼｱｱﾀｰﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LED30.0W	80.0	台			
	C1 照明器具	LED間接照明 LED25.0W	154.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	D1 照明器具	LEDﾕﾆｯﾄ型変換型ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LED17.1W	162.0	台			
	G1 照明器具	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ(反射笠付) LED17.1W	14.0	台			
	埋込スイッチ(新金)	3W15A×1	4.0	個			
	埋込スイッチ(新金)	4W15A×1	2.0	個			
	RDM-PWM変換ボックス	既設調光盤内組込	3.0	個			
	DMXﾉｰﾄﾞ	既設調光盤内組込	3.0	個			
C2							
-1	電灯分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-2
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-2	コンセント分岐						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(管内)	123.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(ころがし)	50.0	m			
	電線管	(E25)露出	76.0	m			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	1.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)	2.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用 1方出(E25)	4.0	個			
	埋込コンセント(新金)	2P15AE×2　取外し再取付	10.0	個			
C2							
-2	コンセント分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-3
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-3	非常照明・誘導灯分岐						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C（管内）	14.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C（ころがし）	200.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（管内）	54.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（ころがし）	48.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 2-2C（管内）	10.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 2-2C（ころがし）	39.0	m			
	電線管	(E19)露出	14.0	m			
	電線管	(E25)露出	35.0	m			

(＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	アウトレットボックス	中深 C付	2.0	個			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	2.0	個			
		K1-LRS11-2					
	a1 照明器具	LED埋込非常照明（低天井用）LED1.0W	29.0	台			
		K1-LRS11-3					
	b1 照明器具	LED埋込非常照明（中天井用）LED1.3W	8.0	台			
	c1 照明器具	LED埋込非常照明（特天井用）LED1.3W	4.0	台			
C2							
-3	非常照明・誘導灯分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-4
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A3	動力設備						
	電線	EM-IE 5.5(管内)	28.0	m			
	電線	EM-IE 8(管内)	21.0	m			
	電線	EM-IE 14(管内)	12.0	m			
	電線	EM-IE 22(管内)	40.0	m			
	ケーブル	EM-CE 3.5-4C(管内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C(管内)	38.0	m			
	ケーブル	EM-CET 38(管内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	40.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	電線管	(22)露出 塗装	21.0	m			
	電線管	(28)露出 塗装	38.0	m			
	電線管	(54)露出 塗装	6.0	m			
	電線管	(82)露出 塗装	40.0	m			
	電動機接続材	被覆あり F2(24)WP	1.0	個			
	電動機接続材	被覆あり F2(30)WP	3.0	個			
	電動機接続材	被覆あり F2(63)WP	2.0	個			
	電動機接続材	被覆あり F2(83)WP	2.0	個			
	電動機結線費	7.5KW以下	3.0	箇所			
	電動機結線費	11KW以上	8.0	箇所			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	プルボックス	SUS600×600×600 WP(2.16㎡)	1.0	個			
C3	動力設備　撤去						
			1.0	式			別紙明細-5
	小計						

(P. － A － 19)

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A4	構内交換設備						
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(PF管内)	23.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(ころがし)	145.0	m			
	ケーブル	EM-TIEF0.5-2C(管内)	71.0	m			
	ケーブル	EM-TIEF0.5-2C(PF管内)	13.0	m			
	電線管	(E19)露出	1.0	m			
	電線管	(E19)露出 塗装	28.0	m			
	プルボックス	SS200×200×100 (0.16㎜)	1.0	個			
	アクセスポイント	取外し再取付	5.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	既設HUB BOX PoE HUB 04	養生(0.25㎟)	1.0	箇所			
	既設HUB BOX PoE HUB 05	養生(0.25㎟)	1.0	箇所			
	既設HUB BOX PoE HUB 07	養生(0.25㎟)	1.0	箇所			
	既設HUB BOX PoE HUB 08	養生(0.25㎟)	1.0	箇所			
	既設HUB BOX PoE HUB 09	養生(0.25㎟)	1.0	箇所			
C4	構内交換設備　撤去		1.0	式			別紙明細-6
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A5	テレビ共同受信設備						
	ケーブル	EM-S-7C-FB(管内)	139.0	m			
	電線管	(E25)露出 塗装	60.0	m			
	電線管	(E39)露出	1.0	m			
	電線管	(E39)露出 塗装	12.0	m			
	電線管	(G22)ドブ　露出	2.0	m			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	3.0	個			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	UHFアンテナ	AU-2 SUS製(全帯域用)	1.0	基			
	BSアンテナ	750φ	1.0	基			
	CSアンテナ	750φ	1.0	基			
	アンテナマスト	自立型(取付金物含む) 亜鉛メッキ	3.0	本			
C5	テレビ共同受信設備　撤去		1.0	式			別紙明細-7
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A6	放送設備						
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(管内)	30.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(PF管内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(ころがし)	124.0	m			
	電線管	(E25)露出 塗装	30.0	m			
	アウトレットボックス	中深 C付	2.0	個			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	1.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)	1.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用 1方出(E25)	2.0	個			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	天井埋込スピーカー	1W ATT付(SC6Hi-1(3)-V3	9.0	台			
	ホーン型スピーカー	10W(SH-10)	2.0	台			
	天井埋込スピーカー	1W　取外し再取付	2.0	台			
	天井埋込スピーカー	1W ATT付　取外し再取付	2.0	台			
C6	放送設備　撤去		1.0	式			別紙明細-8
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A7	時計設備						
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C（PF管内）	12.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C（ころがし）	55.0	m			
	子時計	取外し再取付（ｴﾝﾄﾗﾝｽﾛﾋﾞｰ系統）	2.0	台			
	子時計	取外し再取付（事務室系統）	1.0	台			
C7	時計設備　撤去		1.0	式			別紙明細-9
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A8	避雷針設備						
	水切端子	パラペット用	2.0	個			
	棟上銅線	2.0×13	122.0	m			
	避雷導線支持金物		204.0	個			
	T型接続端子		2.0	個			
C8	避雷針設備　撤去		1.0	式			別紙明細-10
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A9	火災報知設備						
-1	自動火災報知分岐		1.0	式			
-2	防排煙分岐		1.0	式			
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-1	自動火災報知分岐						
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(PF管内)	15.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(ころがし)	257.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-5P(PF管内)	7.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-5P(ころがし)	12.0	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-2C(ころがし)	5.0	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-4C(PF管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-4C(ころがし)	5.0	m			
	アウトレットボックス	中深 C付	8.0	個			
	ジャンクションボックス	四角中浅44 金属	2.0	個			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	機器収容箱内機器	発信器　埋込型	1.0	個			
	機器収容箱内機器	表示灯	1.0	個			
	機器収容箱内機器	ベル　埋込型	1.0	個			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種、露出型	27.0	個			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種、露出型、防排煙連動兼用	11.0	個			
	光電スポット型感知器	2種、露出型	5.0	個			
	消防立会検査費	P型1級	1.0	式			
C9							
-1	自動火災報知分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-11
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-2	防排煙分岐						
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(PF管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(ころがし)	24.0	m			
C9							
-2	防排煙分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-12
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A10	太陽光発電設備						
	電線	EM-IE 8(管内)	92.0	m			
	ケーブル	EM-CET 38(管内)	88.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 2-2C(管内)	88.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 1.2-2P(管内)	97.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT5)0.5-4P(管内)	40.0	m			
	太陽電池パネル	415W/枚	80.0	枚			
	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ	三相3線 10kW 壁掛型	3.0	面			
	交流集電箱	3回路　壁掛型	1.0	面			
	固定金具(SX40用) 押さえ(中間部)共	溶融亜鉛メッキ	280.0	セット			
	固定金具(SX40用) 押さえ(端部)共	溶融亜鉛メッキ	80.0	セット			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ｱｰｽﾌﾟﾚｰﾄ		70.0	枚			
	気象計測装置	日射計、気温計	1.0	式			
	ﾃﾞｰﾀ計測装置		1.0	式			
	表示装置	液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ(42型)	1.0	式			
	延長ｹｰﾌﾞﾙ類	電池ｱﾚｲ～ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ～交流集電箱間	1.0	式			
	配管及び配線ﾗｯｸ類	G28,W=200	1.0	式			
	資材荷上作業		1.0	式			
	固定金具取付	※押さえ共	360.0	セット			
	太陽電池ﾊﾟﾈﾙ取付	電池間配線含む	80.0	枚			
	残材荷下げ作業		1.0	式			
	機器類据付		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	電気配線配管工事		1.0	式			
	機器類試験調整費		1.0	式			
	各種試験費		1.0	式			
	機器搬出作業		1.0	式			
	機器処分費		1.0	式			
	法定福利費、その他経費		1.0	式			
C10	太陽光発電設備　撤去		1.0	式			別紙明細-13
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

		上段　変更設計
		下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A11	舞台照明設備						
	既設調光器盤(MDA型)		1.0	式			
	既設主照明操作卓	パッチソフト変更	1.0	式			
	既設副照明操作卓	パッチソフト変更	1.0	式			
	既設負荷モニターLCD	レイアウトソフト変更	1.0	式			
	既設ワイヤレス装置	パッチソフト変更	1.0	式			
	現場荷造運送費(盤改造側)	メインホール・マルチホール共)	1.0	式			
	現場据付工事費(盤改造側)	メインホール・マルチホール共)	1.0	式			
	現場試験調整費(盤改造側)	メインホール・マルチホール共)	1.0	式			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	客席サスペンションライト						
	ﾌﾗｲﾀﾞｸﾄ(取外し再取付)	C型20Aｺﾝｾﾝﾄ 32個付　16回路 L=16.2m	1.0	列			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ(取外し再取付)	C型30Aｺﾝｾﾝﾄ 1個付 1回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ(取外し再取付)	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 2個付 2回路	1.0	個			
	ｹｰﾌﾞﾙﾘｰﾙ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	8sq-9心×20m(ｹｰﾌﾞﾙ27m付)	4.0	台			
	ｹｰﾌﾞﾙﾘｰﾙ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	14sq-9心×20m(ｹｰﾌﾞﾙ28m付)	1.0	台			
	ｹｰﾌﾞﾙﾘｰﾙ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	制御信号1ch用×20m(ｹｰﾌﾞﾙ40m付)	2.0	台			
	照明器具(取外し再取付)	平凸ﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW(ﾊﾝｶﾞｰ付)	32.0	台			
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	60A 4回路用	5.0	個			
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	制御信号用	2.0	個			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	フロントサイドライト						
	ﾌﾗｲﾀﾞｸﾄ※残置（但し、シート養生）	C型20Aｺﾝｾﾝﾄ 16個付　16回路 L=5.0m	4.0	列			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 2口用 2回路	8.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	C型60Aｺﾝｾﾝﾄ 2口用 2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	LANｺﾈｸﾀ 1口用	4.0	個			
	照明器具（取外し再取付）	平凸ﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW（ﾊﾝｶﾞｰ付）	64.0	台			
	シーリングライト						
	ﾌﾗｲﾀﾞｸﾄ※残置（但し、シート養生）	C型20Aｺﾝｾﾝﾄ 32個付　16回路 L=16.0m	1.0	列			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ（取外し再取付）	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 2口用 2回路	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ（取外し再取付）	LANｺﾈｸﾀ 1口用	2.0	個			
	照明器具（取外し再取付）	平凸ﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1.5kW（ﾊﾝｶﾞｰ付）	64.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	センターピンスポットライト						
	分電盤※残置（但し、シート養生）	3φ4W 105/182V 40kVA	1.0	面			
	照明器具（取外し再取付）	ｾﾝﾀｰﾋﾟﾝｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ2kW（ｽﾀﾝﾄﾞ・整流器付）	4.0	台			
	照明器具（取外し再取付）	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ用ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	4.0	台			
	照明器具（取外し再取付）	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ（7.0m/調光VR点滅ｽｲｯﾁ付）	1.0	式			
	現場荷造運送費(取外し再取付側)	取外し再取付	1.0	式			
	現場試験調整費(取外し再取付け側)	取外し再取付	1.0	式			

（　　）

（　　）

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	呼び線	1.2（管内）	33.0	m			
	電線	EM-IE2.0（管内）	393.0	m			
	電線	EM-IE3.5（管内）	955.0	m			
	電線	EM-IE5.5（管内）	999.0	m			
	電線	EM-IE8（管内）	1,572.0	m			
	電線	EM-IE14（管内）	1,293.0	m			
	電線	EM-IE22（管内）	43.0	m			
	電線	EM-IE38（管内）	141.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-2C（管内）	2.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-2C（ころがし）	28.0	m			

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（管内）	12.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（PF管内）	66.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（ころがし）	196.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C（管内）	3.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C（ころがし）	56.0	m			
	ケーブル	EM-CE 14-2C（管内）	3.0	m			
	ケーブル	EM-CE 14-2C（ころがし）	100.0	m			
	ケーブル	EM-CET 150（管内）	6.0	m			
	ケーブル	EM-CET 150（ころがし）	46.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ケーブル	KK-2P-9（管内）	234.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-3P（管内）	9.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-3P（ころがし）	93.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P（管内）	3.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P（ころがし）	7.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-10P（管内）	39.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-20P（管内）	39.0	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P(Cat5e)（管内）	21.0	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P(Cat5e)（ころがし）	181.0	m			

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR (管内)	22.0	m			
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR (ころがし)	96.0	m			
	光ケーブル成端接続	5C (5ﾃｰﾌﾟ) 以下	8.0	か所			
	光ケーブル伝送損失測定	4C 以下	4.0	か所			
	電線管	(E25)隠ぺい	17.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	37.0	m			
	電線管	(E51)隠ぺい	365.0	m			
	電線管	(PF28)隠ぺい	22.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	プルボックス	SS200×200×100 (0.16㎟)	1.0	個			
	プルボックス	SS300×300×300 (0.54㎟)	1.0	個			
	金属製配線ダクト	300W×150D (ｾﾊﾟﾚｰﾀ付)	7.0	m			
C11	舞台照明設備　撤去		1.0	式			別紙明細-14
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
A12	舞台音響設備						
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C（管内）	185.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C（ダクト）	213.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C（ころがし）	64.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-7P（ダクト）	43.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P（管内）	31.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P（ダクト）	43.0	m			
	ケーブル	EM-STP(CAT6)0.5-4P（管内）	40.0	m			
	ケーブル	EM-STP(CAT6)0.5-4P（ダクト）	247.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB（管内）	74.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB（ダクト）	142.0	m			

（　　）

（　　）

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ケーブル	5CHD-EM(管内)	154.0	m			
	ケーブル	5CHD-EM(ダクト)	575.0	m			
	ケーブル	5CHD-EM(ころがし)	20.0	m			
	ケーブル	EM-8DFB(管内)	123.0	m			
	ケーブル	EM-8DFB(ダクト)	159.0	m			
	ケーブル	4E4-4AT-EM(管内)	141.0	m			
	ケーブル	4E4-4AT-EM(ダクト)	117.0	m			
	ケーブル	4E4-8AT-EM(ダクト)	89.0	m			
	ケーブル	4E4-16AT-EM(ダクト)	709.0	m			
	ケーブル	4E6AT-EM(管内)	481.0	m			
	ケーブル	4E6AT-EM(ダクト)	1,151.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ケーブル	4S10F-EM(管内)	132.0	m			
	ケーブル	4S10F-EM(ダクト)	78.0	m			
	ケーブル	4S12F-EM(管内)	444.0	m			
	ケーブル	4S12F-EM(ダクト)	2,353.0	m			
	ケーブル	EM-光ケーブル　MM-4C(PF管内)	25.0	m			
	ケーブル	EM-光ケーブル　MM-4C(ダクト)	496.0	m			
	金属製配線ダクト	400W×200D	48.0	m			
	電線管	(PF28)隠ぺい	25.0	m			
	電線管	(E19)隠ぺい	33.0	m			
	電線管	(E25)隠ぺい	631.0	m			
	電線管	(E31)隠ぺい	102.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	電線管	(E39)隠ぺい	73.0	m			
	電線管	(E51)隠ぺい	156.0	m			
	アウトレットボックス	四角中深 C付	22.0	個			
	プルボックス	SS150×150×100(0.105㎟)	2.0	個			
	プルボックス	SS200×200×100(0.16㎟)	5.0	個			
	機器取付費	(3天吊り含む)	1.0	式			
	端末結線処理費		1.0	式			
	現場消耗雑材費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	総合調整費		1.0	式			
	音響測定費		1.0	式			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	既設撤去費		1.0	式			
	養生費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
C12	舞台音響設備　撤去		1.0	式			別紙明細-15
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A13	発生材処理						
	処分費	混合廃棄物(運搬費含む)	1.0	式			別紙明細-25
	リサイクル処理	蛍光管（運搬費含む）	1.0	式			別紙明細-27
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A14	スクラップ						
	有価売却益	銅・鉄（被覆処理含む）	1.0	式			別紙明細-26
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅱ	マルチホール						
B1	幹線設備		1.0	式			
B2	電灯設備		1.0	式			
B3	構内交換設備		1.0	式			
B4	放送設備		1.0	式			
B5	火災報知設備		1.0	式			
B6	舞台照明設備		1.0	式			
B7	舞台音響設備		1.0	式			
B8	発生材処分費		1.0	式			
	小　　計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B9	スクラップ		1.0	式			
	小　　計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅱ	マルチホール						
B1	幹線設備						
	電線	EM-IE 14(管内)	42.0	m			
	ケーブル	EM-CET 60(管内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	21.0	m			
	幹線分岐材	ケーブル直線接続材 CET60	2.0	個			
	幹線分岐材	ケーブル直線接続材 CET100	2.0	個			
	電線管	(E63)露出 塗装	21.0	m			
	電線管	(E75)露出 塗装	21.0	m			
	プルボックス	SS400×400×200C (0.64㎡)	2.0	個			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
D1	幹線設備　撤去		1.0	式			別紙明細-16

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B2	電灯設備						
-1	電灯分岐		1.0	式			
-2	コンセント分岐		1.0	式			
-3	非常照明・誘導灯分岐		1.0	式			
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-1	電灯分岐						
	電線	EM-IE 2.0(管内)	1,283.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 1.2-1P(管内)	123.0	m			
	電線管	(E19)露出	28.0	m			
	電線管	(E19)露出 塗装	102.0	m			
	電線管	(E25)露出	89.0	m			
	電線管	(E25)露出 塗装	98.0	m			
	電線管	(E31)露出 塗装	6.0	m			
	電線管	(E39)露出 塗装	14.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	丸形露出ボックス	1方出(E25)	16.0	個			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	176.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)	7.0	個			
	プルボックス	SS300×300×200C(0.42mm)	7.0	個			
	A1 照明器具	LEDｼｱｱﾀｰﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LED91.5W	64.0	台			
	E1 照明器具	LED一体型ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LED81.0W	32.0	台			
	F1 照明器具	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ(逆富士) LED22.0W	32.0	台			
	電灯分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-17
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-2	コンセント分岐						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(管内)	33.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(ころがし)	76.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	5.0	m			
	電線管	(E39)露出	2.0	m			
	壁貫通処理	50φ×1(コア抜き、補修共)	2.0	箇所			
	埋込コンセント(新金)	2P15AE×2　取外し再取付	3.0	個			
D2 -2	コンセント分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-18

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-3	非常照明・誘導灯分岐						
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C（管内）	72.0	m			
	電線管	(E19)露出 塗装	58.0	m			
	丸形露出ボックス	1方出(E25)	4.0	個			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	8.0	個			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)	3.0	個			
		K1-LSS11-3					
	d1 照明器具	LED直付非常照明（中天井用）LED1.3W	12.0	台			
D2							
-3	非常照明・誘導灯分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-19
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
B3	構内交換設備						
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(PF管内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(ころがし)	11.0	m			
	アクセスポイント	取外し再取付	1.0	台			
	既設HUB BOX PoE HUB 03	養生(0.25)	1.0	箇所			
D3	構内交換設備　撤去		1.0	式			別紙明細-20
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B4	放送設備						
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(管内)	24.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(PF管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(ころがし)	44.0	m			
	電線管	(E19)露出 塗装	24.0	m			
	丸形露出ボックス	3方出(E25)	1.0	個			
	露出スイッチボックス	1個用 1方出(E25)	2.0	個			
	ジャンクションボックス	四角中浅44 金属	1.0	個			
	壁貫通処理	50φ×1(コア抜き、補修共)	1.0	箇所			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ホーン型スピーカー	5W(SH-5)	1.0	台			
	ホーン型スピーカー	10W(SH-10)	1.0	台			
	天井埋込スピーカー	1W ATT付　取外し再取付	1.0	台			
	壁掛型スピーカー	ATT付　取外し再取付	2.0	台			
D4	放送設備　撤去		1.0	式			別紙明細-21
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B5	火災報知設備						
-1	自動火災報知分岐		1.0	式			
-2	防排煙分岐		1.0	式			
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-1	自動火災報知分岐						
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(管内)	48.0	m			
	電線管	(E19)露出 塗装	48.0	m			
	丸形露出ボックス	1方出(E25)	1.0	個			
	丸形露出ボックス	2方出(E25)	7.0	個			
	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種、露出型	8.0	台			
D5 -1	自動火災報知分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-22
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
-2	防排煙分岐						
	ケーブル	EM-HP 1.2-5C(ころがし)	24.0	m			
	ジャンクションボックス	四角中浅44 金属	2.0	個			
D5							
-2	防排煙分岐　撤去		1.0	式			別紙明細-23
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B6	舞台照明設備						
	既設調光器盤(MFA型)		1.0	式			
	既設調光操作卓	パッチソフト変更	1.0	式			
	既設ワイヤレス装置	パッチソフト変更	1.0	式			
	ステージギャラリーライト						
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	C型20Aｺﾝｾﾝﾄ 2口用	16.0	個			
	DMｺﾈｸﾀﾎﾞｯｸｽ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 1個付 1回路	1.0	個			
	LANｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置(但し、ｼｰﾄ養生)	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 1個付 1回路	2.0	個			
	照明器具(取外し再取付)	平凸ﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW(ﾊﾝｶﾞｰ付)	12.0	台			
	照明器具(取外し再取付)	ﾌﾚﾈﾙﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW(ﾊﾝｶﾞｰ付)	12.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ギャラリーライト						
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	C型20Aｺﾝｾﾝﾄ 2口用	12.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	C型30Aｺﾝｾﾝﾄ 3口用	12.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	C型30Aｺﾝｾﾝﾄ 4口用	12.0	個			
	DMｺﾈｸﾀﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 1個付 1回路	1.0	個			
	LANｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ※残置（但し、シート養生）	平行15Aｺﾝｾﾝﾄ 1個付 1回路	6.0	個			
	照明器具（取外し再取付）	平凸ﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW（ﾊﾝｶﾞｰ付）	12.0	台			
	照明器具（取外し再取付）	ﾌﾚﾈﾙﾚﾝｽﾞｽﾎﾟｯﾄﾊﾛｹﾞﾝ1kW（ﾊﾝｶﾞｰ付）	12.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	電線	EM-IE3.5（管内）	546.0	m			
	電線	EM-IE5.5（管内）	652.0	m			
	電線	EM-IE8（管内）	5,521.0	m			
	電線	EM-IE22（管内）	8.0	m			
	ケーブル	EM-CET 150（ころがし）	8.0	m			
	ケーブル	KK-2P-9（管内）	34.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-15P（管内）	18.0	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P(Cat5e)（ころがし）	159.0	m			
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR（ころがし）	72.0	m			

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	光ケーブル成端接続	5C (5ﾃｰﾌﾟ) 以下	6.0	か所			
	光ケーブル伝送損失測定	4C 以下	3.0	か所			
	電線管	(E25)隠ぺい	79.0	m			
	電線管	(E25)露出塗装	30.0	m			
	電線管	(E31)隠ぺい	125.0	m			
	電線管	(E31)露出塗装	60.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	209.0	m			
	電線管	(E39)露出塗装	72.0	m			
	電線管	(E51)隠ぺい	246.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	プルボックス	SS600×600×600(2.16㎡)	2.0	個			
D6	舞台照明設備　撤去		1.0	式			別紙明細-24
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B7	舞台音響設備						
	機器取付費		1.0	式			
	端末結線処理費		1.0	式			
	現場消耗雑材費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	総合調整費		1.0	式			
	音響調整・測定費		1.0	式			
	既設撤去費		1.0	式			
	養生費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小計						

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B8	発生材処理						
	処分費	混合廃棄物(運搬費含む)	1.0	式			別紙明細-28
	小計						

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
B8	発生材処理						
	有価売却益	銅・鉄（被覆処理含む）	1.0	式			別紙明細-29

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	別紙明細-1						
1-1	幹線設備　撤去	メインホール					
	電線	EM-IE 14(管内)	57.0	m			
	電線	EM-IE 22(管内)	47.0	m			
	ケーブル	EM-CET 60(管内)	57.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	47.0	m			
	電線管	(E63)隠ぺい	57.0	m			
	電線管	(E75)隠ぺい	47.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1-2	幹線設備　撤去	メインホール					
	高圧区分開閉器(GR付PAS)鋼板製	方向性7.2kV 400A SOG制御付き	1.0	基			
	腕金	1800L	1.0	本			
	腕金	1050L	3.0	本			
	避雷器	屋外耐塩	3.0	個			
	分岐支持バンド		1.0	個			
	接地端子盤		1.0	面			
	高圧ケーブル	EM-CET60(管内)	7.5	m			
	高圧ケーブル	EM-CET 60(FEP内)	50.0	m			
	電線	IV 14 (管内)	10.0	m			
	電線	IV 5.5 (管内)	10.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1-3	幹線設備　撤去	メインホール					
	PAS制御ケーブル	管内	10.0	m			
	PAS制御ケーブル	FEP内	50.0	m			
	波付硬質合成樹脂管	FEP30	5.0	m			
	表示器	地絡警報	1.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	別紙明細-2						
2-1	電灯設備　電灯分岐　撤去	メインホール					
	電線	EM-IE 2.0(管内)	295.0	m			
	電線	EM-IE 5.5(管内)	143.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-2C(管内)	2135.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-2C(ころがし)	145.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C(管内)	259.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.6-2C(管内)	433.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.6-3C(管内)	64.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-2C(管内)	118.0	m			
	ケーブル	EM-CE 14-2C(管内)	42.0	m			
	ケーブル	EM-CPEE 1.2-1P(管内)	66.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-2	電灯設備　電灯分岐　撤去	メインホール					
	アウトレットボックス	中深 C付	2.0	個			
	プルボックス	SS200×200×200	2.0	個			
	プルボックス	SS800×800×800	1.0	個			
	照明器具	D1	24.0	台			
	照明器具	D11	42.0	台			
	照明器具	D12	2.0	台			
	照明器具	D3	3.0	台			
	照明器具	D3A	38.0	台			
	照明器具	D5B	19.0	台			
	照明器具	SP11	1.0	台			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-3	電灯設備　電灯分岐　撤去	メインホール					
	照明器具	SP11A	1.0	台			
	照明器具	SP11B	1.0	台			
	照明器具	SP11C	1.0	台			
	照明器具	SP11D	1.0	台			
	照明器具	SP11E	1.0	台			
	照明器具	SP12	12.0	台			
	照明器具	SP13	1.0	台			
	照明器具	K6	154.0	台			
	照明器具	T6	34.0	台			
	照明器具	W321	14.0	台			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-4	電灯設備　電灯分岐　撤去	メインホール					
	安定器	NH150W用	34.0	個			
	リモコンスイッチ(新金)	1L	3.0	個			
	埋込スイッチ(新金)	3W15A×1	4.0	個			
	埋込スイッチ(新金)	4W15A×1	2.0	個			
	安定器収容箱	NH150W×16台用	1.0	台			
	安定器収容箱	NH150W×18台用	1.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	別紙明細-3						
	電灯設備 コンセント分岐 撤去	メインホール					
	電線	EM-IE 2.0(管内)	477.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	別紙明細-4						
4	非常照明・誘導灯分岐　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-FP 3.5-2C(管内)	122.0	m			
	ケーブル	EM-FP 5.5-2C(管内)	42.0	m			
	ケーブル	EM-FP 8-2C(管内)	51.0	m			
	ケーブル	EM-FP 14-2C(管内)	97.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 2-2C(管内)	49.0	m			
	アウトレットボックス	中深 C付	2.0	個			
	照明器具	n40	29.0	台			
	照明器具	q85	12.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	別紙明細-5						
5-1	動力設備　撤去	メインホール					
	電線	EM-IE 5.5(管内)	28.0	m			
	電線	EM-IE 8(管内)	21.0	m			
	電線	EM-IE 14(管内)	12.0	m			
	電線	EM-IE 22(管内)	40.0	m			
	ケーブル	EM-CE 3.5-4C(管内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C(管内)	49.0	m			
	ケーブル	EM-CET 38(管内)	12.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	40.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
5-2	動力設備　撤去	メインホール					
	電線管	(22)露出 塗装	21.0	m			
	電線管	(28)露出 塗装	49.0	m			
	電線管	(54)露出 塗装	12.0	m			
	電線管	(82)露出 塗装	40.0	m			
	プルボックス	600×600×600 WP	1.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-6						
6	構内交換設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(PF管内)	23.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(ころがし)	145.0	m			
	ケーブル	EM-TIEF0.5-2C(PF管内)	57.0	m			
	プルボックス	SS200×200×100	1.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-7						
7	テレビ共同受信設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-S-7C-FB(PF管内)	134.0	m			
	VHFアンテナ	12素子	1.0	台			
	UHFアンテナ	20素子	1.0	台			
	BSアンテナ	750φ	1.0	台			
	CSアンテナ	750φ	1.0	台			
	アンテナマスト	自立型(取付金物含む)2M	3.0	本			
	U／V混合器	WP	1.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-8						
8	放送設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C（PF管内）	166.0	m			
	天井埋込スピーカー	1W ATT付	9.0	台			
	ホーン型スピーカー	10W	2.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-9						
9	時計設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-AE 1.2-2C(PF管内)	67.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-10						
10	避雷針設備　撤去	メインホール					
	水切端子	パラペット用	2.0	個			
	棟上銅線	2.0×13	122.0	m			
	避雷導線支持金物		204.0	個			
	T型接続端子		2.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

							上段　変更設計 下段　原 設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-11						
11-1	自動火災報知分岐　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(PF管内)	260.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(ころがし)	12.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-5P(PF管内)	7.0	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2-5P(ころがし)	12.0	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-2C(PF管内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-HP 0.9-4C(PF管内)	7.0	m			
	機器収容箱内機器	発信器	1.0	個			
	機器収容箱内機器	表示灯	1.0	個			
	機器収容箱内機器	ベル	1.0	個			
	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種、露出型	27.0	台			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
11－2	自動火災報知分岐　撤去						
	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種、露出型、防排煙連動兼用	11.0	台			
	光電式スポット型感知器	2種、露出型	5.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-12						
12	防排煙分岐　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C(PF管内)	26.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-13						
13	太陽光発電設備　撤去	メインホール					
	電線	EM-IE 8(管内)	92.0	m			
	ケーブル	EM-CE 38-2C(管内)	88.0	m			
	ケーブル	EM-CEE-S 2-4C(管内)	88.0	m			
	ケーブル	EM-KPEE-S 1.25-2P(管内)	40.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	別紙明細-14						
14-1	舞台照明設備　撤去	メインホール					
	呼び線	1.2（管内）	32.0	m			
	電線	IV2（管内）	391.0	m			
	電線	IV3.5（管内）	948.0	m			
	電線	IV5.5（管内）	690.0	m			
	電線	IV8（管内）	1511.0	m			
	電線	IV14（管内）	1051.0	m			
	電線	IV22（管内）	7.0	m			
	電線	IV38（管内）	140.0	m			
	電線	EM-IE5.5(管内)	126.0	m			
	電線	EM-IE8(管内)	16.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
14-2	舞台照明設備　撤去	メインホール					
	電線	EM-IE22（管内）	36.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-2C（管内）	23.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-2C（ころがし）	56.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（管内）	84.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（ころがし）	324.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C（管内）	16.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C（ころがし）	56.0	m			
	ケーブル	EM-CE 14-2C（管内）	43.0	m			
	ケーブル	EM-CE 14-2C（ころがし）	220.0	m			
	ケーブル	EM-CET 150（管内）	6.0	m			

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙 14-3	舞台照明設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-CET 150（ころがし）	46.0	m			
	ケーブル	CPEV-S 0.9-10P（管内）	39.0	m			
	ケーブル	CPEV-S 0.9-20P（管内）	39.0	m			
	ケーブル	UTP 0.5-4P(Cat5e)（管内）	28.0	m			
	ケーブル	UTP 0.5-4P(Cat5e)（ころがし）	203.0	m			
	ケーブル	UL4325 0.3-2P（管内）	235.0	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9-3P（管内）	8.0	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9-3P（ころがし）	59.0	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9-5P（管内）	3.0	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9-5P（ころがし）	7.0	m			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
14-4	舞台照明設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR（管内）	22.0	m			
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR（ころがし）	96.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	37.0	m			
	電線管	(E51)隠ぺい	292.0	m			
	金属製配線ダクト	300×150（セパレータ付）	7.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
15-1	舞台音響設備　撤去	メインホール					
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C(管内)	250.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-3C(ダクト)	213.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-7P(ダクト)	43.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(管内)	31.0	m			
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(ダクト)	43.0	m			
	ケーブル	EM-STP(CAT6)0.5-4P(管内)	40.0	m			
	ケーブル	EM-STP(CAT6)0.5-4P(ダクト)	247.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB(管内)	74.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB(ダクト)	142.0	m			
	ケーブル	5CHD-EM(管内)	174.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙15-2	舞台音響設備 撤去	メインホール					
	ケーブル	5CHD-EM(ダクト)	575.0	m			
	ケーブル	EM-8DFB(管内)	123.0	m			
	ケーブル	EM-8DFB(ダクト)	159.0	m			
	ケーブル	4E4-4AT-EM(管内)	141.0	m			
	ケーブル	4E4-4AT-EM(ダクト)	117.0	m			
	ケーブル	4E4-8AT-EM(ダクト)	89.0	m			
	ケーブル	4E4-16AT-EM(ダクト)	709.0	m			
	ケーブル	4E6AT-EM(管内)	481.0	m			
	ケーブル	4E6AT-EM(ダクト)	1151.0	m			
	ケーブル	4S10F-EM(管内)	132.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙15-3	舞台音響設備 撤去	メインホール					
	ケーブル	4S10F-EM(ダクト)	78.0	m			
	ケーブル	4S12F-EM(管内)	444.0	m			
	ケーブル	4S12F-EM(ダクト)	2353.0	m			
	ケーブル	EM-光ケーブル MM-4C(PF管内)	25.0	m			
	ケーブル	EM-光ケーブル MM-4C(ダクト)	496.0	m			
	電線管	(PF28)隠ぺい	25.0	m			
	電線管	(E19)隠ぺい	33.0	m			
	電線管	(E25)隠ぺい	631.0	m			
	電線管	(E31)隠ぺい	102.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	73.0	m			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙15-4	舞台音響設備 撤去	メインホール					
	電線管	(E51)隠ぺい	156.0	m			
	プルボックス	SS150×150×100	2.0	個			
	プルボックス	SS200×200×100	5.0	個			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙16	幹線設備　撤去						
		マルチホール					
	電線	EM-IE 14(管内)	21.0	m			
	電線	IV 22(管内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-CET 60(管内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-CET 100(管内)	21.0	m			
	電線管	(E63)隠ぺい	21.0	m			
	電線管	(E75)隠ぺい	21.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
17	電灯設備　電灯分岐　撤去	マルチホール					
	電線	EM-IE 2.0(管内)	382.0	m			
	電線	EM-IE 5.5(管内)	965.0	m			
	電線	EM-IE 8(管内)	19.0	m			
	プルボックス	SS200×200×100	4.0	個			
	プルボックス	SS300×300×200	2.0	個			
	照明器具	DLB	56.0	台			
	照明器具	Y60	32.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
18	電灯設備 コンセント分岐 撤去	マルチホール					
	電線	EM-IE 2.0(管内)	320.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	電灯設備						
19	非常照明・誘導灯分岐　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-FP 3.5-2C(管内)	72.0	m			
	照明器具	n40	12.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
20	構内交換設備　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-UTP(CAT6)0.5-4P(PF管内)	17.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
21	放送設備　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-3C（PF管内）	75.0	m			
	ホーン型スピーカー	5W	1.0	台			
	ホーン型スピーカー	10W	1.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	火災報知設備						
22	自動火災報知分岐　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-1P(PF管内)	48.0	m			
	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種、露出型	8.0	台			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙	火災報知設備						
23	防排煙分岐　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-HP 1.2-5C(PF管内)	24.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙24	舞台照明設備　撤去	マルチホール					
	電線	IV3.5（管内）	200.0	m			
	電線	IV8（管内）	2675.0	m			
	電線	EM-IE 22(管内)	8.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5-3C（ころがし）	288.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-2C（ころがし）	1110.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8-3C（ころがし）	444.0	m			
	ケーブル	EM-CET 150（ころがし）	8.0	m			
	ケーブル	CPEV-S 0.9-15P（管内）	19.0	m			
	ケーブル	UTP 0.5-4P(Cat5e)（ころがし）	159.0	m			
	ケーブル	KK-2P-9（ころがし）	57.0	m			

(　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
24-1	舞台照明設備　撤去	マルチホール					
	ケーブル	EM-F4K-G50-FR（ころがし）	70.0	m			
	電線管	(E25)隠ぺい	7.0	m			
	電線管	(E31)隠ぺい	119.0	m			
	電線管	(E31)露出	60.0	m			
	電線管	(E39)隠ぺい	19.0	m			
	電線管	(E51)隠ぺい	127.0	m			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
25	混合廃棄物処分費	メインホール					
	解体系混合廃棄物処理費	石膏ボード除く	19.4	m3			
	混合廃棄物運搬費	4t ダンプ(総重量5.0482t)	2.0	回			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

	上段　変更設計
	下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
26	有価売却益	メインホール					
	1号銅線		2,120.0	kg			
	2号銅線		337.0	kg			
	被覆電線処理	ナゲット処理	3,336.0	kg			
	鉄くず	H2	2,180.0	kg			
	鉄くず	H3	65.0	kg			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
27	リサイクル処理費	メインホール					
	リサイクル処理費	蛍光管	9.6	kg			
	リサイクル運搬費		1.0	回			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
28	混合廃棄物処分費	マルチホール					
	解体系混合廃棄物処理費	石膏ボード除く	5.0	m3			
	混合廃棄物運搬費	4t ダンプ(総重量1.2972t)	1.0	回			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙							
29	有価売却益	マルチホール					
	1号銅線	鉄くず	167.0	kg			
	2号銅線	鉄くず	590.0	kg			
	被覆電線処理	ナゲット処理	1127.0	kg			
	鉄くず	H2	555.0	kg			
	鉄くず	H3	14.0	kg			
	小計		1.0	式			
	改め		1.0	式			

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

(＿＿＿＿＿＿＿＿)

富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

実 施 設 計 図

株 式 会 社 綜 企 画 設 計

電　気　設　備

通番	図面番号	図面名称
1	E-000	図面リスト
2	E-001	電気設備工事特記仕様書 (1)
3	E-002	電気設備工事特記仕様書 (2)
4	E-003	案内配置図
5	E-004	幹線･動力･コンセント設備 2階メインホール平面図 (改修)
6	E-005	幹線･動力･コンセント設備 R階メインホール平面図 (改修)
7	E-006	幹線･動力･コンセント設備 1階マルチホール平面図 (改修)
8	E-007	幹線･動力･コンセント設備 3階マルチホール平面図 (改修)
9	E-008	電灯分電盤表 (1) (改修)
10	E-009	電灯分電盤表 (2) (改修)
11	E-010	照明器具姿図 (改修)
12	E-011	電灯設備 1階メインホール平面図 (改修)
13	E-012	電灯設備 2階メインホール平面図 (改修)
14	E-013	電灯設備 3階メインホール平面図 (改修)
15	E-014	電灯設備 R階メインホール平面図 (改修)
16	E-015	電灯設備 2階マルチホール平面図 (改修)
17	E-016	電灯設備 3階マルチホール平面図 (改修)
18	E-017	非常照明設備 2階メインホール平面図 (改修)
19	E-018	非常照明設備 3階メインホール平面図 (改修)
20	E-019	非常照明設備 R階メインホール平面図 (改修)
21	E-020	非常照明設備 2階マルチホール平面図 (改修)
22	E-021	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 2階メインホール平面図 (改修)
23	E-022	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 3階メインホール平面図 (改修)
24	E-023	弱電設備 (電話･テレビ･放送) R階メインホール平面図 (改修)
25	E-024	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 2階マルチホール平面図 (改修)
26	E-025	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 3階マルチホール平面図 (改修)
27	E-026	避雷針設備 機器姿図・立面図 (改修)
28	E-027	避雷針設備 R階平面図 (改修)
29	E-028	自動火災報知設備 1階メインホール平面図 (改修)
30	E-029	自動火災報知設備 2階メインホール平面図 (改修)
31	E-030	自動火災報知設備 3階メインホール平面図 (改修)
32	E-031	自動火災報知設備 2階マルチホール平面図 (改修)
33	E-032	自動火災報知設備 3階マルチホール平面図 (改修)
34	E-033	舞台照明設備 メインホール調光装置系統図 (改修)
35	E-034	舞台照明設備 客席シーリングレベル メインホール平面図 (改修)
36	E-035	舞台照明設備 マルチホール系統図 (改修)
37	E-036	舞台照明設備 3階マルチホール平面図 (改修)
38	E-037	舞台音響設備 特記仕様書
39	E-038	舞台音響設備 メインホール 機器構成表 (改修)
40	E-039	舞台音響設備 メインホール システム系統図 (1) (改修)
41	E-040	舞台音響設備 メインホール システム系統図 (2) (改修)
42	E-041	舞台音響設備 メインホール 機器姿図
43	E-042	舞台音響設備 メインホール ｽﾋﾟｰｶｰ機器取付図
44	E-043	舞台音響設備 メインホール ｻｲﾄﾞ･ﾊﾟﾙｺﾆｰｽﾋﾟｰｶｰ機器取付参考図
45	E-044	舞台音響設備 メインホール ﾌﾟﾛｾﾆｱﾑｽﾋﾟｰｶｰ(下手)機器取付参考図
46	E-045	舞台音響設備 メインホール ﾌﾟﾛｾﾆｱﾑｽﾋﾟｰｶｰ(上手)機器取付参考図
47	E-046	舞台音響設備 1階メインホール平面図 (改修)
48	E-047	舞台音響設備 2階メインホール平面図 (改修)
49	E-048	舞台音響設備 3階メインホール平面図 (改修)
50	E-049	舞台音響設備 R階 (1) メインホール平面図 (改修)
51	E-050	舞台音響設備 R階 (2) メインホール平面図 (改修)

電　気　設　備

通番	図面番号	図面名称
52	E-051	舞台音響設備 マルチホール 機器構成表 (改修)
53	E-052	舞台音響設備 マルチホール システム系統図 (1) (改修)
54	E-053	舞台音響設備 マルチホール システム系統図 (2) (改修)
55	E-054	舞台音響設備 マルチホール 機器姿図 (改修)
56	E-055	舞台音響設備 マルチホール 機器取付参考図 (改修)
57	E-056	舞台音響設備 マルチホール 平断面音線図 (改修)
58	E-057	舞台音響設備 1階マルチホール平面図 (改修)
59	E-058	舞台音響設備 2階マルチホール平面図 (改修)
60	E-059	舞台音響設備 3階マルチホール平面図 (改修)
61	E-060	太陽光発電設備 特記仕様書 (改修)
62	E-061	太陽光発電設備 機器姿図 (改修)
63	E-062	太陽光発電設備 システム系統図 (改修)
64	E-063	太陽光発電設備 太陽光パネル取付平面図 (改修)
65	E-064	太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図 (改修)
66	E-065	太陽光発電設備 地下1階平面図 (改修)
67	E-066	太陽光発電設備 1階メインホール平面図 (改修)
68	E-067	太陽光発電設備 2階メインホール平面図 (改修)
69	E-068	太陽光発電設備 R階メインホール平面図 (改修)
70	E-069	太陽光発電設備 R3FL・フライタワー屋根伏図メインホール平面図 (改修)
71	E-070	PAS工事改修図

電　気　設　備

通番	図面番号	図面名称
72	E-100	幹線・動力・コンセント設備 1階平面図 (撤去)
73	E-101	幹線・動力・コンセント設備 2階平面図 (撤去)
74	E-102	幹線・動力・コンセント設備 3階平面図 (撤去)
75	E-103	幹線・動力・コンセント設備 R階平面図 (撤去)
76	E-104	照明器具姿図 (改修前)
77	E-105	電灯設備 2階メインホール平面図 (撤去)
78	E-106	電灯設備 3階メインホール平面図 (撤去)
79	E-107	電灯設備 R階メインホール平面図 (撤去)
80	E-108	電灯設備 2階マルチホール平面図 (撤去)
81	E-109	電灯設備 3階マルチホール平面図 (撤去)
82	E-110	非常照明設備 2階平面図 (撤去)
83	E-111	非常照明設備 3階平面図 (撤去)
84	E-112	非常照明設備 R階平面図 (撤去)
85	E-113	弱電設備系統図 (参考)
86	E-114	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 1階平面図 (撤去)
87	E-115	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 2階平面図 (撤去)
88	E-116	弱電設備 (電話･テレビ･放送) 3階平面図 (撤去)
89	E-117	弱電設備 (電話･テレビ･放送) R階平面図 (撤去)
90	E-118	避雷針設備 機器姿図・立面図 (撤去)
91	E-119	避雷針設備 R階平面図 (撤去)
92	E-120	自動火災報知設備 凡例・註記
93	E-121	自動火災報知設備 系統図
94	E-122	自動火災報知設備 1階平面図 (撤去)
95	E-123	自動火災報知設備 2階平面図 (撤去)
96	E-124	自動火災報知設備 3階平面図 (撤去)
97	E-125	舞台照明設備 客席シーリングレベル メインホール平面図 (撤去)
98	E-126	舞台照明設備 3階マルチホール平面図 (撤去)
99	E-127	太陽光発電設備 システム仕様書 (撤去)
100	E-128	太陽光発電設備 システム単線結線図 (撤去)
101	E-129	太陽光発電設備 システム機器外形図 (撤去)
102	E-130	太陽光発電設備 地下1階平面図 (撤去)
103	E-131	太陽光発電設備 1階平面図 (撤去)
104	E-132	太陽光発電設備 2階平面図 (撤去)
105	E-133	太陽光発電設備 3階平面図 (撤去)
106	E-134	太陽光発電設備 R階平面図 (撤去)
107	E-135	太陽光発電設備 太陽光パネル取付平面図 (撤去)
108	E-136	太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図 (1) (撤去)
109	E-137	太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図 (2) (撤去)

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号　一級建築士 (大臣) 第289686号　管理建築士 樋口 勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称：図面リスト

縮尺：A1:N/S　A3:N/S

図面番号：E-000

電気設備工事特記仕様書

1　工事概要

1.1 工事名　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
1.2 工事場所　埼玉県富士見市大字鶴馬　地内
1.3 工　期　契　約　日　から　令和　9年　6月　30日　まで
　現場施工期間　令和　7年　12月　2日　から　令和　9年　5月　31日　まで
　現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

⊙ 電灯設備	⊙ テレビ共同受信設備
⊙ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
⊙ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
⊙ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	⊙ 自動火災報知設備
⊙ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
⊙ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
⊙ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
⊙ 舞台、音響設備	・ 医療関係設備
⊙ 拡声設備（非常放送設備）	・ 昇降機設備
・ 誘導支援、呼出し設備	⊙ 舞台照明設備

1.5 指定部分　⊙ 無　・有（　工期：令和　年　月　日）
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
　1 専任期間の始期
　請負契約締結の日から、(⊙現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　2 専任期間の終期
　工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　3 専任期間の中断
　自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
1.7 建物概要　文化施設
1.8 工事概要　特定天井改修に伴う電気設備工事
　太陽光発電設備更新
1.9 同時期発注の関連工事　⊙ 建築工事　⊙ 機械設備工事　・ 電気設備工事

2　工事仕様

2.1 共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
　なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。）

項　目	特　記　事　項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは、構内から使用できるものとしその仮設に係る費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
⑦ 保　険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後１４日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付ける。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※　適用する（契約金額による）　・　適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン　※　適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、Ａ３二つ折り製本４部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事　・別途) （1）引渡しを要するもの　（　　） （2）買取処分をするもの　（銅屑・鉄屑　　） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管　　） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物　（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑫ 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。
⑬ 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。
⑭ 地中電線路	（1）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 敷き均し土：良質土 管種別：硬質ビニル電線管（VE）／耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE）／波付硬質合成樹脂管（FEP）／ポリエチレン被覆鋼管（PLP） （2）地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 （3）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
⑮ 回路の種別行先の表示	ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。
⑯ 電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
⑰ 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
18 接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のＤ種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／色帯で区別する。
19 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
20 再生砂・再生砕石 再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、　・使用できる。　※使用できない。 再生砂使用に先立ち、１購入あたり１検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
㉑ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 （1）設計用水平地震力 機器の重量［kg f］に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備　考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
　・配電盤　・発電装置（防災用）・直流電源装置・交流無停電電源装置
　・交換機　・火災報知器受信機　・中央監視装置・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
　2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階とする。
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉒ あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量１００ｋｇを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に１か所引張試験を実施すること。
㉓ はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
㉔ 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （1）内部足場　※ 脚立足場 （2）外部足場　※ A種(枠組足場)・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

㉕ 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない
㉖ アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
㉗ その他	（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （6）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 （8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項　目	特　記　事　項
① 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、２口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートついては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （5）縦枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが１０mm程度以上離れる場合は縦枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、縦枠を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
② 動力設備	（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は１負荷につきＵ・Ｖ・Ｗ・Ｅの４Ｐを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
③ 雷保護設備	屋上避雷電導線の引直しとする。
④ 受変電設備	高圧引込　引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理　（○耐塩用　・一般用　） 受電電圧　交流３相３線式　６.６kV　５０Hz 柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS)　定格電圧　７．２kV　定格電流　４００A 主遮断装置　定格電圧　kV　定格遮断電流　kA 変圧器設備容量　動力用　kVA×　台 電灯用　kVA×　台 高圧進相コンデンサ　kVar×　台 直列リアクトル　・６%　・１３%　kVar×　台
⑤ 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
⑥ 拡声設備	機器の取外し・再利用　配管配線撤去・更新
⑦ テレビ共聴設備	機器の取外し・再利用　配管配線撤去・更新

項　目	特　記　事　項
⑧ 構内交換設備	図中、機器の撤去・更新を行う。
⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （2）総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
⑩ 舞台照明設備	機器の取外し・再利用　配管配線撤去・更新
⑪ 舞台音響設備	機器の取外し・再利用　配管配線撤去・更新

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名　称	測　点	取付高さ（mm）	
		一　般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
〃　（身体障害者用）	〃	1,100	1,000
〃　（人感センサー切換用）	〃	2,000	2,000
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ｺﾆｯﾄ　（一般）	〃	300	400
〃　（和室）	〃	150	200
〃　（台上）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	（上端1,900以下）1,500	（上端1,900以下）1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800	1,800
扉下表示灯（　〃　）	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	（上端1,900以下）1,500	2,000

3　その他

3．1 他工事との取合区分
　発注図又は工事区分表による。
3．2 図面上の縮尺
　図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ１版とした縮尺とする。
3．3 疑義
　本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第２条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
　・種類及び処理量　汚泥（油分を含む汚泥）　．　m3
　・中間処理施設　市　地内、（株）
　・処理方法　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
　・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第３条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
第４条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
第５条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年２月19日付け国土交通省住宅局建築指導課）による。
第２条　この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
１　昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
２　発注者とは、本工事の発注者をいう。
３　受注者とは、本工事の受注者をいう。
４　製造者とは、昇降機の製造者をいう。
５　管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
６　保守点検業者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
第３条　製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
１　製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
２　製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
３　製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
４　受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
第４条　この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

工事範囲の主な既設機器メーカー

機器名称	既設機器メーカー名
舞台照明	丸茂電機（株）　担当 竹内
舞台音響（既設機器維持管理業者）	（株）アセント　担当 石神
太陽光	三晃金属（株）　担当 五十嵐

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（３）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称：電気設備工事特記仕様書(1)

縮尺：A1:N/S　A3:N/S

図面番号：E-001

環境配慮（グリーン）改修工事

1　アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

2　アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3　アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※ 図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
⊙	⊙	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
⊙	⊙	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
⊙	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
⊙	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
⊙	⊙	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
⊙	⊙	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
⊙	⊙	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	9,10 測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※ 図示　・

5　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※ 図示　・

6　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※ 図示　・
・		※ 図示　・
		※ 図示　・
		※ 図示　・

2　非石綿部での切断による除去

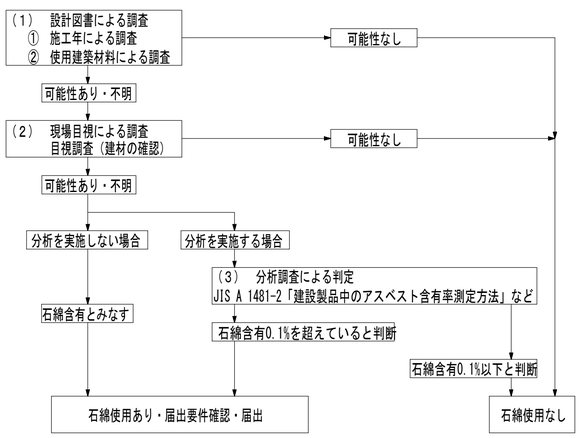
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示　⊙撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示　⊙撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示　⊙撤去範囲すべて
		※ 図示　・撤去範囲すべて

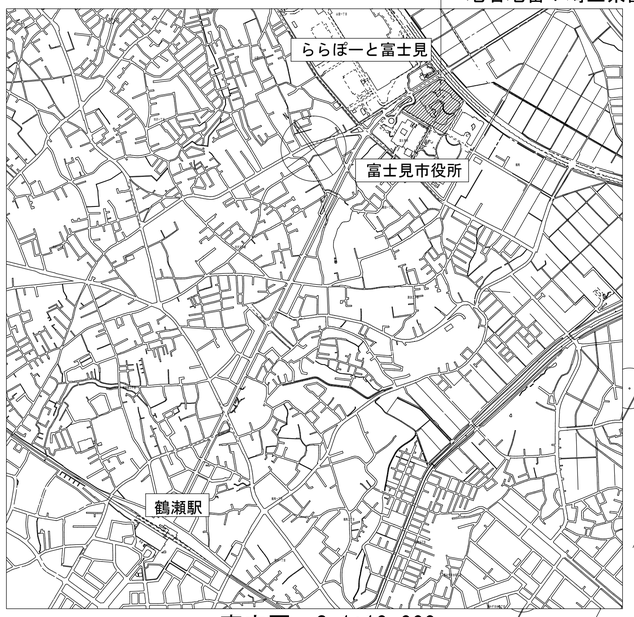
※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー



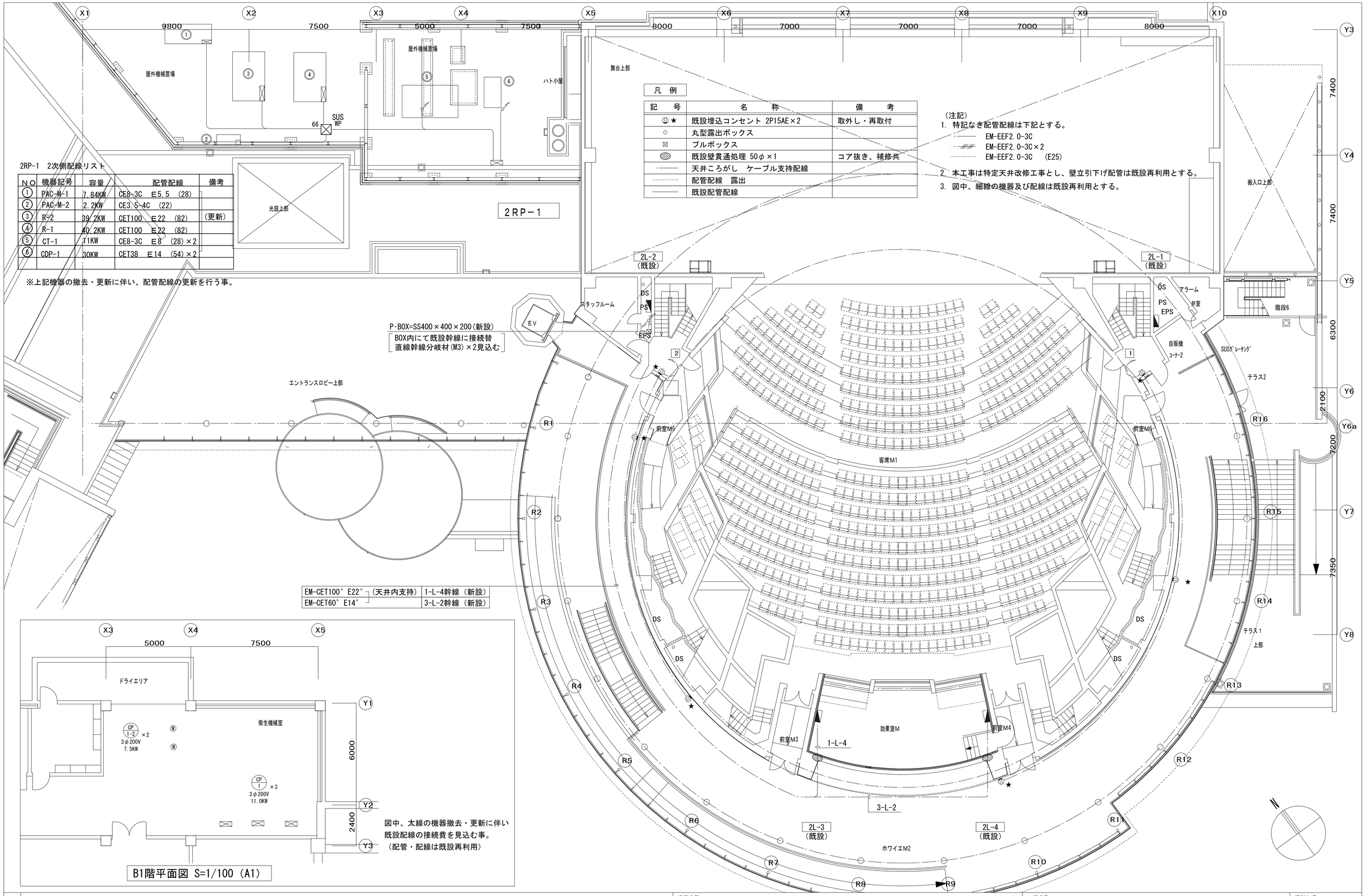
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉　印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称：電気設備工事特記仕様書(1)	縮尺：A1:N/S A3:N/S　図面番号：E-002

地名地番：埼玉県富士見市大字鶴馬字山室前1803-1外31筆



案内図　S=1:10,000

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 案内配置図	縮尺 A1:1/300・1000 A3:1/600・2000 / 図面番号 E-003



凡 例

記　号	名　　称	備　　考
◍★	既設埋込コンセント 2P15AE×2	取外し・再取付
○	丸型露出ボックス	
⊠	プルボックス	
▨	既設壁貫通処理 50φ×1	コア抜き、補修共
———	天井ころがし　ケーブル支持配線	
‥‥‥	配管配線　露出	
———	既設配管配線	

（注記）
1. 特記なき配管配線は下記とする。
   EM-EEF2.0-3C
   EM-EEF2.0-3C×2
   EM-EEF2.0-3C　(E25)
2. 本工事は特定天井改修工事とし、壁立引下げ配管は既設再利用とする。
3. 図中、細線の機器及び配線は既設再利用とする。

2RP-1　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	PAC-M-1	7.84KW	CE8-3C　E5.5　(28)	
②	PAC-M-2	2.2KW	CE3.5-4C　(22)	
③	R-2	39.2KW	CET100　E22　(82)	(更新)
④	R-1	40.2KW	CET100　E22　(82)	
⑤	CT-1	11KW	CE8-3C　E8　(28)×2	
⑥	CDP-1	30KW	CET38　E14　(54)×2	

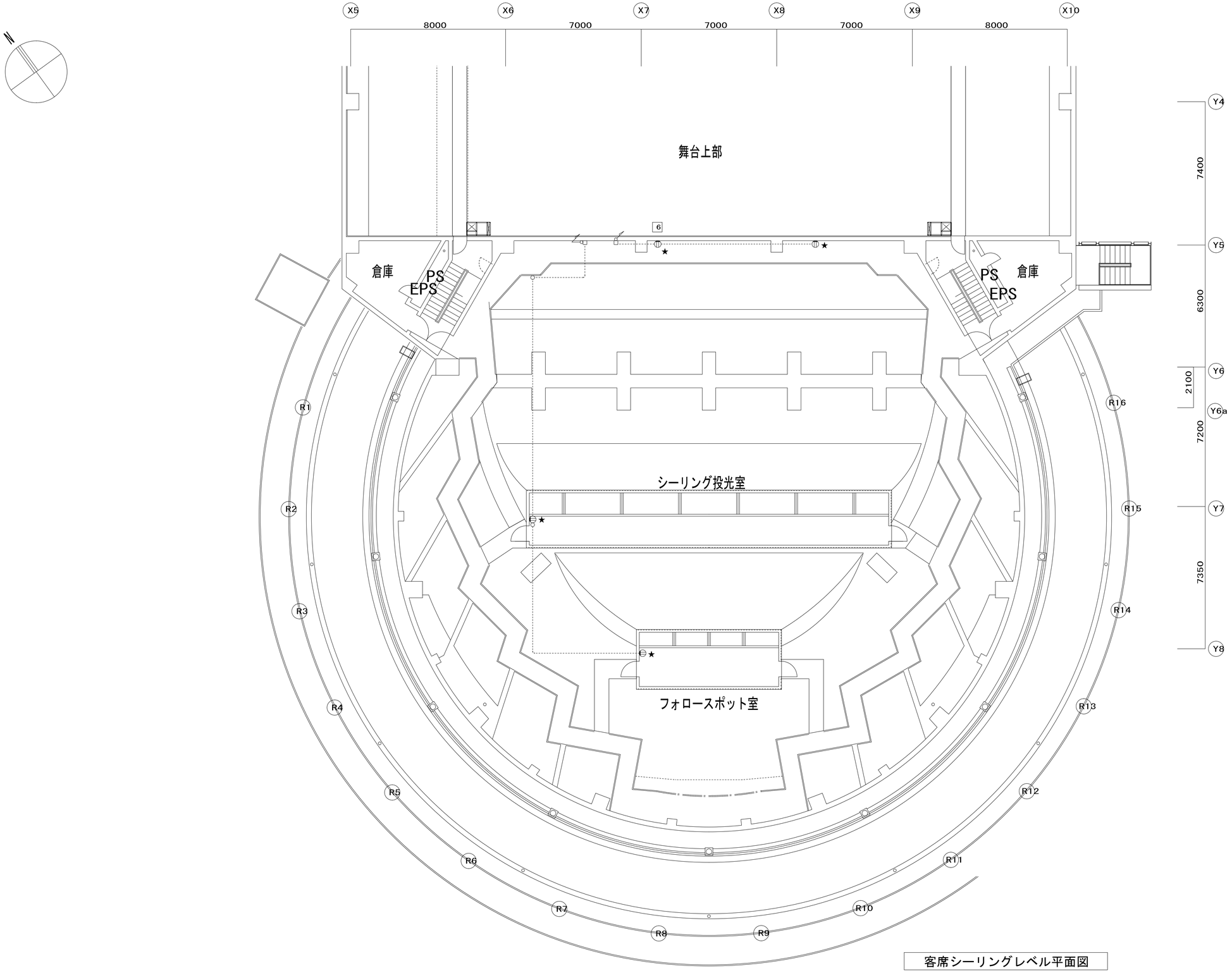
※上記機器の撤去・更新に伴い、配管配線の更新を行う事。

EM-CET100° E22°（天井内支持）	1-L-4幹線（新設）
EM-CET60° E14°	3-L-2幹線（新設）

図中、太線の機器撤去・更新に伴い
既設配線の接続費を見込む事。
（配管・配線は既設再利用）

B1階平面図 S=1/100 (A1)

記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-004



客席シーリングレベル平面図

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 R階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-005

(新設)

EM-EEF2.0-3C		5
EM-EEF2.0-3C	(E39)	6
EM-EEF2.0-3C×2		7・8

B1 5200 B2 5000 B3 3500 B4 7650 B5 B6 B7 27800 B8 B9 B10 4850 B11

3900 1450 2300 23700 5300

7050 8250 8400 4100 1200

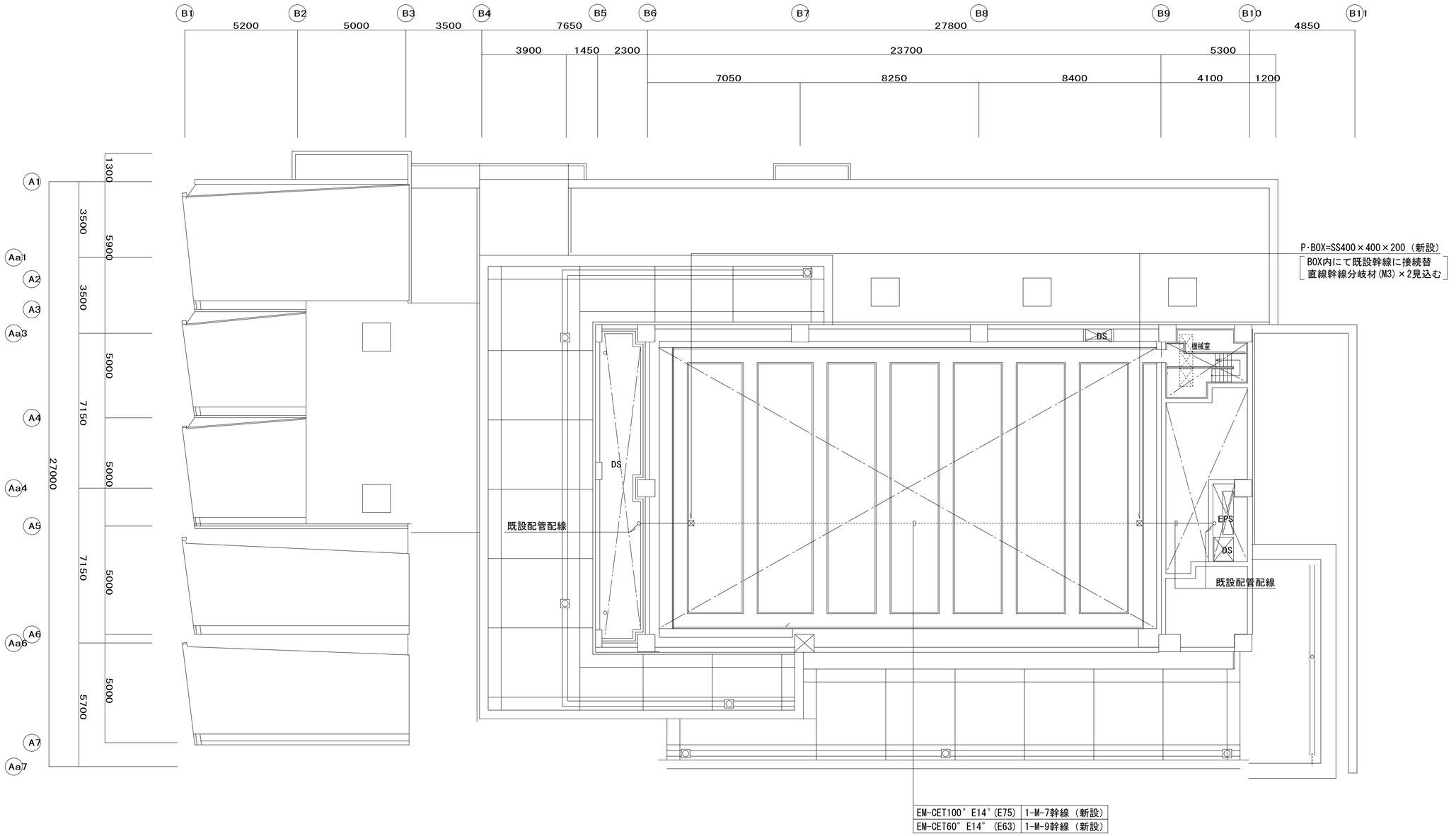
A1 Aa1 A2 A3 Aa3 A4 Aa4 A5 A6 Aa6 A7 Aa7

1300 3500 5900 3500 5000 7150 5000 5000 7150 5000 5700 27000

1L-4
(既設)

備品庫B1
スタジオD
風除室3
搬入口S
舞台備品庫S
楽屋
事務室S
風除室7
楽屋便所3
楽屋便所4
シャワー室3
シャワー室4
楽屋1
楽屋2
楽屋3
楽屋4
備品庫B2
SS
廊下6
前室S1
前室S2
前室B2
スタジオC
ピアノ庫S
フトーム弁室3
備品庫S1
B3
ロッカー室2
楽器・備品庫
廊下7
電動移動
席装置
(既設)
階段3
客用便所4
B4
ロッカー室3
スタジオB
前室B3
客用便所5
SK
マルチホール
客席収納庫
EPS
DS
前室B4
備品庫B5
スタジオA
階段4
多目的便所3
備品庫S3
客用便所3
多目的便所2
客用便所6
備品庫B6
ホワイエS1
備品庫6
自販機
備品庫S2
パントリー
予備庫
備品庫B7
風除室4
空調機械室4
コリドー

記事	業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 1階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-006



記事		業務名称	工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
			図面名称 幹線･動力･ｺﾝｾﾝﾄ設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
				図面番号 E-007

1L-2

鋼板製壁掛型

AC1φ3W 210／105V

(1-L-2)

MCCB3P 225／225

(42426VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
①	MCCB2P 50／20	スタッフルーム、EPS	216		
②	MCCB2P 50／20	舞台メンテ	216	▲x1	
③	MCCB2P 50／20	ホワイエ	1125	▲x1	
④	MCCB2P 50／20	2FホワイエM2	2250	▲x1	
①	MCCB1P 50／20	ホワイエ、前室	1460	▲x4	
②	MCCB1P 50／20	ホワイエ、便所	1274	▲x4	
③	MCCB1P 50／20	便所	1449	▲x2	
④	MCCB1P 50／20	便所	1175	▲x4	
⑤	MCCB1P 50／20	便所	691	▲x3	
⑥	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	965	▲x5	
⑦	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1260	▲x2	
⑧	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1000	▲x1	
⑨	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1000	▲x1	
⑩	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
⑪	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
⑫	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
⑬	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	960	▲x1	
⑭	MCCB1P 50／20	エントランスロビー	1350	▲x2	
⑮	MCCB1P 50／20	風除室	995	▲x3	
⑯	ELB2P 50／20	庇下	1200	▲x2	
⑰	ELB2P 50／20	庇下	1100	▲x2	
⑱	ELB2P 50／20	庇下	1200	▲x1	
⑲	ELB2P 50／20	庇下	650	▲x1	
⑳	ELB2P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
㉑	ELB2P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
㉒	ELB2P 50／20	エントランスロビー	1080	▲x1	
㉓	ELB2P 50／20	エントランスロビー	960	▲x1	
㉔	MCCB1P 50／20	舞台メンテ	150	▲x1	
㉕	MCCB1P 50／20	予備			
㉖	MCCB1P 50／20	予備			
1	MCCB1P 50／20	ロビーコンセント	100		
2	MCCB1P 50／20	スタッフルームコンセント	100		
3	MCCB1P 50／20	ホワイエコンセント	200		
4	ELB2P 50／20	客用便所掃除用コンセント	600		
5	ELB2P 50／20	客用便所ブース内コンセント	600		
6	ELB2P 50／20	客用便所エアタ オルコンセント	1000		
7	ELB2P 50／20	客用便所エアタ オルコンセント	1000		
8	ELB2P 50／20	客用便所ブース内コンセント	450		
9	ELB2P 50／20	客用便所エアタ オルコンセント	1000		
10	ELB2P 50／20	客用便所エアタ オルコンセント	1000		
11	ELB2P 50／20	多目的便所ドア	500		
12	ELB2P 50／20	情報・交流コーナーコンセント	1500		
13	ELB2P 50／20	情報・交流コーナーコンセント	1500		
14	ELB2P 50／20	市民ラウンジコンセント	1500		
15	ELB2P 50／20	自販機コンセント	1500		WHM
16	ELB2P 50／20	自販機コンセント	1500		WHM
17	ELB2P 50／20	自販機コンセント	1500		WHM
18	MCCB1P 50／20	予備			
19	MCCB1P 50／20	予備			
20	MCCB1P 50／20	予備			
21	MCCB1P 50／20	予備			
22	MCCB1P 50／20	予備			

(5-LG-4)

AC-GC1φ3W 210／105V

MCCB3P 100／100

(15496VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
ⓐ	MCCB2P 50／20	誘導灯	180		中継器
ⓑ	MCCB2P 50／20	誘導灯	200		中継器
Ⓐ	MCCB2P 50／20	エントランスロビー	1836	▲x2	
Ⓑ	MCCB2P 50／20	予備			
Ⓐ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1200	▲x1	
Ⓑ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1200	▲x1	
Ⓒ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1560	▲x1	
Ⓓ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1600	▲x1	
Ⓔ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1600	▲x1	
Ⓕ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1600	▲x1	
Ⓖ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1200	▲x1	
Ⓗ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	960	▲x1	
Ⓘ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	960	▲x1	
Ⓙ	MCCB1P 50／20	ホワイエ	1200	▲x1	
Ⓚ	MCCB1P 50／20	風除室	200	▲x1	
Ⓛ	MCCB1P 50／20	予備			
Ⓜ	MCCB1P 50／20	予備			
Ⓝ	MCCB1P 50／20	リモコントランス			T／Ux16

(DC-2)

DC-GC1φ2W

MC2P30A

(2000VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
△1	MCCB2P 50／20	非常照明	560		
△2	MCCB2P 50／20	非常照明	560		
△3	MCCB2P 50／20	非常照明	880		
△4	MCCB2P 50／20	予備			

1L-4

鋼板製壁掛型

AC1φ3W 210／105V

(2-L-1)

MCCB3P 225／170

(31565VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
①	MCCB2P 50／20	事務室、舞台備品倉庫	1852	▲x5	
②	MCCB2P 50／20	効果室	318	▲x1	
③	MCCB2P 50／20	機械室、EPS、備品庫	972		
④	MCCB2P 50／20	廊下	320	▲x1	
①	MCCB1P 50／20	廊下、ピアノ庫、便所	818	▲x4	
②	MCCB1P 50／20	便所	1420	▲x4	
③	MCCB1P 50／20	便所	1226	▲x4	
④	MCCB1P 50／20	廊下	1440	▲x1	
⑤	MCCB1P 50／20	廊下	1440	▲x1	
⑥	MCCB1P 50／20	便所	961	▲x6	
⑦	MCCB1P 50／20	廊下	1200	▲x1	
⑧	MCCB1P 50／20	廊下	1200	▲x1	
⑨	MCCB1P 50／20	廊下	1200	▲x1	
⑩	ELB2P 50／20	外壁、シャワー	720	▲x5	
⑪	MCCB1P 50／20	ホワイエ上部、効果室	1400	▲x2	
⑫	MCCB1P 50／20	ホワイエ上部	1440	▲x1	
⑬	MCCB1P 50／20	ホワイエ上部	960	▲x1	
⑭	MCCB1P 50／20	廊下上部	1440	▲x1	
⑮	MCCB1P 50／20	キャットウォーク上部	960	▲x1	
⑯	MCCB1P 50／20	キャットウォーク上部	960	▲x1	
⑰	MCCB1P 50／20	パントリー、踊り場	988	▲x2	
⑱	MCCB1P 50／20	便所	550	▲x4	
⑲	MCCB1P 50／20	廊下	1600	▲x2	
⑳	MCCB1P 50／20	ファン(1)	700	▲x6	
㉑	MCCB1P 50／20	ファン(1)	1300	▲x5	
㉒	MCCB1P 50／20	非常照明	120		
㉓	MCCB1P 50／20	予備			
㉔	MCCB1P 50／20	予備			
1	MCCB1P 50／20	廊下コンセント	300		
2	ELB2P 50／20	便所	200		
3	MCCB1P 50／20	TVブースター	100		
4	MCCB1P 50／20	廊下コンセント	400		
5	MCCB1P 50／20	2F機械室コンセント	100		
6	MCCB1P 50／20	電動移動扉	500		
7	ELB2P 50／20	パントリーコンセント	1000		
8	ELB2P 50／20	パントリーコンセント	1000		
◇1	MCCB1P 50／20	ロスナイ	300		
◇2	MCCB1P 50／20	空気清浄機	280		

(5-LG-2)

AC-GC1φ3W 210／105V

MCCB3P 50／20

(2111VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
ⓐ	MCCB2P 50／20	誘導灯	360		中継器
ⓑ	MCCB2P 50／20	誘導灯	40		中継器
ⓒ	MCCB2P 50／20	階段通路誘導灯	130		
Ⓐ	MCCB2P 50／20	廊下、楽屋事務室	228	▲x2	
Ⓑ	MCCB2P 50／20	廊下吹き抜け	1125	▲x1	
Ⓐ	MCCB1P 50／20	廊下	228	▲x1	
Ⓑ	MCCB1P 50／20	予備			
Ⓒ	MCCB1P 50／20	予備			
Ⓓ	MCCB1P 50／20	リモコントランス			T／Ux16

(DC-3)

DC-GC1φ2W

MC2P 30A

(2190VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量(VA)	RcRy	備考
△1	MCCB2P 50／20	非常照明	605		
△2	MCCB2P 50／20	非常照明	695		
△3	MCCB2P 50／20	非常照明	410		
△4	MCCB2P 50／20	非常照明	480		負荷撤去後予備回路とする

太字・太枠箇所が今回の工事内容とする。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称 電灯分電盤表(1)（改修）

縮尺 A1:N/S A3:N/S

図面番号 E-008

2L−1

AC1φ3W 210／ 105V

鋼板製壁掛型

(1−L−1)

MCCB3P 50／ 50

(8124VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量（VA）	RcRy	備考
①	MCCB2P 50／ 20	調光機械室、EPS	216		
②	MCCB2P 50／ 20	ホワイエM2上部	1380	▲x1	
③	MCCB2P 50／ 20	予備			
④	MCCB2P 50／ 20	予備			
①	MCCB1P 50／ 20	階段、自販機コーナー	433	▲x2	
②	ELB2P 50／ 20	テラス2	120	▲x1	
③	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	300	▲x1	
④	MCCB1P 50／ 20	ファン	400	▲x2	
⑤	MCCB1P 50／ 20	予備			
⑥	MCCB1P 50／ 20	予備			
1	MCCB1P 50／ 20	ホワイエコンセント	300		
2	ELB2P 50／ 20	自販機コンセント	1500		
3	ELB2P 50／ 20	自販機コンセント	1500		
4	ELB2P 50／ 20	自販機コンセント	1500		
5	MCCB1P 50／ 20	空気清浄機	280		
6		予備			

AC−GC1φ3W 210／ 105V

(5−LG−1)

MCCB3P 100／ 75

(12600VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量（VA）	RcRy	備考
Ⓐ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1560	▲x1	
Ⓑ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓒ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓓ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1560	▲x1	
Ⓔ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓕ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓖ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1320	▲x1	
Ⓗ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1200	▲x1	
Ⓘ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1200	▲x1	
Ⓙ	MCCB1P 50／ 20	予備			
Ⓚ	MCCB1P 50／ 20	予備			
Ⓛ	MCCB1P 50／ 20	リモコントランス			T／Ux5

2L−2

210／ 105V

鋼板製壁掛型

(2−L−5)

MCCB3P 50／ 50

(8740VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量（VA）	RcRy	備考
①	MCCB2P 50／ 20	倉庫、EPS	324		
②	MCCB2P 50／ 20	効果室	636	▲x1	
③	MCCB2P 50／ 20	ホワイエM2	2250	▲x2	
④	MCCB2P 50／ 20	ホワイエM2上部	1360	▲x1	
①	MCCB1P 50／ 20	効果室、階段	850	▲x2	
②	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2	840	▲x1	
③	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2	840	▲x1	
④	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2	150	▲x1	
⑤	MCCB1P 50／ 20	ファン	100		
⑥	MCCB1P 50／ 20	非常照明	200		
1	MCCB1P 50／ 20	倉庫コンセント	100		
2	MCCB1P 50／ 20	ホワイエコンセント	300		
3	MCCB1P 50／ 20	TVブースター	100		
4	MCCB1P 50／ 20	非常照明	360		
5	MCCB1P 50／ 20	非常照明	90		
6	MCCB1P 50／ 20	予備			

AC−GC1φ3W 210／ 105V

(5−LG−5)

MCCB3P 100／ 100

(14168VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量（VA）	RcRy	備考
ⓐ	MCCB2P 50／ 20	誘導灯	588		
ⓑ	MCCB2P 50／ 20	誘導灯	340		中継器
ⓒ	MCCB2P 50／ 20	誘導灯	140		中継器
ⓓ	MCCB2P 50／ 20	誘導灯	500		
Ⓐ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1560	▲x1	
Ⓑ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓒ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓓ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1560	▲x1	
Ⓔ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓕ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1440	▲x1	
Ⓖ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1320	▲x1	
Ⓗ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1200	▲x1	
Ⓘ	MCCB1P 50／ 20	ホワイエM2上部	1200	▲x1	
Ⓙ	MCCB1P 50／ 20	予備			
Ⓚ	MCCB1P 50／ 20	予備			
Ⓛ	MCCB1P 50／ 20	リモコントランス			T／Ux5

(DC−1)

DC−GC1φ2W

MC2P30A

(2135VA)

回路番号	分岐回路 分岐開閉器	負荷名称	容量（VA）	RcRy	備考
△1	MCCB2P 50／ 20	非常照明	755		負荷撤去後予備回路とする
△2	MCCB2P 50／ 20	非常照明	280		負荷撤去後予備回路とする
△3	MCCB2P 50／ 20	非常照明	860		負荷撤去後予備回路とする
△4	MCCB2P 50／ 20	非常照明	240		負荷撤去後予備回路とする

太字・太枠箇所が今回の工事内容とする。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

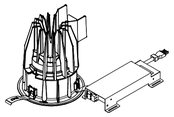
設計年月

図面名称 電灯分電盤表(2)（改修）

縮尺 A1:N/S A3:N/S

図面番号 E-009

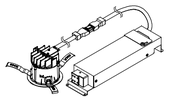
A	LEDシアターダウンライト
A1	LED91.5W 4,800 lm　0~100%調光



寸法：埋込穴φ150
本体：アルミダイカスト
枠：アルミダイカスト
色温度：3000K/2700K（単色）
　　1800K~3000K/1800K~2700K（調色）
Ra：95
調光：DMX

東芝：AL-LED-TDL-M　相当品

B	LEDシアターダウンライト
B1	LED30.0W 1,540 lm　0~100%調光



寸法：埋込穴φ100
本体：アルミダイカスト
枠：樹脂
色温度：3000K/2700K（単色）
　　1800K~3000K/1800K~2700K（調色）
Ra：95
調光：DMX

東芝：AL-LED-TDL-S　相当品

C	LED間接照明用ライン器具
C1	LED25.0W　3,090K　1,000mm　0~100%調光

寸法：幅40mm　高さ47mm
本体：アルミ白色
カバー：ポリカーボネート乳白半透明
電源：内蔵
調光：PWM

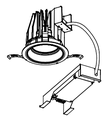
TRM1000WW-S-F-MZ　相当品　接続コード別途

D	LEDユニット交換形ダウンライト　白色深形　φ100
D1	LED17.1W 1,650 lm 3500K　広角

埋込穴寸法：Φ１００
本体：アルミダイカスト
化粧枠：プラスチック（ピュアホワイト）
反射板：ピュアホワイト
定格電圧：AC１００V～２４２V

東芝：LEKD2533023WW-LS9　相当品

E	LED一体形ダウンライト　一般形　φ150
E1	LED81.0W 9,550 lm 5000K　広角　約1～100%調光



埋込穴寸法：Φ150
器具寸法：幅Φ169×埋込高153
本体：アルミダイカスト　バージンホワイト
枠：アルミダイカスト　バージンホワイト
反射板：銀色鏡面・梨地仕上げ
調光：PWM

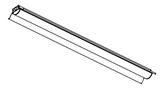
東芝：LEDD-95011FN2-LD9　相当品

F	LEDベースライト　直付型　逆富士
F1	LED22.0W×1　2,390 lm

●LDL40×1（ランプ別売）
●寸法：幅100×1231×高85
●本体：SGC
●反射板：CGC 白 高反射
●定格電圧：AC100～242V
●質量：2kg
●非調光タイプ
◆直管形LEDベースライト（逆富士）

東芝：LET-41307-LS9　相当品

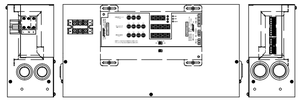
G	LEDベースライト　直付形　反射笠　幅150
G1	LED17.1W 2400 lm



●LED（昼白色）
●寸法：幅150×1,227×高63
●本体：鋼板　白
●LEDパネル：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●消費電力：17.0W（AC200V時）
●器具光束：2,400 lm　固有エネルギー消費効率：141.1 lm/W
●寿命：40,000時間（光束維持率90%）
●相関色温度：5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量：2.2kg

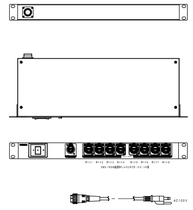
東芝：LEKT415253N-LS9　相当品

	RDM-PWM変換ボックス



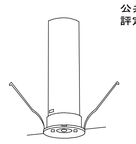
東芝：AL-RDMSC-4　相当品

	DMXノード



東芝：AL-DMXNODE-18E-3　相当品

a	LED非常照明（低天井用）
a1	LED1.0W×1　（電池内蔵型）

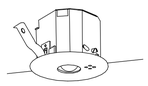


公共型番 K1-LRS11-2
評定番号 LALE-004

φ６０低天井用（～３m）
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００４
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１０９V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

パナソニック：NNFB91606J 相当品

b	LED非常照明（中天井用）
b1	LED1.3W×1　（電池内蔵型）

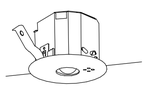


公共型番 K1-LRS11-3
評定番号 LALE-006

φ１００中天井用（～８m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００６
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

パナソニック：NNFB93606C 相当品

c	LED非常照明（特高天井用）
c1	LED1.3W×1　（電池内蔵型）



評定番号 LALE-006

φ１００特高天井用（～１６m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００６
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

パナソニック：NNFB93608C 相当品

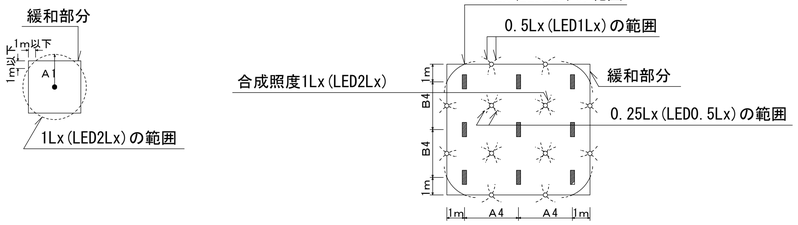
d	LED非常照明（中天井用）
d1	LED1.3W×1　（電池内蔵型）

公共型番 K1-LSS11-3
評定番号 LALE-006

直付中天井用（～６m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００６
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００~２４２V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

パナソニック：NNFB93005C 相当品

非常照明設置参考範囲図



（注記）
1. 照度範囲・・・白熱灯1Lx・LED2Lx
2. 非常照明は、日本建築センター防災性能評定委員会で
　評定された器具を使用する。
3. 階段室誘導灯は、非常照明兼用型とする。

a1　保守率：0.93　K0137094

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m
単体配置	A1	4.0	4.4	4.6	4.8
直線配置	A2	8.8	9.6	10.2	11.3
四角配置	A4	7.0	7.7	8.2	9.1

b1　保守率：0.92　K0143776

器具取付高さ		4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m
単体配置	A1	7.4	8.0	6.5	5.7	4.2
直線配置	A2	17.5	19.5	21.3	20.9	18.8
四角配置	A4	14.5	16.6	18.2	19.5	18.8

c1　保守率：0.92　K0143778

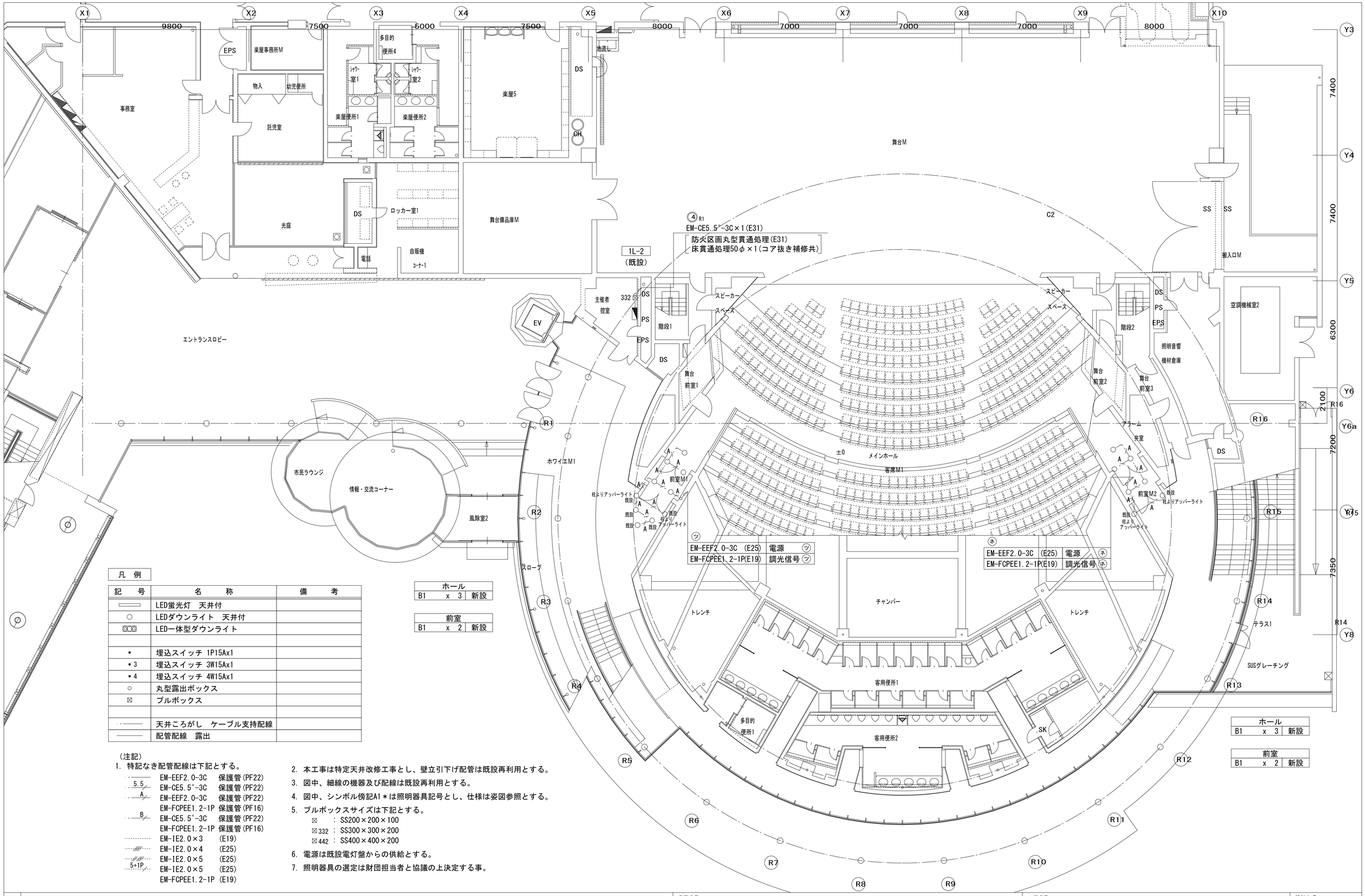
器具取付高さ		9.0m	10.0m	12.0m	14.0m	16.0m	18.0m	20.0m
単体配置	A1	6.7	7.1	7.6	7.7	7.2	5.7	－
直線配置	A2	15.4	16.4	18.2	20.0	21.1	21.6	21.3
四角配置	A4	12.7	13.5	15.0	16.4	17.7	19.0	20.1

d1　保守率：0.92　K0143775

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4

※上記照明器具型番は参考とし、器具の選定は財団担当者と協議の上決定する事。

記事		業務名称	工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		印	図面名称：照明器具姿図(改修)	縮尺：A1:N/S A3:N/S
				図面番号：E-010



凡 例

記 号	名 称	備 考
	LED蛍光灯 天井付	
○	LEDダウンライト 天井付	
	LED一体型ダウンライト	
•	埋込スイッチ 1P15Ax1	
•3	埋込スイッチ 3W15Ax1	
•4	埋込スイッチ 4W15Ax1	
○	丸型露出ボックス	
⊠	プルボックス	
	天井ころがし ケーブル支持配線	
	配管配線 露出	

ホール		
B1	x 3	新設

前室		
B1	x 2	新設

ホール		
B1	x 3	新設

前室		
B1	x 2	新設

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - EM-EEF2.0-3C 保護管(PF22)
   - 5.5 EM-CE5.5-3C 保護管(PF22)
   - A EM-EEF2.0-3C 保護管(PF22)
   - EM-FCPEE1.2-1P 保護管(PF16)
   - B EM-CE5.5-3C 保護管(PF22)
   - EM-FCPEE1.2-1P 保護管(PF16)
   - EM-IE2.0×3 (E19)
   - EM-IE2.0×4 (E25)
   - EM-IE2.0×5 (E25)
   - 5+1P EM-IE2.0×5 (E25)
   - EM-FCPEE1.2-1P (E19)
2. 本工事は特定天井改修工事とし、壁立引下げ配管は既設再利用とする。
3. 図中、細線の機器及び配線は既設再利用とする。
4. 図中、シンボル傍記A1＊は照明器具記号とし、仕様は姿図参照とする。
5. プルボックスサイズは下記とする。
   - ⊠ : SS200×200×100
   - ⊠332 : SS300×300×200
   - ⊠442 : SS400×400×200
6. 電源は既設電灯盤からの供給とする。
7. 照明器具の選定は財団担当者と協議の上決定する事。

記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	電灯設備 1階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-011

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

9800 7500 5000 7500 8000 7000 7000 7000 8000

Y3 Y4 Y5 Y6 Y6a Y7 Y8

7400 7400 6300 2100 2200 7350

屋外機械置場

屋外機械置場

ハト小屋

光庭上部

舞台上部

搬入口上部

エントランスロビー上部

スタッフルーム

EV

DS

PS

EPS

332

アラーム弁室

階段6

自販機コナ-2

テラス2

テラス1

上部

客席M1

効果室M

前室M5

前室M6

前室M3

前室M4

ホワイエM2

R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16

5.5

既設

A B B7 B C1 C2

柱よりアッパーライト

2L-1 (既設)

2L-2 (既設)

2L-2へ

(1L-2へ)

④ R1 EM-CE5.5°-3C×1(E31)

④ R1 EM-CE5.5°-3C(E25)
防火区画丸型貫通処理(E25)
床貫通処理50φ×1(コア抜き補修共)

② R1 EM-CE5.5°-3C(E25)
防火区画丸型貫通処理(E31)
床貫通処理50φ×1(コア抜き補修共)

②③ EM-EEF2.0-3C×2(E31)

③ EM-EEF2.0-3C×2(E31)

⑥ R1 EM-CE5.5°-3C×1(E31)

EM-EEF2.0-3C (E25) 電源 ツ
EM-FCPEE1.2-1P(E19) 調光信号 ツ

EM-EEF2.0-3C (E25) 電源 ネ
EM-FCPEE1.2-1P(E19) 調光信号 ネ

(調光盤へ)

EM-CE5.5°-3C×3 (E39)	電源 ツネナ
EM-FCPEE1.2-1P×3(E25)	調光信号 B1・C1・C2

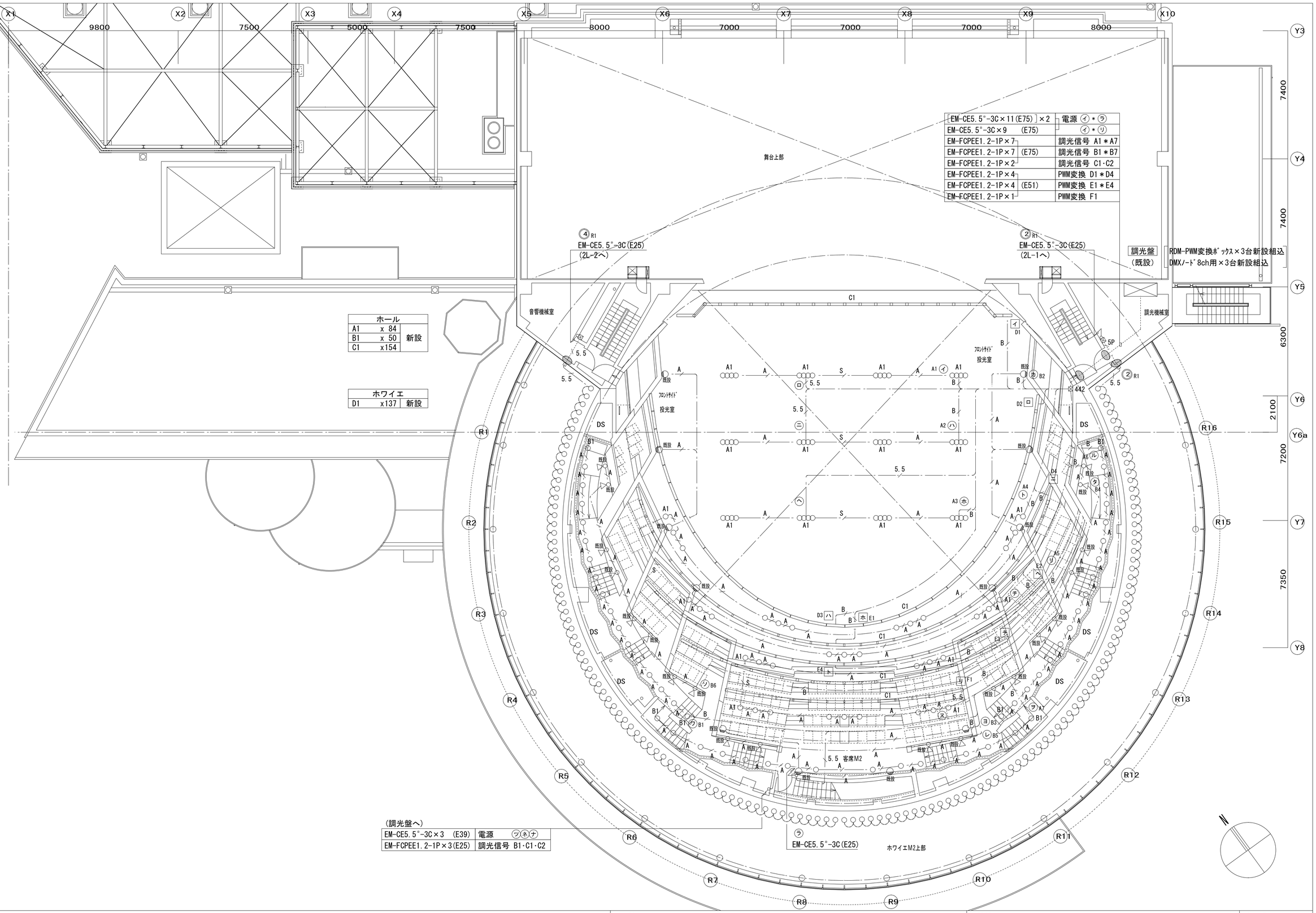
前室M5
B1 x 2 新設

前室M6
B1 x 2 新設

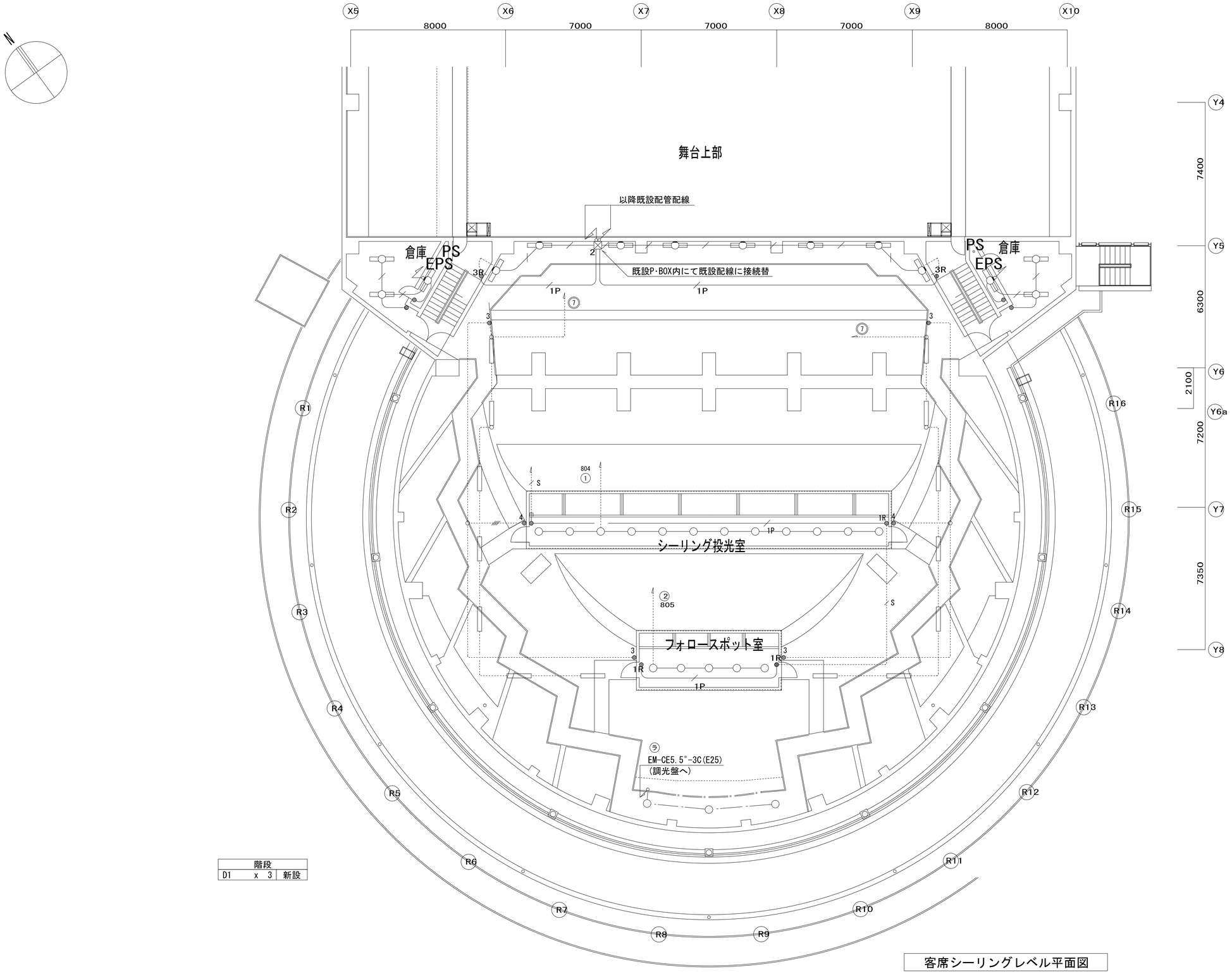
ホワイエM2
D1 x 5 新設

ホール
B1 x 16 新設

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
					設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称	電灯設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)
			印	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
				図面番号	E-012



記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 電灯設備 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-013



シーリング投光室			
D	x	12	新設

天井裏			
G1	x	14	新設

フォロースポット室			
D	x	5	新設

階段			
D1	x	3	新設

客席シーリングレベル平面図

記事		業務名称		工事名称		設計年月
			富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事			
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	縮尺	図面番号
				電灯設備 R階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	A1:1/100 A3:1/200	E-014

EM-IE2.0×11 (E31)	電源 ヘトチルヲ
EM-FCPEE1.2-1P(E19)	調光信号 トチルヲ

EM-IE2.0×7 (E31)	電源 トチヲ
EM-FCPEE1.2-1P(E19)	調光信号 トチヲ

EM-IE2.0×13 (E39)	電源 ホヘトチルヲ
EM-FCPEE1.2-1P(E19)	調光信号 ホヘトチルヲ

EM-IE2.0×17 (E39)	電源 ニホヘトチヌルヲ
EM-FCPEE1.2-1P (E25)	調光信号 ニヌ
EM-FCPEE1.2-1P	調光信号 ホヘトチルヲ

EM-IE2.0×19 (E39)	電源 ハニホヘトチリヌルヲ
EM-FCPEE1.2-1P (E25)	調光信号 ハニヌ
EM-FCPEE1.2-1P	調光信号 ホヘトチルヲ

EM-IE2.0×23 (E39)	電源 ロハニホヘトチリヌルヲ
EM-FCPEE1.2-1P (E25)	調光信号 ロハニリヌ
EM-FCPEE1.2-1P	調光信号 ホヘトチルヲ

EM-IE2.0×25 (E39)	電源 イ＊ヲ
EM-FCPEE1.2-1P (E25)	調光信号 イロハニリヌ
EM-FCPEE1.2-1P	調光信号 ホヘトチルヲ

DMXﾉｰﾄﾞ8ch用×2台組込

機械室	
a1 × 1	新設
b1 × 1	新設

ホール	
A1 × 64	新設
E1 × 32	新設

(既設調光盤へ)

EM-IE2.0×3 (既設配管)	電源 カ
EM-FCPEE1.2-1P(既設配管)	調光信号 カ

B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 B10 B11

5200 5000 3500 7650 27800 4850

3900 1450 2300 23700 5300

7050 8250 8400 4100 1200

A1 Aa1 A2 A3 Aa3 A4 Aa4 A5 A6 Aa6 A7 Aa7

1300 3500 5900 3500 5000 7150 5000 27000 7150 5000 5700 5000

1516 既設配管配線

既設配管配線

スタジオD上部

スタジオC上部

スタジオB上部

スタジオA上部

搬入口上部

側舞台上部

空調機械室3

PS

DS

332

3+1P

5+1P

チヲチ トヲト ヘルヘ ホルホ ニヌニ ハヌハ ロリロ イリイ

A1 E1 A1

調光盤 (既設)

機械室

テラス3

効果室

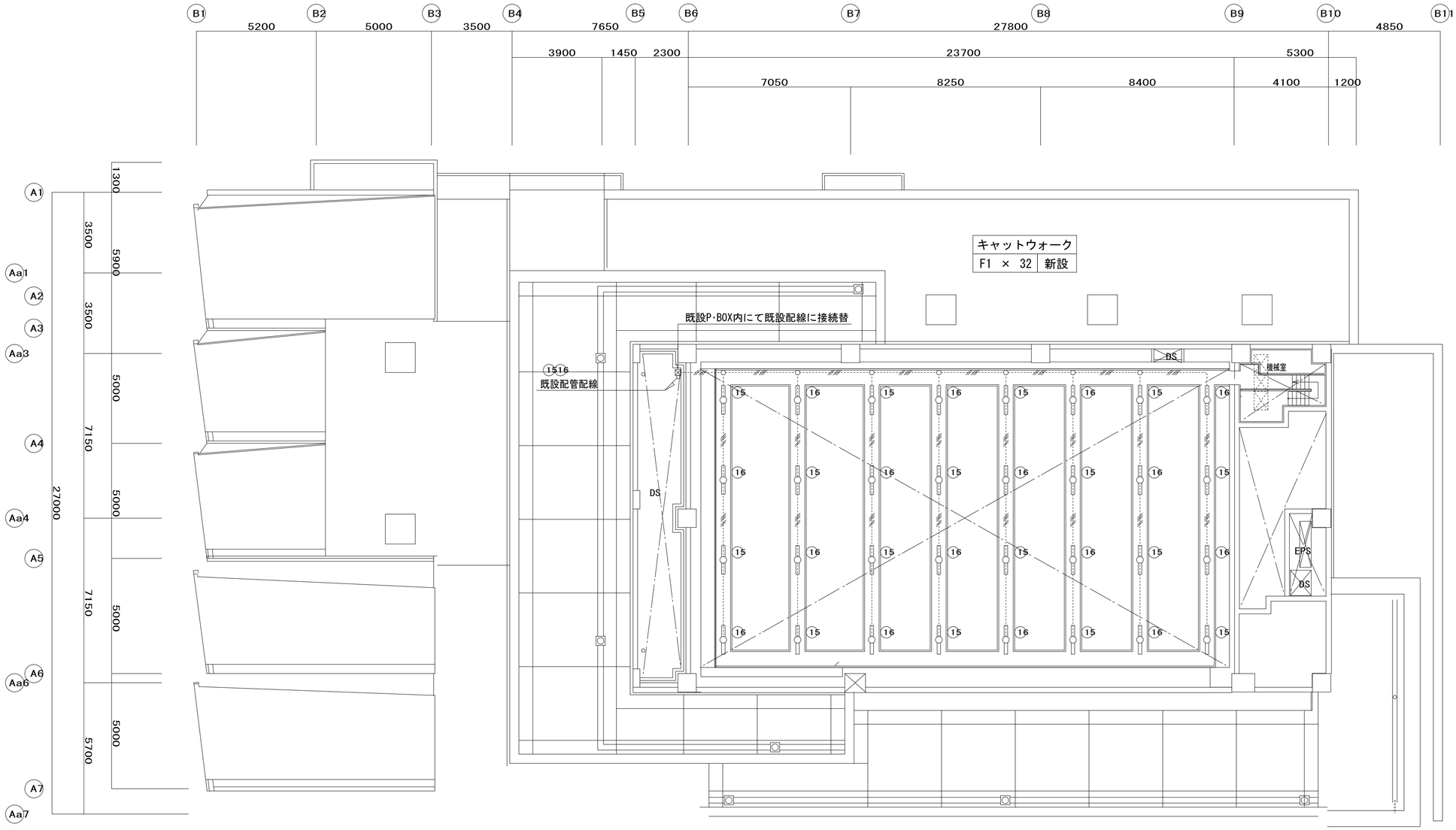
EPS

前室S3

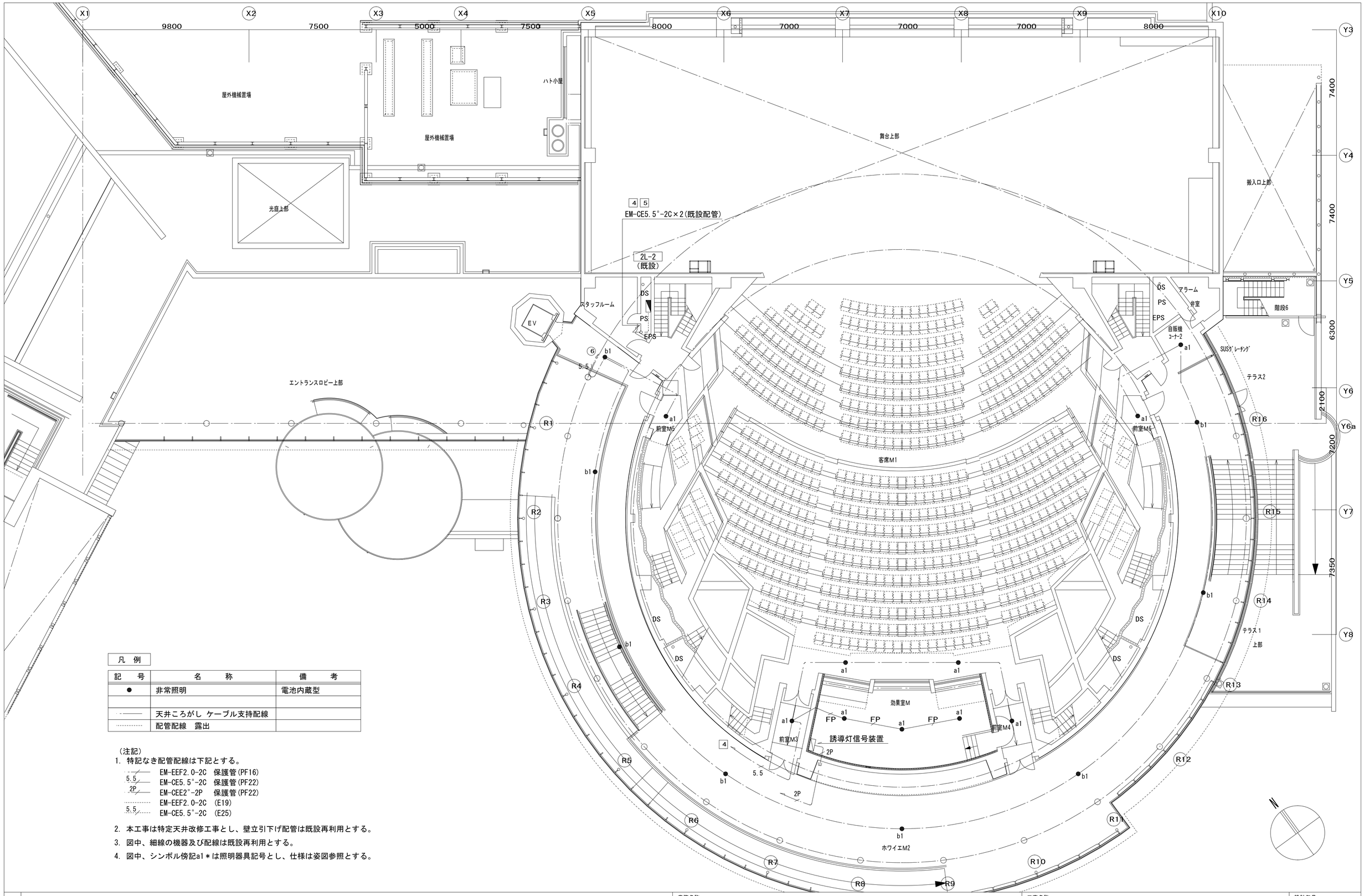
ホワイエS2

初仁上部

記事	
業務名称	
株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉
印	
工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
設計年月	
図面名称	電灯設備 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面番号	E-015



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 電灯設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-016



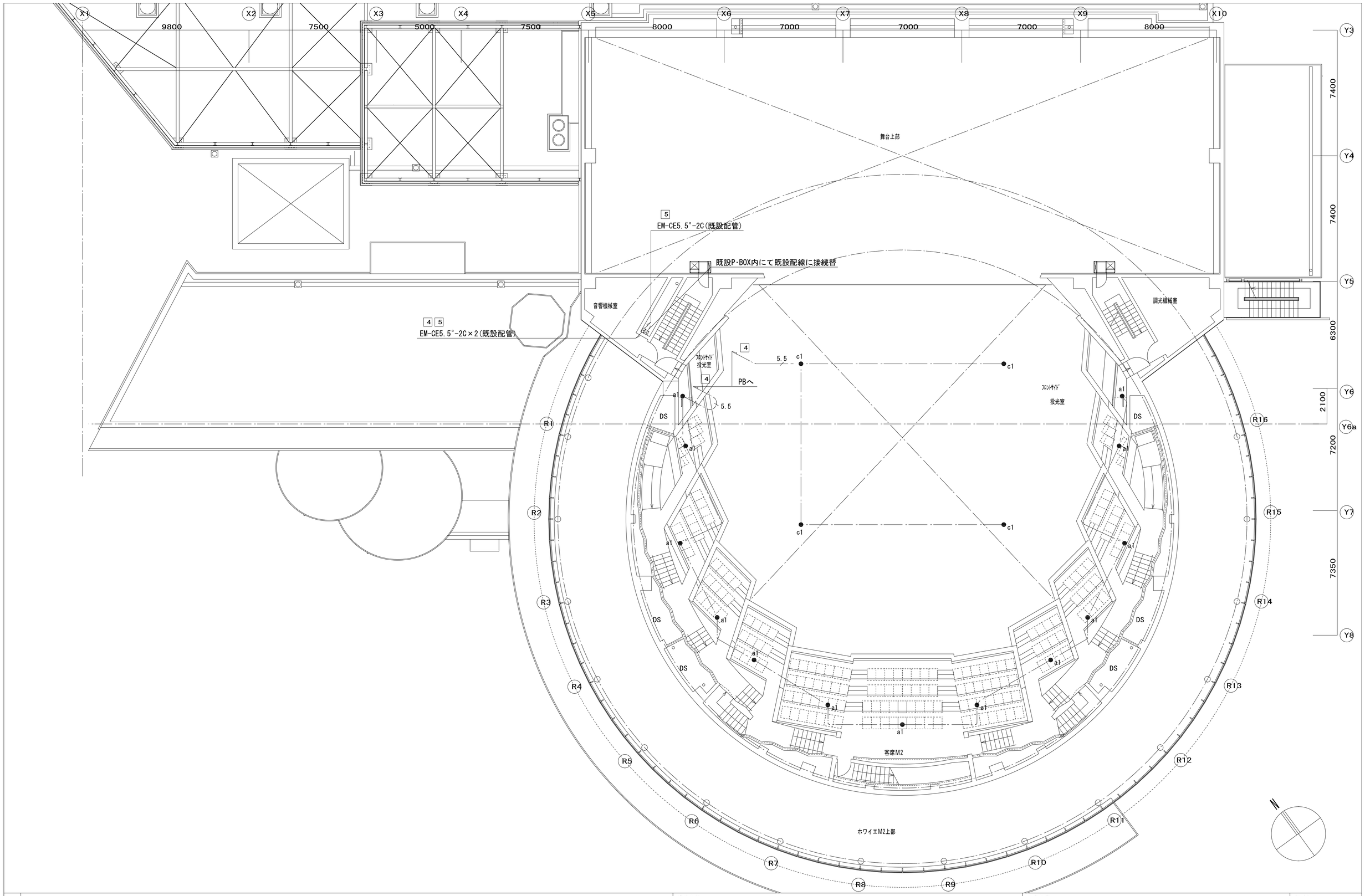
凡　例

記　　号	名　　称	備　　考
●	非常照明	電池内蔵型
―・―	天井ころがし ケーブル支持配線	
――――	配管配線　露出	

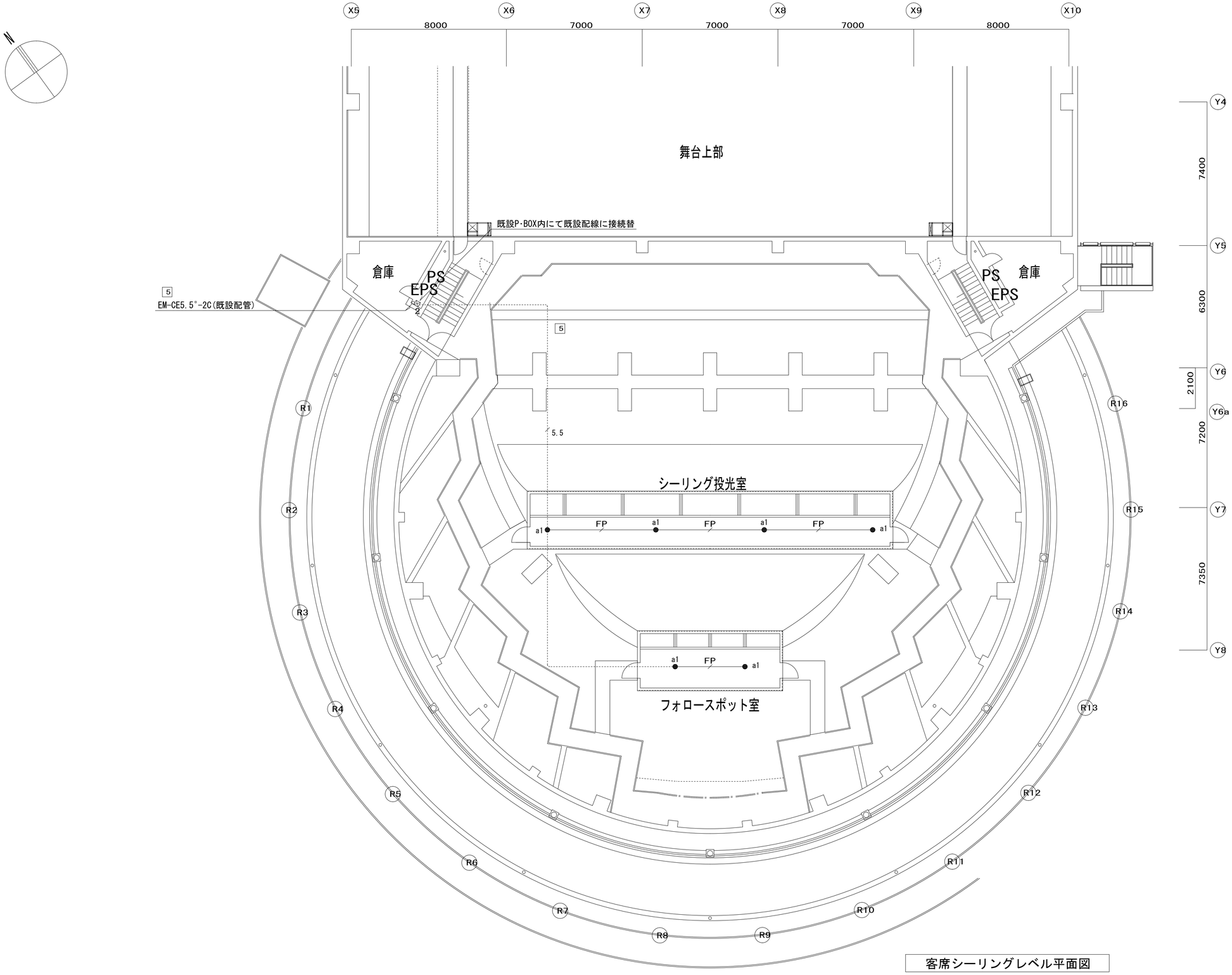
（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - ―・― EM-EEF2.0-2C　保護管(PF16)
   - 5.5 ―― EM-CE5.5°-2C　保護管(PF22)
   - 2P ―― EM-CEE2°-2P　保護管(PF22)
   - ―――― EM-EEF2.0-2C　(E19)
   - 5.5 ―― EM-CE5.5°-2C　(E25)
2. 本工事は特定天井改修工事とし、壁立引下げ配管は既設再利用とする。
3. 図中、細線の機器及び配線は既設再利用とする。
4. 図中、シンボル傍記a1＊は照明器具記号とし、仕様は姿図参照とする。

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 非常照明設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/300 A3:1/600	図面番号 E-017

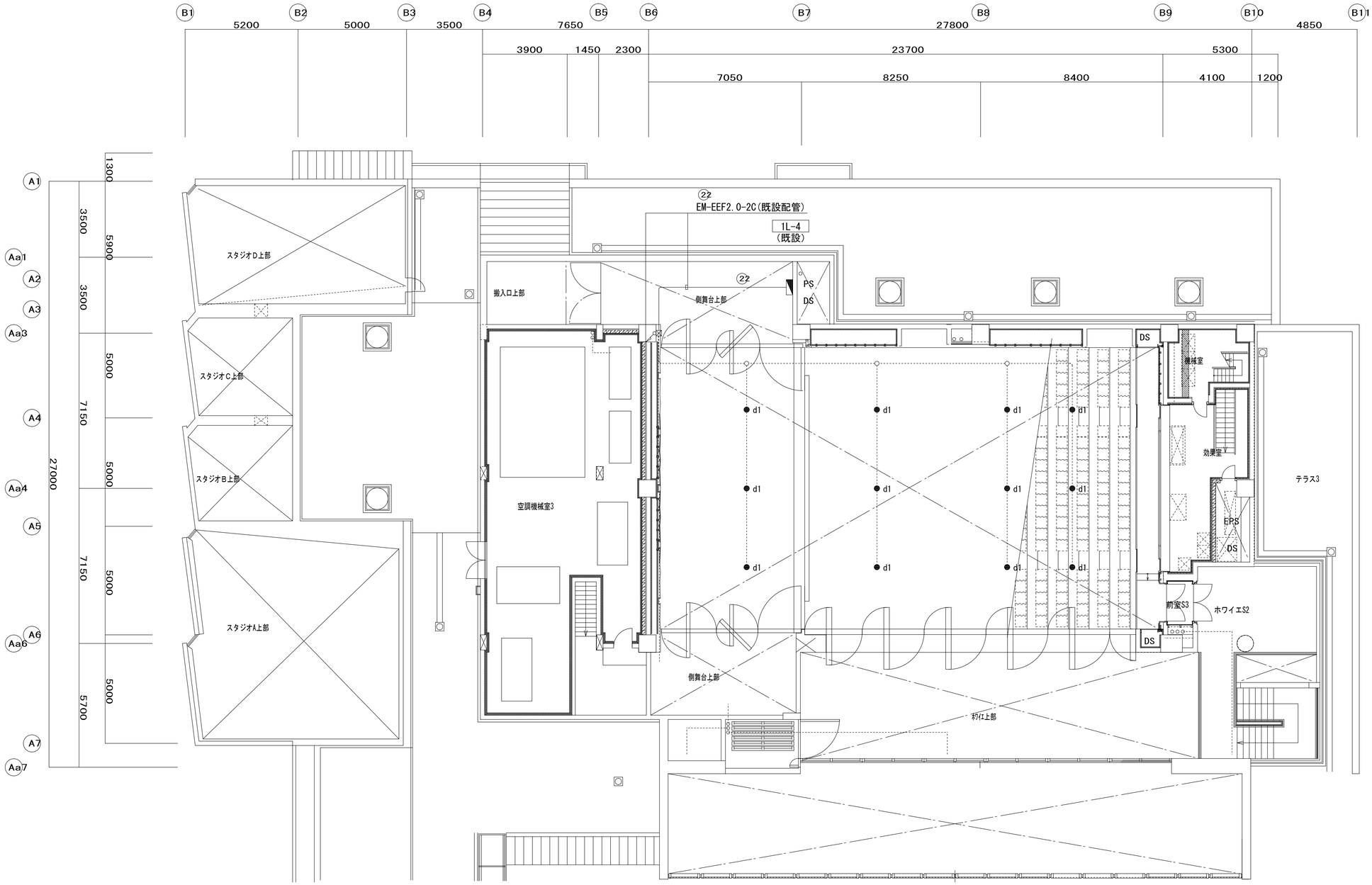


記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 非常照明設備 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-018

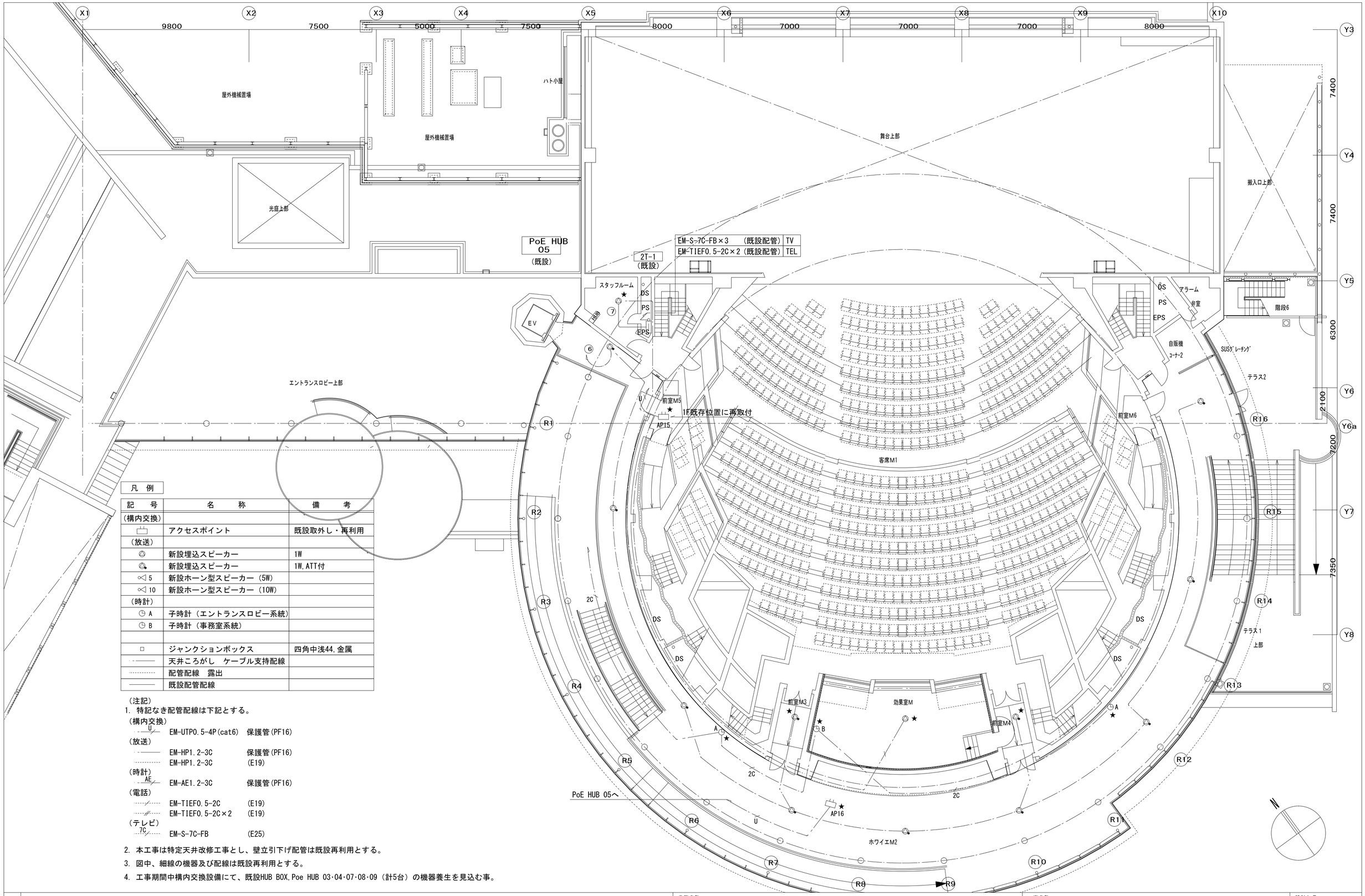


客席シーリングレベル平面図

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 非常照明設備 R階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-019



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 非常照明設備 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-020	



凡 例

記 号	名 称	備 考
(構内交換)		
	アクセスポイント	既設取外し・再利用
(放送)		
	新設埋込スピーカー	1W
	新設埋込スピーカー	1W,ATT付
5	新設ホーン型スピーカー (5W)	
10	新設ホーン型スピーカー (10W)	
(時計)		
A	子時計 (エントランスロビー系統)	
B	子時計 (事務室系統)	
□	ジャンクションボックス	四角中浅44,金属
———	天井ころがし ケーブル支持配線	
·····	配管配線 露出	
———	既設配管配線	

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

(構内交換)
- U — EM-UTP0.5-4P(cat6) 保護管(PF16)

(放送)
- EM-HP1.2-3C 保護管(PF16)
- EM-HP1.2-3C (E19)

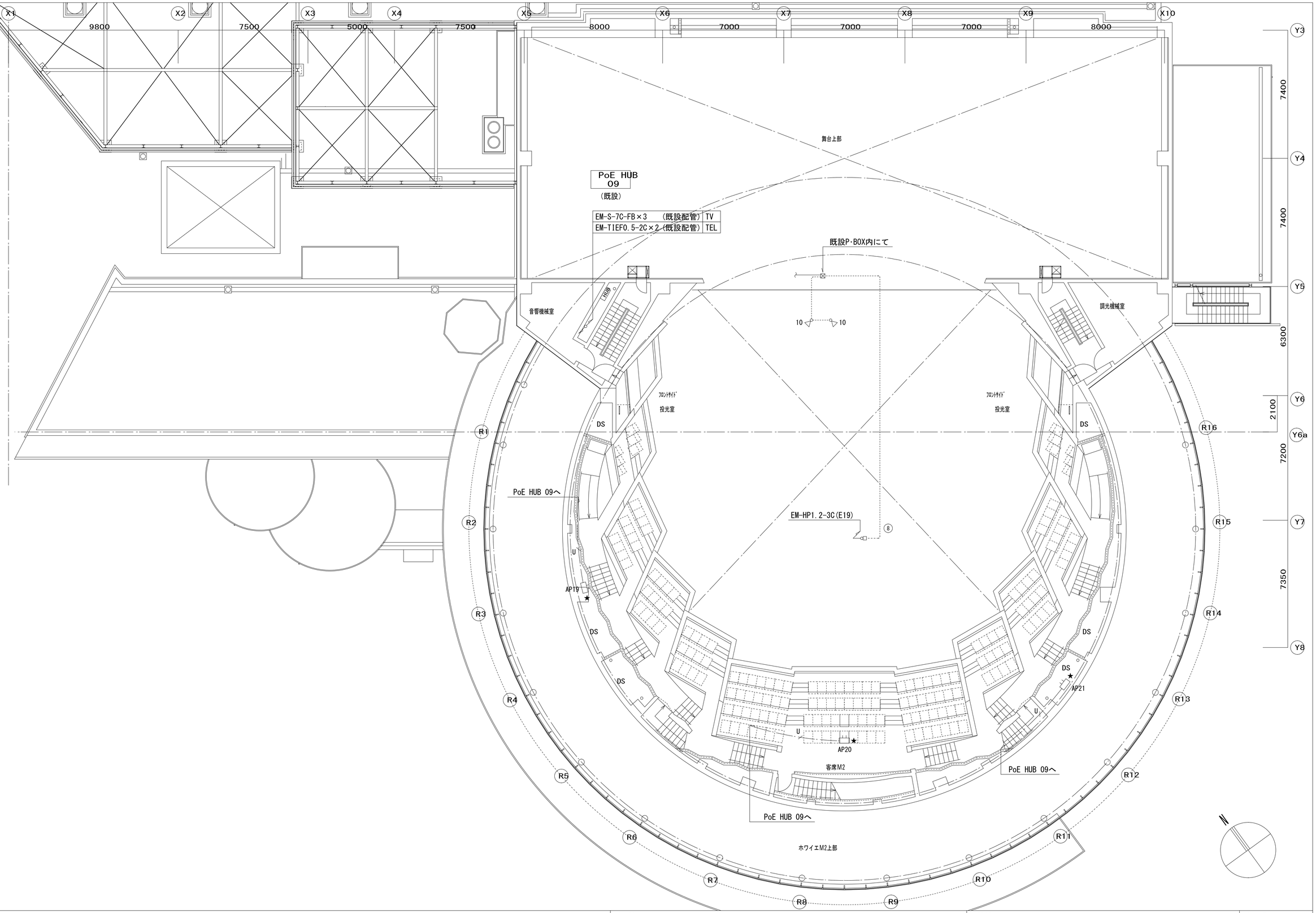
(時計)
- AE — EM-AE1.2-3C 保護管(PF16)

(電話)
- EM-TIEF0.5-2C (E19)
- EM-TIEF0.5-2C×2 (E19)

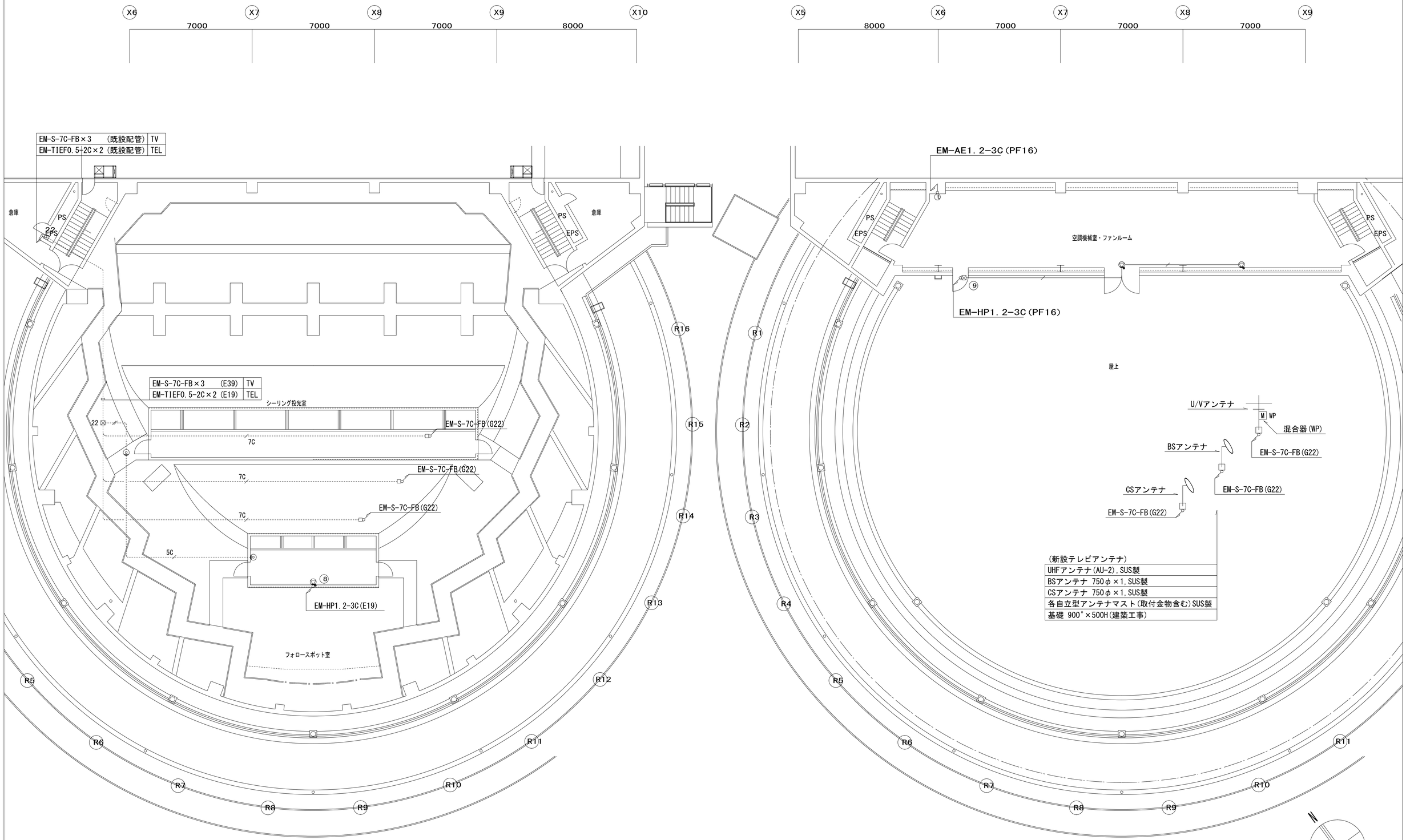
(テレビ)
- 7C — EM-S-7C-FB (E25)

2. 本工事は特定天井改修工事とし、壁立引下げ配管は既設再利用とする。
3. 図中、細線の機器及び配線は既設再利用とする。
4. 工事期間中構内交換設備にて、既設HUB BOX,Poe HUB 03･04･07･08･09 (計5台) の機器養生を見込む事。

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 弱電設備(電話･テレビ･放送) 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			図面番号 E-021



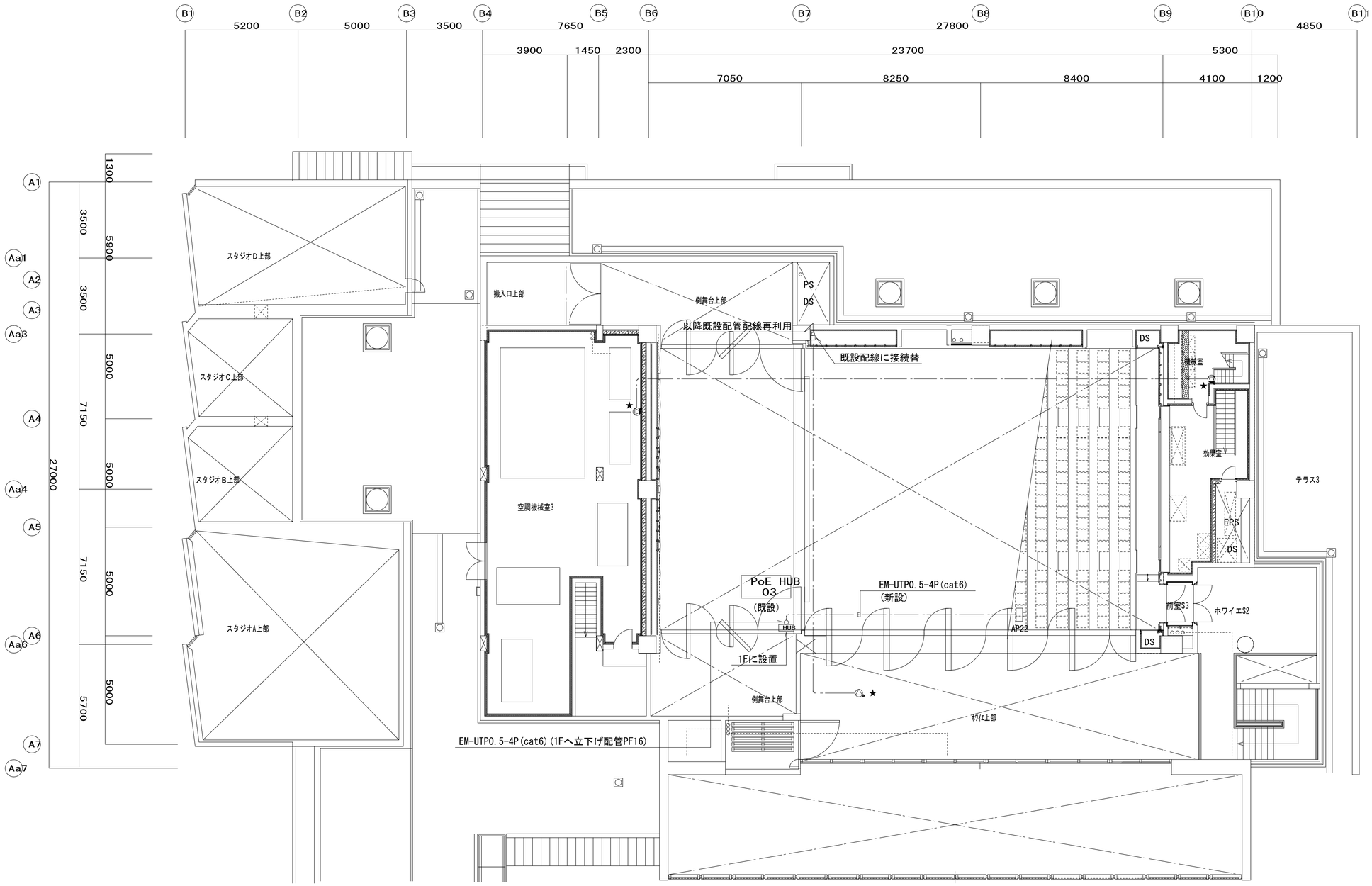
記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 弱電設備（電話・テレビ・放送） 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図（改修）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			図面番号 E-022



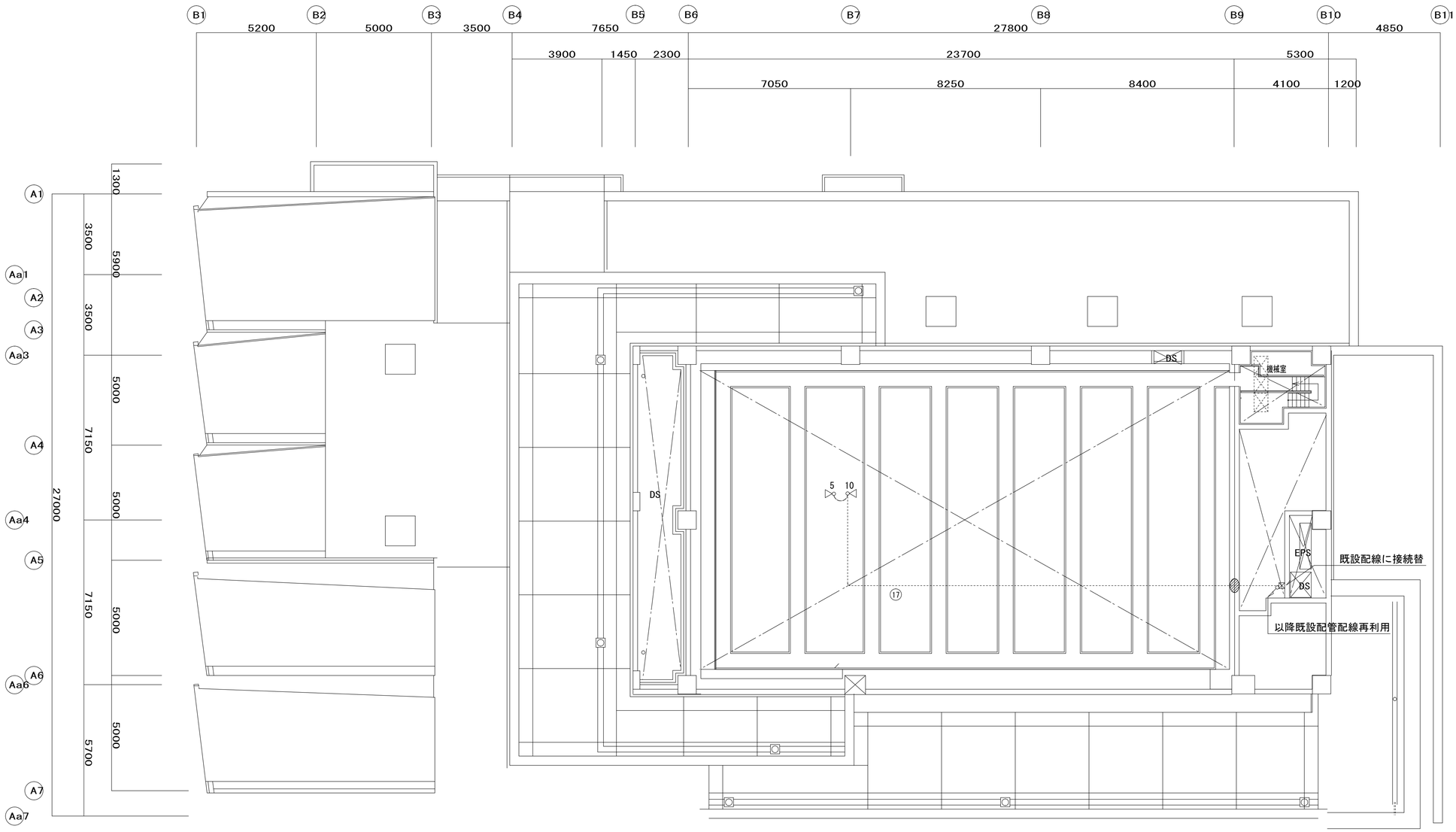
客席シーリングレベル平面図

R2FL平面図

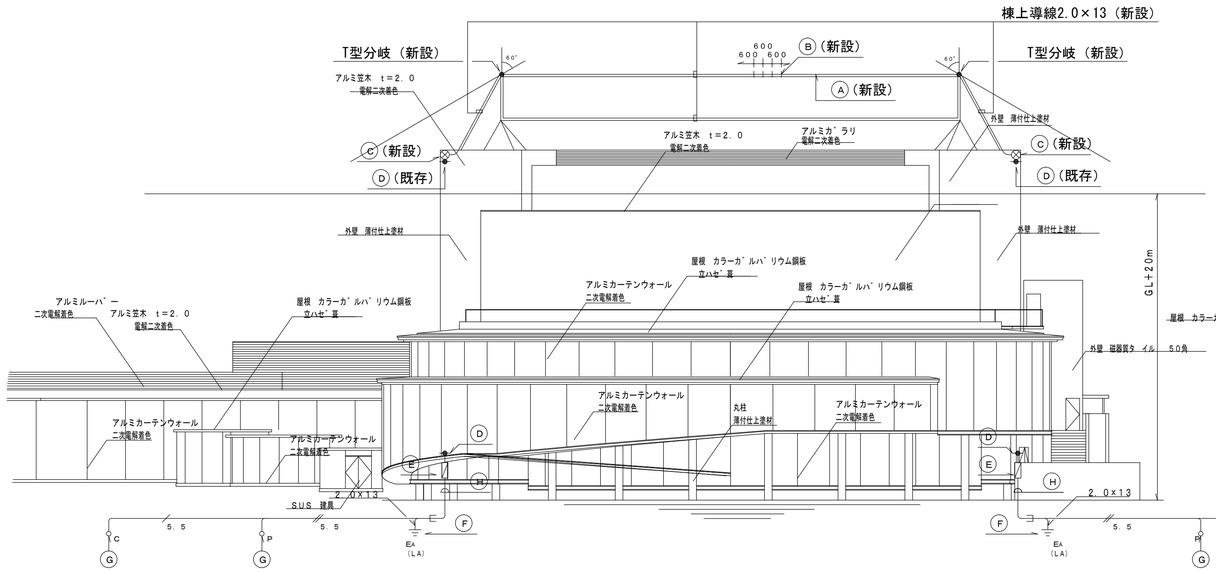
記事		業務名称		工事名称		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		
				図面名称 弱電設備(電話・テレビ・放送) R階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-023



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 弱電設備(電話・テレビ・放送) 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-024



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 弱電設備（電話・テレビ・放送） 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図（改修）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-025



X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

メインホール南西側立面図

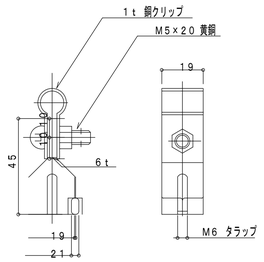
Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

メインホール南東側立面図

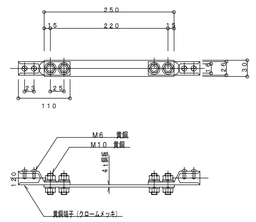
※図中、太線の機器配管配線を新設する。

避雷設備機器姿図

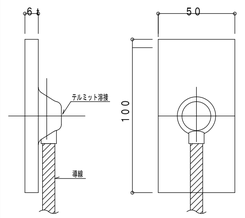
導線支持金具



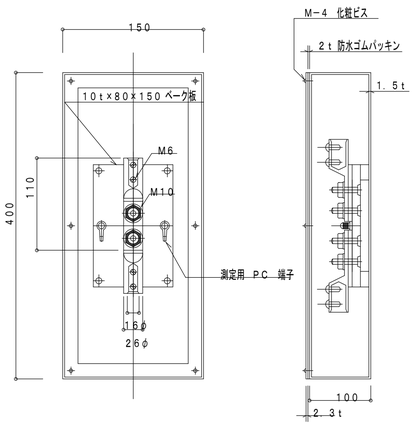
水切端子 ： パラペット用



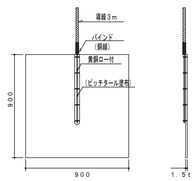
鉄骨用アース金具 （テルミット溶接式）



試験用端子函 ： VE 製 露出型



接地銅板 ： 黄銅ロー付



凡 例

A	棟上導線	2．0×13
B	導線支持金物	
C	水切端子	（パラペット用）
D	鉄骨用アース金具	（テルミット溶接式）
E	試験用端子函	（VE 製 露出型
F	接地銅板	（900□×1．5t）
G	測定用補助棒	（14□×1．5t）
H	保護管	（VE28）

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

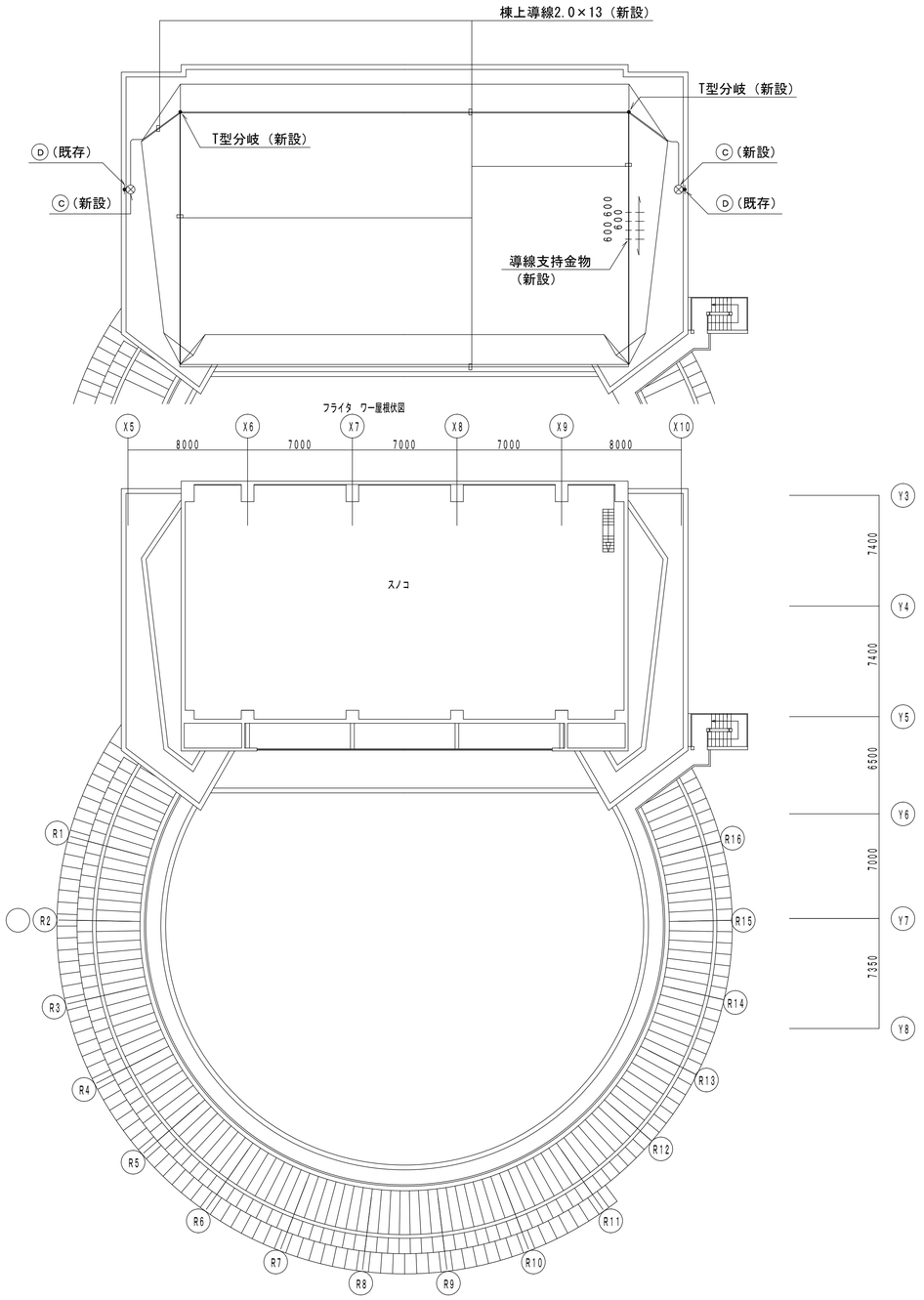
工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

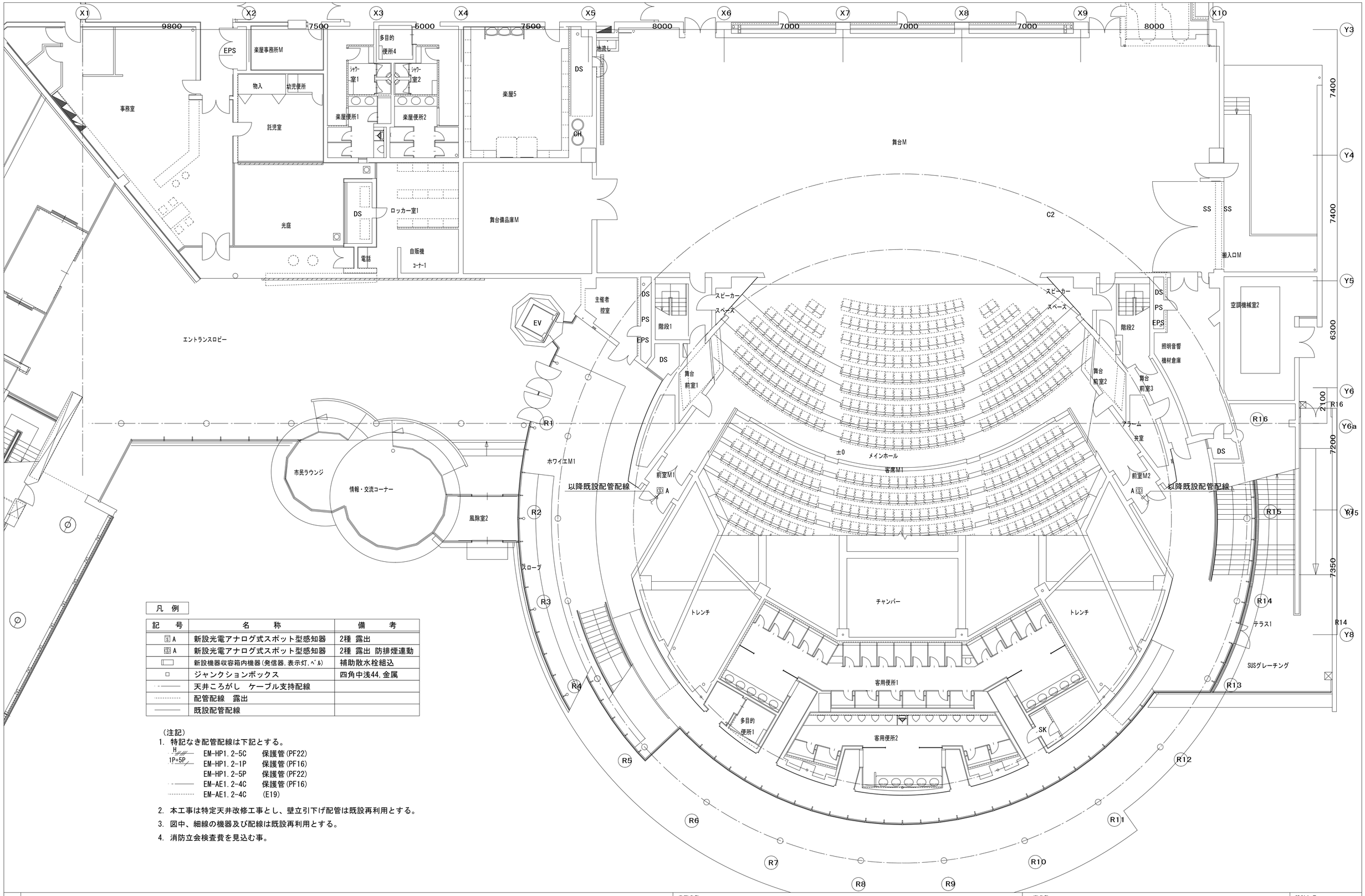
図面名称 避雷針設備 機器姿図・立面図(改修)

縮尺 A1:1/200 A3:1/400

図面番号 E-026



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 避雷針設備 R階平面図(改修)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-027



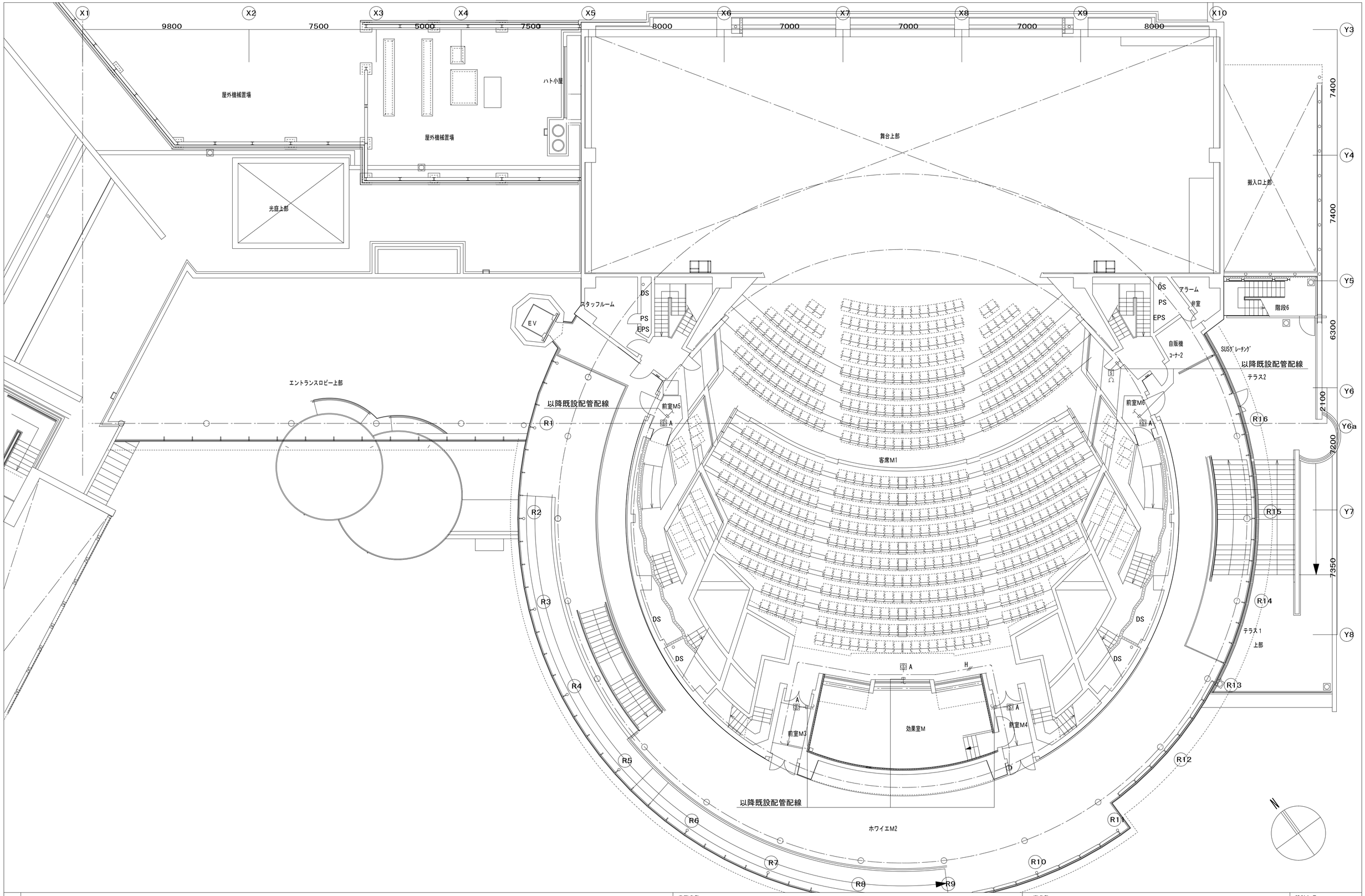
凡　例

記　号	名　　称	備　　考
S A	新設光電アナログ式スポット型感知器	2種 露出
S A	新設光電アナログ式スポット型感知器	2種 露出 防排煙連動
	新設機器収容箱内機器(発信器,表示灯,ﾍﾞﾙ)	補助散水栓組込
□	ジャンクションボックス	四角中浅44,金属
----	天井ころがし　ケーブル支持配線	
----	配管配線　露出	
———	既設配管配線	

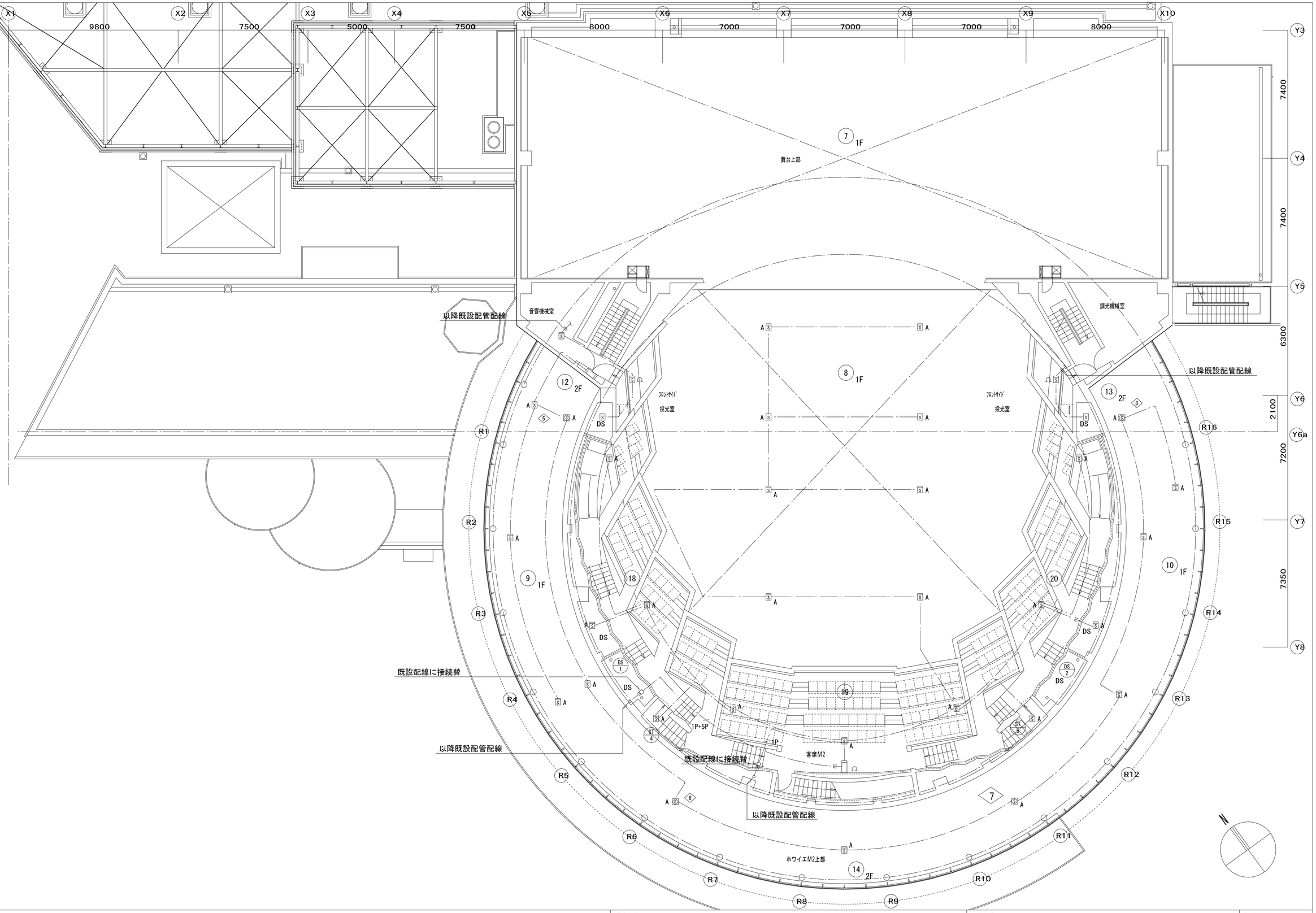
（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - H 1P+5P　EM-HP1.2-5C　保護管(PF22)
   - EM-HP1.2-1P　保護管(PF16)
   - EM-HP1.2-5P　保護管(PF22)
   - EM-AE1.2-4C　保護管(PF16)
   - EM-AE1.2-4C　(E19)
2. 本工事は特定天井改修工事とし、壁立引下げ配管は既設再利用とする。
3. 図中、細線の機器及び配線は既設再利用とする。
4. 消防立会検査費を見込む事。

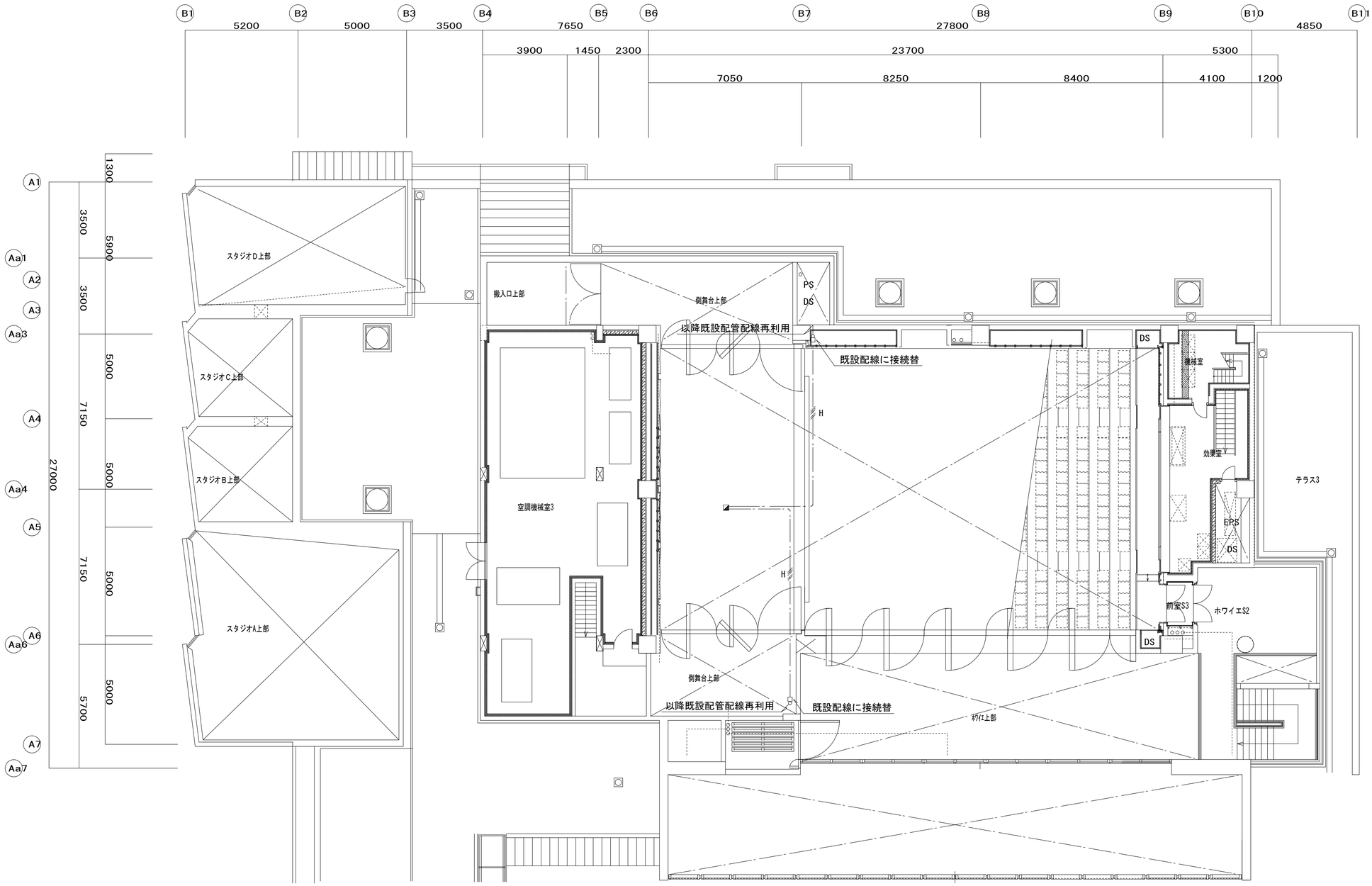
記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 1階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-028



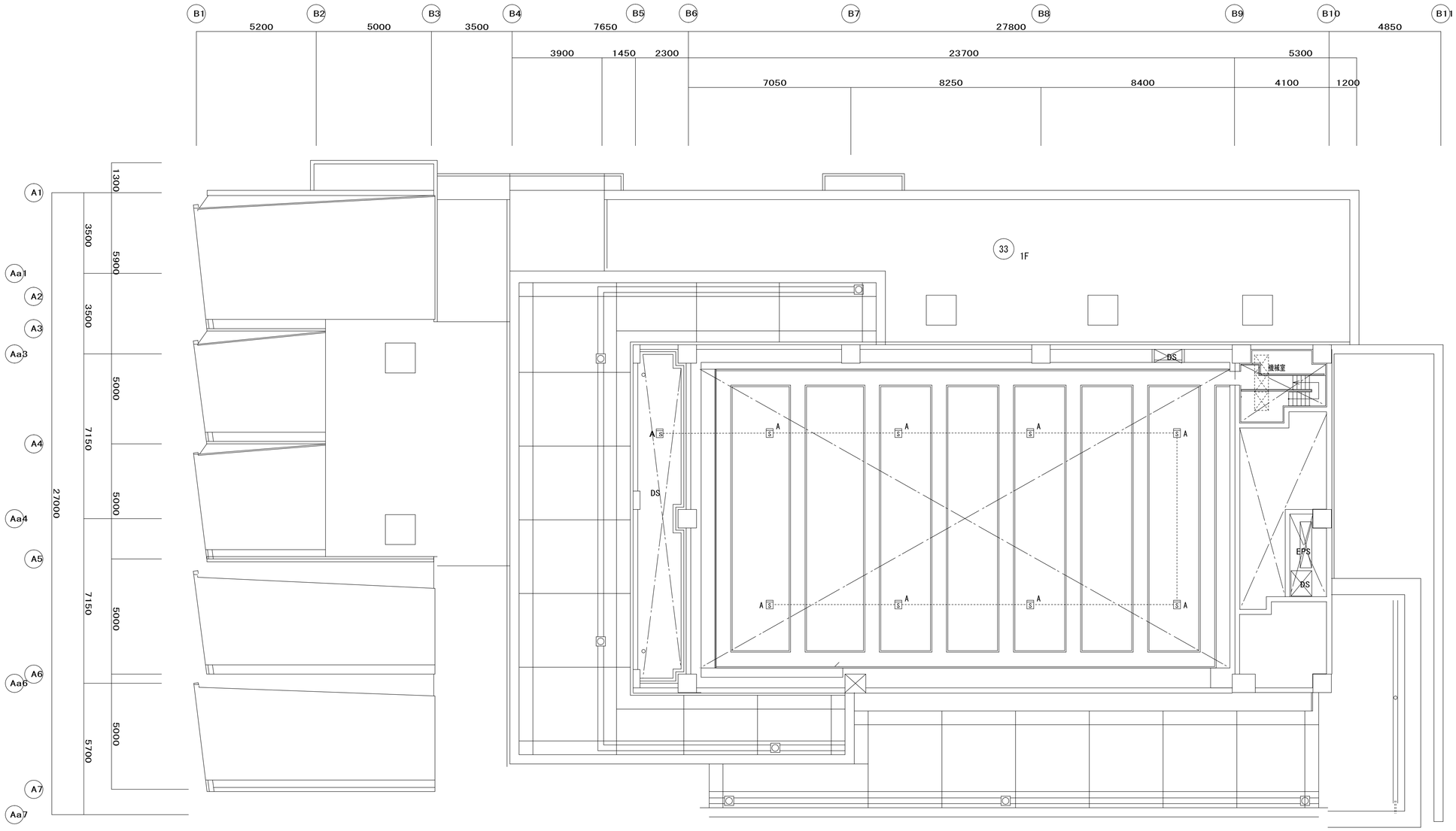
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-029



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-030



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-031



記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-032

電 源
3φ4W 182／105V 50Hz 400kVA

接 地
EC ED

電線サイズ	
幹線	・CVQ250×3
	・
	・
接地線	・E100sq

電線色指定	
R相：赤	接地線・緑
S相：黒	
T相：青	
N相：白	その他社内基準

受電PL
給電PL
総主幹MCCB 4P1600AF／1400AT
電圧計 V
電流計×3 A
電流計ボックス
1500A／5A CT
調光室に装備

無停電電源主幹MCCB 2P 50AF／15AT
無停電電源装置
点検灯主幹MCCB 2P 50AF／15AT
リミットSW
点検灯
コンセント

操作主幹MCCB 2P 50AF／10AT×2
制御電源MCCB 3P 50AF／15AT
客電制御電源MCCB 2P 50AF／15AT 増設
操作電源制御回路
足元灯外部へ

MCCB 1P 50AF／ 30AT ×166個
MCCB 1P 50AF／ 40AT × 28個
MCCB 1P100AF／ 60AT × 4個
MCCB 1P100AF／ 60AT × 12個
MCCB 2P 50AF／ 20AT × 2個
撤去
調 光 器
（漏電感知機能付）
（舞台用） IL3kW ×166台
IL4kW × 28台
IL6kW × 8台
（客席用） IL6kW × 4台（内2台予備）
（客席用） IL6kW × 12台
（客席用） FL6kW × 2台
撤去
各負荷へ至る

直回路MCCB（負荷設備直電源）
4P225AF／200AT×2（仮設電源）
4P100AF／100AT×2（センターピン電源）
2P 50AF／ 20AT×24
2P 50AF／ 30AT×13
2P100AF／ 60AT×18

直回路MCCB（負荷設備直電源）
2P50AF／30AT×10（バトン回路）
直/調切り替えスイッチ ×10個
サスバトンコンセントへ

直回路MCCB
（持込卓用コネクタパネル電源）
2P50AF／20AT×1（客席中央）
2P50AF／20AT×1（客席奥）
2P50AF／20AT×1（舞台上袖）
2P50AF／20AT×1（舞台下袖）

信号制御ユニット
調光信号（DMX）
空冷ファン
アラーム表示灯
リモートコントローラ
作業灯・天反 切替制御ブロック

増設（別途）
DMXノード 8ch用×3台
PWM信号変換器 4ch用×3台
客席用PWM信号×12系統（配線は別途）
客席用DMX信号×16系統（配線は別途）

客席分岐MCCB 2P 50AF／20AT ×34個
客席分岐MCCB既設34個の内
31個を客席DL（LED）に流用
DC電源（盤より）

（既設調光装置）

負荷モニターLCD（既設）
点灯状態表示ディスプレイ	×	1式
ソフト変更		

制御信号パッチ盤（既設）
各種操作スイッチ	×	1式
作業灯スイッチ	×	1式
各種制御信号ユニット	×	1式
制御信号入出力コネクタ	×	1式
電源ユニット	×	1式

LAN回線
各負荷へ至る

ネットワーク中継盤（既設）
光信号変換装置	×	1式
中継HUB	×	1式
制御信号入出力コネクタ	×	1式

舞台袖操作盤（既設）
マスターフェーダ	×	1本
サブマスターフェーダ	×	10本
客席調光スイッチ	×	1式
作業灯スイッチ	×	1式
ライティングレール操作スイッチ	×	1式

持込卓用コネクタパネル×３面（既設）
電源コンセント	×	1個付
DMXコネクタ	×	4個付
LANコンセント	×	1個付

持込卓用コネクタパネル×１面（既設）
電源コンセント	×	1個付
DMXコネクタ	×	1個付

ワイヤレス受信機（既設）
ワイヤレスコントローラ （既設）
ソフト変更

操作卓用コネクタボックス（既設）
操作卓用コネクタ	×	1式

副 照 明 操 作 卓（既設）
制御回路数		4096ch	GO／STOP／BACKスイッチ	×	1式
調光コントロールチャンネル数		2048ch	サブマスターフェーダ	×	10本
ムービングコントロールチャンネル数		2048ch	マルチフェーダ	×	10本
外部入力チャンネル数		1024ch	操作用エンコーダ	×	4個
イベント数		× 30	タイム用エンコーダ	×	1個
記憶シーン	×最大2000／1イベント		インテンシティー専用エンコーダ	×	1組
調光用シーン		×2000	コントロール用トラックボール	×	1組
調光用チャンネルグループ		×1000	パッチ画面	×	6場面
調光用エフェクト		×1000	プログラムパネル	×	1式
ムービング用シーン		×2000	データ表示ディスプレイ	×	2台
ムービング用チャンネルグループ	×最大1000		タッチパネル式ディスプレイ	×	1台
ムービング用ライブラリー	×最大2000		外部記憶媒体	×	1式
マスターフェーダ		× 3本	ソフト変更		
トータルクロスフェーダ		× 1組			

フェーダ増設ユニット
サブマスターフェーダ × 20本

主 照 明 操 作 卓（既設）
制御回路数		4096ch	GO／STOP／BACKスイッチ	×	1式
調光コントロールチャンネル数		2048ch	サブマスターフェーダ	×	10本
ムービングコントロールチャンネル数		2048ch	マルチフェーダ	×	10本
外部入力チャンネル数		1024ch	操作用エンコーダ	×	4個
イベント数		× 30	タイム用エンコーダ	×	1個
記憶シーン	×最大2000／1イベント		インテンシティー専用エンコーダ	×	1組
調光用シーン		×2000	コントロール用トラックボール	×	1組
調光用チャンネルグループ		×1000	パッチ画面	×	6場面
調光用エフェクト		×1000	プログラムパネル	×	1式
ムービング用シーン		×2000	データ表示ディスプレイ	×	2台
ムービング用チャンネルグループ	×最大1000		タッチパネル式ディスプレイ	×	1台
ムービング用ライブラリー	×最大2000		外部記憶媒体	×	1式
マスターフェーダ		× 3本	ソフト変更		
トータルクロスフェーダ		× 1組			

客席調光操作卓（既設）
客席調光スイッチ	×	1式
作業灯切替スイッチ	×	1式
各種操作スイッチ	×	1式
ピンスポット電源操作スイッチ	×	1式
ソフト変更		

オフラインシステム
ソフト変更

プリセット操作卓（既設）
マニュアルクロスフェーダ	×	1組
プリセットフェーダ 60本	×	3段
段切替スイッチ	×	1組
フラッシュスイッチ	×	60個

機器調整は財団担当者と協議の上決定する事。
（既設機器の取付調整 丸茂電機（参考））

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 舞台照明設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ調光装置系統図(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S
			図面番号 E-033

【凡　例】

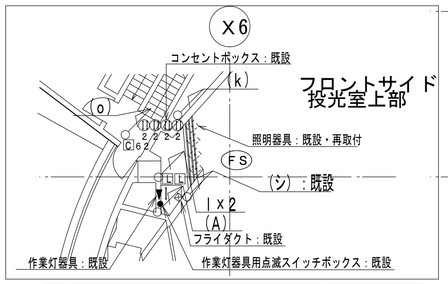
記　号	仕　　様	改修内容
L	コンセントボックス：制御信号コネクタ（LAN　1個付）	残置養生
C1+L	コンセントボックス：C型３０Aコンセント　1個付 制御信号コネクタ（LAN　1個付）	残置養生
C62+平	コンセントボックス：C型６０Aコンセント　2個付 平行１５Aコンセント　2個付	残置養生
JBS	ジョイントボックス　信号線用	残置養生
JB	ジョイントボックス	残置養生
	ケーブルリール	残置養生

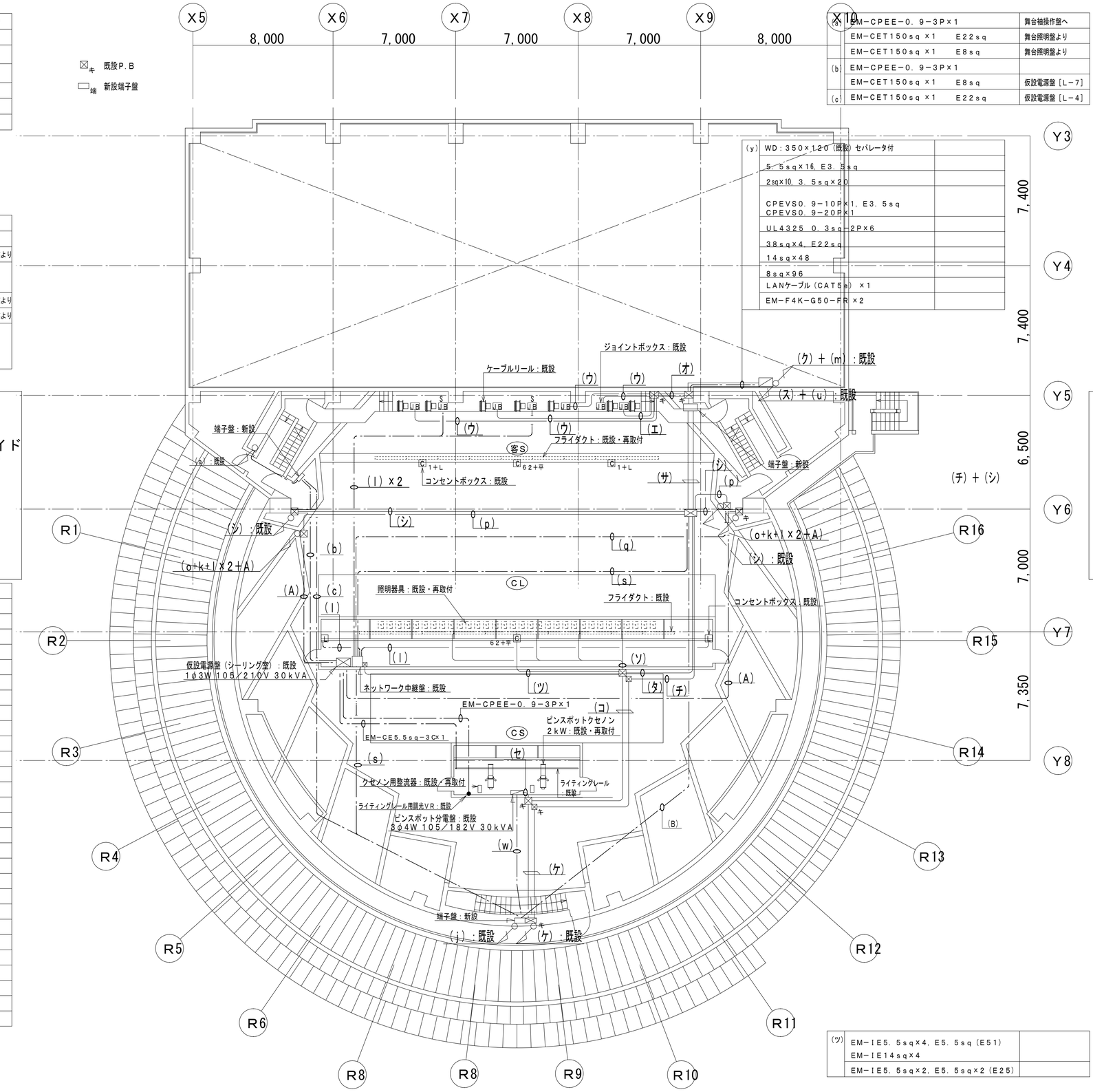
客S	客席サスペンションライト
CL	シーリングライト
CS	センターピンスポットライト

配線記号

(k)	EM−CE5.5sq −3C　×２（PE28）	調光盤より
(o)	EM−CE14sq　−2C　×2　　E5.5sq	調光盤より
(l)	LANケーブル（CAT5e）×1	ネットワーク中継盤より
(p)	EM−IE5.5sq ×4 EM−IE14sq ×4，E5.5sq（E51）	調光盤より
(q)	LANケーブル（CAT5e）×2	ネットワーク中継盤より
(s)	EM−F4K−G50−FR ×2	ネットワーク中継盤より
(t)	EM−CE5.5sq −3C ×3 EM−CE14sq −2C ×2 EM−CE5.5sq −2C ×1	調光盤より

(m)	WD：300×150（既設）セパレータ付	
	EM-CE5.5-3C ×2	
	EM-CE8-2C ×10	
	EM-CE8-3C ×10	
	EM-CE14-2C ×14	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(u)	WD：400×200（既設）セパレータ付	
	EM−CE5.5sq−2C ×18	
	EM−CE8sq−2C　×12	
	EM−CE14sq −2C ×20	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(v)	EM−CE14sq −2C ×4　E5.5sq	調光盤より
(j)	EM−CE5.5sq −2C × 2	調光盤より
	EM−CE5.5sq −3C × 5	調光盤より
	EM−CE8sq −3C × 2	調光盤より
	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	調光盤より
	LANケーブル（CAT5e）×2	
	EM−CPEE−0．9−5P×1	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
	EM−CET150sq ×1　　E22sq	ラック
	EM−CET150sq ×1　　E8sq	ラック
(w)	EM−CPEE−0．9−5P×1	
(A)	EM−CE5.5sq −3C × 1	作業灯
	EM−CPEE−0．9φ−3P × 1	
(B)	EM−CE5.5sq −2C × 1	
	EM−CE5.5sq −3C × 5	
	EM−CE8sq −3C × 2	
	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	
	LANケーブル（CAT5e）×1	



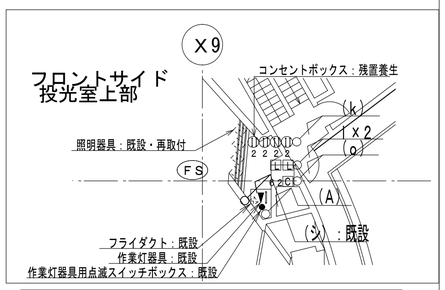


(y)	WD：350×120（既設）セパレータ付	
	5.5sq×16，E3．5sq	
	2sq×10，3．5sq×20	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq CPEVS0．9−20P×1	
	UL4325　0．3sq−2P×6	
	38sq×4，E22sq	
	14sq×48	
	8sq×96	
	LANケーブル（CAT5e）×1	
	EM−F4K−G50−FR ×2	

(a)	EM−CPEE−0．9−3P×1	舞台袖操作盤へ
	EM−CET150sq ×1　　E22sq	舞台照明盤より
	EM−CET150sq ×1　　E8sq	舞台照明盤より
(b)	EM−CPEE−0．9−3P×1	
	EM−CET150sq ×1　　E8sq	仮設電源盤［L−7］
(c)	EM−CET150sq ×1　　E22sq	仮設電源盤［L−4］

配線記号

(ウ)	EM−IE8sq×8，E3．5sq（E39）	
(エ)	EM−IE14sq×8，E5．5sq（E51）	
(オ)	EM−IE8sq×16，E3．5sq（E51）	
	EM−IE8sq×16（E51）	
	EM−IE14sq×8，E5．5sq（E51）	
(ク)	WD　300×150	
	14sq×　24	
	8sq×192	
	E38sq	
(ケ)	EM−IE5．5sq×16，E3．5sq（E51）	調光盤より
	EM−IE2sq×10，3．5sq×20（E51）	調光盤より
	EM−CPEEE−0．9φ−10P×1，E3．5sq EM−CPEEE−0．9φ−20P×1	調光盤より 調光盤より
	KK−2P−9×6（E51）	
	〃（E51）	
(コ)	EM−IE5．5sq×16，E3．5sq（E51）	
	EM−IE2sq×10，3．5sq×20（E51）	
	EM−CPEEE−0．9φ−10P×1，E3．5sq EM−CPEEE−0．9φ−20P×1	
	KK−2P−9×6（E51）	
	EM−IE38sq×4，E5．5sq（E51）	
	〃（E51）	
(シ)	EM−IE8sq×16，E3．5sq（E51）	
	EM−IE8sq×16（E51）	



(サ)	WD　300×150（セパレータ付）	
	EM−IE5．5sq×16，E3．5sq	
	EM−IE2sq×10，EM−IE3．5sq×20	
	EM−CPEEE−0．9φ−10P×1，E3．5sq EM−CPEEE−0．9φ−20P×1	
	KK−2P−9×6	
	EM−IE38sq×4，E22sq	
	EM−IE14sq×40	
	EM−IE8sq×64	
	LANケーブル（CAT5e）×1	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(ス)	WD　400×200（セパ付）	
	2sq×10	
	38sq×4　E38sq	
	14sq×56	
	8sq×256	
	5．5sq×16　E3．5sq	
	3．5sq×20	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq	
	CPEVS0．9−20P×2	
	UL4325　0．3sq−2P×6	
(セ)	EM−IE38sq×4，E5．5sq（E51）	
(ソ)	EM−IE14sq×8，E3．5sq（E51）	
	EM−IE14sq×8（E51）	
(タ)	EM−IE5．5sq×16，E3．5sq（E51）	
	EM−IE2sq×10，EM−IE3．5sq×20（E51）	
	EM−IE38sq×4，E5．5sq（E51）	
	EM−IE14sq×8（E51）×4	
	〃（E51）	
(チ)	EM−CPEEE−0．9φ−10P×1，E3．5sq EM−CPEEE−0．9φ−20P×1（E51）	
	KK−2P−9×6（E51）	

(ツ)	EM−IE5．5sq×4，E5．5sq（E51）	
	EM−IE14sq×4	
	EM−IE5．5sq×2，E5．5sq×2（E25）	

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

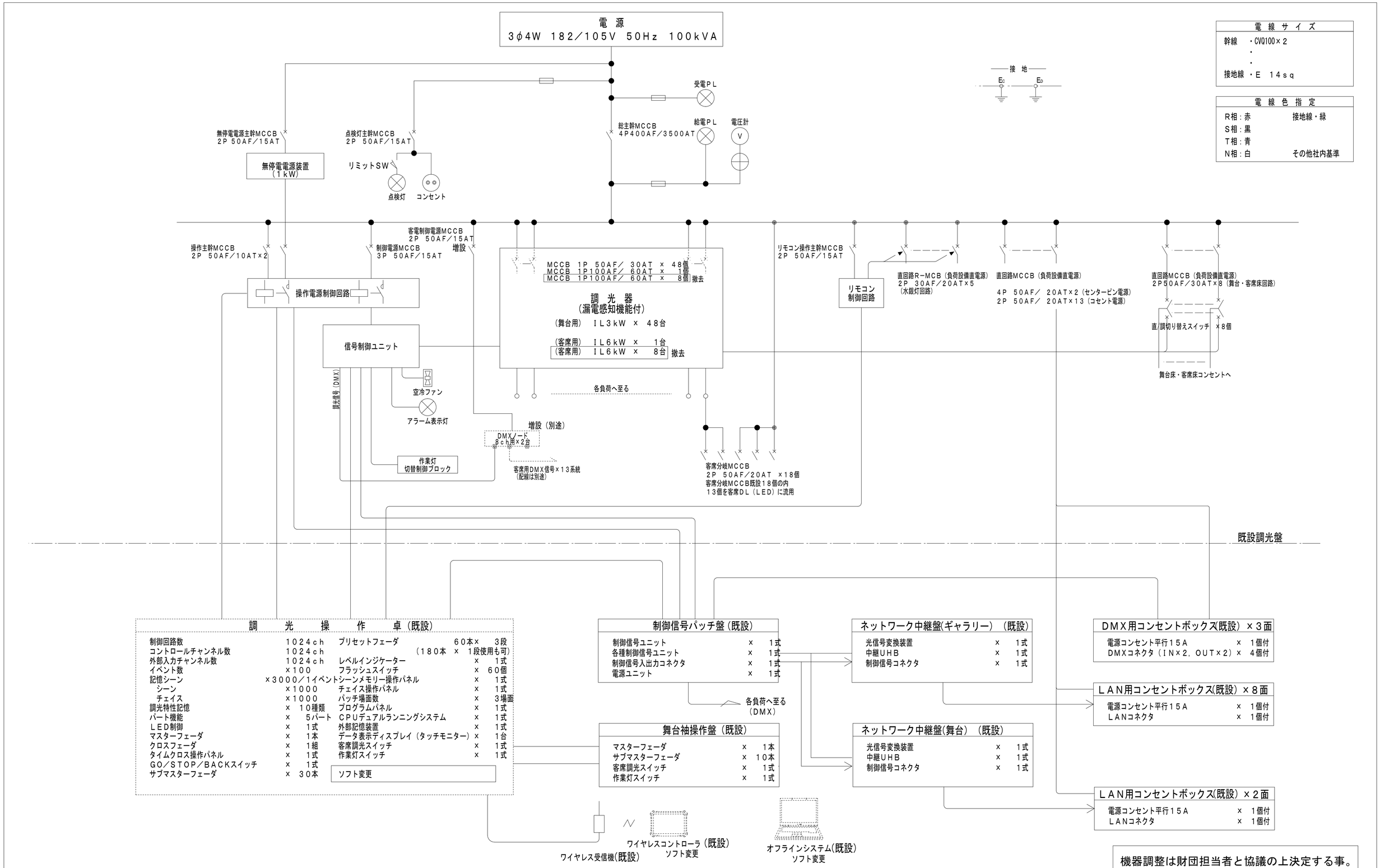
工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

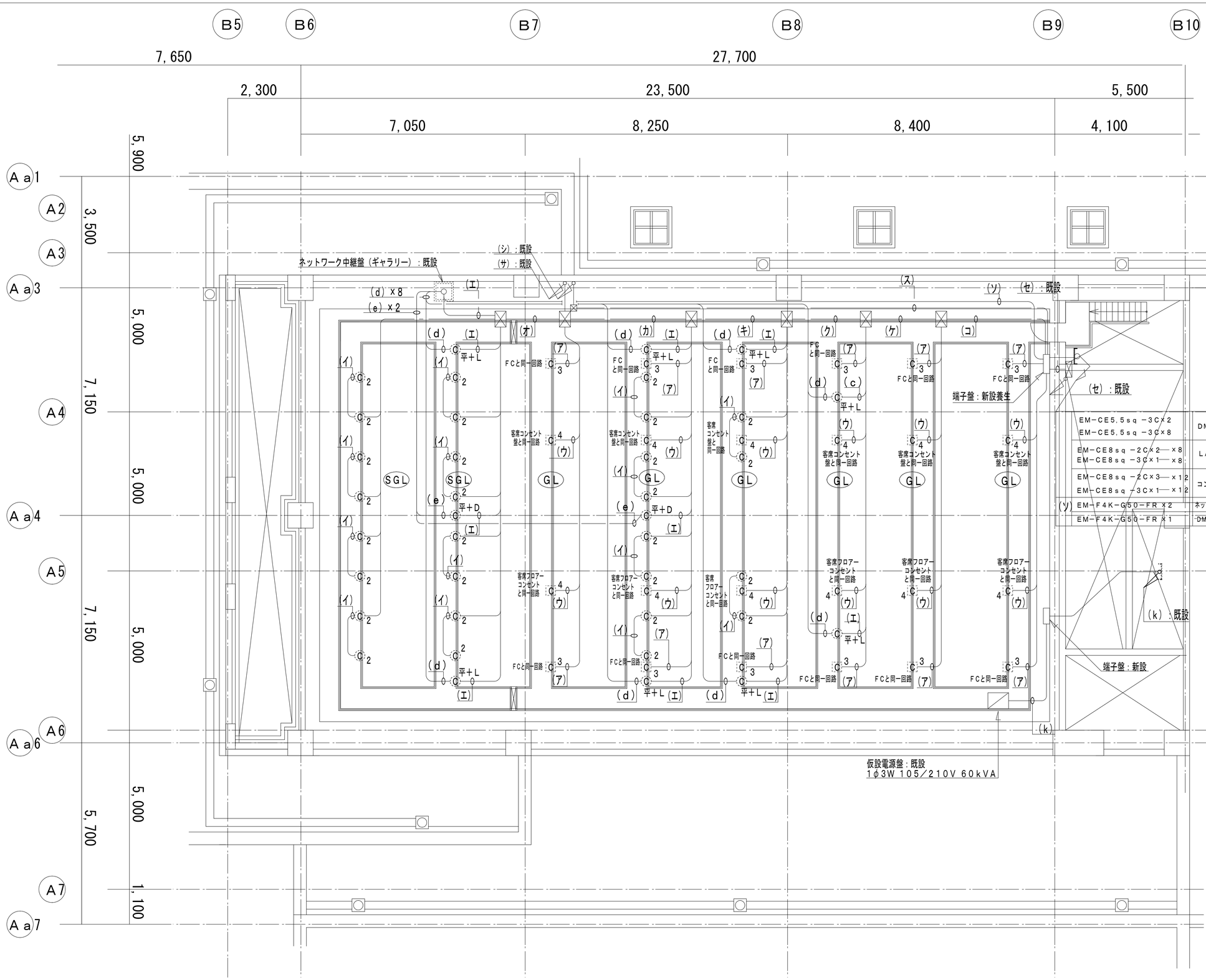
図面名称　舞台照明設備 客席シーリングレベルメインホール平面図（改修）

縮尺　A1:1/160　A3:1/320

図面番号　E-034



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台照明設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ系統図(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S / 図面番号 E-035



【凡 例】

記 号	仕 様	改修内容
C 2	フロアーコンセント：C型20Aコンセント 2口用 コンセント交換	既設
C 3	コンセントボックス：C型30Aコンセント 3口用	既設
C 4	コンセントボックス：C型30Aコンセント 4口用	既設
C 平+L	コネクタボックス：平行15Aコンセント 1個付 制御信号コネクタ（LAN 1個付）	既設
C 平+D	コネクタボックス：平行15Aコンセント 1個付 制御信号コネクタ（DMX 1個付）	既設

SGL	ステージギャラリーライト
GL	ギャラリーライト

配 線 記 号

(a)	EM−CE8sq −2C×2	調光盤より
	EM−CE8sq −3C×1	
(b)	EM−CE8sq −2C×3	調光盤より
	EM−CE8sq −3C×1	
(c)	EM−CE5.5sq −3C×1	調光盤より
(d)	LANケーブル（CAT5e） ×1	ネットワーク中継盤より
(e)	KK−2P−9 ×1	ネットワーク中継盤より
(k)	EM−CE150sq ×1	
	E22sq ×1	

EM−CE5.5sq −3C×2		DMX⇔ 調光盤
EM−CE5.5sq −3C×8		
EM−CE8sq −2C×2— ×8		LAN⇔ 調光盤
EM−CE8sq −3C×1— ×8		
EM−CE8sq −2C×3— ×12		コンセント⇔ 調光盤
EM−CE8sq −3C×1— ×12		
(ソ) EM−F4K−G50−FR ×2		ネットワーク中継盤より
EM−F4K−G50−FR ×1		DMXパッチ盤より

配 線 記 号

(ア)	EM−IE8sq×6，E3．5sq（E39）	
(イ)	EM−IE8sq×4，E3．5sq（E31）	
(ウ)	EM−IE8sq×8，E3．5sq（E39）	
(エ)	EM−IE5．5sq×2，E3．5sq（E25）	調光盤より
(オ)	EM−IE8sq×16，（E51）	調光盤より
	EM−IE8sq×16，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×8（E31）	
(カ)	EM−IE8sq×16（E51）×6	調光盤より
	EM−IE8sq×12（E51）	
	EM−IE8sq×12，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×8（E31）	
(キ)	EM−IE8sq×16（E51）×8	
	EM−IE8sq×12（E51）×2	
	EM−IE8sq×12，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×14（E51）	
(ク)	EM−IE8sq×16（E51）×9	
	EM−IE8sq×12（E51）×3	
	EM−IE8sq×12，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×10（E39）	
	EM−IE5．5sq×18（E39）	
(ケ)	EM−IE8sq×16（E51）×10	
	EM−IE8sq×12（E51）×4	
	EM−IE8sq×12，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×14（E39）	
	EM−IE5．5sq×18（E39）	
(コ)	EM−IE8sq×16（E51）×11	
	EM−IE8sq×12（E51）×5	
	EM−IE8sq×12，E8sq（E51）	
	EM−IE5．5sq×14（E39）	
	EM−IE5．5sq×18（E39）	
(セ)	8sq×16（E51）×6	調光盤より
	8sq×8，E8sq（E51）	
	CPEVS0．9−15P×1，E3．5sq（E39）	
(シ)	CPEVS0．9−15P×1，E3．5sq（E39）	
(ス)	EM−CPEE0．9−15P×1，E3．5sq（E39）	

記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 舞台照明設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/60 A3:1/120 / 図面番号 E-036

富士見市民会館キラリふじみメインホールおよびマルチホール
音響関係工事特記仕様書

＜特記事項＞
各工事関係施工者は、下記に示す音響性能目標値の実現に努める
＊メインホールの残響時間目標値　（舞台音響反射板設置時）
約１．5秒程度　（中音域、満席状態）
＊マルチホールの残響時間目標値　（舞台音響反射板設置時）
約１秒程度　　（中音域、満席状態）

＜特記仕様＞
本特記仕様書は、メインホールおよびマルチホールに関して、所期の音響性能を実現するために
必要な遮音、吸音構造の材料の選定、施工等、音響関係工事について規定するものである。
※工事発注区分による
建築以外の工事担当者において区分がわかれているとき、本仕様書に従い建築工事担当者と
十分に検討協議して施工方法を決定し、監理者に承諾を得て施工すること。

1. 共通事項
1. 1. 音響性能目標値の実現について
各工事関係施工者は、特記事項および本特記仕様書に示す音響性能目標値の実現に努める。
本ホールは音響性能が重要であるため、音響に関わる施工検討会を適宜一定期間継続して実施する。
・施工検討会メンバーについては基本は下記の通りとする。（内容に応じて招集する。）
・監理者・建築施工業者・音響専門機関・電気施工業者・機械設備施工業者

1. 2. 設計・仕様変更の報告と承諾について
施工段階において、音響性能上重要な部分の詳細ディテールについては、
図面を作成し設計監理者に施工方法を確認し承諾を得ること。
種々の理由から設計図書に指示されていることと異なった施工を行わざるを得なかった場合、
その理由について文書をもって報告し、監督員及び監理者（or音響設計部門）の
指示、承諾を受ける。

1. 3. 施工図の承諾について
遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関係した建築施工図および空調設備、電気音響設備等の
建築設備施工図については、施工前に音響上のチェックを受ける。－

1. 4. 音響関連材料等の音響性能および調査
次のような音響関連材料のうち特殊なものについては、音響性能試験（ＪＩＳ等による）の
データーの提出を求めることがある。音響特性データがない材料については測定を実施する。
(1) 防音建具（枠含む）の遮音性能（JIS A 1416に基づく）　○あり　・なし
(2) 客席椅子の吸音力　（既存客席椅子および新規客席椅子）　○あり　・なし
(3) 消音器等の消音性能　○あり　・なし
(4) その他特に必要と認められるもの

1. 5. 施工上における音響関連工事に関わる確認、検討について
音響関連工事に関わる確認、検討については、音響専門機関が監理者に協力し、
、技術協力・指導を行う。
音響専門機関は監督員及び監理者の承諾を得た専門機関とする。
この音響関連工事に関わる技術協力、指導費用は施工者の負担とする。

1. 6. 検査・測定について
設計で意図した音響性能が得られているかどうか、施工中及び完工時において、
音響専門機関において検査・測定をおこなう。検査・測定の費用は施工者の負担とする。
その結果、設計で意図した音響性能が得られていない場合には、
原因を明らかにし改善対策についての検討をおこなう。
(1)_施工中に検査・測定を実施する場合、各工事関係者は随時、工事途中の開口や隙間に
ついてはこれをふさぐ等の協力に努める。－
・施工中検査　・あり　⊙なし
(2)_完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で

2. 建築工事　検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。
2. 1. 遮音・防振構造
遮音工事にあたり、隙間処理、気密性の確保、ブリッジ回避等、細心の注意を払って施工する。
(1) 材料

a._指定のものを必ず使用する。不明な場合は、設計監理者（必要に応じて音響専門機関を含む、
b._グラスウール、ロックウール等の吸音材については、用途種別、厚さ、密度について
以下同様）に見本を提出し承諾を受ける。
(2) 隙間の防止と気密性の確保
指定のものを使用する。

a._コンクリート躯体の"豆板""す"等は、はつったあとモルタルで補修をおこなう。
b._配電盤、非常用設備等の設置により、遮音壁の厚さに変化が生じた場合は、
必ず背面に遮音層を追加する。
c._コンクリートブロックと躯体間、ボード間の隙間、ALCの目地等、遮音壁の取り合い部の隙間に
対しては、構成材料のもつ遮音性能が十分に得られるよう隙間を処理する。隙間の処理は、
（油性）コーキング材充填、モルタル充填、石膏ボード増貼、鉛シート貼等により
入念におこなう。
d._遮音層を貫通する吊りボルト、支持金物等との隙間に対しては同様にコーキング又は
グラスウール充填等遮音種別の仕様にあわせて施工する。
e._ダクト、パイプの遮音層貫通部は、隙間がないよう施工する。
f._防音扉の扉枠と躯体、サッシと躯体の間の隙間に対しては、モルタル詰めをおこなう。
g._防音扉周辺のゴムパッキンの調整、エアタイト及びグレモンハンドルの引き寄せの調整は、
特に念入りに行い気密性を保つようにする。

(3) 浮き構造の施工(必要に応じて)
h._防音扉の戸当り、召し合せの調整は、責任を持っておこなう。
a._防振層と躯体との間には、ブリッジがないようにする。
b._浮き構造をダクト、パイプ等が貫通する場合には、ブリッジが生じないようにする。
c._防振ゴムは、均等に正規の加重がかかるように調整する。

e._詳細図とともに計算書を提出する。

2. 2. 吸音構造及びビリツキの防止
(1) 吸音構造
a._必ず指定のものを使用する。不明の場合には、必ず監理者に見本を提出し承諾を受ける。
b._とくに間違いやすい材料は、つぎのとおりである。
イ）　グラスウール、ロックウール
ロ）　有孔板（孔径、ピッチ）
ハ）　岩綿成形板（メーカ、施工法により吸音特性が異なる）
ニ）　木毛セメント板と木片セメント板（普通級と硬質級）
ホ）　吹付材
c._グラスウール、ロックウール等の吸音材は、必ずJIS A 6301の吸音材料に規定された
製品を使用する。　厚さ、密度についても指定のものを使用する。
d._有孔板の孔径、孔中心間隔、リブの寸法、ピッチは必ず指定されたものを使用する。
e._有孔板の裏打ち原紙については、特に指示のない限り、取りはずしてから施工する。
f._吸音材、有孔板等の表面の塗料及び塗装方法については、予め設計監理者の承諾を得る。
g._有孔板、無孔板等の背後の空気層については、指示どおり吸音材と躯体との間に設ける。
特に厚さを確保することに留意する。
h._有孔板、グラスウール、空気層の組み合わせによる吸音構造については、
特にお互いの位置関係に注意し、これについては詳細図を作成し、予め監理者の承諾を得る。
i._木毛セメント板、木片セメント板については、厚さや製品の違いにより特性に差が
生じやすいため、予め監理者の承諾を得る。

(2) ビリツキの防止
内装およびその下地は、ビリツいて音が生じない施工とする。
また、置忘れたビス等の廃材がビリツキを誘引することがあるので置忘れがないよう留意する。

3. 建築設備工事
3. 1. 室内許容騒音目標値
本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。
室内許容騒音は、既存同等とする。
既存の空調設備騒音の実測値(令和5年9月調査時)は以下の通りである。
メインホール　NC-19
(改修事前測定時において舞台客席中央にて舞台幕、調光器盤及び機構操作卓用分電盤停止時)
マルチホール　NC-20(客席中央)　NC-21(舞台中央)

3. 2. 機器の選定と騒音・振動データの提出(必要に応じて)
a._空調、給排水衛生、電気、昇降設備等の機器類は、できるだけ騒音及び振動の少ない
機器を選定する。なお、必要に応じて運転時の騒音、振動のデータの提出を求めることがある。
b._送風機、ポンプ、冷凍機、エレベータ、エスカレータなどの主要な設備機器については、
騒音、振動についてのデータを提出する。
特に送風機については、発生騒音のパワーレベル資料を提出する。
その結果異常が認められた場合には変更をするか、
あるいはメーカ側においてしかるべき対策をおこなう。
c._音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、
スピーカ系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器に
ついては、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。

3. 3. 工場検査(必要に応じて)
送風機など主要な機器については、工場検査時に設計監理者立会いのもと発生騒音、
振動の検査・測定をおこなう。

3. 4. 機器、ダクト、パイプの防振工事
a._騒音及び振動となり得るホール周辺の機器、ダクト、パイプ、変圧器、昇降設備機器等は
原則として防振をおこなう。その範囲については、監理者の指示に従う。
b._各防振材については、できるだけ所定の荷重が均等にかかるように調整する。
c._機器の防振支持構造については、詳細図とともに計算書を提出する。

3. 5. ダクト、パイプの躯体及び遮音構造の貫通
a._原則として、遮音構造への貫通は行わないものとする。
b._躯体への振動伝達の防止、隙間よりの音洩れの防止を図る。
c._浮き構造貫通部については、ブリッジが生じない構造とする。

3. 6. 空調、換気設備
(1)ダクト
a._風速の過大、風量のアンバランス等によって、渦流音が発生しないようなダクト配置、
ダクトサイズを選定する。
b._ＳＡダクトは、ＳＡエルボまたは吸音チャンバとし、必要に応じて消音器、内張ダクト等を用いる。
ＳＡダクトの内貼り材料は、とくに指示がない限り、厚さ50mm以上、密度32kg/m3以上の
グラスウールまたはロックウールとする。－
c._ホール系統の空調用ＳＡダクトの板圧は共仕記載の適用表示厚さの１サイズアップとし、
下記を適用する。

ダクト長辺長さ	適用表示厚さ
450以下	0.6
450を超え750以下	0.8
750を超え1,500以下	1.0
1,500以上	1.2

(2)風量調節施工後は風量を調節し、その結果を監理者に報告する。

(3) 施工上の注意点a._送風機騒音は、設計目標値を満足するものでなければならない。
b._ＳＡダクトからの音洩れによる障害があってはならない。そのおそれがある場合には、
ＳＡダクトの設置、機器やダクトの遮音をおこなう。
c._ダクトを通してのクロストークのおそれがある個所には、吸音ダクトを設置する。
d._排煙ダクトを通して外部騒音侵入、風音の発生があると考えられる場所には、
吸音ダクト又はガラリチャンバー内に遮蔽板を設ける。
e._室外機、クーリングタワー、外気取り入れ口、排気口からの騒音は境界線において
環境基準を満足するものでなければならない。

4. 舞台設備工事
4. 1. 室内許容騒音目標値本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。
ホールの室内許容騒音は前項3.1.を参照のこと。

4. 2. 舞台機構・舞台照明設備
a._舞台機構、舞台照明設備に関連する機器は、できるだけ騒音及び振動の少ない機器を選定する。
b._それ等の機器については必要に応じて騒音及び振動データの提出を求めることがある。
その結果異常が認められた場合はしかるべき対策を講じる。
c._吊り物、昇降装置の作動時に異常騒音の発生がないことを確認する。
d._照明、調光器の動作時に異常騒音の発生がないことを確認する。
e._音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、スピーカ
系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器については、
電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。

4. 3. 舞台音響設備
(1)電気音響設備動作特性の目標値公共ホールでの電気音響設備動作特性の標準目標値を以下に示す。
改修後の復元時もこの性能を標準とする。このときの動作スピーカは固定設備における
拡声用スピーカとする。舞台幕は設置時、状態（式典、講演会形式）にて実施する。
a._伝送周波数特性
ばらつき１０dB以内
（ピンクノイズ信号にて、１６０～５ｋＨｚ内の1/3
b._音圧レベル分布
ばらつき６dB以内
（中心周波数４ｋＨｚオクターブバンドノイズ信号にて）
c. 安全拡声利得
－１０dB以上
（舞台中央・司会者位置を擬似音源とし、ピンクノイズ信号にて）
d. 最大再生音圧レベル
95dB(c)以上
（ピンクノイズ信号にて）
e. 残留雑音
ＮＣ－２０以下　（現状同等以下）
（最大再生音圧レベル１００dB(c)を得られる状態にて、
調整卓チャンネルフェーダを絞り切った状態）

4. 4. 機器取り付け及び調整
(1) スピーカ取り付けにあたっての注意点
a._スピーカ本体、吊り装置等が建物躯体、内装などに接触しないようにする。
b._内装開口面との取り合いについては、十分に打ち合せを行って施工する。
c._ホーンスピーカは角度の調整が容易にできるよう余裕を十分にとって取付ける。
d._設置方法によっては防振支持をおこなう。

(2) 各機器及び据付け工事
a._各機器類は完工までにほこり、過度の湿気、熱気等により
損傷が与えられないように対策する。

(3) ノイズの防止
a._音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、
スピーカ系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器
については、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。
b._音響回線シールド、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策を確実におこなう。
音響用回線と他の回線を平行して配線する場合は特に注意し、必要な離隔距離をとる。

(4) 調整
機器間を接続し正常動作を確認した後、各機器の入出力レベルの設定、
音量や音質を調整し、設計で意図した性能を満足させること。
調整は、物理特性の確認とともに、聴感によっても判断する。

4. 5.　検査、調整および設備取扱い説明
a._製作機器について、現場搬入前に所定の性能に調整した後、監理者立会いのもとに
検査測定をおこなう。各機器の調整後の検査、測定結果報告書は立会い検査時に提出する。
b._機器設置工事完了後、仕様書・調整基準に従って総合的なテストをおこない、
正常なる動作を確認する。
c._本工事完了引渡し後、操作マニュアルを作成し、担当者に対して設備機器の取扱い及び
操作方法、その他説明を要する場合は、協議の上、一定期間説明をおこなう。

＜音響検査・測定仕様＞

1. 完工時の検査・測定
完工後、下記の要領にて音響検査測定をおこない、
その結果を監督員・監理者に報告をする。

2. 検査・測定計画書の作成
検査・測定実施者は、事前に検査・測定計画書の作成を行い監理者に提出し、
その承諾を得てから検査および測定を実施するものとする。

3. 備品納入時期と測定時期の調整
完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で検査・測定が
実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。
⊙施工前音響残響時間測定時と同じ備品を設置する事。（同じ条件とする。）

4. 対象室および検査・測定項目

		検査・測定項目									
		室内音響性能	建築音響性能			電気音響設備動作特性					
		残響時間	エコータイムパターン	空間の遮音性能（対ホール間）	防音建具の遮音性能（改修した箇所）	空調設備騒音（ＮＣ値）	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試聴試験
対象室	メインホール	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○
	マルチホール	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○

※△は参考程度に確認する。

5. 検査・測定方法
(1)　室内音響性能の測定
a._残響時間　舞台中央に設置した無指向性音源スピーカ（１２面体スピーカ）を使用し、
客席代表点（３箇所以上）にて１２５～８kHzのオクターブバンド周波数毎に求めた
残響波形から残響時間を読み取る。
b._エコータイムパターン　舞台中央に設置した無指向性音源スピーカ（１２面体スピーカ）を
使用し、客席代表点（３箇所以上）にて短音残響波形（エコータイムパターン）を観測する。

(2)　建築音響性能の測定
a._室間の遮音性能 JIS　A 1417 「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。
音源側でスピーカから中心周波数６３～４kHzのオクターブバンドノイズを発生させ、
音源側および受音側の代表点（原則３箇所、室規模に準じて増減）でオクターブバンドレベルを
測定し、その差から室間平均音圧レベル差として遮音性能を求める。
b._防音建具の遮音性能　JIS　A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。
音源側でスピーカから中心周波数６３～４kHzのオクターブバンドノイズを発生させ、
音源側および受音側の代表点（原則２箇所、室および建具規模に準じて増減）で
オクターブバンドレベルを測定し、その差から特定場所間音圧レベル差として遮音性能を求める。
c._空調設備騒音（NC値）　空調機運転状態における各室のオクターブバンドレベルを
代表点数点で測定し、その値からＮＣ値を求める。

(3)　電気音響設備動作特性の測定
動作スピーカは、固定設備における拡声用スピーカとする。（その他、）a.d.の項目に
ついては拡声用に加えて効果音用スピーカを個別に動作させた状態に於いても実施する。
a._伝送周波数特性
各スピーカからピンクノイズ信号を再生させ、舞台上代表点（２箇所以上、拡声音用および
効果音用スピーカを動作時）および客席代表点（６箇所以上）において、31.5~20.000Hzの
1/3オクターブ毎に中心周波数の音圧レベルを読み取り伝送周波数特性を求める。
b._音圧レベル分布
拡声用スピーカから中心周波数４kHzのオクターブバンドノイズを再生させ、
客席各点（１列、１席おき）における音圧レベルを読み取る。
c._安全拡声利得
舞台中央・司会者位置において拡声用マイクロホンを使用し、ハウリングを生ずるレベルより
利得を６dB小さくした状態で、擬似音源スピーカからピンクノイズ信号を発生させる。
この状態でマイク面の音圧レベルと、ホール内拡声状態における客席代表点（室中央）の
音圧レベルとの差を求める。
d._最大再生音圧レベル(参考)
各スピーカからピンクノイズ信号を、歪なく再生できる最大レベルで再生させ、
客席代表点（室中央）における音圧レベルを読み取る。
e._残留雑音(参考)
最大再生音圧レベルを確認後、調整卓チャンネルフェーダを絞りきり、客席における音圧レベル
分布で最大の席において（１箇所以上）のオクターブバンドレベル（ｄＢ）を読み取り、
ＮＣ値を求める。暗騒音も同席に於いて測定する。
f._試聴試験
拡声用マイクによる拡声音および再生音が、正常であることに加え、良好な音質や充分な
音量であることを確認する。

6. 検査・測定報告書の作成
測定完了後4週間以内に音響検査・測定報告書を5部作成し監理者に提出する。

＜備考＞
※設計監理者とは必要に応じて音響専門機関を含む

記事
（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称　舞台音響設備 特記仕様書(改修)

縮尺　A1:N/S　A3:N/S

図面番号　E-037

No.	名称	仕様	数量		メーカー	型　番	撤去	再取付	更新	残置							
A	メインホール舞台音響設備																
1	プロセニアムスピーカ		1	式													
	ラインアレイスピーカA	2wayフルレンジ、構成 LF:381mm(15インチ) x1,HF:38mm(1.5インチ) x1	4	台	L-ACOUSTICS	A10-WIDE											
		指向角度(水平x垂直):60° x60° 、許容入力 パッシブ750W (連続)															
		音圧レベル (1W,1m) 96dB SPL、周波数レンジ (-10dB) 34Hz～20kHz															
		駆動方式 パッシブ/バイアンプ(内部ジャンパー切替)、インピーダンス 8Ω															
	ラインアレイスピーカB	2wayフルレンジ、構成 LF:381mm(15インチ) x1,HF:38mm(1.5インチ) x1	4	台	L-ACOUSTICS	A10-FOCUS											
		指向角度(水平x垂直):60° x60° 、許容入力 パッシブ750W (連続)															
		音圧レベル (1W,1m) 96dB SPL、周波数レンジ (-10dB) 34Hz～20kHz															
		駆動方式 パッシブ/バイアンプ(内部ジャンパー切替)、インピーダンス 8Ω															
	フライング金具		2	台	L-ACOUSTICS	A10-BUMP											
	プルバック金具		2	台	L-ACOUSTICS	A10-RIGBAR											
	取付架台/金具一式		2	台		特型											
2	サイドスピーカ		1	式													
	ラインアレイスピーカB	2wayフルレンジ、構成 LF:381mm(15インチ) x1,HF:38mm(1.5インチ) x1	6	台	L-ACOUSTICS	A10-FOCUS											
		指向角度(水平x垂直):60° x60° 、許容入力 パッシブ750W (連続)															
		音圧レベル (1W,1m) 96dB SPL、周波数レンジ (-10dB) 34Hz～20kHz															
		駆動方式 パッシブ/バイアンプ(内部ジャンパー切替)、インピーダンス 8Ω															
	サブウーハー	ハイパワーコンパクトサブウーハー、1×21インチネオジウムコーンドライバー、バスレフ、８Ω	4	台	L-ACOUSTICS	KS21											
	チルト金具		2	台	L-ACOUSTICS	A-TILT											
	取付架台/金具一式		2	台		特型											
3	インフィルスピーカ	パッシブ2ウェイ同軸エンクロージャー、周波数特性 (-10 dB): 60 Hz - 100 Hz 、最大音圧レベル：129 dB、	1	式													
	コアキシャルスピーカA	構成：低域1 x 8インチ バスレフ ラミナーベント、高域1 x 1.5インチ ネオディミウムコンプレッションドライバー	2	台	L-ACOUSTICS	X8											
		公称指向角度：100° 軸対象、仰角35° 、インピーダンス 8Ω															
		THD (20Hz～20kHz) 0.35%以下、消費電力 950W (1/8出力,ピンクノイズ,4Ω)															
	リギング金具		2	台	L-ACOUSTICS	X-US8											
	取付金具	材質：鋼材組み合わせ、角度可変機構、触れ止めワイヤー、後部遮音シート、防振処理を含む	6	台	L-ACOUSTICS	ETR5											
5	固定ハネ返りスピーカ		1	式													
	コアキシャルスピーカA	2wayフルレンジ、構成 LF:12インチx1,HF:1インチx1、カバレージ角 (水平 x 垂直) 60° x 60°	2	台	L-ACOUSTICS	X12											
		許容入力：500W (Program) 、音圧レベル (1W,1m) :97dB SPL															
		周波数レンジ (-10dB) :63Hz～20kHz、インピーダンス 8Ω															
	リギング金具		2	台	L-ACOUSTICS	X-US12											
	取付金具	ハンガー式、角度可変機構、触れ止めワイヤー	2	台		特型											
6	サイドバルコニー席補助スピーカー		1	式													
	コアキシャルスピーカA	パッシブ2ウェイ同軸エンクロージャー、周波数特性 (-10 dB): 60 Hz - 100 Hz 、最大音圧レベル：129 dB、	2	台	L-ACOUSTICS	X8											
		構成：低域1 x 8インチ バスレフ ラミナーベント、高域1 x 1.5インチ ネオディミウムコンプレッションドライバー															
		公称指向角度：100° 軸対象、仰角35° 、インピーダンス 8Ω															
		THD (20Hz～20kHz) 0.35%以下、消費電力 950W (1/8出力,ピンクノイズ,4Ω)															
	リギング金具		2	台	L-ACOUSTICS	X-US8											
	取付金具		2	台		特型											
7	ホワイエスピーカ	2wayシーリング、構成：5インチDualConcentric搭載／同軸2ウェイ (Omnimagnetテクノロジー採用)	6	台	TANNOY	CMS 503DC LP											
		入力感度(1 W/1 m)：89dBB (1 W = 4 V for 16 Ohms) 、最大音圧 (@1m) ：107 dB (平均) 113 dB (ピーク) 、															
		周波数レンジ (-10dB) :77Hz～24kHz、インピーダンス：16Ω															
8	エアモニタマイク																
	コンデンサマイク	DCバイアスコンデンサー型、指向特性：超指向性、周波数特性：20Hz～20kHz、インピーダンス 50Ω、	2	本	Audio-Technica	BP4073											
		寸法 φ21x233mm、ローカットフィルター付															
	ショックマウント+取付金具	ショックマウント及び取付金具、プレート	2	台	Audio-Technica	AT8410a＋特型											
9	ワイヤレスマイクロホン装置																
	ワイヤレスアンテナ	800MHz帯、λ/2ダイポールアンテナ (付属品) 、50Ω、ブースター付	4	本	SHURE	UA834WB											
10	三点吊マイク装置	電動式、分割型、AC100V、電動巻き上げ装置x3、天井貫通滑車x3	1	式	博電舎												
		操作部、マイク吊り下げ部、ステレオバー、マイクケーブル入り特殊ワイヤー															
11	補聴システム		1	式													
	赤外線ラジエーター	入力：RF、出力：IR、電源：RJ-45 (専用トランスミッターより)	4	台	Listen Technologies	LA-140											
	同上取付金具	角度可変用	4	台	Listen Technologies	LA-32-6											
12	コンセント盤類																
	下手中継コネクタ盤	一部パネル改修系統図参照	1	式		特型											
13	トークバックスピーカー																
	ソフトホーンスピーカ	12 cm防滴型コーンスピーカー、定格入力：30W、周波数特性150Hz-15kHz	4	台	JVC												
		出力音圧レベル：101 dB/W (1 m) 〔第2シグナル入力時 106 dB 10 W (1 m) 〕															
		入力インピーダンス：1 kΩ (10 W) 、500 Ω (20 W) 、330 Ω (30 W)															
14	トークバックシステム機器																
	ワイヤレスアンテナ	300MHz帯・800MHz帯兼用、アンテナ型式：ホイップアンテナ、接続方法：BNCコネクター	4	本	UNIPEX	AA-300											
15	無線式インターカム設備		1	式													
	アクティブアンテナ		2	台	TAMURA	MK-A96											

（注記）
1. 上記機器の取外し・再取付を行う事。
2. 機器調整は財団担当者と協議の上、決定する事。
（既設機器の維持管理業者 (株)アセント（参考））

記事

業務名称

工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号
一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ 機器構成表(改修)

縮尺 A1:N/S A3:N/S

図面番号 E-038

入出力パッチ架

音響調整卓

出力制御架

パワーアンプ架（３階音響機械室）

エアーモニタマイク

エアーモニタマイク

AIR IN1

AIR IN2

エアーモニタマイク

第1ギャラリー

x 4

x 8

第1ギャラリー

フォロースポット室

PRI.

SEC.

4E6x4

x 2

シーリングスポット室

x 2

シーリングスポット室

x 4

フォロースポット室

x 4

3点吊り

x 4

AC100V
音響機器室へ

電動３点吊りマイク装置

3点吊り下手

3点吊り上手

VCT1.25sq×6C/
FANC-1100SH

下手袖コンセント盤

5点吊りマイク盤置
リモート操作盤

舞台床マイクコンセント

4E6x10

x 5

(上手袖側)
舞台集中コンセント盤

下手サイド2P盤
中継コネクタ盤

舞台

4E4-16x1

x 8

x 10

客席

4E4-16x4

x 4

上手袖コンセント盤

PRI.

SEC.

制御

光 2芯
成 2芯
強 1.0芯

YS-50FB

4E4-16x2

共通

YS-50FB×1

4E4-16x2

x 4

共通

x 32

客席

4E4-16x2

床マルチ

4E4-16x2

x 32

床マルチ

4E4-16x2

x 32

集中下手

客席コンセント盤

4E4-8x4

4E4-8x8

4E4-8x2

YS-50FB

4E4-16x1

x 16

客席コンセント盤

PRI.

SEC.

制御

YS-50FB×1

x3

インカム回線より

舞台連絡設備架
電源系統より

AC

ホワイエコンセント

4E6x2

x 2

サイド投光室盤

下手サイド投光室盤

上手サイド投光室盤

4E6x4

x 4

客席マイク

1階客席マイクコンセント

2階客席マイクコンセント

4E6x6

x 6

映写用コンセント

4E6x2

x 2

調光室

調光室マイクコンセント

YS-50FB×1

4E6x8

x 4

客席後方

客席後方コンセント

XLR
調光室モニター

RCA

4E4-8x1

x 4

x 2

調光室モニター

CAT6-STP×3

CAT6-STP×3

PRI.

SEC.

制御

インカム系統へ

出力制御架電源連動

モニタースピーカL

モニタースピーカR

デジタルミキサー(CL3)

非常カット電源

OMNI IN-1

OMNI IN-2

OMNI IN-3

OMNI IN-4

OMNI IN-5

OMNI IN-6

OMNI IN-7

OMNI IN-8

OMNI OUT-1

OMNI OUT-2

OMNI OUT-3

OMNI OUT-4

OMNI OUT-5

OMNI OUT-6

OMNI OUT-7

OMNI OUT-8

入出力カード
8chデジタル

入力カード
4chアナログ

出力カード
8chアナログ

AES/EBU OUT

PRIMARY

SECONDARY

Ethernet

ワイヤレス
アクセスポイント

設定用PC

出力制御架電源連動

x 8

x 4

x 8

マルチモード４芯テープ仕様×２

マルチモード４芯テープ仕様×４

スプライスユニット (RD98-1SC24M-4T)

BLULink×4 制御 トランク PRI SEC 制御 トランク 舞台連絡 トランク 下手袖 トランク1 トランク2 上手袖 トランク1 トランク2

メディアコンバータ

x 8

x 8

Analog in/out

A C

B D

Dante. Pri

Dante. Sec

Ethernet

RS232

BLULink IN

BLULink OUT

(BLU-80G)

I／Oラック

PRIMARY

SECONDARY

ANALOG IN 32

ANALOG OUT 16

AES/EBU OUT 8

(Rio3224-D2)

ITV設備音声L／Rへ

x 2

LANスイッチ

PRIMARY

(GigaCore14R)

PRIMARY

(GigaCore14R)

制御

(GigaCore26i)

x 16

L-4E4-16AT-EM

制御

(GigaCore26i)

録音再生機器ワゴン

ミキシングコンソール
予備電源

(PM800W)

出力制御架電源連動

Analog x 2

AES/EBU

ソリッドステート
・CDレコーダー

(SS-CDR250)

Analog

AES/EBU

x 2

Analog x 2

AES/EBU

ソリッドステート
・CDレコーダー

(SS-CDR250)

Analog

AES/EBU

x 2

A

B

C

D

インカム固定リモート
ステーション

(MS-704)

※iTV電源連動

CDプレーヤー

(CD-500B)

Analog

AES/EBU

x 2

CDプレーヤー

(CD-500B)

Analog

AES/EBU

x 2

ITV架エアモニタMIXより

ITV架エアモニタ音声へ

x 2

電源制御ユニット

(AV-P250LUV)

シグナルスプリッター

CH1

CH2

CH3

CH4

(4X4R)

x 4

x 3

x 3

x 3

※iTV電源連動

出力制御架電源連動

移動型簡易操作卓

PRIMARY

SECONDARY

Ethernet

デジタルミキサー

(QL1)

Input 1~16

OMNI OUT 1~8

RS232

CDプレーヤー

(CD-500B)

ラインコンバーター(LA-40MKIII)

CD／カセット
テープデッキ

(SD-A580)

CD／カセット
テープデッキ

(SD-A580)

電源制御部

(AV-P250LUV)

舞台連絡設備架

※舞台連絡設備図参照

PRI.

SEC.

制御

トラック

4A 4B 5A 5B 6A 6B 7A 7B 8A 8B

スプライスユニット

(RD98-1SC8M-4T)

MS
トリックス

(MS-2A)

x 2

ワイヤレスマイク

x 4

x 2

照明用パラ（MIX）

照明用パラ（エアモニ）

チャイム

ITV電源制御

音響電源パネル

GPI 3 GPI 2 GPI 1 GPI

I/F LAN

COM1 COM2 COM3 COM4

RS232

チャイムユニット

(SS-CDR250)

RS232

232／LAN

232／LAN

232／LAN

α1

α2

β1

β2

ワイヤレスアンテナ

8D-FB

混合器
分配器

(UA844+)

ワイヤレス受信機(4ch)

PRIMARY

SECONDARY

(ULXD4D-AB)

OUT

ワイヤレス受信機(2ch)

PRIMARY

SECONDARY

(ULXD4D-AB)

OUT

LCD
ディスプレイ

オーディオモニター
マスターPC

USB／LAN

アクセスポイント電源

無停電電源装置

電源制御部 I/F

電源 多重 LAN

AC100V／20A×1

AC100V／20A×2

CAT6-STP

CAT6-STP

CAT6-STP

マルチモード４芯テープ仕様×４

スプライスユニット

(RD98-1SC8M-4T)

メディアコンバータ

AES/EBU out

プログラマブルプロセッサA

プログラマブルプロセッサB

RS232

Ethernet

BLULink IN

BLULink OUT

(BLU-160)

Analog out

パワーアンプ(AAX)

PA－A（1）

PA－A（2）

PA－A（3）

PA－A（4）

PA－A（5）

PA－A（6）

PA－A（7）

PA－A（8）

PA－A（9）

AAX MODULE

1000W

DSP

EM-4S12F-EM×40

プロセスピーカー

(A10 FOCUS 35/35)

(A10 FOCUS 35/35)

(A10 WIDE 55/55)

(A10 WIDE 55/55)

下手

上手

サイドスピーカー

(A10 FOCUS 35/35)

(A10 FOCUS 55/35)

(KS21)

下手

上手

(X8) 下手 インフィル

(X8) 上手

(XST) 外 ステフロ

(XST) 中

(X8) 下手 2Fバルコニー

(X8) 上手

(X12) 下手 FB

(X12) 上手

舞台袖コンセント盤

下手

上手

舞台床スピーカーCN

NL

移動スピーカー

(X12)

x 10

第１ギャラリー

※A系：AES/EBU in
※C系：A(1)～A(6) Analog in
※C系：A(7)～A(9) AES/EBUin

赤外線TR

拡張電源部

赤外線ラジエーター

IR

5D-FB

CAT-6

I/F 電源制御部 I/F 電源制御部 I/F 電源制御部

AC100V／20A×1

AC200V／20A×5

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ｼｽﾃﾑ系統図(1)(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S	図面番号 E-039

ＩＴＶ設備

調整室　モニタ（iTV）架

正面カメラ
・PTZカメラ

下手袖
・固定カメラ

上手袖
・固定カメラ

ホワイエＭ１
・ドーム型カメラ

ホワイエＭ２
・ドーム型カメラ

搬入口
・固定カメラ

1階ホワイエＣＮ盤

マルチホール
ＩＴＶへ

マルチモード 4芯テープ仕様×2

入出力パッチ架より
AIR1OUT
AIR2OUT
ITV音声L
ITV音声R

入出力パッチ架へ
エアーモニターMIX OUT

SDI Embedder (Teranex Mini Audio to SDI 12G)

AUDIO Mixer (LM-8ST)

5CHD
L-2.5CHD
Cat6（STP）

PoE HUB (GA-ML8THPoE+)

カメラリモコン (AW-RP50)

15．6型モニタ (SmartView 4K)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11~20 Ethernet

カメラドライブユニット (SC-SCP1008D)

20x20 SDI-Rooter

F.S. (VC-1-DL)

予備入力

スプライスユニット (RD98-1SC8S-4T)

O/E (OS-1R)

E/O (OS-1T)

(Smart Videohub 20x20)

Multi Viewer (Teranex Mini (MultiView4))

Smart Panel)

電源制御ユニット (AV-P2803)

AC100V 20Ax1

録音再生機器ワゴン/インターカム電源へ
パッチ/出力制御架シグナルスプリッター電源へ

舞台連絡設備電源パネル

音響パッチ/出力制御架

I/F (IOP-1000)

音響用

調光用

下手袖

上手袖

録再機ワゴン

映像リモコン (Videohub Master Control Pro)

映像リモコン (Videohub Smart Control Pro)

舞台連絡設備架

映像リモコン (Videohub Master Control Pro)

24型モニタ (SL2380S)

15．6型モニタ (SmartView 4K)

24型モニタ (SL2380S)

AC100V（既設）

2階ホワイエ

1階ホワイエＣＮ盤

予備出力
下手袖コンセント盤組込

予備出力
上手袖コンセント盤組込

映像設備へ

SDI8分配器 (Mini Conv. SDI-Distribution8A)

SDItoHDMI

HDMI

(2T-C22AD)

22型 TV

事務室（天吊）
応接室（卓上）
大楽屋（天吊）
小楽屋M1（天吊）
小楽屋M2（天吊）
中楽屋M1（卓上）
中楽屋M2（卓上）
楽屋事務室（天吊）
アーティストロビー（天吊）
スタッフルーム（天吊）

舞台連絡設備

舞台連絡設備架

トークバック ワイヤレス

トークバックマイク

デジタルミキサー (TF-RACK)

(MEZZ0604)

(MEZZ0324)

I/F

パワーアンプ架（３階音響機械室）

AE1.2-2C

ホワイエ
楽屋
楽屋廊下 その他諸室
応接・事務室
トークバック用

音響設備 入出力パッチより

上下手CN盤
PRI x2
SEC x2
制御 x2

LANスイッチ PRIMARY / SECONDARY (GigaCore10)

LANスイッチ 制御 (GigaCore10)

マルチモードFibre 4芯テープ仕様×2

音響・出力制御架へ

舞台総合操作盤
チャイムスイッチ

AC100V 20A×2

ITV設備 ※ITV設備図参照

インターカム設備 ※インターカム設備図参照

Ethernet

PRIMARY (NY640)

SECONDARY

インターカム設備

音響系統
照明系統
機構系統
進　行

4E4-4AT

MS 4CHメインステーション (MS-704)
4RS 固定リモートステーション（4CH）(RM-704)
4RS 移動リモートステーション（4CH）
RS 固定リモートステーション（2CH）
RS 移動リモートステーション（2CH）x6
ベルトパックステーション（2CH）x6

音響 調光 映写 総合操作盤 上手袖 舞台後上手袖 舞台後上手袖 客席コンセント盤 下手舞台前室 上手舞台前室 舞台袖集中コンセント盤 下手フロントサイド 上手投光室 音響機械室 調光盤機械室 フォロースポット室 シーリングスポット室

効果室

連絡設備架
4w-2wインターフェース (IF-4W4)
ワイアレスインターカム メインコントローラー (MK-C96)

親機 W1

Cat6-STP x1

AC100V

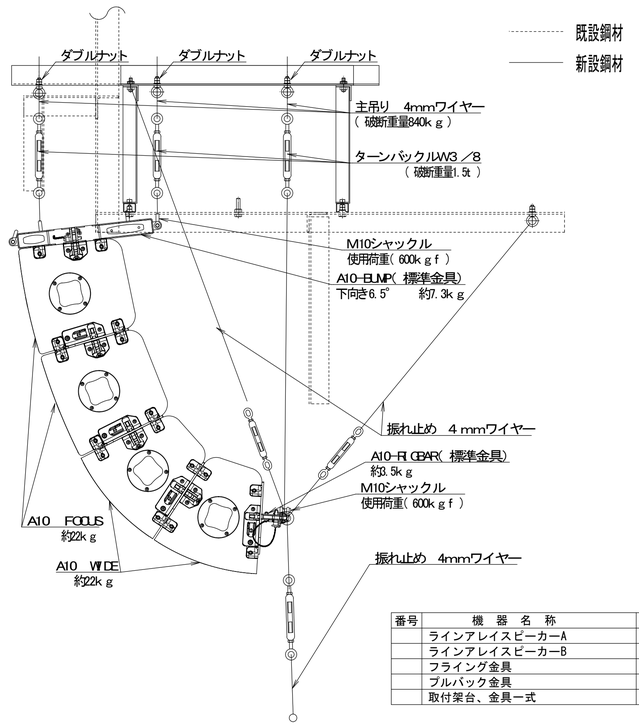
子機 8台

ホワイエ 下手 奥 上手 ― 第1ギャラリー
下手 奥 上手 ― 第2ギャラリー

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事設計業務	工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称：舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ｼｽﾃﾑ系統図(2)(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S / 図面番号 E-040

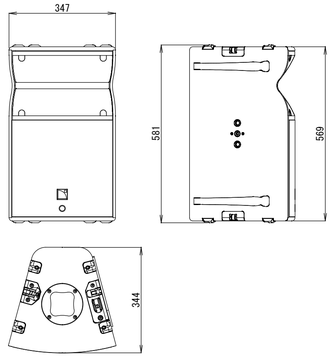
A-1 プロセニアムスピーカー　1／10



2式

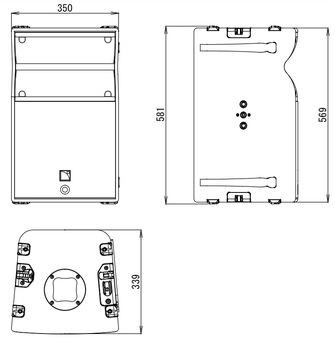
番号	機　器　名　称	数量
	ラインアレイスピーカーA	2台
	ラインアレイスピーカーB	2台
	フライング金具	1台
	プルバック金具	1台
	取付架台、金具一式	1 式

A-1 ラインアレイスピーカーA　1／5

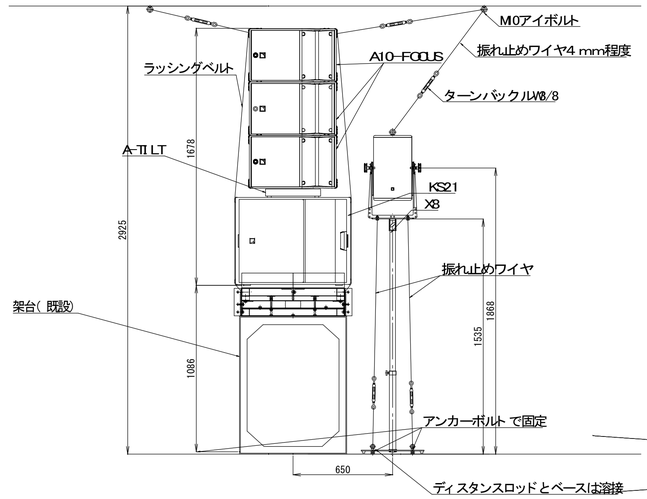


A-1 ラインアレイスピーカーB　1／5

A-2 ラインアレイスピーカーB　1／5



A-2 サイドスピーカー　A-3 インフィルスピーカー　1／20



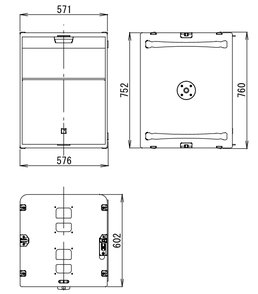
2式

番号	機　器　名　称	数量
	ラインアレイスピーカーB	3台
	サブウーハー	1台
	チルト金具	1台
	取付金具	1式

2式

番号	機　器　名　称	数量
	コアキシャルスピーカーA	1台
	リギング金具	1式
	取付金具	1式

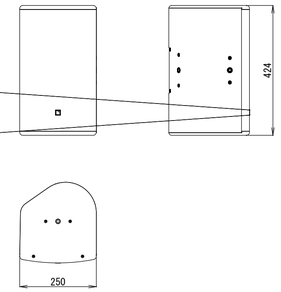
A-2 サブウーハー　1／20



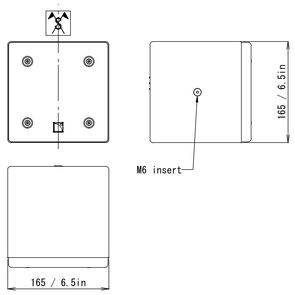
A-3 インフィルスピーカー　1／10

A-6 サイドバルコニー補助スピーカー　1／10

コアキシャルスピーカーA

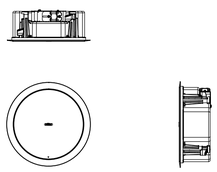


A-4 ステージフロントスピーカー　1／5

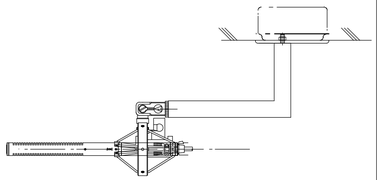


A-7 ホワイエスピーカー　1／10

CMS 503DC LP　TANNOY

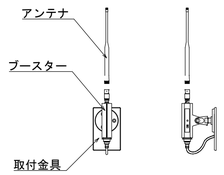


A-8 エアモニターマイクロホン　1／5



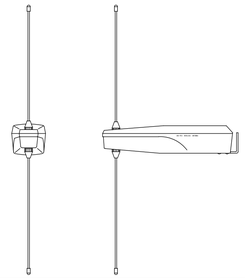
A-9 ワイヤレスマイクロホン装置　1／10

ワイヤレスアンテナブースター



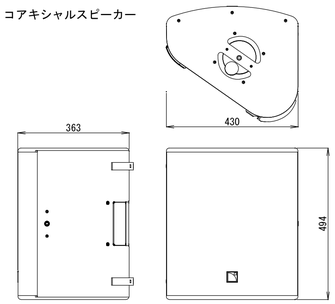
A-14 トークバックシステム機器　1／5

ワイヤレスアンテナ



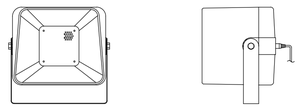
A-5 固定はね返りスピーカー　1／10

コアキシャルスピーカー



A-13 トークバックスピーカー　1／20

ソフトホーンスピーカー

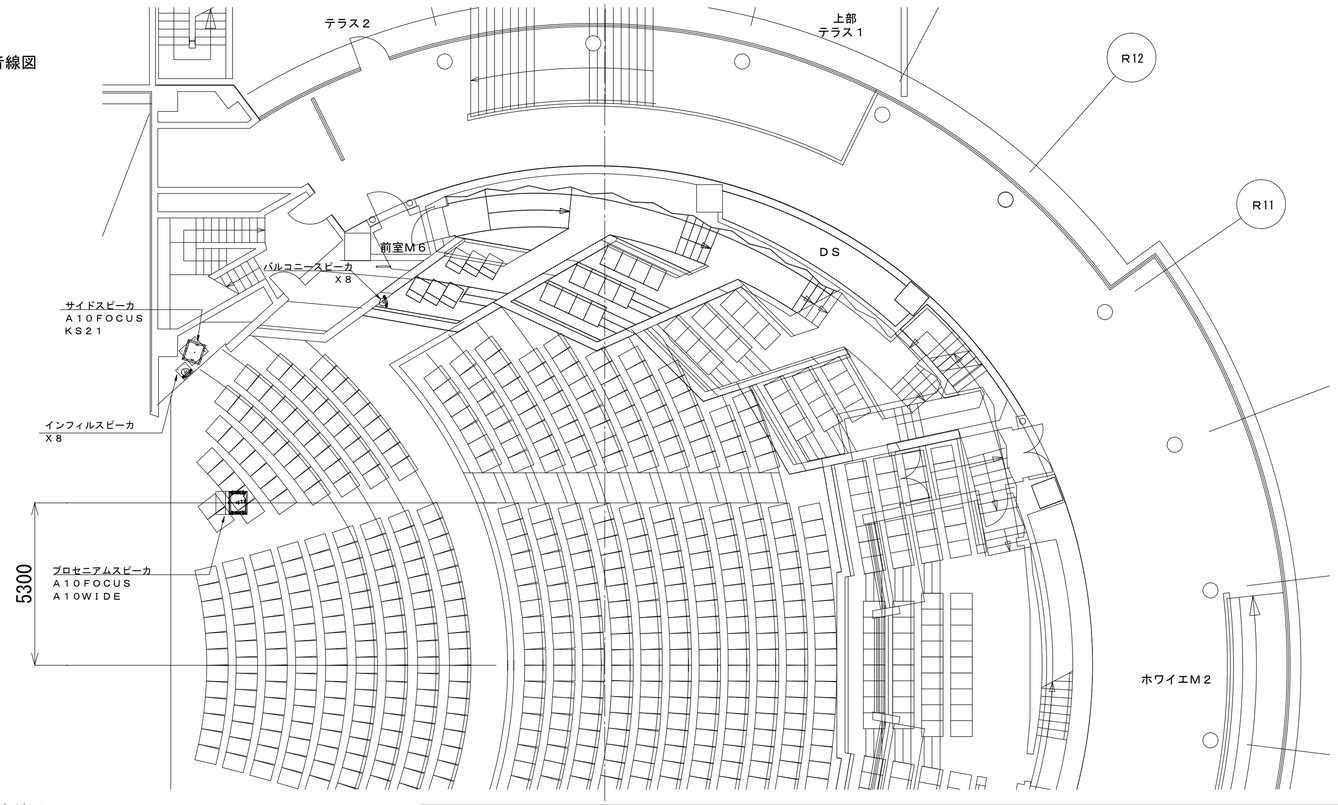


NO SCALE

機器の取付け・再取付けを行う

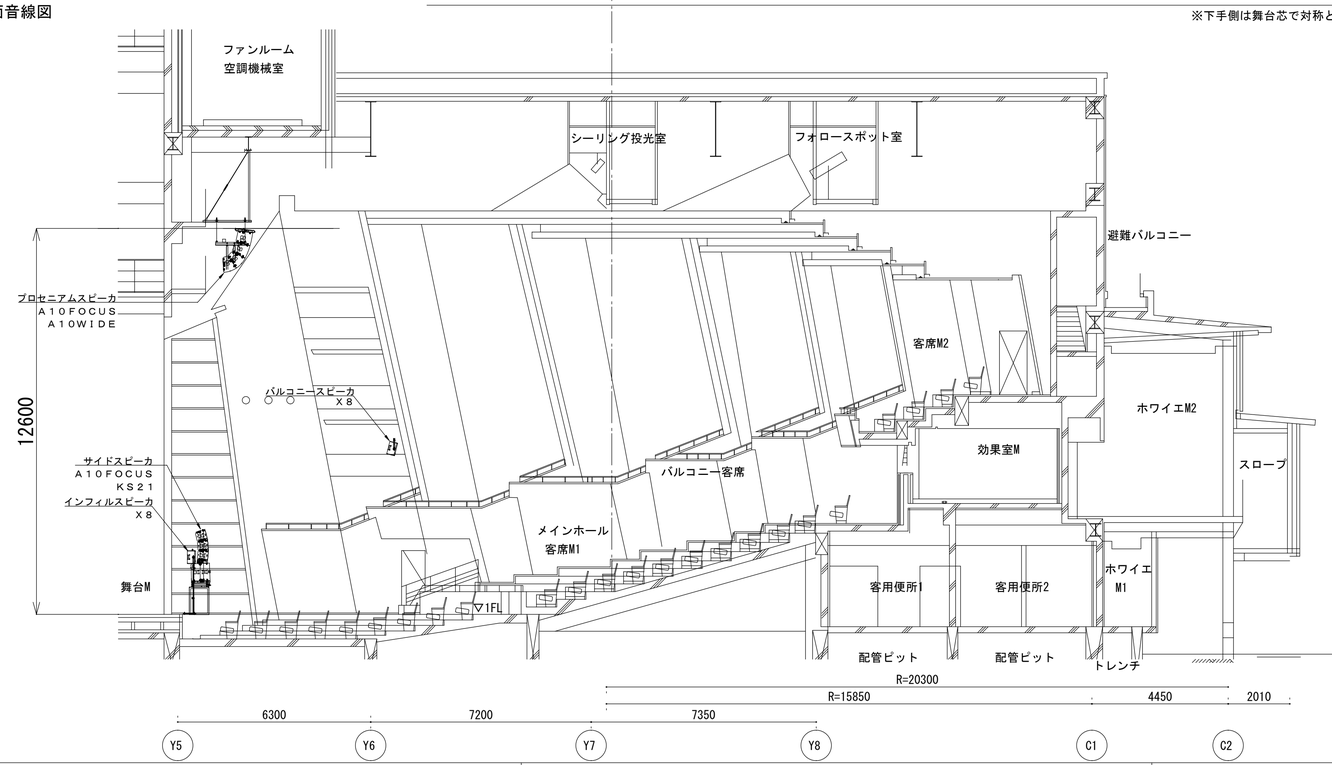
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
	印	図面名称 舞台音響設備 メインホール 機器姿図(改修)	縮尺 A1:1/10 A3:1/20 / 図面番号 E-41

プロセニアムスピーカー・バルコニー補助スピーカー　平面音線図



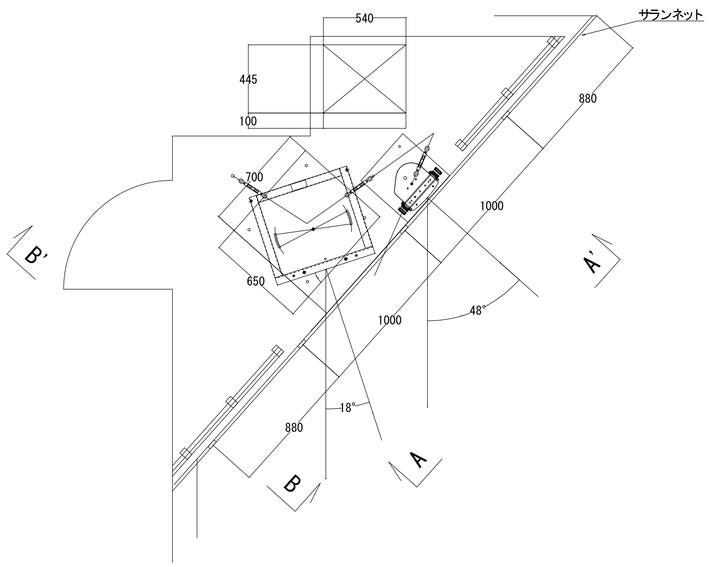
※下手側は舞台芯で対称とする。

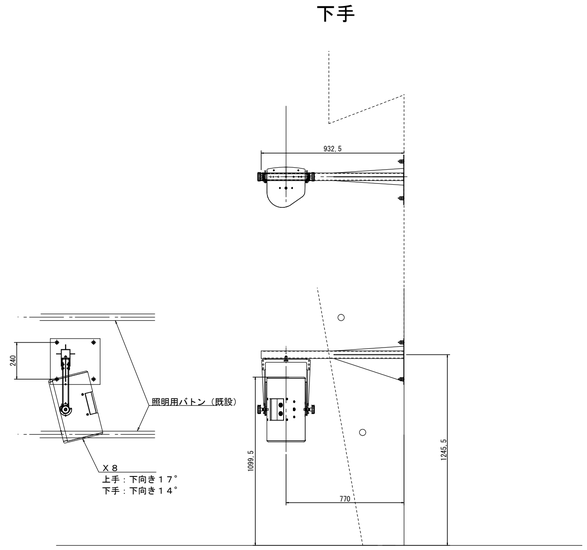
プロセニアムスピーカー・バルコニー補助スピーカー　断面音線図



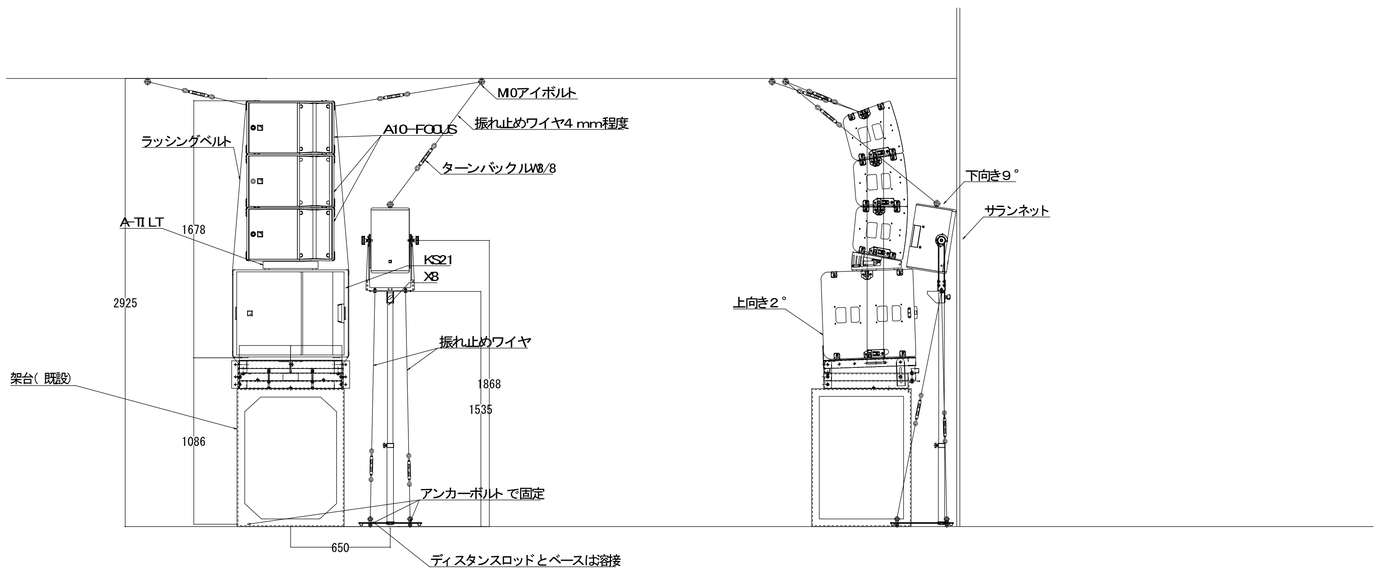
機器の取付け・再取付けを行う

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
	印	図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ｽﾋﾟｰｶｰ機器取付図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			図面番号 E-042





サイドバルコニー補助スピーカー取付参考図

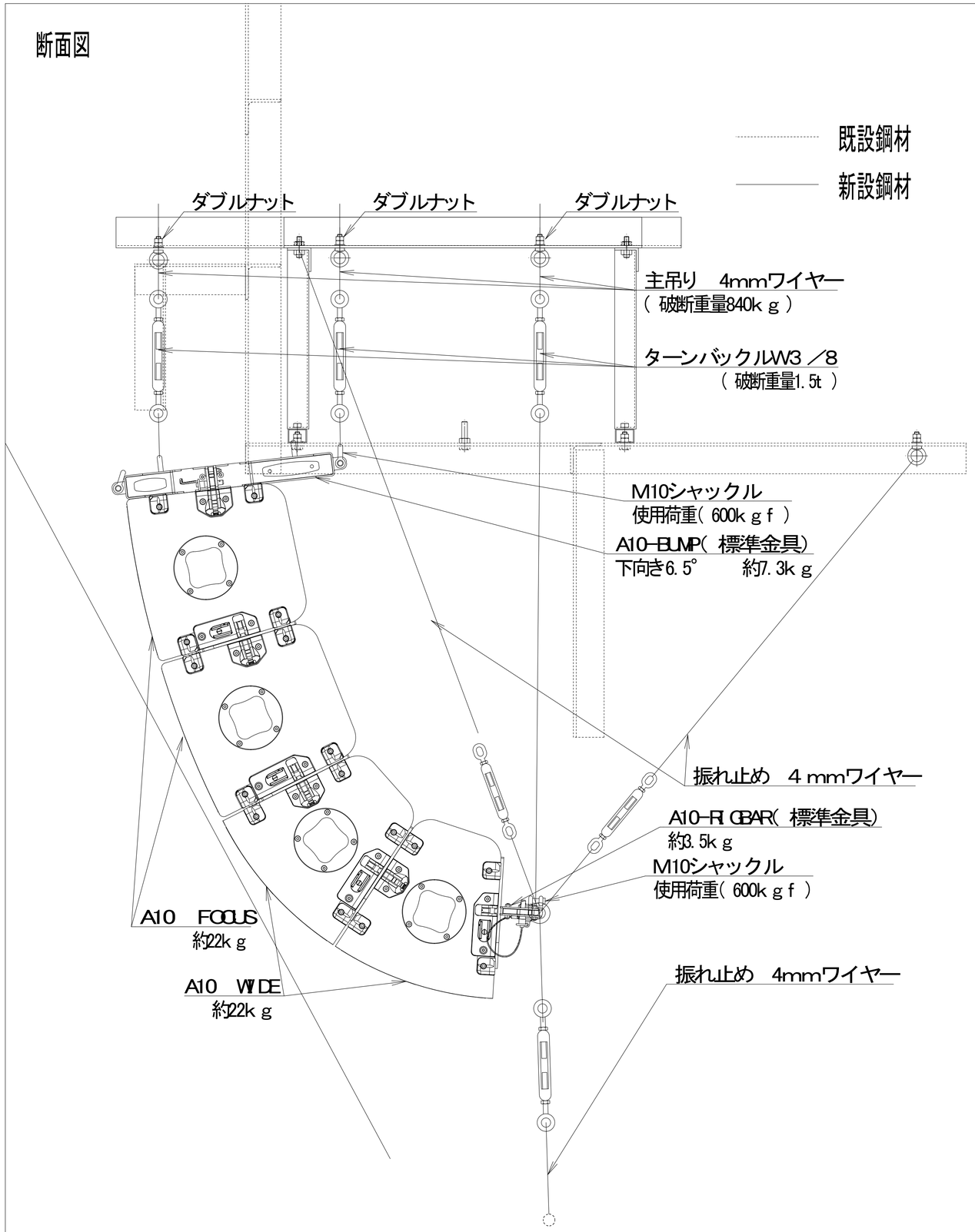


サイドスピーカー取付参考図

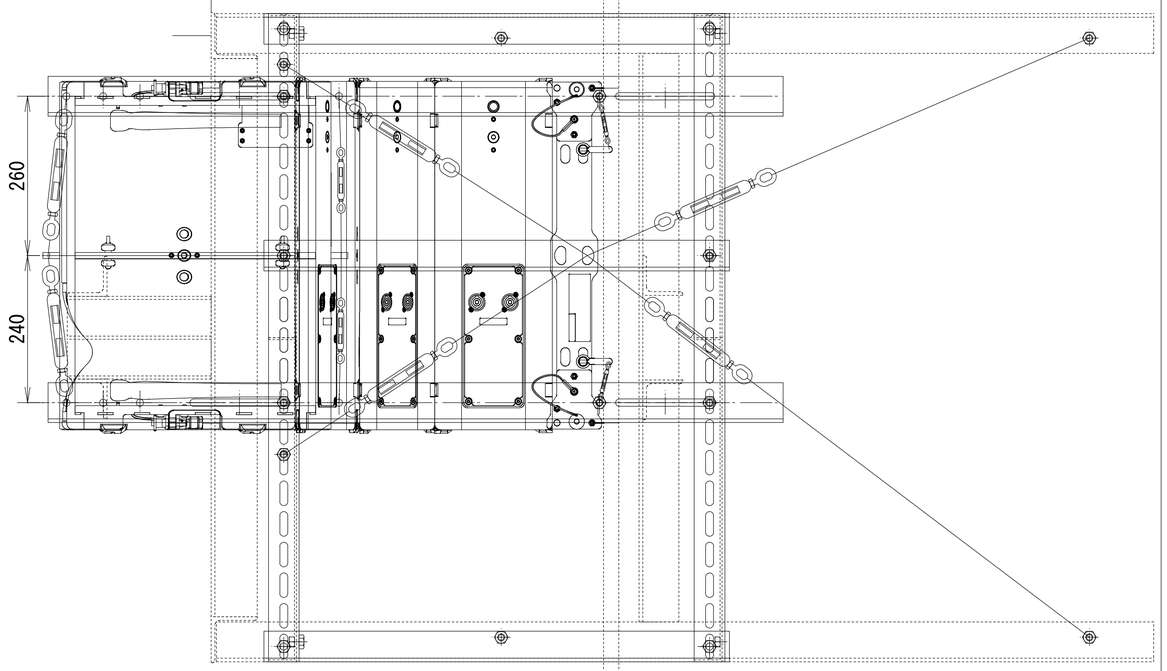
機器の取付け・再取付けを行う

記事		業務名称		工事名称		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		
				図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ｻｲﾄﾞ･ﾊﾞﾙｺﾆｰ ｽﾋﾟｰｶｰ機器取付参考図(改修)	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	図面番号 E-043

断面図



平面図

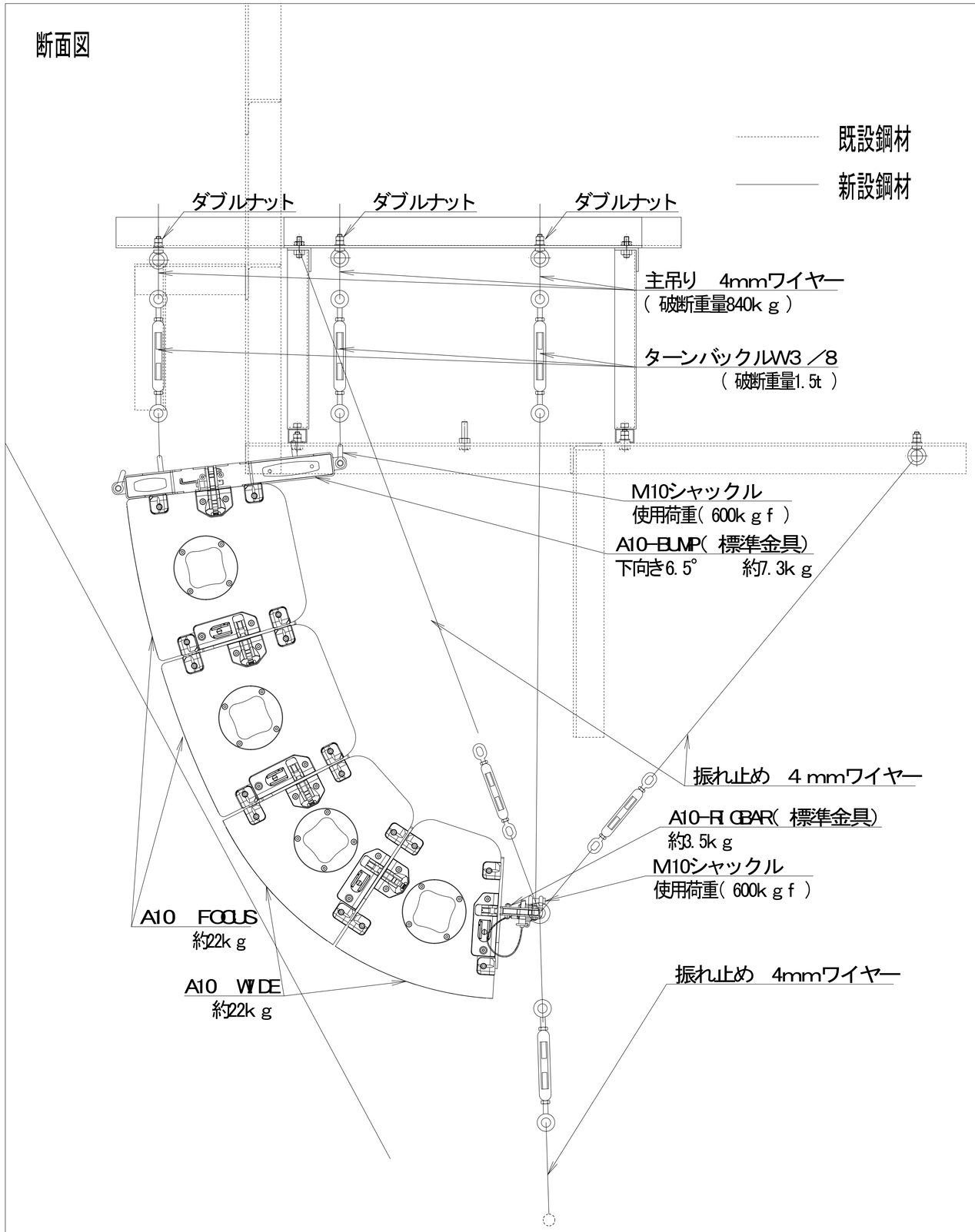


＜耐荷重計算＞
主吊り　4㎜ワイヤー　破断重量８４０ｋｇ
ワイヤー１本あたりにかかる荷重
　＝（7．3＋22＋22＋22＋22＋3．5）／6本
　＝16．47ｋｇ
１０倍の安全率を考慮した場合の耐荷重計算
　８４０ｋｇ／１０＝８４ｋｇ＞16．47ｋｇ
以上より破断力に余裕があり安全であることが確認された。

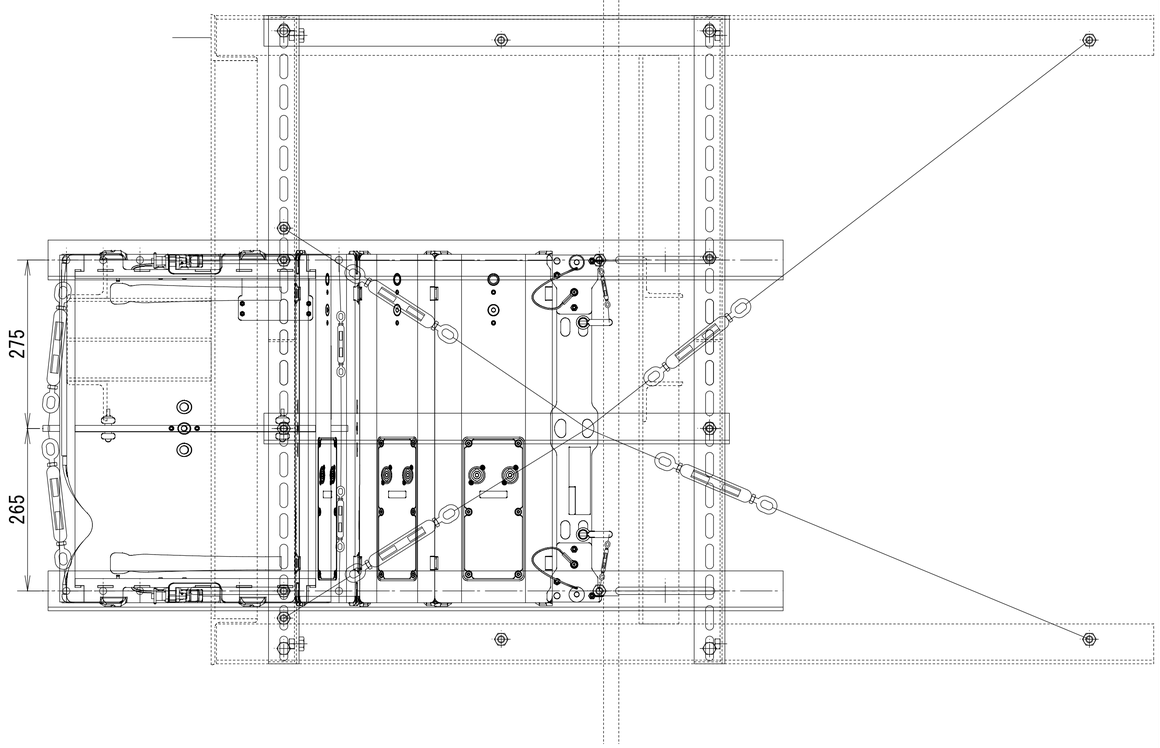
機器の取付け・再取付けを行う

記事		業務名称		工事名称		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		
				図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ﾌﾟﾛｾﾆｱﾑｽﾋﾟｰｶｰ（下手） 機器取付参考図（改修）	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図面番号 E-044

断面図



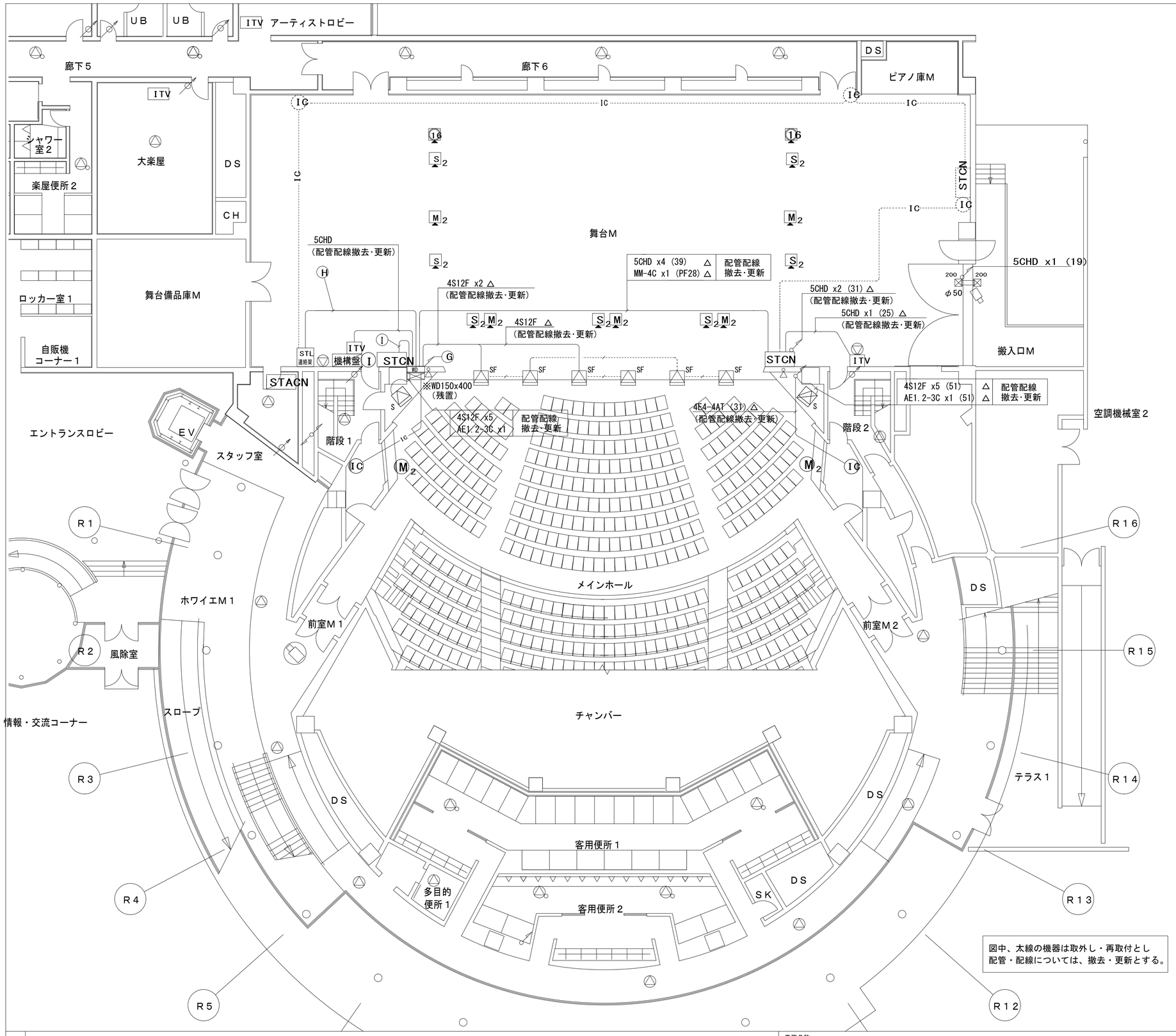
平面図



＜耐荷重計算＞
主吊り　4㎜ワイヤー　破断重量８４０ｋｇ
ワイヤー１本あたりにかかる荷重
　＝（7．3＋２２＋２２＋２２＋２２＋3．5）／6本
　＝１６．４７ｋｇ
１０倍の安全率を考慮した場合の耐荷重計算
　８４０ｋｇ／１０＝８４ｋｇ＞１６．４７ｋｇ
以上より破断力に余裕があり安全であることが確認された。

機器の取付け・再取付けを行う

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 舞台音響設備 ﾒｲﾝﾎｰﾙ ﾌﾟﾛｾﾆｱﾑｽﾋﾟｰｶｰ（上手） 機器取付参考図（改修）	縮尺 A1:1/5 A3:1/10
			図面番号 E-045



2,400
7,400
7,400
6,500
7,000
7,350

Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8

＜プロット凡例＞
特記なきシンボルは以下とする。

＜舞台音響・連絡・インターカム・ITV設備＞	
M 回線数	壁付マイクコンセント
M 回線数	フロアマイクコンセント
S 回線数	壁付スピーカーコンセント
S 回線数	フロアスピーカーコンセント
S FB	側方反射板用フロアスピーカーコンセント
16	フロアマルチコンセント（16ch・メス）
16	フロアマルチコンセント（16ch・オス）
FOHCN	客席コンセント盤
FOYCN	ホワイエコンセント盤
STCN	舞台袖コンセント盤
STACN	スタッフ室コンセント
STRCN	舞台上手袖集中コンセント盤
IO 入出力架	入出力パッチ架
出力制御架	出力制御架
STL 連絡架	舞台連絡設備架
STL CN架	舞台下手袖I/O架
P	プロセニアムスピーカー
S	サイドスピーカー
S2	サイドバルコニー補助スピーカー
M	メインスピーカー
FB	固定はね返りスピーカー
SF	ステージフロントスピーカー
C	シーリングスピーカー
	壁掛け型スピーカー
	天井埋込スピーカー（運営系）
	ホーンスピーカー（トークバック系）
	アッテネーター
	ワイヤレスアンテナ
T	ワイヤレスアンテナ
AM	エアーモニターマイク
SM	吊マイク
I	インカムメインステーション
I	インカムリモートステーション
IC	インカムリモートステーションコンセント

PTZ	センターカメラ
	固定カメラ（レンズ付）
	固定ドームカメラ
ITV	ITVモニター
VDA	分配器（ITV用）

既設WD内

H	4E4-8AT-EM x1 △ 4E4-4AT x1 △ CAT6-STP x1 △ MM-4C x4 △ 5CHD x1 △ S-5C-FB x2 △ AE1.2-3C x4 △ AE1.2-7P x1 △	W・D内 配線のみ 撤去・更新 （W・Dは残置）
I	MM-4C x4 △ 5CHD x1 △	W・D内 配線のみ 撤去・更新 （W・Dは残置）

既設WD内

G	4E4-16AT-EM x8 △ 4E4-8AT-EM x1 △ 4E4-4AT x1 △ CAT6-STP x3 △ MM-4C x4 △ 5CHD x7 △ S-5C-FB x2 △ 4S12F-EM x23 △ 4S10F-EM x4 △ AE1.2-3C x4 △ AE1.2-7P x1 △	W・D内 配線のみ 撤去・更新 （W・Dは残置）

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称 舞台音響設備 1階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図面番号 E-046

屋外機械置場

舞台上部

既設WD内
G
4E4-16AT-EM x8 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E4-4AT x1 △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x4 △
5CHD x7 △
S-5C-FB x2 △
4S12F-EM x23 △
4S10F-EM x4 △
AE1.2-3C x4 △
AE1.2-7P x1 △
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

4S12F x5 (51) △
AE1.2-3C x1 (51) △
4E4-4AT x1 (25) △
配管配線 撤去・更新

4S12F x6 (51) △
AE1.2-3C x1 (51) △
S-5C-FB x1 (51) △
CAT6-UTP x1 (51) △
4E4-4AT x1 (25) △
配管配線 撤去・更新

5CHD x1 (19)△ (配管配線撤去・更新)
4S12F (25)△ (配管配線撤去・更新)
5CHD x1 (19)△ (配管配線撤去・更新)
5CHD x2 (31) (配管配線撤去・更新)
4S12F (25)△ (配管配線撤去・更新)
FB
F
WD ※WD150x400 (残置)
S-5C-FB x1 CAT6-UTP x1 (25) 配管配線 撤去・更新
G
IR ×2
S-5C-FB x1 CAT6-UTP x1 (25) 配管配線 撤去・更新
FB
150
200
150
IR ×2
5CHD x1 (19) (配管配線撤去・更新)
5CHD x1 (19) (配管配線撤去・更新)
階段６
ITV
倉庫
ＥＶ
テラス２
R1
前室Ｍ５
前室Ｍ６
R16
R2
R15
R3
R14
テラス１ 上部
ＤＳ
FOHCN
IO
PTZ
ITV
IO
IO
M2
前室Ｍ３
前室Ｍ４
IO
IO
効果室Ｍ
SDI
電源分電盤
(※３点吊マイク用電源のみ引き直し)
R4
R13
R5
ホワイエＭ２
R12
A
R6
R11

Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
7,400
7,400
6,500
7,000
7,350

既設WD内
F
4E4-16AT-EM x8 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E4-4AT x1 △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x4 △
5CHD x7 △
S-5C-FB x3 △
CAT6-UTP x1 △
4S12F-EM x24 △
4S10F-EM x4 △
AE1.2-3C x4 △
AE1.2-7P x1 △
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

既設WD内
A
4E4-16AT-EM x9 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E6AT-EM x24 △
MM-4C x4 (舞台袖へ) △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x2 (音響機械室へ) △
5CHD x8 △
4E4-4AT x2 (インカム) △
8DFB x4
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-047

屋外機械置場

舞台上部

既設WD内
G
4E4-16AT-EM x8 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E4-4AT x1 △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x4 △
5CHD x7 △
S-5C-FB x2 △
4S12F-EM x23 △
4S10F-EM x4 △
AE1.2-3C x4 △
AE1.2-7P x1 △
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

4S12F x5 (51) △
AE1.2-3C x1 (51) △
4E4-4AT x1 (25) △
配管配線 撤去・更新

4S12F x6 (51) △
AE1.2-3C x1 (51) △
S-5C-FB x1 (51) △
CAT6-UTP x1 (51) △
4E4-4AT x1 (25) △
配管配線 撤去・更新

5CHD x1 (19)△ (配管配線撤去・更新)
4S12F (25)△ (配管配線撤去・更新)
5CHD x1 (19)△ (配管配線撤去・更新)
5CHD x2 (31) (配管配線撤去・更新)
4S12F (25)△ (配管配線撤去・更新)
FB
F
WD ※WD150x400 (残置)
S-5C-FB x1 CAT6-UTP x1 (25) 配管配線 撤去・更新
G
IR ×2
S-5C-FB x1 CAT6-UTP x1 (25) 配管配線 撤去・更新
FB
150
200
150
IR ×2
5CHD x1 (19) (配管配線撤去・更新)
5CHD x1 (19) (配管配線撤去・更新)
階段６
ITV
倉庫
ＥＶ
テラス２
R1
前室Ｍ５
前室Ｍ６
R16
R2
R15
R3
R14
テラス１ 上部
ＤＳ
FOHCN
IO
PTZ
ITV
IO
IO
M2
前室Ｍ３
前室Ｍ４
IO
IO
効果室Ｍ
SDI
電源分電盤
(※３点吊マイク用電源のみ引き直し)
R4
R13
R5
ホワイエＭ２
R12
A
R6
R11

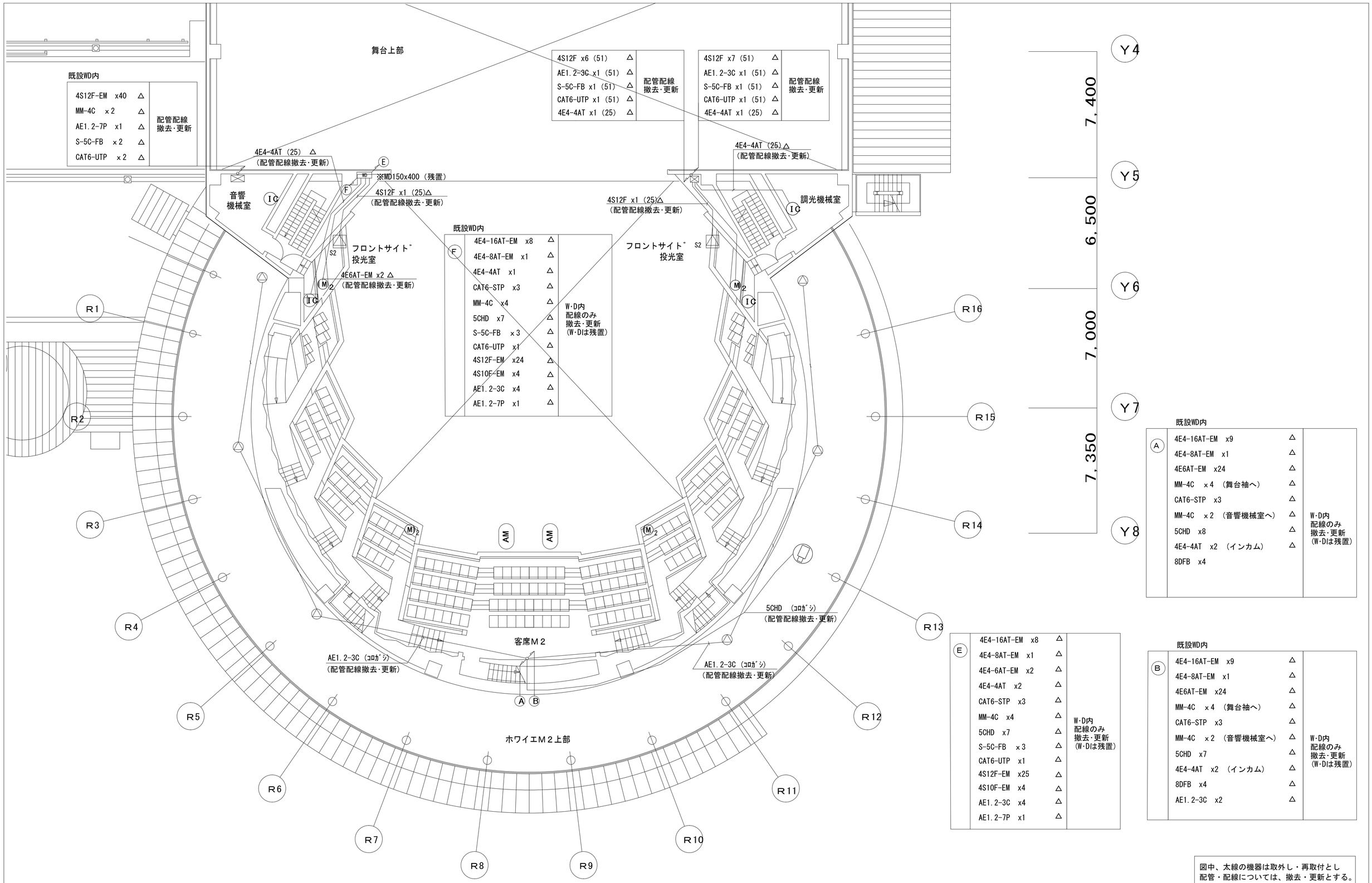
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
7,400
7,400
6,500
7,000
7,350

既設WD内
F
4E4-16AT-EM x8 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E4-4AT x1 △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x4 △
5CHD x7 △
S-5C-FB x3 △
CAT6-UTP x1 △
4S12F-EM x24 △
4S10F-EM x4 △
AE1.2-3C x4 △
AE1.2-7P x1 △
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

既設WD内
A
4E4-16AT-EM x9 △
4E4-8AT-EM x1 △
4E6AT-EM x24 △
MM-4C x4 (舞台袖へ) △
CAT6-STP x3 △
MM-4C x2 (音響機械室へ) △
5CHD x8 △
4E4-4AT x2 (インカム) △
8DFB x4
W・D内 配線のみ 撤去・更新 (W・Dは残置)

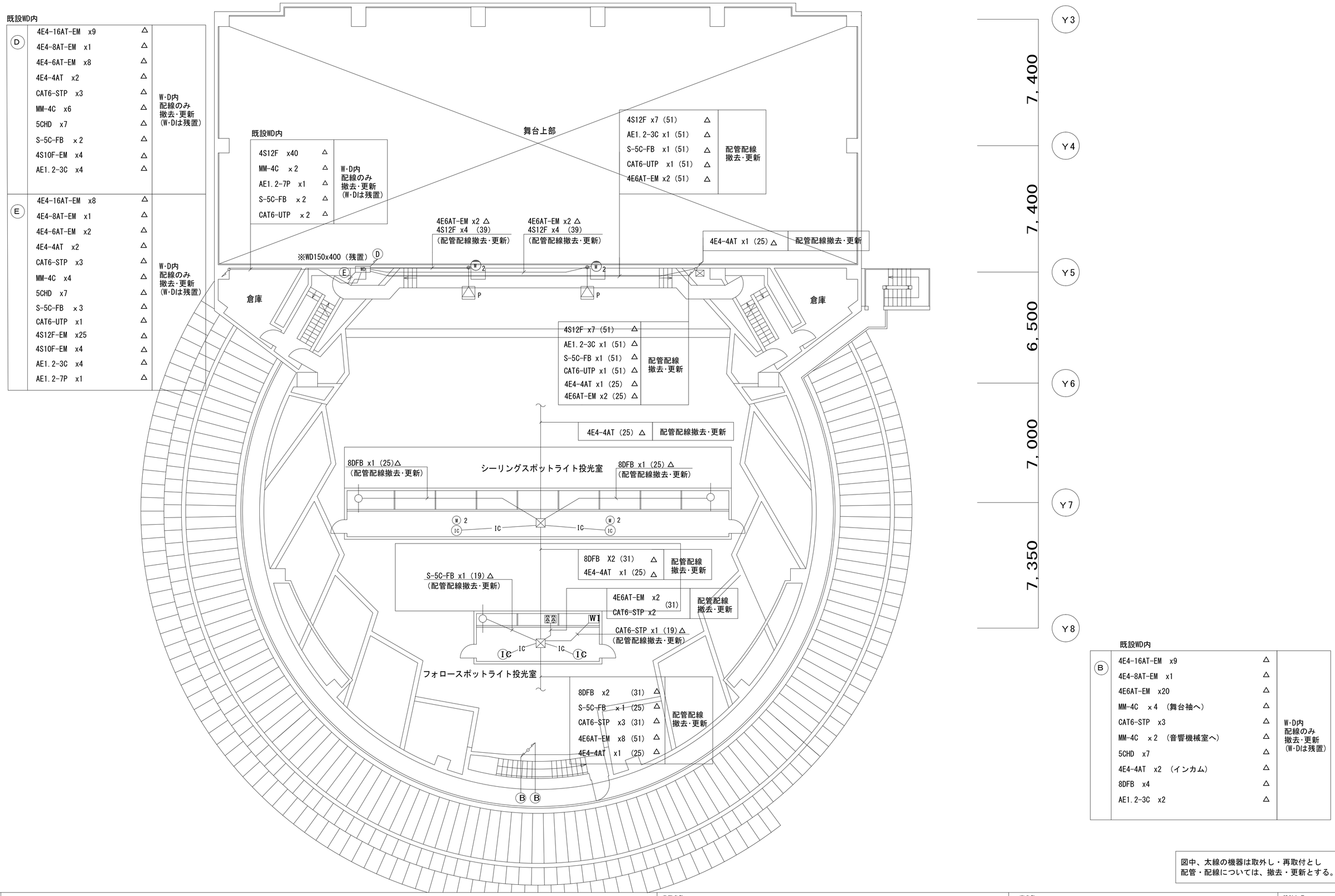
図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-047



図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			図面番号 E-048



図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号
一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

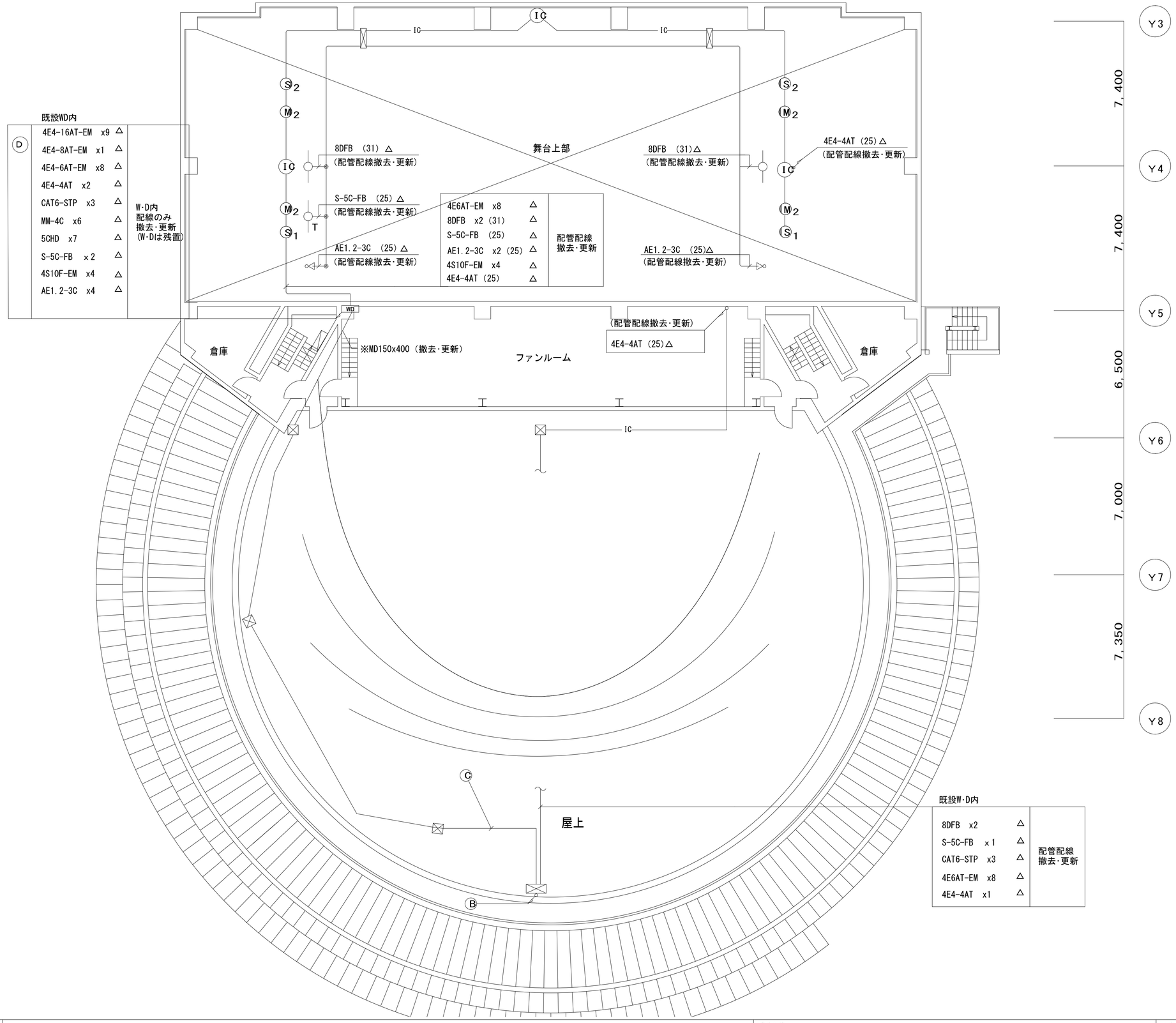
工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称 舞台音響設備 R階(1)ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図面番号 E-049



図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
	印	図面名称 舞台音響設備 R階(2)ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-050

No.	名称	仕様	数量		メーカー	型番	区分 新設	更新	残置	撤去	No.	名称	仕様	数量	メーカー	型番
B	マルチホール舞台音響設備										B					
											22					
1	メインスピーカー		1	式												
	2Wayフルレンジスピーカ A（遠距離用）	2Wayフルレンジ、構成 LF:12インチ x1,HF：1.5インチ x1、	2	台	JBL	AM5212/64										
		カバレージ角（水平ｘ垂直）60° x 40°（90° 単位で回転可能）														
		許容入力：400W（2h）/300W（100h）、音圧レベル（1W,1m）：96dB SPL														
		最大音圧（1m）121dB SPL、周波数特性（-10dB）：37Hz～20kHz、インピーダンス 8Ω														
	2Wayフルレンジスピーカ B（近距離用）	2Wayフルレンジ、構成 LF:12インチ x1,HF：1.5インチ x1、	2	台	JBL	AM5212/95										
		カバレージ角（水平ｘ垂直）90° x 50°（90° 単位で回転可能）														
		許容入力：400W（2h）/300W（100h）、音圧レベル（1W,1m）：96dB SPL														
		最大音圧（1m）121dB SPL、周波数特性（-10dB）：37Hz～20kHz、インピーダンス 8Ω														
	取付金具	材質：鋼材組み合わせ、角度可変機構、触れ止めワイヤー、後部遮音シート、防振処理を含む	4	組		特型										
2	シーリングスピーカー															
	2Wayフルレンジスピーカ C	2wayフルレンジ、構成 LF:12インチx1,HF:1インチx1、カバレージ角（水平ｘ垂直）90° x 90°	6	台	JBL	AC299										
		許容入力：50OW（Program）、音圧レベル（1W,1m）:97dB SPL														
		周波数レンジ（-10dB）:63Hz～20kHz、インピーダンス 8Ω														
	取付金具	鋼材組み合わせ、角度可変機構、触れ止めワイヤー	6	組		WMB-100+特型										
3	ホワイエスピーカ	同軸2ウェイシーリング、構成：5インチDualConcentric搭載／同軸2ウェイ、公称志向角：90°	4	台	TANNOY	CMS 503DC LP										
		入力感度（1 W/1 m）：89 dB（1 W = 4 V for 16 Ohms）、最大音圧（@1m）：107 dB（平均）113 dB（ピーク）														
		周波数レンジ（-10dB）:77Hz～24kHz														
4	ワイヤレスマイクロホン装置															
	ワイヤレスアンテナブースター	対応周波数：470～902MHz、利得：ゲインスイッチ6dB:6.0dB±2.0dB/ゲインスイッチ12dB:10dB±2.0dB、取付金具付	4	個	SHURE	ULXD4Q-AB										
	ホイップアンテナ	800MHz帯、1/2波長アンテナ	4	本	SHURE	ULXD2/SM58-JB										
	エアモニターマイクロホン		1	式												
5	ショットガンマイクロホン	DC バイアスコンデンサー型、指向特性：超指向性、周波数特性：20Hz～20kHz、インピーダンス50Ω、	2	本	audio-technica	BP4073										
		寸法 φ21x233mm、ローカットフィルター付														
	ショックマウント+取付金具	ショックマウント及び取付金具、プレート	2	台	audio-technica	AT8410a+特型										
6	補聴システム		1	式												
	赤外線ラジエーター	入力：RF、出力：IR、電源：RJ-45（専用トランスミッターより）	4	台	ListenTech	LA-140										
	同上取付金具	角度可変用	4	台		特型										
	赤外線ラジエーター接続BOX	SPOC、NE6FDX-P6 x 1 BCJ-JRUD x 1（2コネクタ）、NE6FDX-P6 x 2 BCJ-JRUD x 2（4コネクタ）	4	台		特型										

（注記）
1. 上記機器の取外し・再取付を行う事。
2. 機器調整は財団担当者と協議の上、決定する事。
（既設機器の維持管理業者 （株)アセント（参考））

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称 舞台音響設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ 機器構成表(改修)

縮尺 A1:N/S A3:N/S

図面番号 E-051

パッチ/出力制御架音響調整卓

パワーアンプ架

エアーモニタマイク
A.I.R.IN1
エアーモニタマイク
A.I.R.IN2

舞台下手袖コンセント盤
PRIMARY
SECONDARY
x16
x8

ホワイエ下手袖コンセント盤
5D-FB

舞台上手袖コンセント盤

ホワイエ上手袖コンセント盤

客席後方コネクタパネル
x2

モニタースピーカL
モニタースピーカR

デジタルミキサー
INPUT-1〜32
OMNI OUT-1〜16
(QL5)

デジタルI／O拡張カード
AES/EBU×4
AES/EBU OUT
PRIMARY
SECONDARY
Ethernet

ITV架へ
ITVエアモニタ音声

シグナルスプリッター
CH1
CH2
CH3
CH4
x3
x4
(4X4R)
※iTVと連動

タブレットPC
ワイヤレス
アクセスポイント
設定用PC

LANスイッチ
PRIMARY
(GigaCore14R)
SECONDARY
制御
(GigaCore26i)

プログラマブルプロセッサーA
プログラマブルプロセッサーB
A
B
C
D
Dante. Pri
Dante. Sec
Ethernet
RS232
BLULink IN
BLULink OUT
(BLU-806)
(BLU-160)

パワーアンプ
(DC48/600N)
600W
(DC48/300N)
300W
BLULink IN
BLULink OUT
Ethernet

レベル検出部
電流検出部
I／F

EM-4S12F
遠 (AM5212/64)
近 (AM5212/95)
下手
メインスピーカー
上手
下 (AC299)
上 (AC299)
舞台上部
中央
シーリングスピーカー
後部
下手袖コンセント盤
上手袖コンセント盤
ホワイエ下手袖コンセント盤
ホワイエ上手袖コンセント盤

AE1.2-2C
ホワイエ
客用便所
楽屋
楽屋廊下・舞台上下袖・舞台裏廊下
事務室・ミーティングルーム

※1 照明用モニタ(XLR)
※2 iTV設備Lへ
※3 iTV設備Rへ

赤外線ラジエーター
IR
赤外線TR
拡張電源部

PoEインジェクタ
V.C (EC-48V)
電源制御部
I/F
AC100V／30A×3
DC24V（非常放送設備より）

舞台下手袖I／O架
LANスイッチ
PRIMARY
SECONDARY
制御
(GigaCore10)
I／F
主電源パネル
システムリモートパネル
(マスター)
電源制御ユニット
(AV-P200)
※音響(非連動)、iTV(連動)
インカム系統へ
AC100V×1

I/Oラック
ANALOG IN x16
ANALOG OUT x8
PRIMARY
SECONDARY
(Rio1608-D)

移動型簡易操作卓
デジタルミキサー
(QL1)
CDプレーヤー (CD-500B)
ラインコンバーター (LA-40MK(II))
CD／カセットテープデッキ (CD-A580)
電源制御部 (AV-P250LUV)

録音再生機器ワゴン
ソリッドステート・CDレコーダー (SS-CDR250)
CDプレーヤー (CD-500B)
インカム親機
※iTVと連動
LCDディスプレイ
オーディオモニターマスターPC
USB/LAN
無停電電源装置
電源制御ユニット (AV-2SLUV)
ワイヤレスAP設定用PC

チャイムユニット (SS-CDR250)
調整室モニタ(iTV)架へ
電源制御部
I/F

映写室用コンセント
映像架VTR…IN
映像架VTR…OUT

システムリモートパネル (マスター)
CircuitLink
I/F
GPI1 GPI2
COM1 COM2 COM3 COM4 COM5
232／LAN

ワイヤレスアンテナ
5D-FB
ワイヤレス受信機(4ch)
(ULXD4Q-AB)
OUT
PRIMARY
SECONDARY

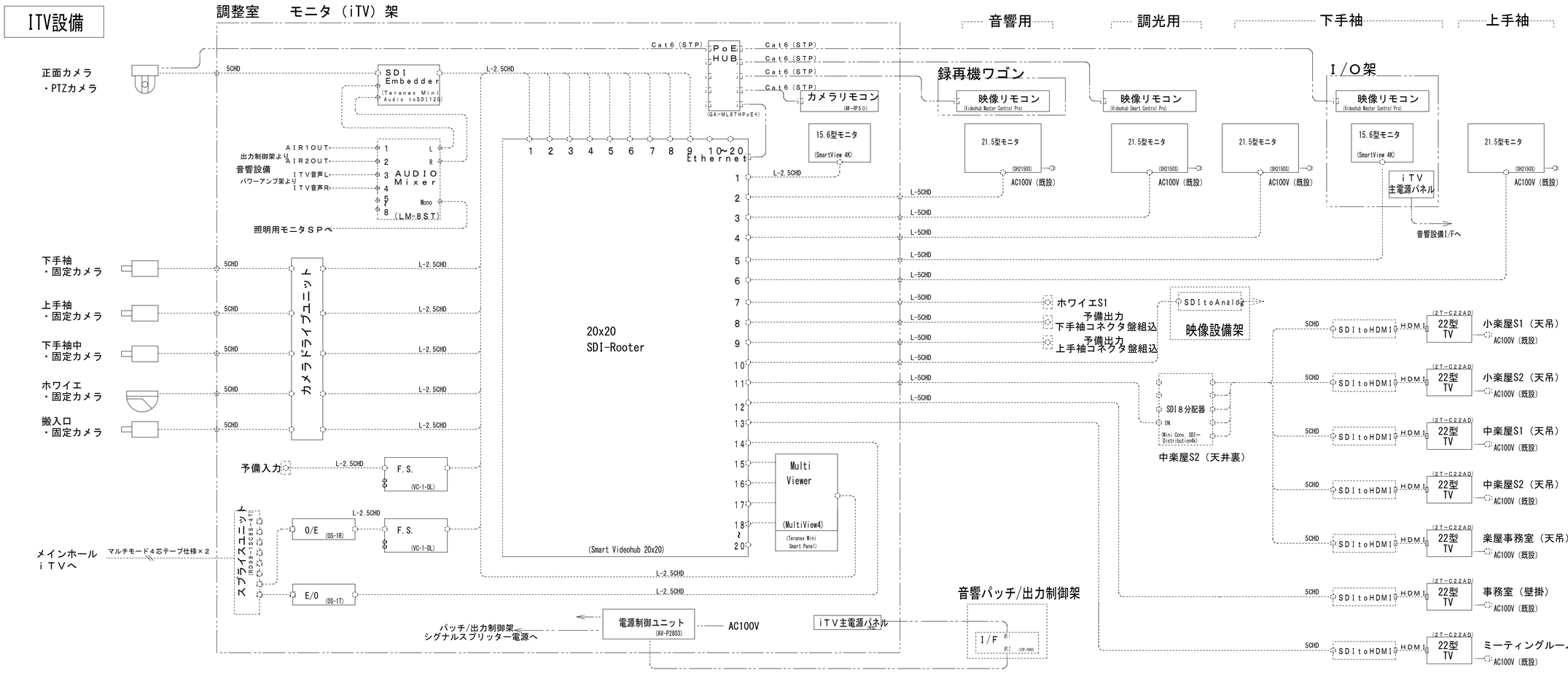
AC100V／30A×2

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

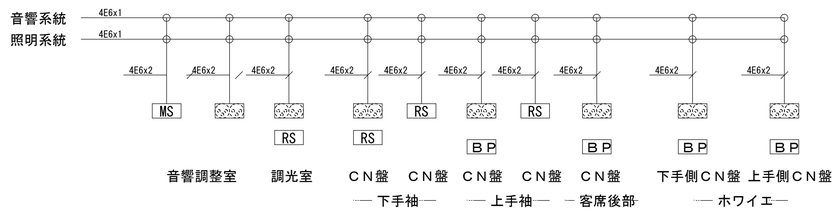
＜ 凡 例 ＞
新設(更新)
既設(移設)
既設(残置)
常時電源

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ ｼｽﾃﾑ系統図(1)(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S	図面番号 E-052

ITV設備



インターカム設備



MS　2CHメインステーション

RS　固定リモートステーション（2CH）x 2
　　移動リモートステーション（2CH）x 2

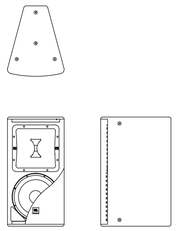
BP　ベルトパックステーション（2CH）x 4

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 舞台音響設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ ｼｽﾃﾑ系統図(2)(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S
					図面番号 E-053

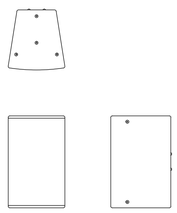
B-1 メインスピーカー　１／２０

2Wayフルレンジスピーカー A(遠距離用)
2Wayフルレンジスピーカー B(近距離用)



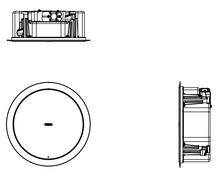
B-2 シーリングスピーカー　１／２０

2Wayフルレンジスピーカー C



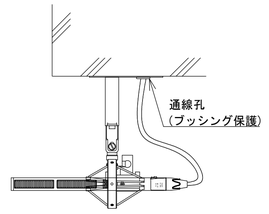
B-3 ホワイエスピーカー　１／１０

CMS 503DC LP　TANNOY



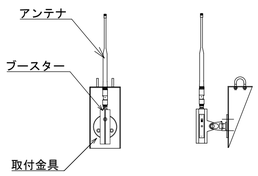
B-4 エアモニターマイクロホン　１／５

コンデンサーマイクロホン
取付金具



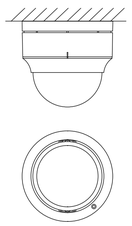
B-5 ワイヤレスマイクロホン装置　１／１０

ワイヤレスアンテナブースター



B-6 マルチホールITV設備

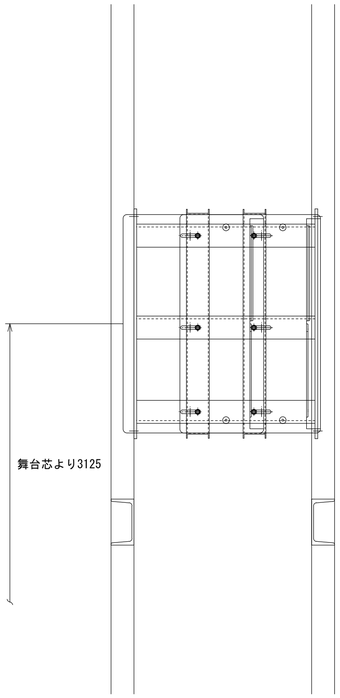
ホワイエカメラ



※機器姿図及び寸法は参考とする

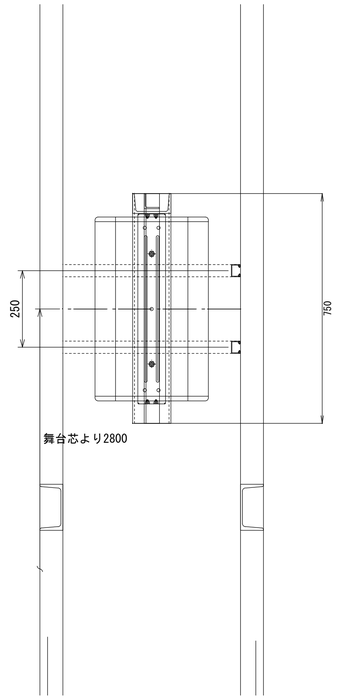
機器の取付け・再取付けを行う

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 舞台音響設備 マルチホール 機器姿図(改修)	縮尺 A1:1/10 A3:1/20
					図面番号 E-054



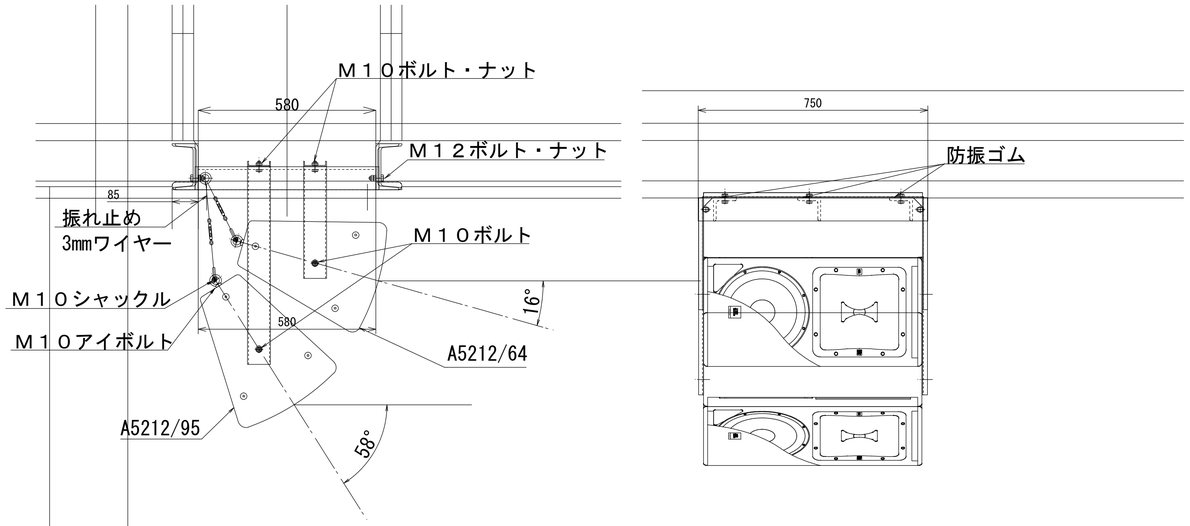
メインスピーカー質量（上手側／下手側　各1台）

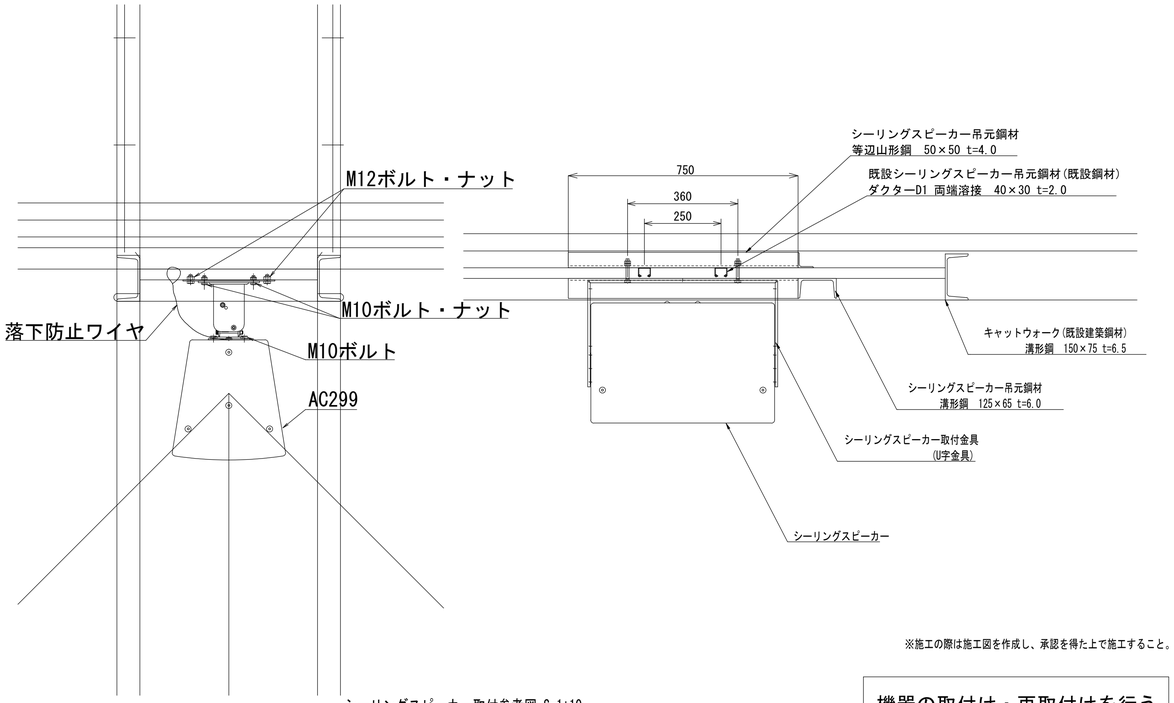
2Wayフルレンジスピーカー(遠距離用)	約21kg
2Wayフルレンジスピーカー(近距離用)	約21kg
取付金具	約23kg
総質量	約65kg



メインスピーカー質量（上手側／下手側　各3台、全6台）

2Wayフルレンジスピーカー	約18kg
取付金具	約12kg
総質量	約30kg



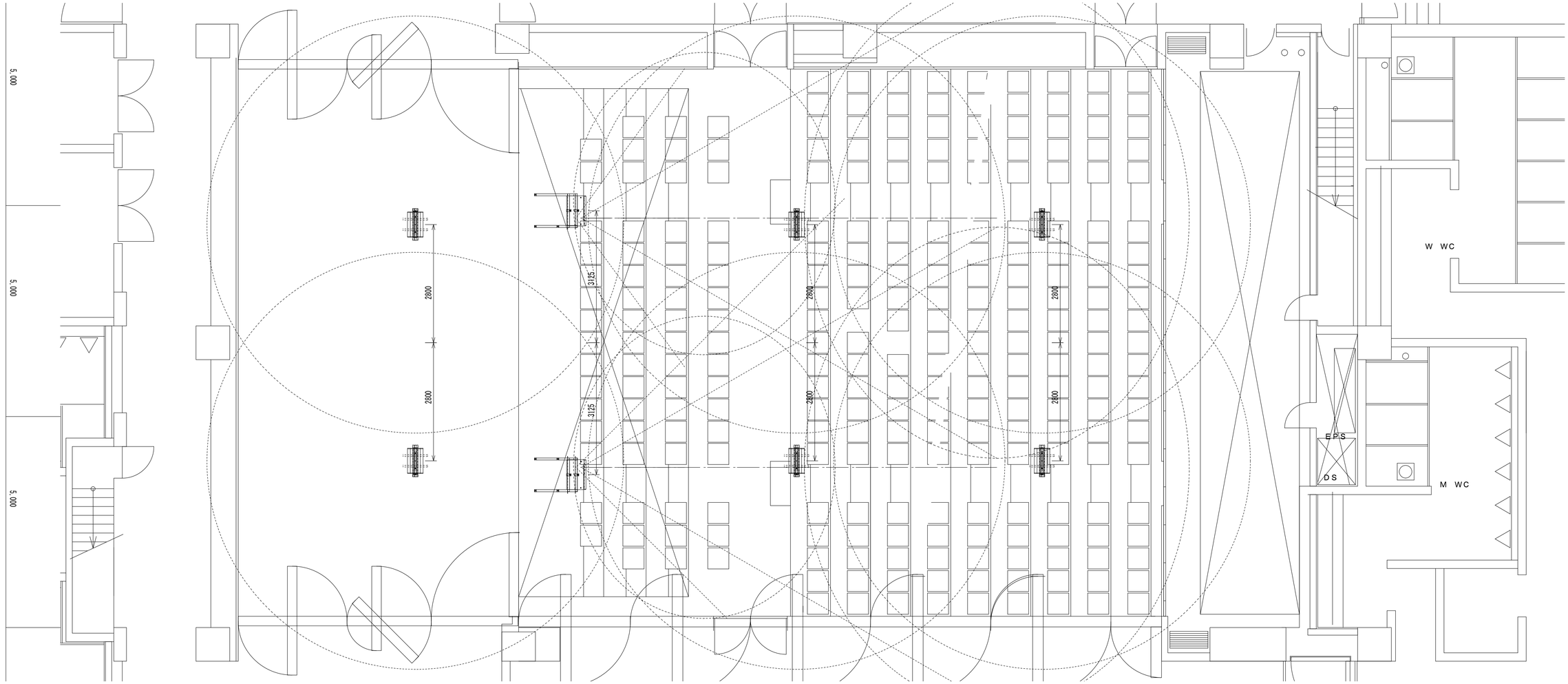


シーリングスピーカー取付参考図 S=1:10

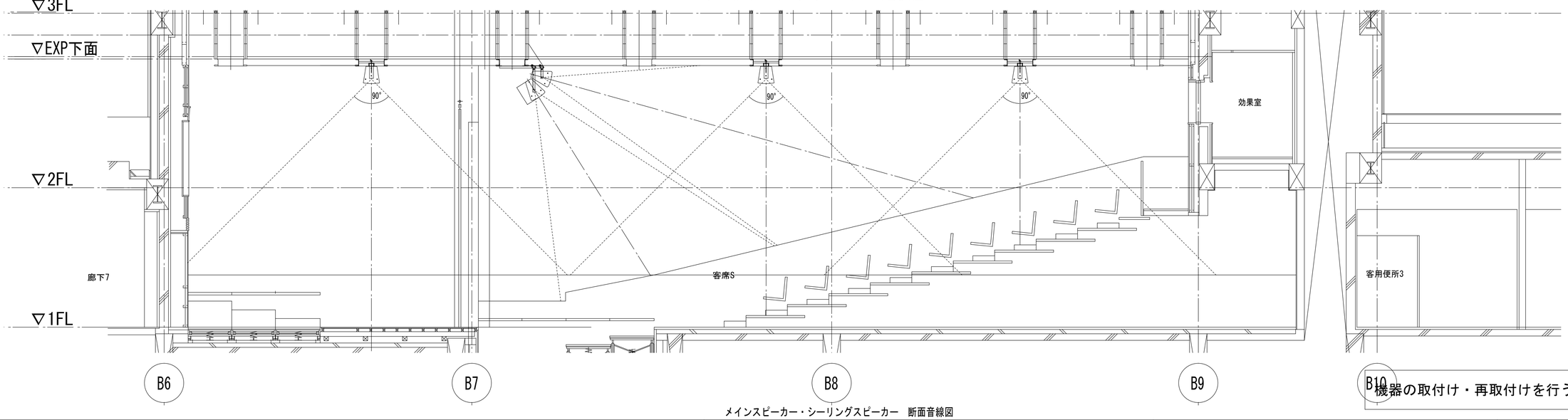
※施工の際は施工図を作成し、承認を得た上で施工すること。

機器の取付け・再取付けを行う

記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称	舞台音響設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ 機器取付参考図(改修)	縮尺 A1:1/10 A3:1/20
				図面番号 E-055



メインスピーカー・シーリングスピーカー　平面音線図



メインスピーカー・シーリングスピーカー　断面音線図

機器の取付け・再取付けを行う

記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 舞台音響設備 ﾏﾙﾁﾎｰﾙ 平断面音線図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号 E-056

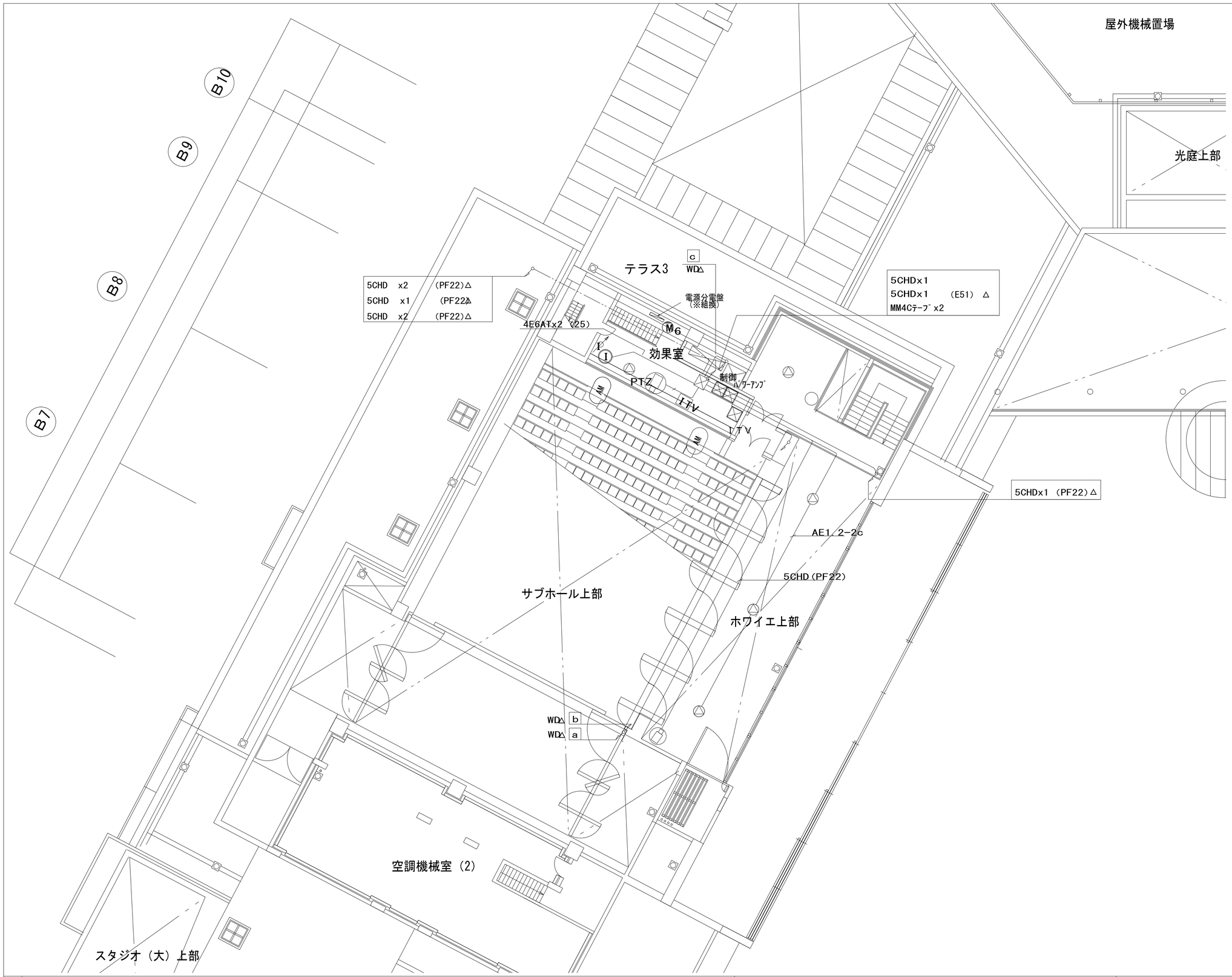
＜プロット凡例＞
特記なきシンボルは以下とする。

＜舞台音響・連絡・インターカム・ITV設備＞	
M 回線数	壁付マイクコンセント
M 回線数	フロアマイクコンセント
S 回線数	壁付スピーカーコンセント
S 回線数	フロアスピーカーコンセント
S FB	側方反射板用フロアスピーカーコンセント
16	フロアマルチコンセント（16ch・メス）
16	フロアマルチコンセント（16ch・オス）
FOHCN	客席コンセント盤
	ホワイエコンセント盤
STCN	舞台袖コンセント盤
STACN	スタッフ室コンセント
STRCN	舞台上手袖集中コンセント盤
	舞台下手袖I/O架
P	プロセニアムスピーカー
S	サイドスピーカー
S2	サイドバルコニー補助スピーカー
M	メインスピーカー
FB	固定はね返りスピーカー
SF	ステージフロントスピーカー
C	シーリングスピーカー
	壁掛け型スピーカー
	天井埋込スピーカー（運営系）
	ホーンスピーカー（トークバック系）
	アッテネーター
	ワイヤレスアンテナ
AM	エアーモニターマイク
SM	吊マイク
I	インカムメインステーション
I	インカムリモートステーション
IC	インカムリモートステーションコンセント
ITV	ＩＴＶ架
ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ	パワーアンプ架
制御	パッチ/出力制御架

PTZ	センターカメラ
	固定カメラ（レンズ付）
	固定ドームカメラ
ITV	ITVモニター
VDA	分配器（ITV用）

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 1階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-057



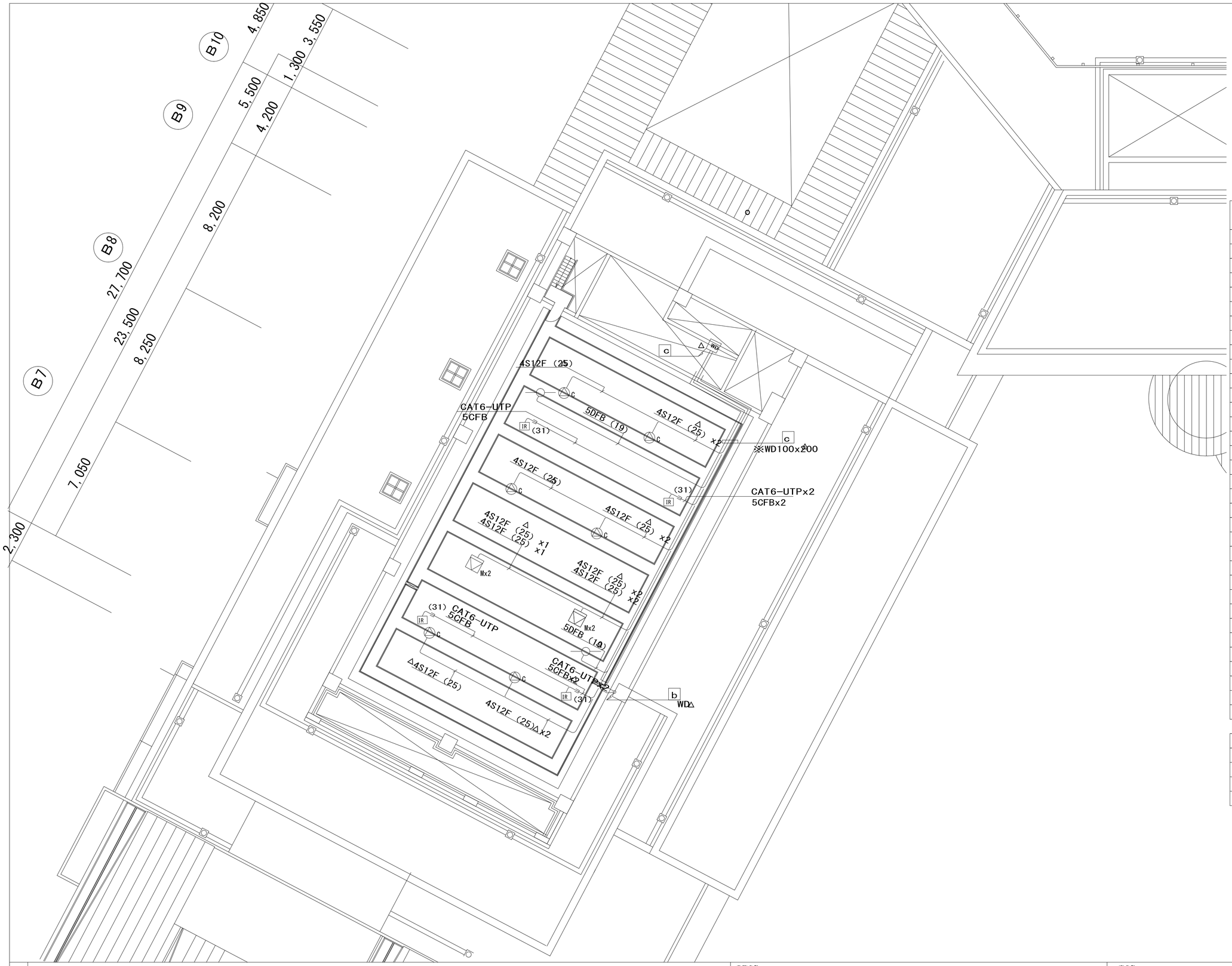
＜プロット凡例＞
特記なきシンボルは以下とする。

＜舞台音響・連絡・インターカム・ITV設備＞	
Ⓜ 回線数	壁付マイクコンセント
M 回線数	フロアマイクコンセント
Ⓢ 回線数	壁付スピーカーコンセント
S 回線数	フロアスピーカーコンセント
S FB	側方反射板用フロアスピーカーコンセント
16	フロアマルチコンセント（16ch・メス）
16	フロアマルチコンセント（16ch・オス）
FOHCN	客席コンセント盤
	ホワイエコンセント盤
STCN	舞台袖コンセント盤
STACN	スタッフ室コンセント
STRCN	舞台上手袖集中コンセント盤
	舞台下手袖I/O架
P	プロセニアムスピーカー
S	サイドスピーカー
S2	サイドバルコニー補助スピーカー
M	メインスピーカー
FB	固定はね返りスピーカー
SF	ステージフロントスピーカー
C	シーリングスピーカー
	壁掛け型スピーカー
	天井埋込スピーカー（運営系）
	ホーンスピーカー（トークバック系）
	アッテネーター
	ワイヤレスアンテナ
AM	エアーモニターマイク
SM	吊マイク
I	インカムメインステーション
I	インカムリモートステーション
IC	インカムリモートステーションコンセント
ITV	ＩＴＶ架
ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ	パワーアンプ架
制御	パッチ/出力制御架

PTZ	センターカメラ
	固定カメラ（レンズ付）
	固定ドームカメラ
ITV	ITVモニター
VDA	分配器（ITV用）

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台音響設備 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-058



＜プロット凡例＞
特記なきシンボルは以下とする。

＜舞台音響・連絡・インターカム・ITV設備＞	
M 回線数	壁付マイクコンセント
M 回線数	フロアマイクコンセント
S 回線数	壁付スピーカーコンセント
S 回線数	フロアスピーカーコンセント
S FB	側方反射板用フロアスピーカーコンセント
16	フロアマルチコンセント（16ch・メス）
16	フロアマルチコンセント（16ch・オス）
FOHCN	客席コンセント盤
	ホワイエコンセント盤
STCN	舞台袖コンセント盤
STACN	スタッフ室コンセント
STRCN	舞台上手袖集中コンセント盤
	舞台下手袖I/O架
P	プロセニアムスピーカー
S	サイドスピーカー
S2	サイドバルコニー補助スピーカー
M	メインスピーカー
FB	固定はね返りスピーカー
SF	ステージフロントスピーカー
C	シーリングスピーカー
	壁掛け型スピーカー
	天井埋込スピーカー（運営系）
	ホーンスピーカー（トークバック系）
	アッテネーター
	ワイヤレスアンテナ
AM	エアーモニターマイク
SM	吊マイク
I	インカムメインステーション
I	インカムリモートステーション
IC	インカムリモートステーションコンセント
ITV	ＩＴＶ架
ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ	パワーアンプ架
制御	パッチ/出力制御架

PTZ	センターカメラ
	固定カメラ（レンズ付）
	固定ドームカメラ
ITV	ITVモニター
VDA	分配器（ITV用）

図中、太線の機器は取外し・再取付とし
配管・配線については、撤去・更新とする。

記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	舞台音響設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-059

太陽光発電設備工事　特記仕様書

1．一般事項

1．1　適用範囲

本仕様書は、太陽光発電電気設備工事における
系統連系用太陽光発電システムについて適用する。

1．2　適用規格・法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。

（1）労働基準法　　（8）日本工業規格（ＪＩＳ）
（2）労働安全衛生法　　（9）日本電線工業会規格（ＪＣＳ）
（3）電気事業法　　（10）日本電気工業会規格（ＪＥＭ）
（4）電気設備技術基準　　（11）日本電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ）
（5）電気工事士法　　（12）内線規程
（6）消防関係法規　　（13）系統連系規程
（7）電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン

1．3　保証条件

竣工後１年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、又は、良品と交換するものとする。

2．システム概要

2．1　設備の概要

名称　：　太陽光発電設備工事
連系する電力系統　：　高圧連系
発電設備の種類　：　太陽電池発電所
設備容量　：　太陽電池容量　　３３．２ｋＷ相当
　　パワーコンディショナ　　１０ｋＷ×３台

2．2　システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池架台、パワーコンディショナ（連系保護装置含む）、気象計測装置より構成する。

1　太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生。
2　パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給する。
3　連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を遮断する。

2．3　運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り全自動運転を行うものとする。

1　太陽電池の電圧を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナを自動的に起動する。
2　太陽電池の電圧を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止する。
3　太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として昼間のみを対象とする。
　昼間に日射不足により給電不能となる場合は自動的に運転を停止させる。
4　太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、不要な高頻度のポンピングは避ける。
5　交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は速やかに商用系統との連系接続を解列し確実に停止する。
6　商用系統の事故の場合は、商用系統が復帰すれば確認時間後、自動および手動で再投入して運転を再開する。

2．4　系統連系保護機能

本システムにおける連系保護機能装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。
電気設備技術基準解釈による保護継電器の種類・設置相数・検出場所を表－１に示す。

表－１

保護継電器の種類	設置相数	検出場所
（1）地絡過電圧継電器（ＯＶＧＲ）※	零相回路	受変電設備
（2）過電圧継電器　（ＯＶＲ）	2相(1)※1	インバータ出力点など低圧回路の検出可能な場所
（3）不足電圧継電器　（ＵＶＲ）	3相	
（4）周波数上昇継電器（ＯＦＲ）	1相	
（5）周波数低下継電器（ＵＦＲ）	1相	
（6）単独運転検出機能（受動・能動）	1相	

※高圧連系の場合に必要
※1（）内は高圧の場合の相数

2．5　データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、1に示す機器により、2に示す条件で、3に示すデータを自動的に収集し、定められたデータフォーマットに従って蓄積及び抽出できる計測システムを構築すること。

1　使用機器
・パーソナルコンピュータ　：１式
・日射計　：１式（傾斜面用）
・気温計　：１式
・データ検出用機器及び信号変換器　：１式

2　測定周期、演算周期、データ格納周期
・測定周期　：６秒程度
・演算周期　：６秒程度（１時間の場合もあり）
・データ格納周期　：１分間及び１時間

3データ収集項目

表－２

項　目	測定点数	データ格納
・日射量	１点	○
・気温	１点	○
・パワーコンディショナ入力電力	１点	○
・パワーコンディショナ出力電力	１点	○

2．6　納入機器範囲

納入機器は表－３に示す通りとする。

表－３

NO	機器名	仕　様	数量	備　考
1．	太陽電池モジュール	※1	８０枚	
2．	太陽電池架台	溶融亜鉛メッキ	１式	
3．	パワーコンディショナ	１０ｋＷ	３台	
5．	日射計	屋内	１台	
6．	気温計	測温抵抗体	１台	

※１　単結晶シリコン太陽電池

3．機器仕様

3．1　太陽電池モジュール

種類　：単結晶シリコン太陽電池

容量　：４１５Ｗ
外形寸法　：図面参照
出力特性　：表－４参照

太陽電池モジュール電気出力特性表（参考値）　　表－４　特性表

項　目		単　位	特 性 値
最 大 出 力	Ｐｍ	Ｗ	415
最大出力動作電圧	Ｖｐｍ	Ｖ	31.49
最大出力動作電流	Ｉｐｍ	Ａ	13.18
開 放 電 圧	Ｖｏｃ	Ｖ	38.08
短 絡 電 流	Ｉｓｃ	Ａ	13.87

条件　：　ＡＭ１．５　全天日射基準太陽光
　：　放射強度　１０００Ｗ／ｍ²　　モジュール温度　２５℃

3．2　太陽電池架台

構造　：　陸屋根、傾斜屋根、他設置場所に適合する構造とする
外形寸法　：　別途図面を参照
材質　：　一般構造用鋼　溶融亜鉛メッキ処理同等品とする
　（高耐食性メッキ鋼板も含む）
強度　：　関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

3．3　パワーコンディショナ

種類　：　系統連系パワーコンディショナ（屋内／屋側設置）
定格出力　：　１０ｋＷ
入力電圧範囲　：　ＤＣ０～６５０Ｖ
出力電圧　：　ＡＣ２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ（接続三相３線式）
電力変換効率　：　９７．０％
出力基本波力率　：　０．９５以上
電流歪率　：　総合５％以下　各次３％以下
制御方式　：　最大出力追従制御
運転／停止　：　「２．３　運転方式」による。
保護機能　：　「２．４　系統連系保護機能」による。
計測機能　：　表示項目（切替方式）
・直流電圧　・直流電流
・交流電圧　・交流電流　・交流電力　・交流電力量
接続箱機能　：　最大入力回路数　：　６回路
　：　収納機器：　入力回路断路端子及び逆流防止ダイオード配線用しゃ断器
自立運転機能　：　有り　：　単相２線式　１０１Ｖ　３ｋＶＡ
外形寸法　：　別途図面参照
周囲条件　：　周囲温度　－２０℃～５０℃
　直射日光の当たらない場所
強度　：　アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。
設置場所　：　屋内

3．4　交流集電箱

回路数　：　３回路
外形寸法　：　別途図面を参照
設置場所　：　屋内

3．5　日射計

対象　：　傾斜面日射量
計測精度　：　ＩＳＯ　Ｓｅｃｏｎｄ　Ｃｌａｓｓ　相当とする。
外形寸法　：　別途図面を参照
設置場所　：　屋外

3．6　気温計

種類　：　測温抵抗体
センサー　：　Ｐｔ１００Ω（－４０℃～＋６０℃）
精度　：　Ａ級　ＪＩＳによる。
外形寸法　：　別途図面を参照
設置場所　：　屋外

3．7　データ計測装置

使用機器　：　パーソナルコンピュータ、他一式　仕様は別途定める
設置場所　：　屋内

3．8　表示装置

種類　：　液晶モニタ
画面サイズ　：　４２型
アスペクト比　：　１６：９
電源　：　ＡＣ１００Ｖ
外形寸法　：　別途図面参照
設置場所　：　屋内壁掛け
表示内容例　：　発電電力、発電電力量、日射量、気温

4．工事範囲

4．1　機器据付工事

（1）太陽電池組立取付工事
（2）納入機器取付工事

4．2　電気工事他

（1）受電盤までの配管配線工事（連系点からキュービクル間）
（2）計測信号配線工事
（3）接地工事（既設流用）

5．試運転・完成検査

5．1モジュール出力検査

（1）各モジュールの試験成績表の出力値がＪＩＳに適合していること。
（2）出力の合計値が３．１に示す容量の合計値以上であること。

5．2　下表の項目については試運転・検査・測定を行うこと。

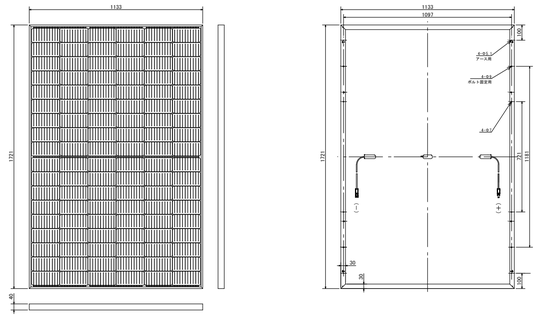
ただし、太陽電池の工場立会検査は実施しない。

項目＼機器	太陽電池	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ	交流集電箱	配線ケーブル	日射計・気温計	計測システム
外観検査	○	○	○	○	○	○
絶縁抵抗測定	○　注1	○　注1	○　注1	○		
絶縁耐圧	○　注1	○　注1	○　注1			
保護装置特性		○　注1				
システム動作		○			○	○
出力測定	○　注1	○　注1				

注１）現地検査又は工場検査のいずれかで可。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 太陽光発電設備 特記仕様書(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S	図面番号 E-060

太陽電池モジュール（参考図）

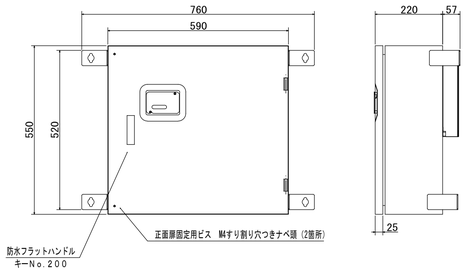


仕　様　：単結晶シリコン太陽電池

最大出力　：４１５W

質　量　：２３．０ｋｇ

パワーコンディショナ〈三相１０ｋW　屋内／屋側用〉（参考図）

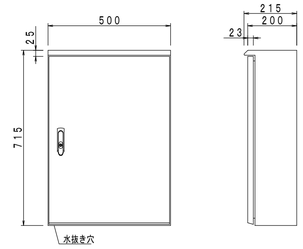


質　量　：４６．５ｋｇ

塗装色　：５Ｙ７／１（半ツヤ）

材　質　：ステンレス　t=1.2以上

交流集電箱３回路（参考図）

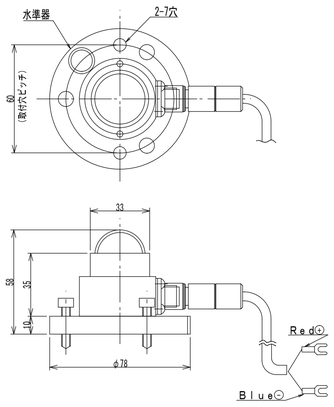


質　量　：３３ｋｇ

塗装色　：５Ｙ７／１

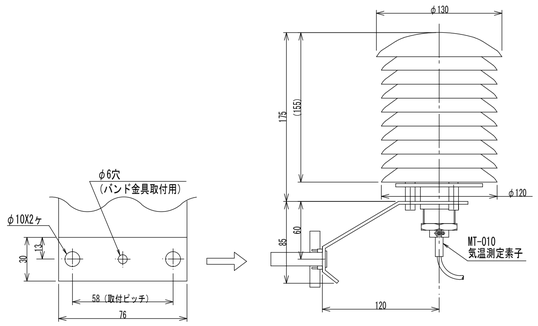
材　質　：鋼鈑　t＝1．６

日射計（参考図）



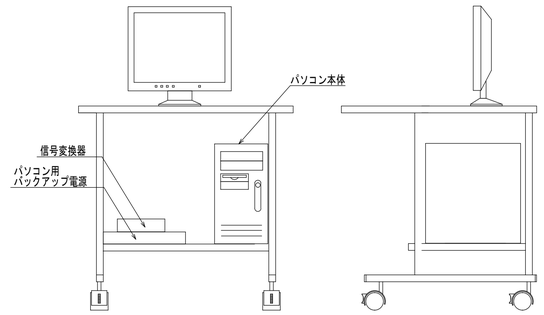
質　量　：２３０ｇ

気温計（参考図）

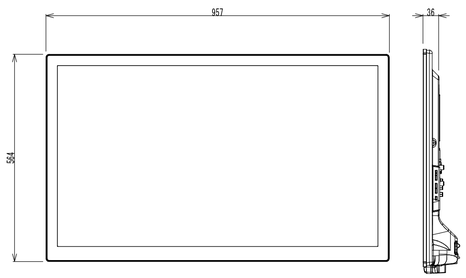


質　量　：０．７ｋｇ

データ計測装置（参考図）



表示装置〈液晶４２インチ〉（参考図）



質　量　：約１３．５ｋｇ

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

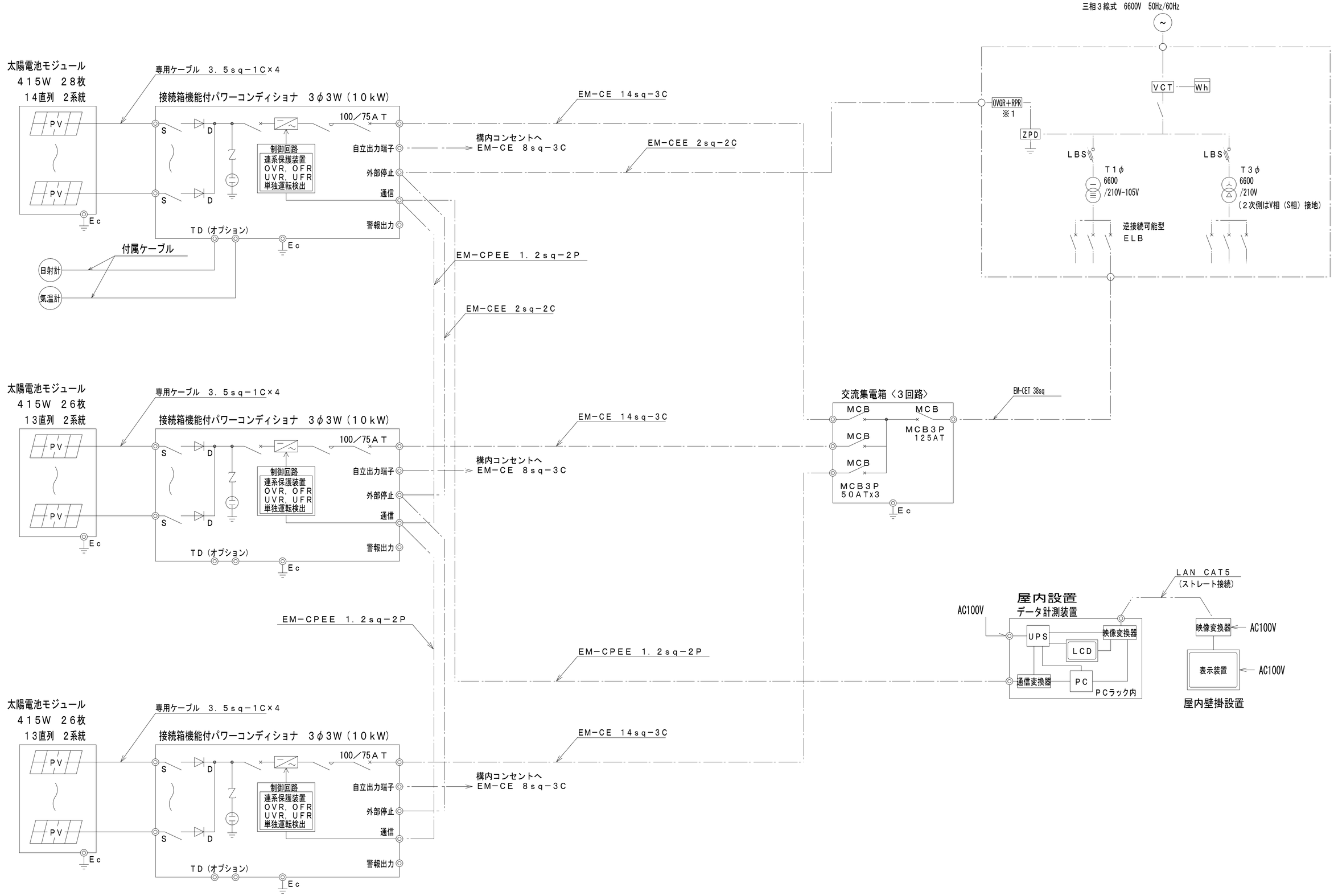
工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称　太陽光発電設備　機器姿図(改修)

縮尺　A1:N/S　A3:N/S

図面番号　E-061



記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（３）第９５２４号 一級建築士（大臣）第２８９６８６号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 太陽光発電設備 システム系統図(改修)	縮尺 A1:N/S A3:N/S / 図面番号 E-062

屋根：立平葺カラーガルバリュウム鋼鈑
ｔ０．４ｍｍ　＠３８０Ｈ＝２４
下地：アスファルトルーフィング９４０

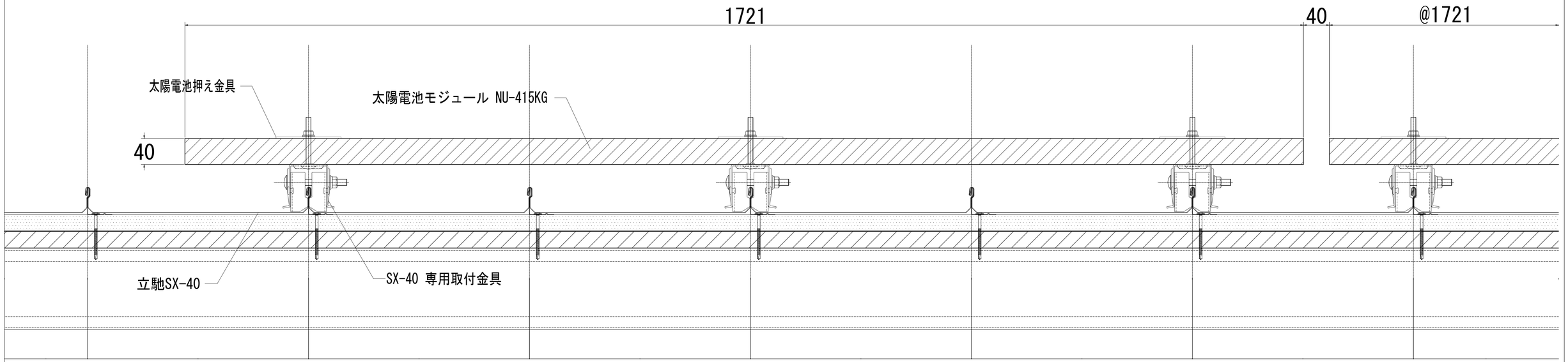
屋根：立馳葺SX-40 @340 H=38.8
ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5
下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0

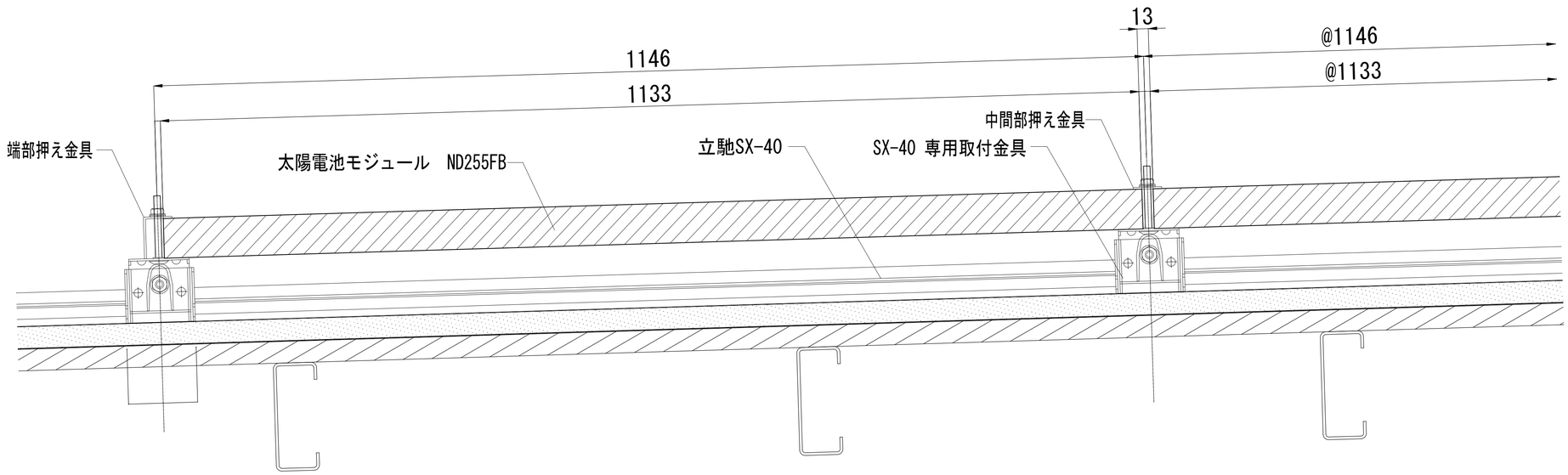
屋根：立平葺カラーガルバリュウム鋼鈑
ｔ０．４ｍｍ　＠３８０Ｈ＝２４
下地：アスファルトルーフィング９４０

屋根割り付け基準（馳芯）

太陽電池モジュール仕様
形名：NU-415KG
寸法：L1,721×W1133×T40（415W）
１６直列ｘ５並列　３３．２ｋｗシステム
開放電圧　３８．０８V
短絡電流　１３．８７A
最大動作電圧　３１．４９V
最大動作電流　１３．１８A

記事	業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（３）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	太陽光発電設備 太陽光パネル取付平面図（改修）	縮尺 A1:1/60 A3:1/120
					図面番号 E-063





記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第209686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図(改修)	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図面番号 E-064

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9

9800 7500 5000 7500 8000 7000 7000 7000

3900 3750 2150 3365 4135 3600 3900

Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y6a Y7 Y8

6000 2400 7400 7400 6300 7200 7350

R1 R2 R3

EM-CET38° (既設配管) 既設ブレーカーに接続
EM-CEE2°-2C (既設配管) 既設OVGRに接続

データ
計測装置

ドライエリア

S.S

消火
ポンプ室

中央
管理室

EM-UTP0.5-4P(cat5) (既設配管)
EM-FCPEE1.2-2P (既設配管)

既設
キュービクル

配管ピット

Ec 8°×1 既設端子盤に接続(既設)

衛生機械室

熱源機械室(1)

電気室

EM-UTP0.5-4P(cat5) (既設配管)

防油堤
w150×h350

既設
端子盤

オイルタンク室

発電機室

煙突

EM-CET38° Ec 8° (既設配管) B1F受変電MCCBへ
EM-CEE2°-2C (既設配管) B1F受変電OVGRへ
EM-FCPEE1.2-2P データ計測装置へ

ろ過
ポンプ室

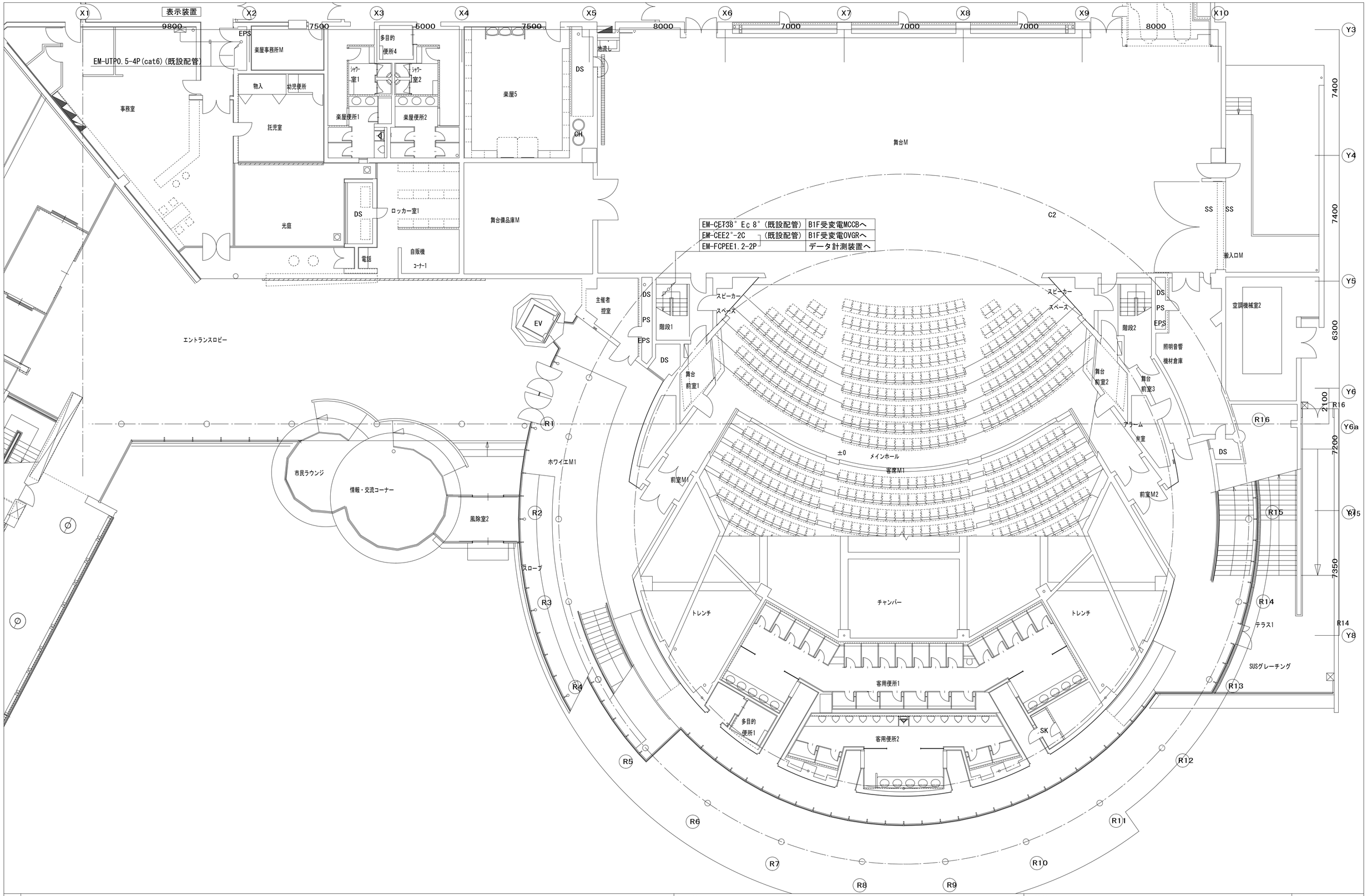
空調機械室

トレンチ

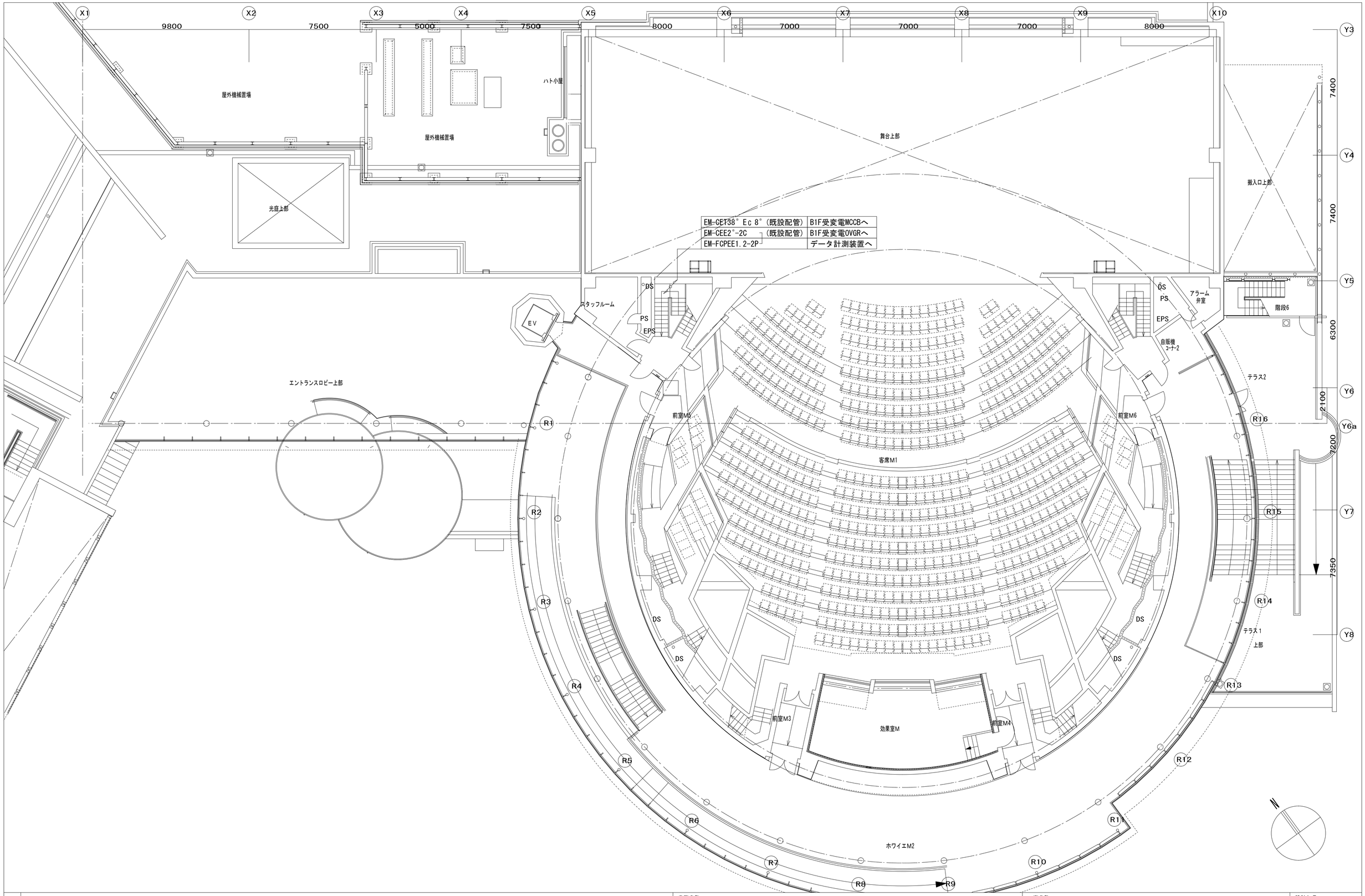
雨水貯留槽

チャンバー

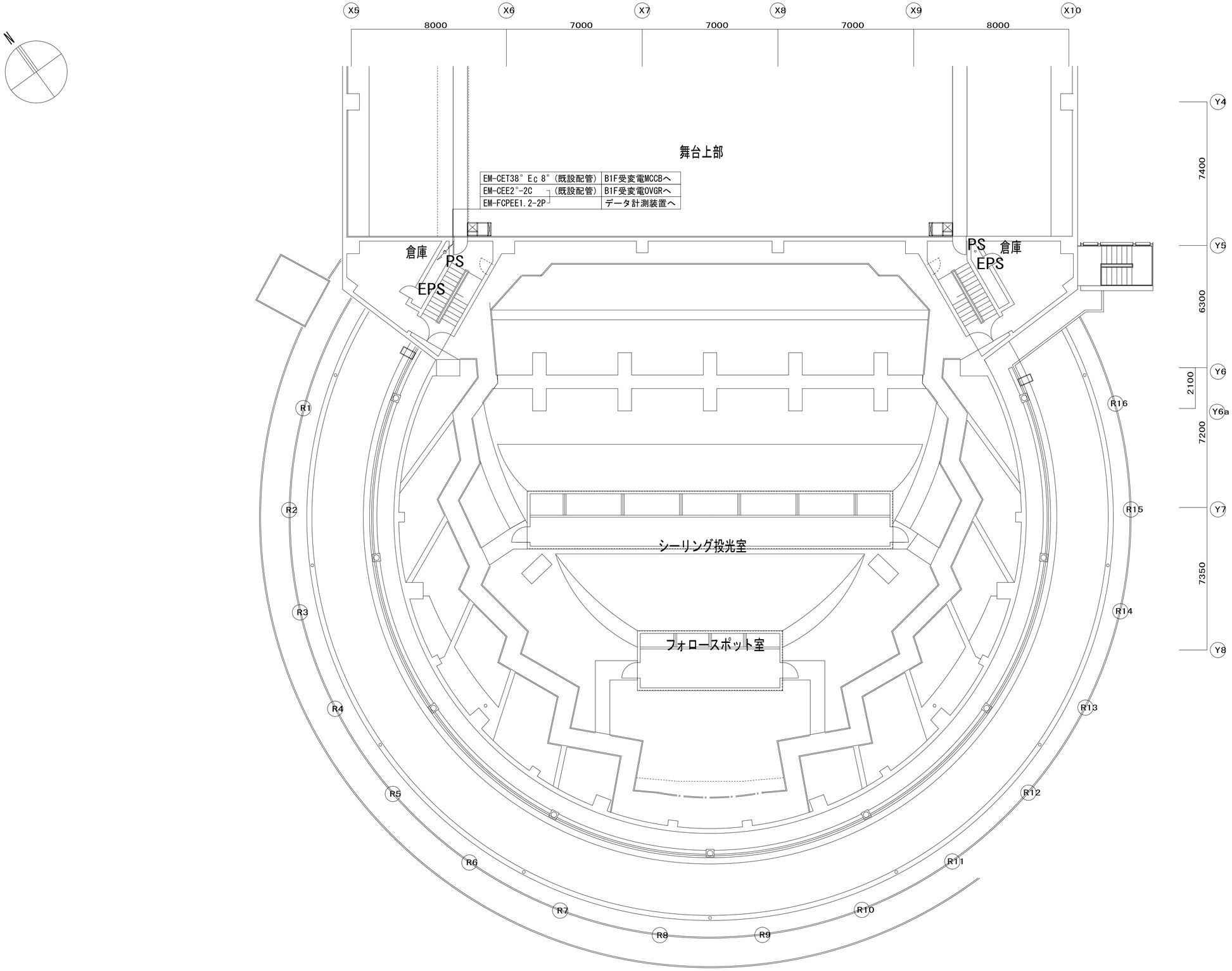
記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 地下1階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-065



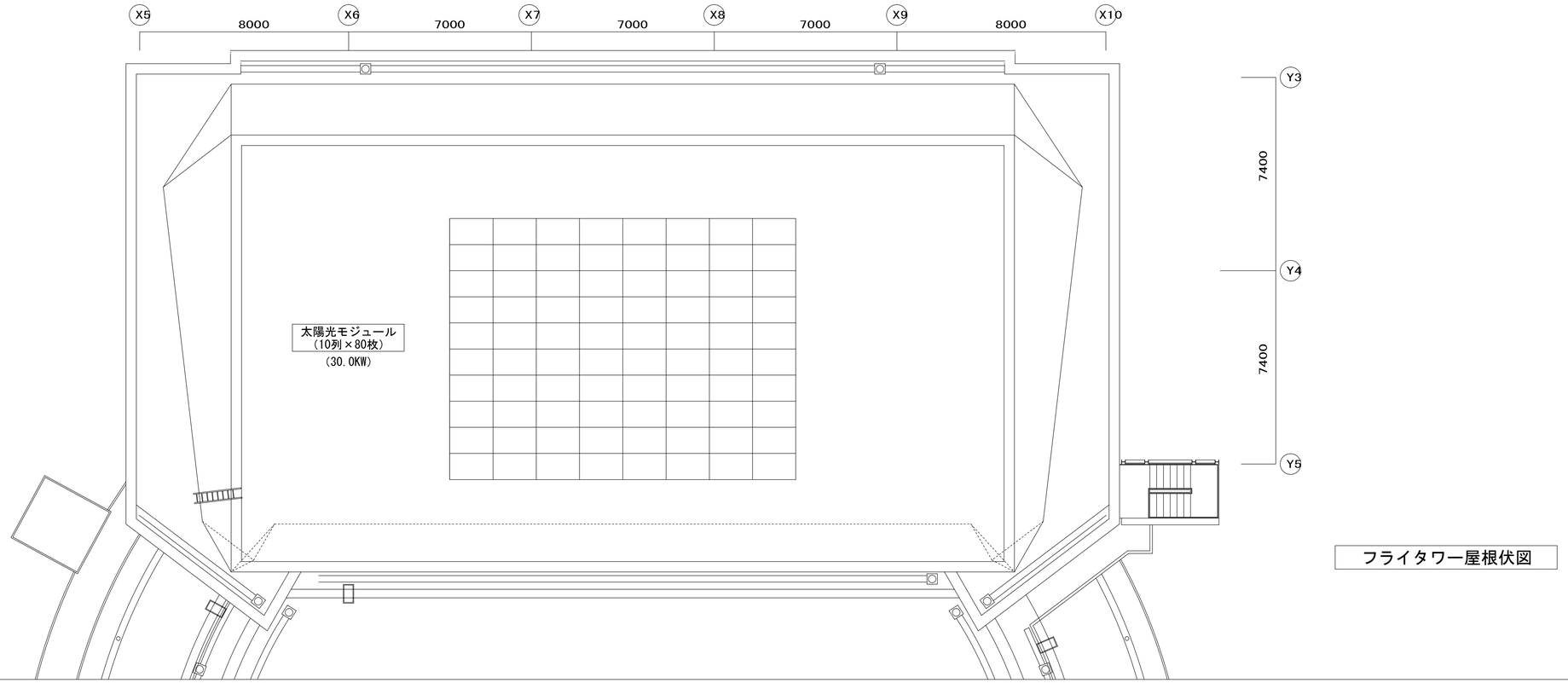
記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 太陽光発電設備 1階メインホール平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-066



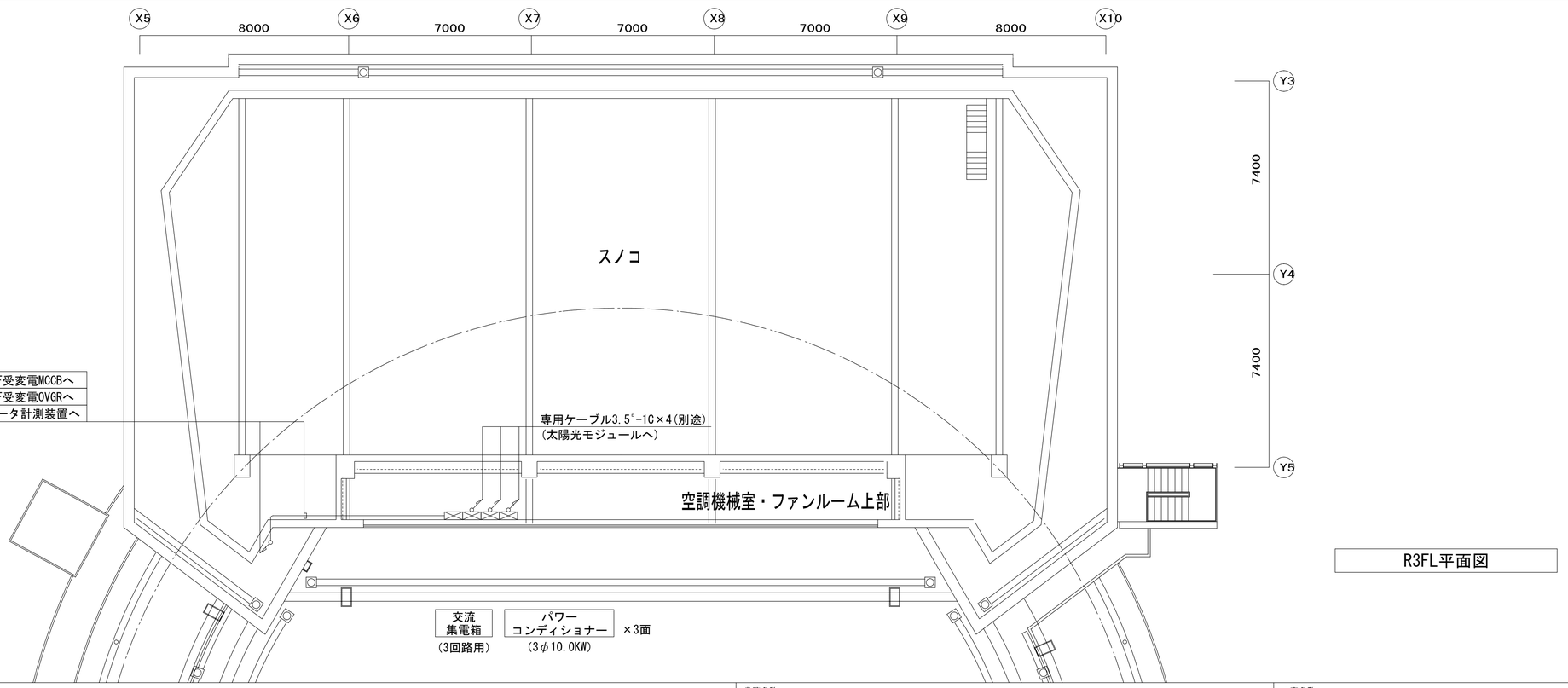
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 2階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-067



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 R階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-068

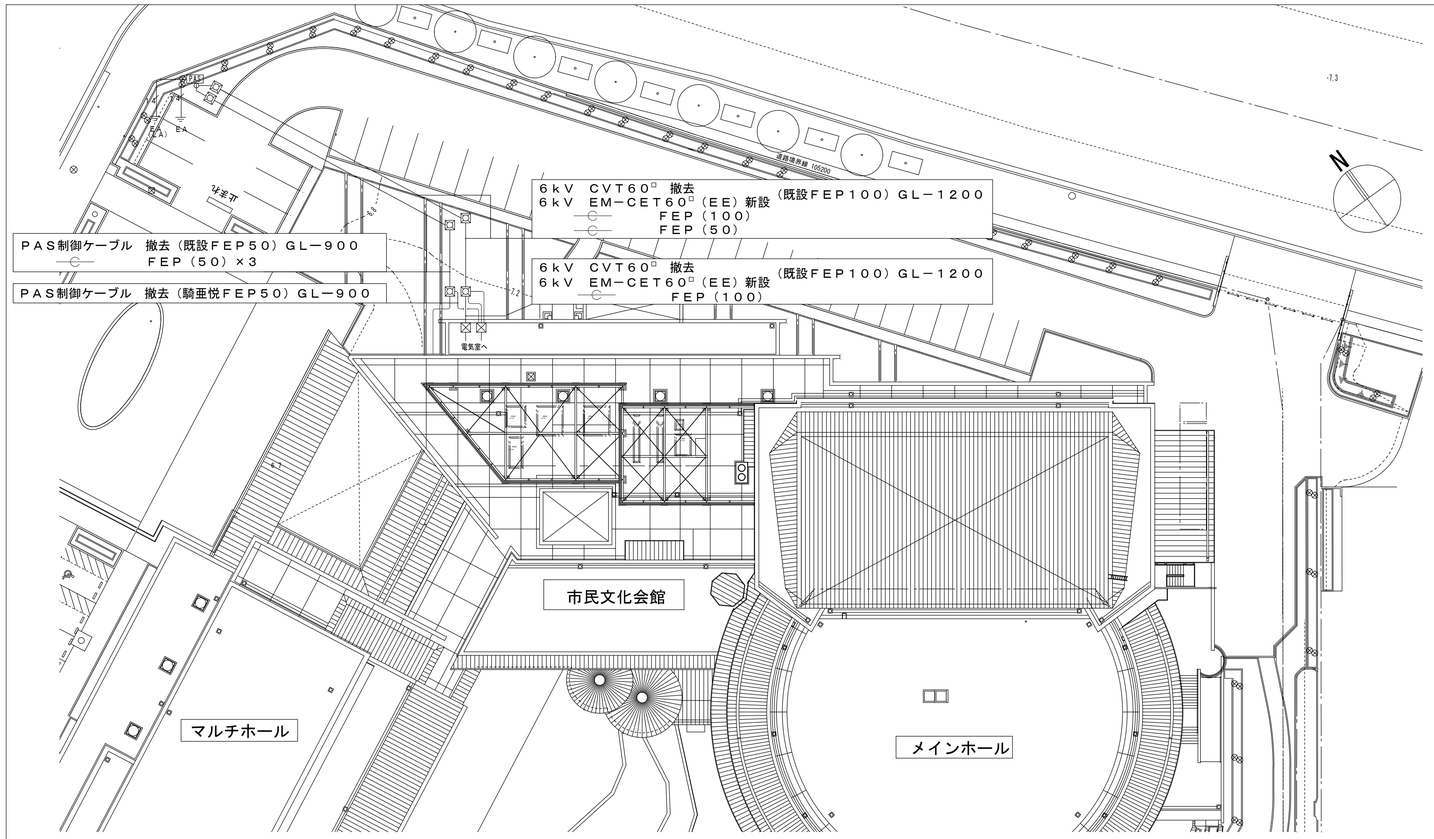


フライタワー屋根伏図

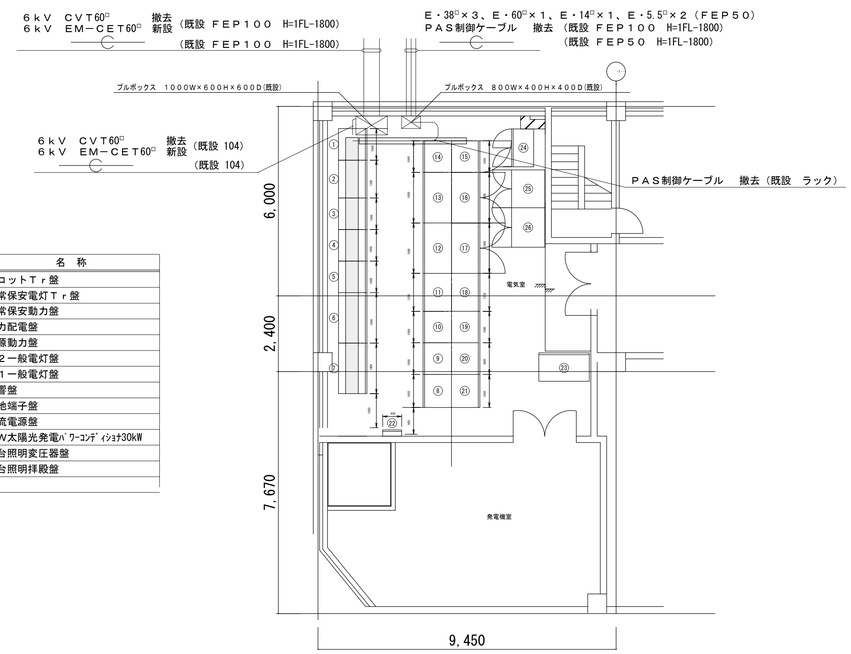


R3FL平面図

記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 R3FL・ﾌﾗｲﾀﾜｰ屋根伏図ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図（改修）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 E-069

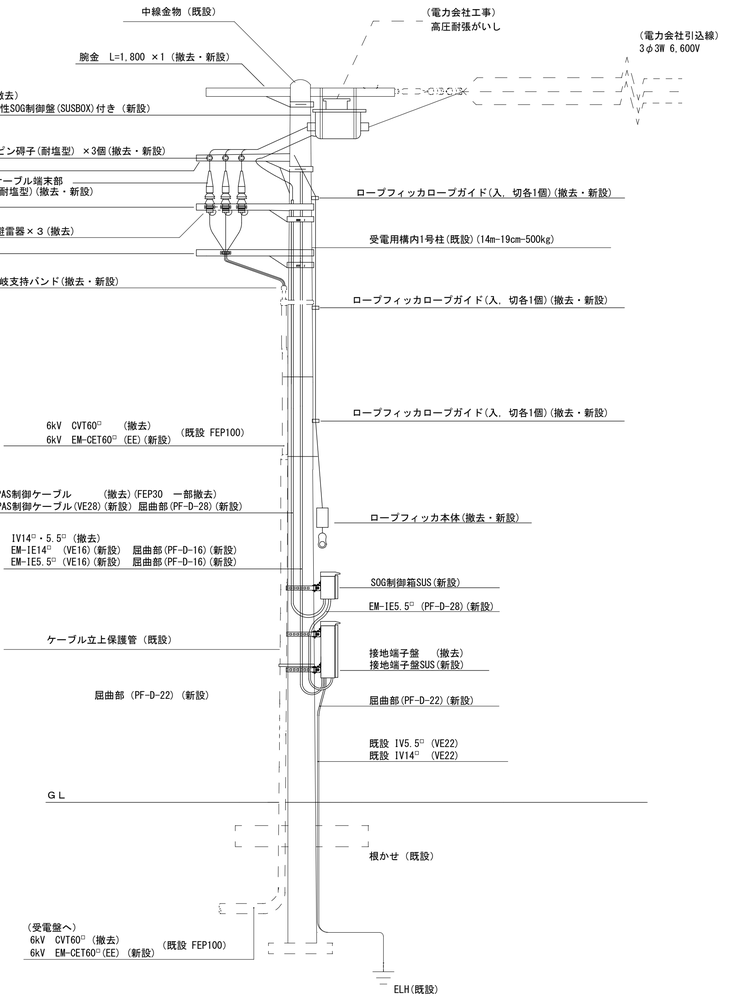


外　構　図　Ｓ＝１／３００



符号	名　称	符号	名　称
①	高圧引込盤	⑭	スコットＴｒ盤
②	高圧受電盤	⑮	非常保安電灯Ｔｒ盤
③	コンデンサ盤No.１	⑯	非常保安動力盤
④	コンデンサ盤No.２	⑰	動力配電盤
⑤	コンデンサ盤No.３	⑱	熱源動力盤
⑥	調光Ｔｒ盤	⑲	No.２一般電灯盤
⑦	調光盤	⑳	No.１一般電灯盤
⑧	音響Ｔｒ盤	㉑	音響盤
⑨	No.１一般電灯Ｔｒ盤	㉒	接地端子盤
⑩	No.２一般電灯Ｔｒ盤	㉓	直流電源盤
⑪	熱源動力Ｔｒ盤	㉔	ｋＷ太陽光発電ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ30kW
⑫	動力変圧器盤	㉕	舞台照明変圧器盤
⑬	非常保安動力Ｔｒ盤	㉖	舞台照明拝殿盤
◯		◯	

電気室平面図　Ｓ＝１／１００



装　柱　図　NS

※屋内用地絡方向継電器、警報表示装置撤去（キュービクル内）
（撤去後のブランクプレート、警報線処理含む）

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 ＰＡＳ工事改修図	縮尺 —
					図面番号 E-070

1P−3　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	PD−9	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
②	PD−10	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
③	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下
④	PD−21	2．2KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑤	PD−22	2．2KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑥	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下
⑦	PD−19	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑧	PD−20	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑨	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下
⑩	PD−11	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑪	PD−12	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑫	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下

1P−2　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	OAC−M−1	2．2KW	CE3．5−4C　PF（28）	
②	シャッタ　−	0．4KW	CE3．5−4C　PF（28）	

事務室給合盤電源配線図　S=1/200

凡　例

記　号	名　　称	備　　考
⑪★	埋込コンセント　2P15AE×2	取外し・再取付
☒	プルボックス	
――	配管配線　天井いんぺい	

（注記）
1. 特記なき配管配線は下記とする。
   ―― EM−IE2.0×3　(PF16)
   //// EM−IE2.0×5　(PF22)
2. 図中、太線の機器及び配管配線は撤去する。（細線は残置）
3. 太線の配管について、隠ぺい配管は撤去とし、打込み配管は残置する。
4. 図中、シンボル傍記★印は、取外し・再取付とする。
5. ケーブルはエコケーブル使用とする。

1P−1　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	AHU−M−2	5．5KW×2	CE5．5−4C　E5．5　E(31)×2	地下
②	PD−15	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
③	PD−16	0．25KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
④	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下
⑤	PD−17	1．5KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑥	PD−18	1．5KW	CE3．5−4C　PF（28）	地下
⑦	FS×4	――	FS附属ケーブル　PF（28）	地下
⑧	PAC−M−3	1．5KW	CE3．5−4C　PF（28）	2F
⑨	シャッタ　−	0．4KW×2	CE3．5−4C　PF（28）	
⑩	EF−M−18	0．28KW	CE3．5−4C　PF（28）	

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号　一級建築士（大臣）第269686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称	幹線・動力・コンセント設備 1階平面図(撤去)
			印	縮尺	A1:1/200　A3:1/400
				設計年月	
				図面番号	E-100

2RP-1　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	PAC-M-1	7.84KW	CE8-3C　E5.5　(28)	
②	PAC-M-2	2.2KW	CE3.5-4C　(22)	
③	R-2	39.2KW	CET100　E22　(82)	(撤去)
④	R-1	40.2KW	CET100　E22　(82)	
⑤	CT-1	11KW	CE8-3C　E8　(28)×2	
⑥	CDP-1	30KW	CET38　E14　(54)×2	

※上記機器の撤去・更新に伴い、配管配線の撤去を行う事。

2P-1　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	AHU-S-1	11KW×2	CE8-3C　E8　E(31)×4	
②	AHU-B-1	2.2KW	CE3.5-4C　E(25)	
③	AHU-B-2	2.2KW	CE3.5-4C　E(25)	
④	SMF-S-1	22KW	FPT22　E8　E(51)×2	
⑤	AHU-B-5	3.7KW×2	CE8-3C　E5.5　E(31)	
⑥	AHU-S-2	3.7KW×2	CE8-3C　E5.5　E(31)	
⑦	PAC-S-1	1.5KW	CE3.5-4C　PF(22)	3F
⑧	AHU-B-3	3.7KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F
⑨	AHU-B-4	3.7KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F
⑩	AHU-B-6	2.2KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F
⑪	AHU-B-7	1.5KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F
⑫	OAC-B-1	0.75KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F
⑬	電動移動席	7KW	CE8-3C　E2.0　PF(28)	1F
⑭	電動垂れ壁	0.4KW	CE3.5-4C　PF(22)	
⑮	シャッター	0.2KW	CE3.5-4C　PF(22)	1F

EM-CET100° E22°(E75)	1-L-4幹線 (撤去)
EM-CET60° E14°(E63)	3-L-2幹線 (撤去)

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号　一級建築士(大臣)第289686号　管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 幹線・動力・コンセント設備 2階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-101

P·BOX=SS500×500×300（撤去）

P·BOX=SS500×500×300（撤去）

EM-CET100° E14°(E75)	1-M-7幹線（撤去）
EM-CET60° E14° (E63)	1-M-9幹線（撤去）

1-M-7
1-M-9

1-M-5
3-ME-4
2-L-6
1-M-6
3-MG-1

1-M-5
3-ME-4
2-L-6
1-M-6
3-MG-1
3-L-1

4-L-1

舞台上部

音響室

音響機械室

調光室

調光機械室

フロントサイド投光室

フロントサイド投光室

客席M2

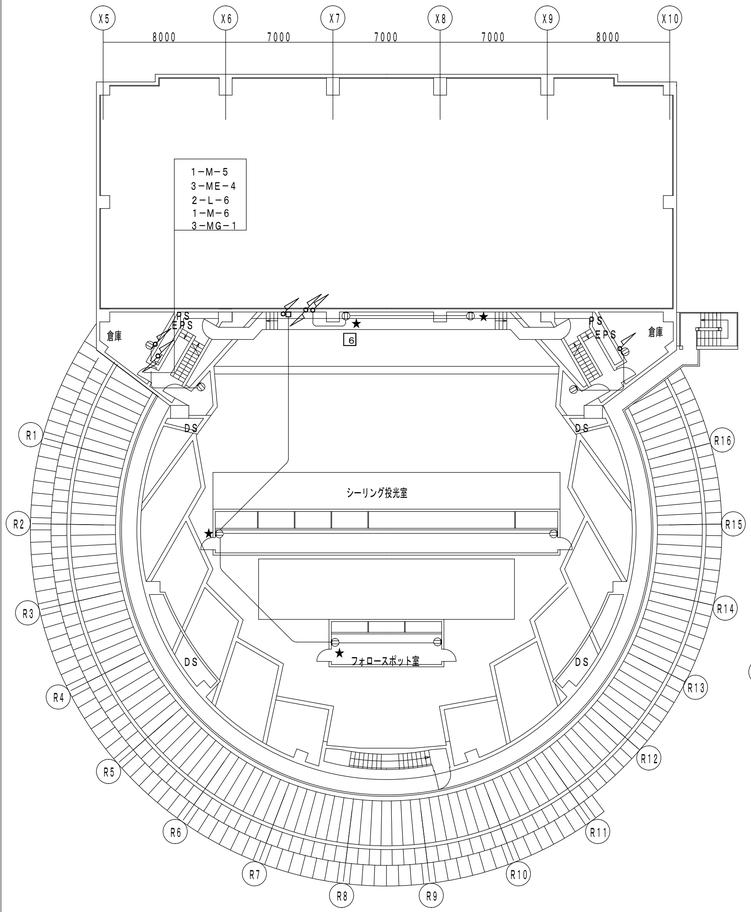
ホワイエM2上部

DS

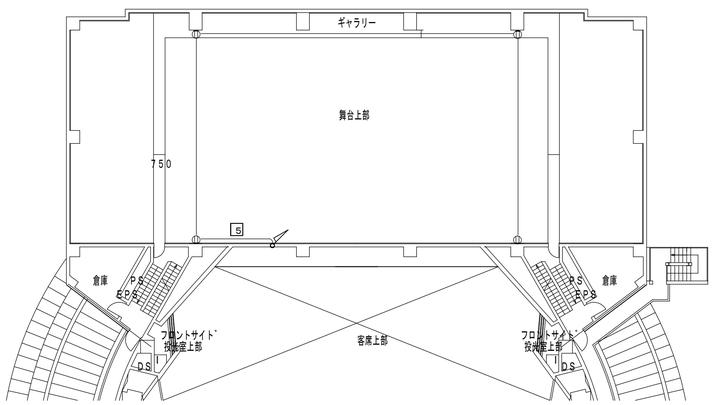
PS

N

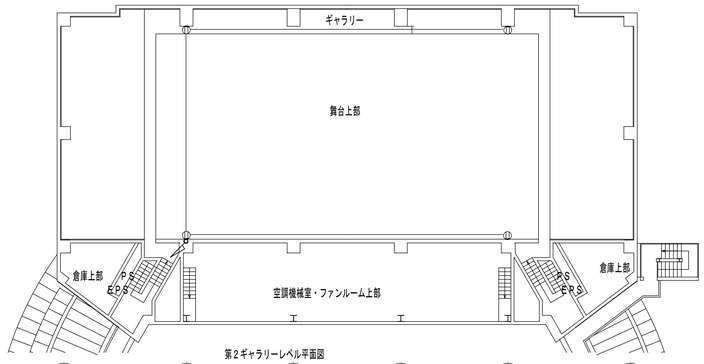
記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称	幹線・動力・コンセント設備 3階平面図(撤去)
			印	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
				設計年月	
				図面番号	E-102



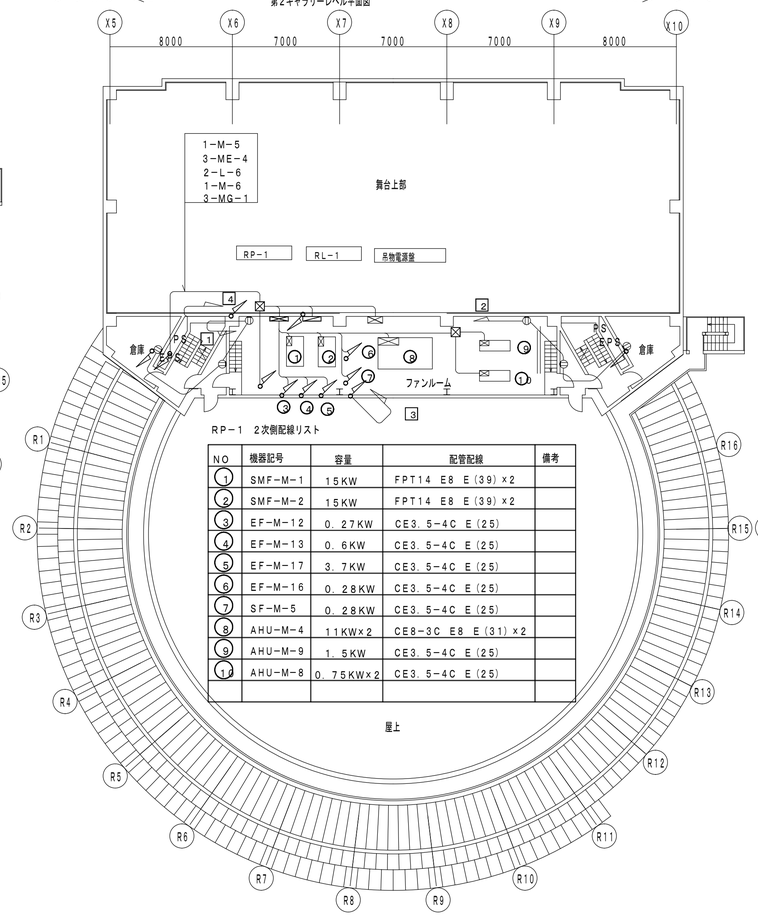
客席シーリングレベル平面図



第1ギャラリーレベル平面図



第2ギャラリーレベル平面図

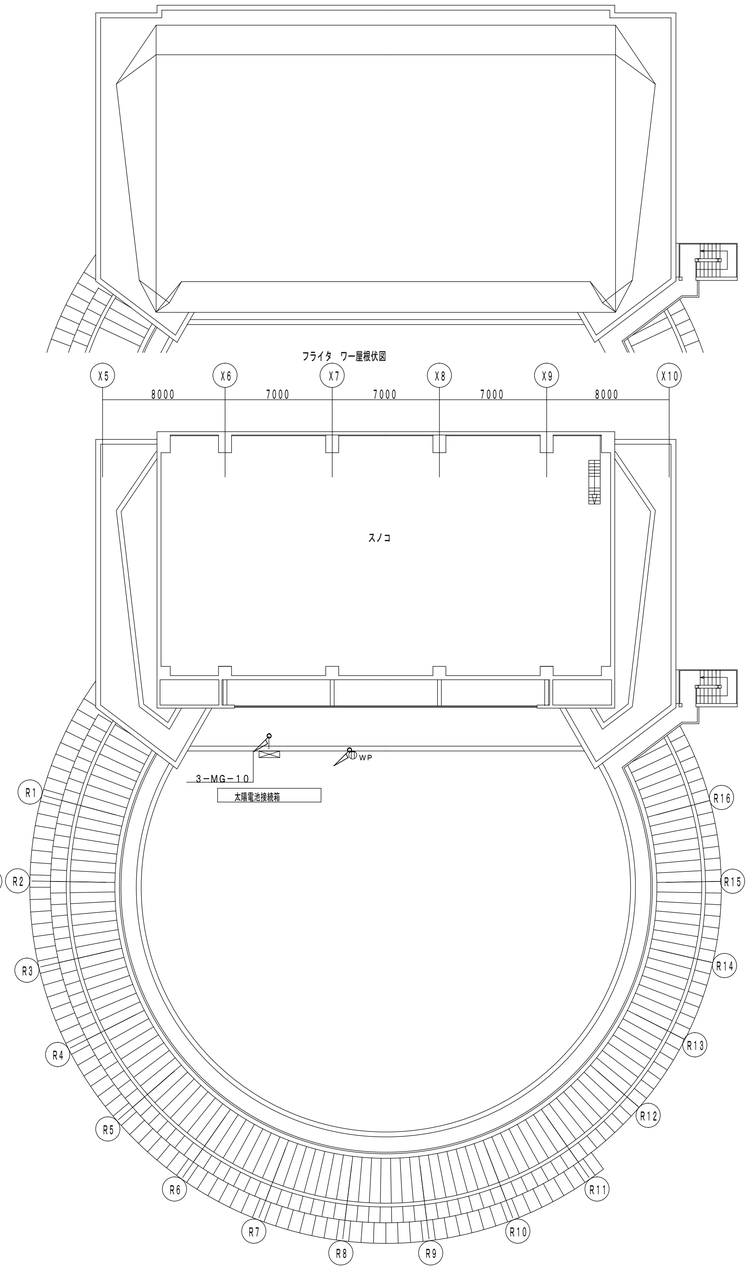


RP−1　2次側配線リスト

NO	機器記号	容量	配管配線	備考
①	SMF−M−1	15KW	FPT14　E8　E(39)×2	
②	SMF−M−2	15KW	FPT14　E8　E(39)×2	
③	EF−M−12	0．27KW	CE3．5−4C　E(25)	
④	EF−M−13	0．6KW	CE3．5−4C　E(25)	
⑤	EF−M−17	3．7KW	CE3．5−4C　E(25)	
⑥	EF−M−16	0．28KW	CE3．5−4C　E(25)	
⑦	SF−M−5	0．28KW	CE3．5−4C　E(25)	
⑧	AHU−M−4	11KW×2	CE8−3C　E8　E(31)×2	
⑨	AHU−M−9	1．5KW	CE3．5−4C　E(25)	
⑩	AHU−M−8	0．75KW×2	CE3．5−4C　E(25)	

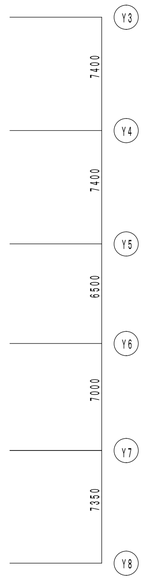
屋上

ファンルーム・空調機械室レベル平面図

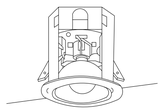
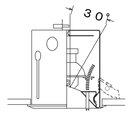
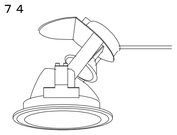
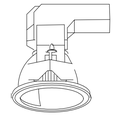
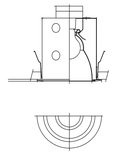


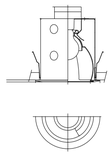
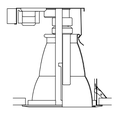
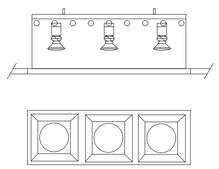
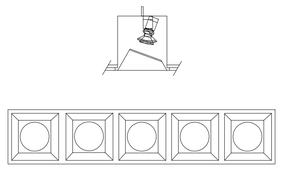
スノコレベル平面図

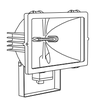
フライタ　ワー屋根伏図



記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 幹線・動力・コンセント設備 R階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
					図面番号 E-103

n	非常照明（天井埋込）	q	高天井用非常照明	D1	１２Ｖハロゲン５０Ｗ×１	D11	１２Ｖハロゲン１００Ｗ×１	D12	ＦＭＬ１３×１　ダウンライト角	D3	クリプトン１００Ｗ×１
n４０	ＫＯ－ＩＲＳ２－４０	q８５	ミニハロゲン８５Ｗ								
					 アジャスタ　ブルＤＬ Ｄ５０７７Ｎ １２Ｖ５０Ｗ　ＧＵ５．３ ﾀﾞｲｸﾛｲｯｸﾐﾗｰﾗﾝﾌﾟ（ﾗﾝﾌﾟ・ﾄﾗﾝｽ別）		t　ＢＴ８９１７４ 		t　ＢＴ８１６３９ 		 Ｄ５２７１（Ｎ，Ｋ） ＩＬ　１００Ｗ×１ ﾐﾆｸﾘﾌﾟﾄﾝﾗﾝﾌﾟ ﾎﾜｲﾄ

D3A	クリプトン１００Ｗ×１　ウォールウォッシャー	D5B	ＦＤＬ２７Ｗ　　ダウンライト	DLB	ビームランプ１２０Ｗ×３	SP11～13	スポットセルライト	SP11、SP11A	ビーム１２０Ｗ×３７（Ｌ＝１３ｍ）曲線	K6	エースライン２０mm曲線器具
								SP11B、SP11C	ビーム１２０Ｗ×３１（Ｌ＝１０．５ｍ）曲線		
								SP11D、SP11E	ビーム１２０Ｗ×３１（Ｌ＝１０．５ｍ）曲線		
								ＳＰ１２	ＰＡＲ３６／３００Ｗ×３（Ｌ＝１．２ｍ）裏メンテ		
								ＳＰ１３	ＲＦ６０Ｗ×２５（Ｌ＝７．５ｍ）		
	 Ｄ５２７３（Ｎ，Ｋ） ＩＬ　１００Ｗ×１ ﾐﾆｸﾘﾌﾟﾄﾝﾗﾝﾌﾟ ﾎﾜｲﾄ		 Ｄ５２８５（Ｋ，Ｎ） ＦＤＬ２７Ｗ×１ ｺﾝﾊﾟｸﾄ蛍光ﾗﾝﾌﾟ		 ヤマギワ相当品		 ヤマギワ相当品				

T6	ＮＨ１５０Ｗ×１	W321	ＦＨＦ３２Ｗ×１	Y60	ＩＬ６０Ｗ×１						
											

記事		業務名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事設計業務	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	照明器具姿図（改修前）	縮尺 A1:N/S A3:N/S	図面番号 E-104

X5 X6 X7 X8 X9 X10

8,000 / レクシブリット 7,000 / レクシブリット 7,000 / レクシブリット 7,000 / 8,000

Y3 7,400 Y4 7,400 Y5 6,300 Y6 7,200 Y7

R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16

屋外機械置場

屋外機械置場

光庫上部

舞台上部

倉庫
W321 x 2

階段室	EPS
D1 x 5	AA321 x 1

ホワイエM2
B3 x 12
D1 x 1
D12 x 1
SP10 x 1

階段室	EPS
D1 x 5	AA321 x 1

自販機コーナー2
D5B x 3

テラス2
B2 x 4

④	1R	EEF 2.0－2C (PF28)
④	5C	EEF 2.6－2C

①			IE 2.0×2 E2.0(PF16)
③	1E	② 1A	EEF 2.6－3C×2 (PF28)
④	1A		EEF 2.0－2C (PF28)
④	F211		EEF 2.0－2C
④			IE 2.0×2 (PF16)
⑥	2	⑤ 2	EEF 2.6－2C×2 (PF28)
④	2	⑤ 2	EEF 2.6－2C×2 (PF28)
⑤	2	④ 2	EEF 2.6－2C×2 (PF28)
⑤	2	⑩ 2	EEF 2.6－2C×2 (PF28)
①	2		EEF 2.6－2C (PF22)

2L－2 2L－1

EV 階段 PS EPS アラーム弁室 階段6 自販機コーナー テラス2 テラス1 上部

②			EEF 2.6－3C (PF22)
①			CE 8□－2C (PF22)
②	3B		CE 8□－2C (PF22)
③	3B		CE 8□－2C (PF22)
			AE 1.2－2C×2 (PF22)

AE 1.2－2C (PF16)

前室M5 前室M6 前室M3 前室M4 効果室M

D1 SS DS 1P 2P 2R 2B 2C 2D 2A

IE 2.0×2 E2.0(PF16)

②	701		EEF 2.6－3C (PF22)
①	702		CE 8□－2C (PF22)
②	3B		CE 8□－2C (PF22)
③	3B		CE 8□－2C (PF22)
			AE 1.2－2C (PF16)

3F 調光盤へ			
④	2	2A	EEF 2.0－2C×2 (PF28)
④	2B	2C	EEF 2.0－2C×2 (PF28)
④	2D		EEF 2.0－2C (PF22)

ホワイエM2

大ホール	
D1 x 15	撤去

前室M3	
D1 x 3	撤去

効果室M	
BB322 x 6	
D3 x 6	

前室M4	
D1 x 3	撤去

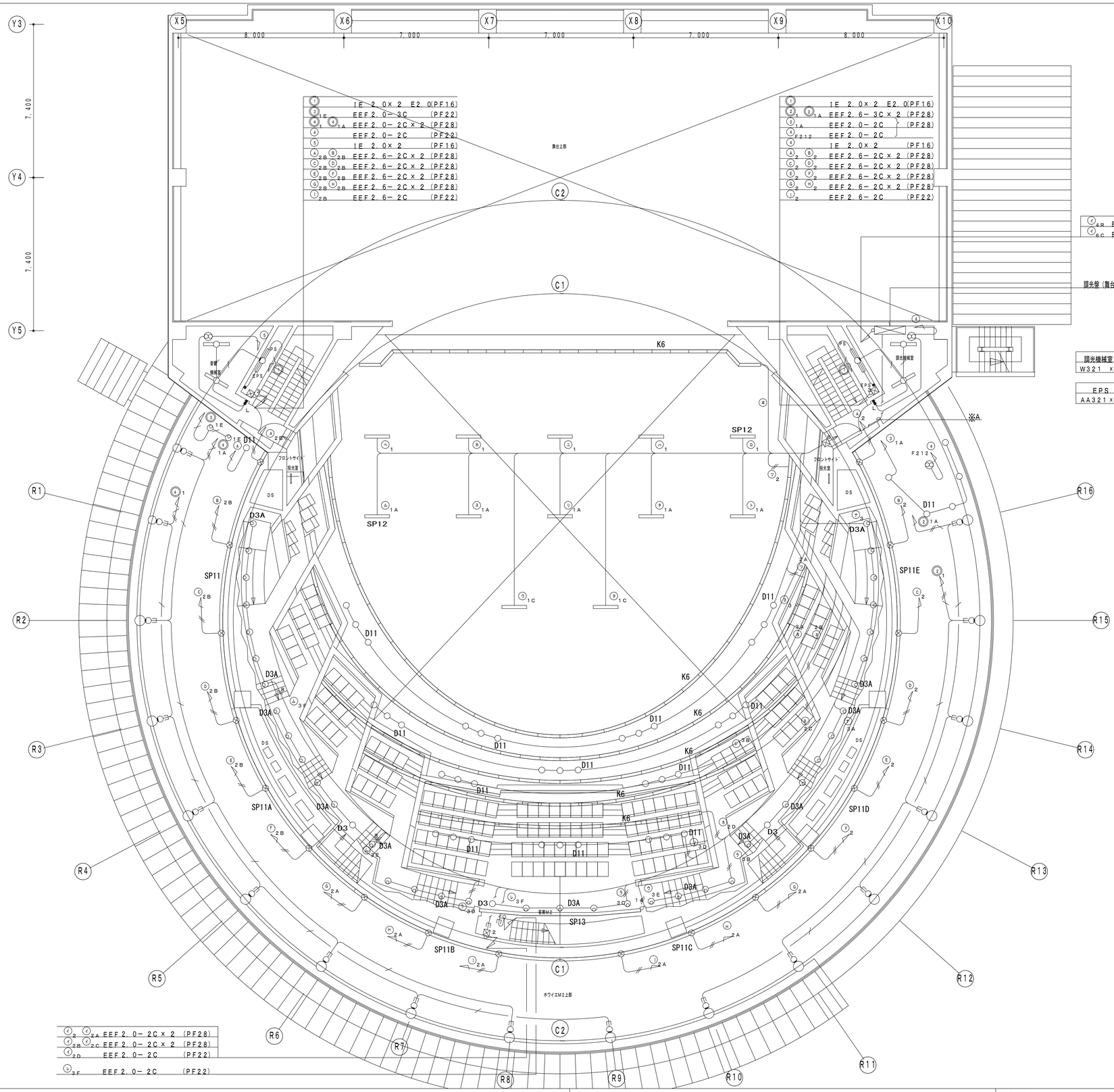
2階平面図 (2)

凡 例

記号	名称	備考
▭	蛍光灯１灯用	
○ ⊖	ダウンライト	
◁	スポットライト	
•	埋込スイッチ 1P15Ax1	
•3	埋込スイッチ 3W15Ax1	
•4	埋込スイッチ 4W15Ax1	
———	配管配線 天井いんぺい	

（注記）
1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - EM-IE2.0×2 (PF16)
   - 1P EM-IE2.0×3 (PF16)
   - EM-FCPEE1.2-1P (PF16)
2. 図中、太線の機器及び配管配線は撤去する。（細線は残置）
3. 太線の配管について、隠ぺい配管は撤去とし、打込み配管は残置する。
4. ケーブルはエコケーブル使用とする。

記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月	
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	電灯設備 2階メインホール平面図(撤去)	縮尺 A1:1/100 A3:1/400	図面番号 E-105



音響機械室
W321 x2

EPS
AA321x1

ホワイエM2上部	
B4 x17	残置
D11 x6	撤去
D12 x2	
SP11 x1	
SP11A x1	
SP11B x1	
SP11C x1	
SP11D x1	
SP11E x1	

客席M2	
D3A x38	撤去
D3 x3	
D11 x36	
K6 x154	
SP12 x12	
SP13 x1	

調光機械室
W321 x2

EPS
AA321x1

※A（撤去）

2 2A	EEF2.0-2C×2 (PF28)
2B 2C	EEF2.0-2C×2 (PF28)
2D 1B	EEF2.0-2C×2 (PF28)
D1 A1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
C1 B1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
A1 J1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
H1 J1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
F1 A1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
H1 G1	EEF2.0-2C×2 (PF28)
3 3A	EEF2.0-2C×2 (PF28)
3B 3D	EEF2.0-2C×2 (PF28)
2 2A	EEF2.0-2C×2 (PF28)
2B 2C	EEF2.6-2C×2 (PF28)
2D 3B	EEF2.6-2C×2 (PF28)
3 3A	EEF2.0-2C×2 (PF28)
3B 3C	EEF2.6-2C×2 (PF28)
3D	EEF2.6-2C (PF28)
3F	EEF2.0-2C
3E	CE 8□-2C (PF22)
3F	CE 8□-2C (PF22)
3E	CE 14□-2C (PF28)

2 2A EEF2.0-2C×2 (PF28)
2B 2C EEF2.0-2C×2 (PF28)
2D EEF2.0-2C (PF22)
3F EEF2.0-2C (PF22)

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 電灯設備 3階ﾒｲﾝﾎｰﾙ平面図(撤去)	縮尺 A1:1/400 A3:1/800
			図面番号 E-106

EEF2.0−3C×2 (PF28)×9

IE8□ ×4 E2.0(PF28)

安定器収容箱
NH150W用×18台 撤去

X5 8000 X6 7000 X7 7000 X8 7000 X9 8000 X10

倉庫 W321×2 | EPS AA321×1 | キャットウォーク AA321×8 | EPS AA321×1 | 倉庫 W321×2

IE2.0×2 E2.0(PF16)

IE5.5□×2 E2.0(PF16)

IE2.0×4 E2.0 (PF22)
IE5.5□×2 (PF16)
IE5.5□×4 (PF22)

IE8□×4 E2.0(PF28)

シーリング投光室
D5B ×14 撤去

シーリング投光室

フォロースポット室
D5B ×5 撤去

階段
D1 ×3 撤去

大ホール屋上
T6 ×34 撤去

EEF2.0−2C (PF22)

客席シーリングレベル平面図

ギャラリー
IE5.5□×2 E2.0(PF16)
舞台上部
750
ギャラリー
AA321×8
AE 1.2−2C(PF16)
倉庫 PS EPS フロントサイド投光室上部 客席上部 フロントサイド投光室上部 DS

第1ギャラリーレベル平面図

ギャラリー
AA321×8

IE5.5□×2 E2.0(PF16)
舞台上部
AE 1.2−2C (PF16)
倉庫上部 PS EPS 空調機械室・ファンルーム上部 PS EPS 倉庫上部

第2ギャラリーレベル平面図

安定器収容箱
NH150W用×16台 撤去

EEF2.0−3C×2(PF28)×8

天井裏
W321×14 撤去

X5 8000 X6 7000 X7 7000 X8 7000 X9 8000 X10

倉庫 W321×2 | EPS AA321×1 | 空調機械室 W321×8 | EPS AA321×1 | 倉庫 W321×2

IE2.0×2 E2.0(PF16)

舞台上部 AE 1.2−2C(PF16)

RL−1

倉庫 PS EPS PS EPS 倉庫

ファンルーム

AA321 AA321

IE5.5□×2 E2.0(PF16)
AE 1.2−2C (PF16)

IE2.0×4 E2.0(PF22)
IE5.5□×2 (PF16)
IE5.5□×4 (PF22)

IE8□×4 E2.0(PF28)

屋上

ファンルーム・空調機械室レベル平面図

フライタワー屋根伏図

X5 8000 X6 7000 X7 7000 X8 7000 X9 8000 X10

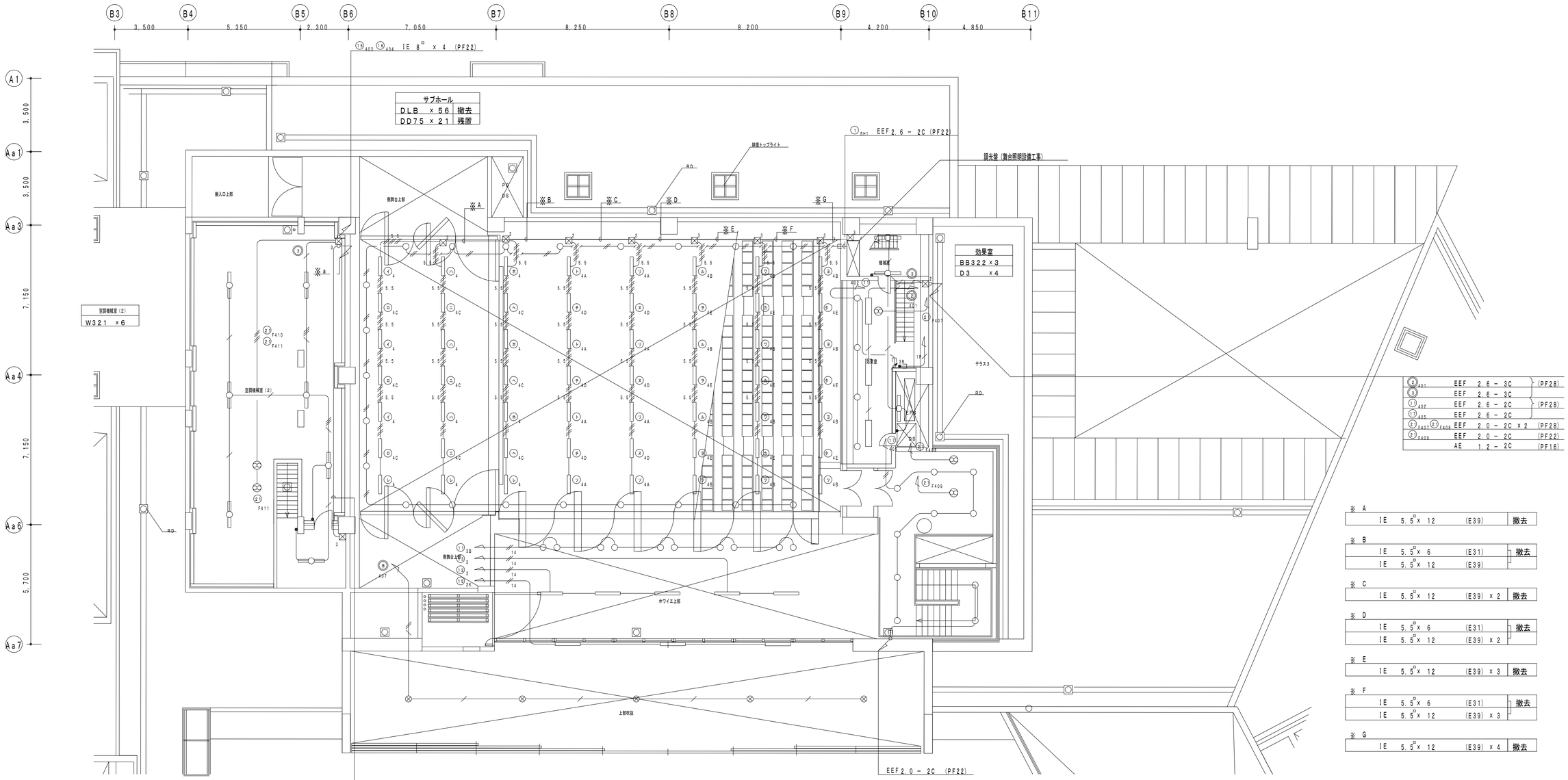
スノコ

IE8□×4 E2.0(PF28)

Y3 7400 Y4 7400 Y5 6500 Y6 7000 Y7 7350 Y8

スノコレベル平面図

記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 電灯設備 R階メインホール平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-107



空調機械室前室
AA321x1

※8

③	IE 5.5□x 2 E2.0	(PF22)
B 407	IE 5.5□x 2	
1.2 3 1.3 3	IE 14□x 4	(PF28)
1.1 3B 1.5 2K	IE 14□x 4	(PF28)
1.5 403 1.6 404	IE 8□ x 4	(PF22)
② F410 ② F411	IE 2.0 x 4	(PF22)

B 407	IE 5.5□x 2 E2.0	(PF16)
1.2 3 1.3 3	IE 14□x 4	(PF28)
1.1 3B	IE 14□x 2	(PF28)
1.5 2K	IE 14□x 2	

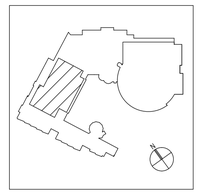
ホワイエ上部
D11 x10
SP9B x5

上部吹抜
D8 x5
SP9B x3

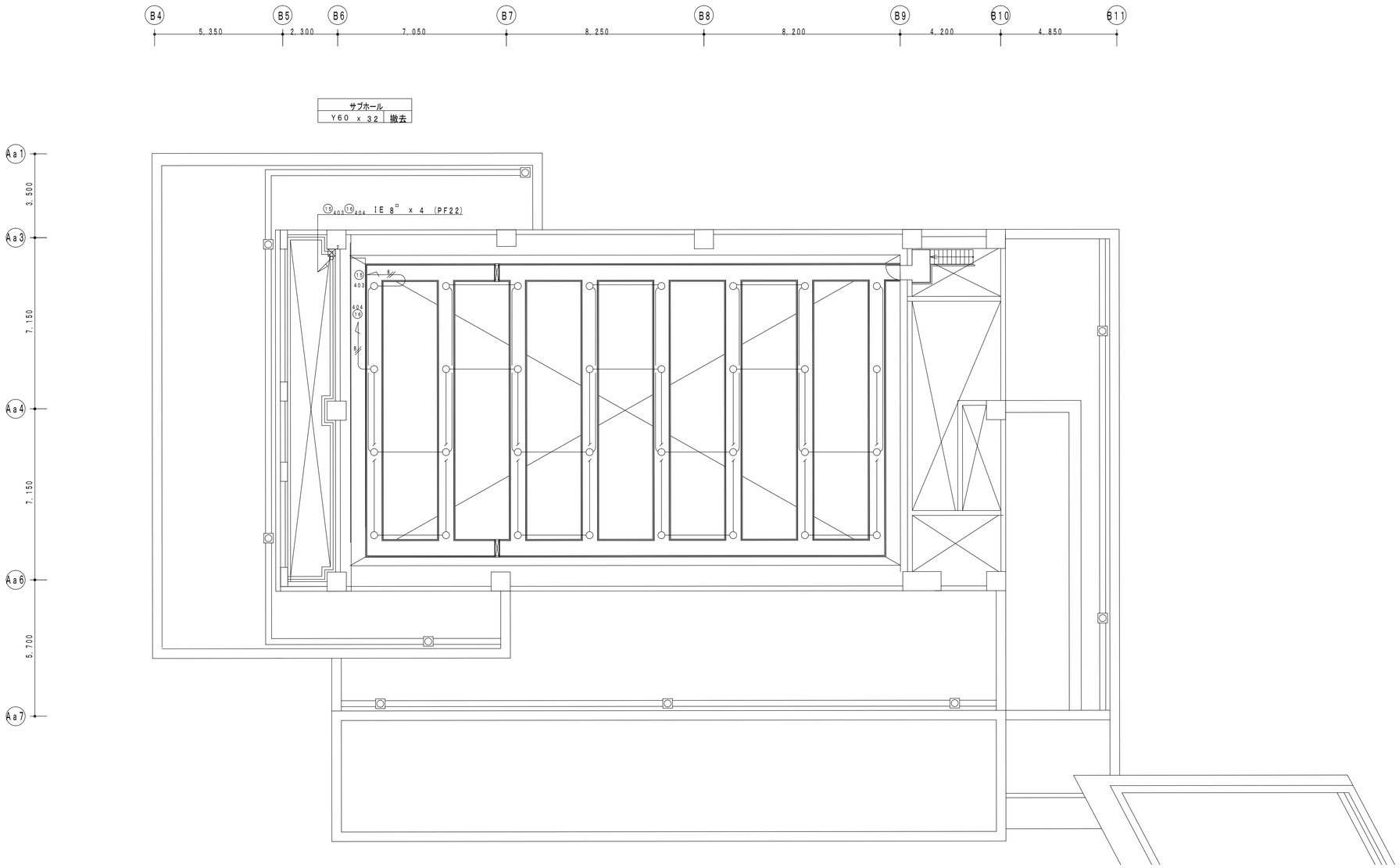
2階平面図 （1）

EPS
AA321x1

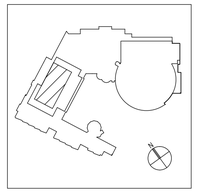
踊場
D5B x8



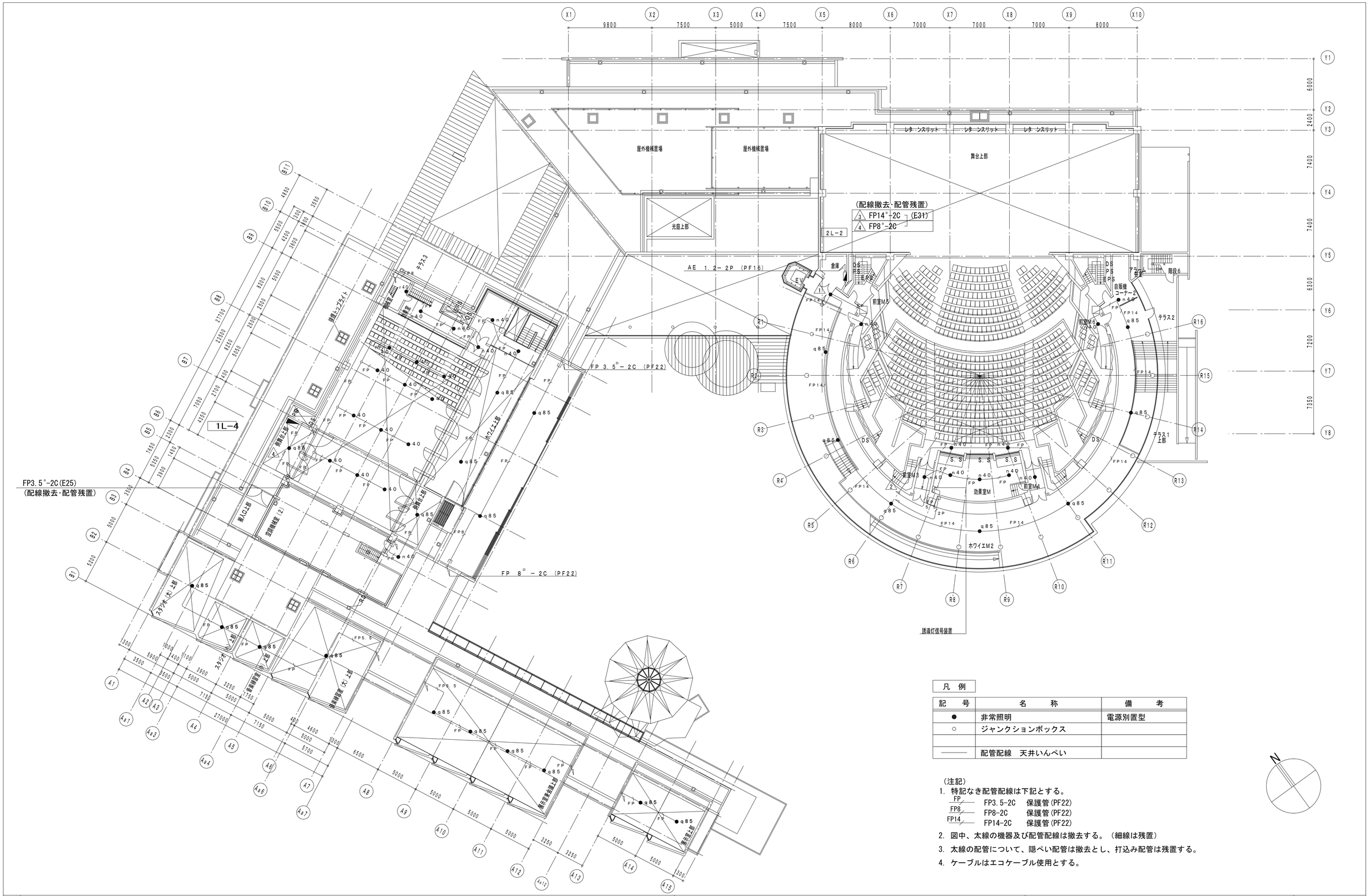
記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
				図面名称 電灯設備 2階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(撤去)	縮尺 A1:1/100 A3:1/400 / 図面番号 E-108



3階平面図 （1）



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事			設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 電灯設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図(撤去)	縮尺 A1:1/100 A3:1/400	図面番号 E-109



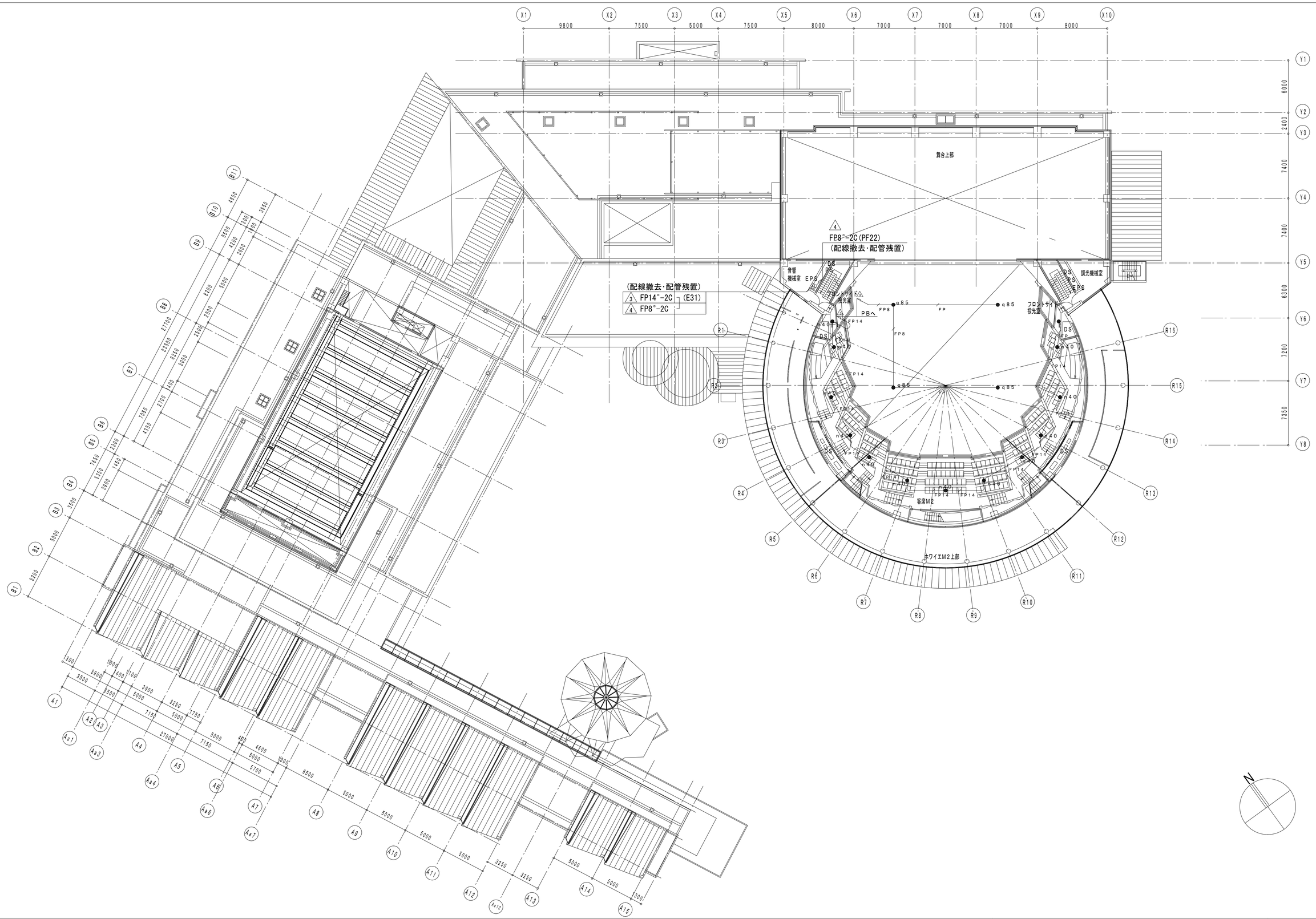
凡 例

記 号	名 称	備 考
●	非常照明	電源別置型
○	ジャンクションボックス	
———	配管配線 天井いんぺい	

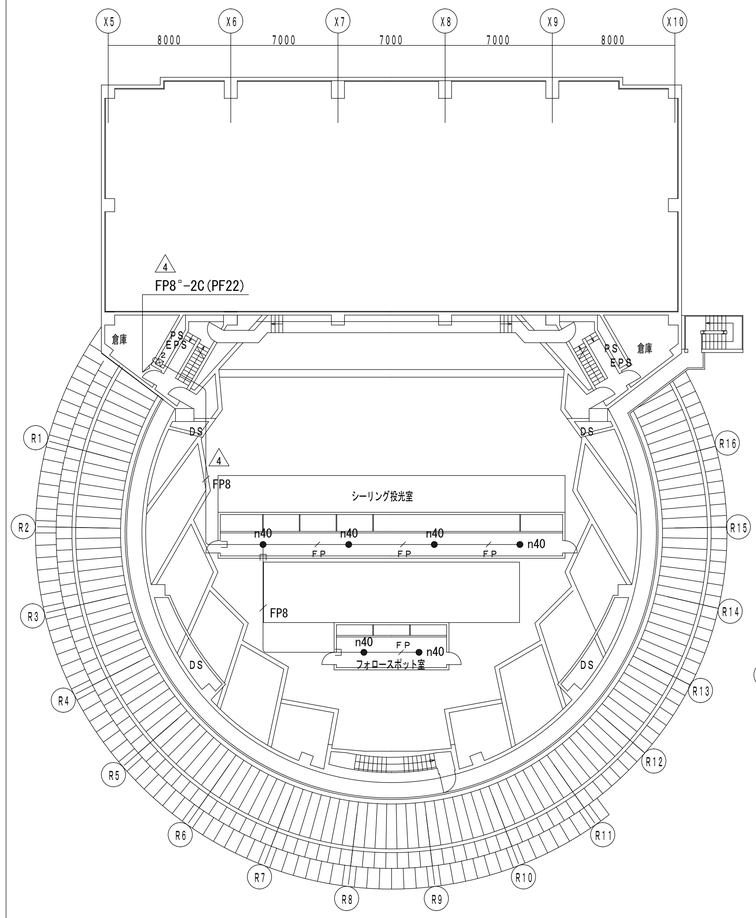
（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - FP ／ FP3.5-2C 保護管(PF22)
   - FP8 ／ FP8-2C 保護管(PF22)
   - FP14 ／ FP14-2C 保護管(PF22)
2. 図中、太線の機器及び配管配線は撤去する。（細線は残置）
3. 太線の配管について、隠ぺい配管は撤去とし、打込み配管は残置する。
4. ケーブルはエコケーブル使用とする。

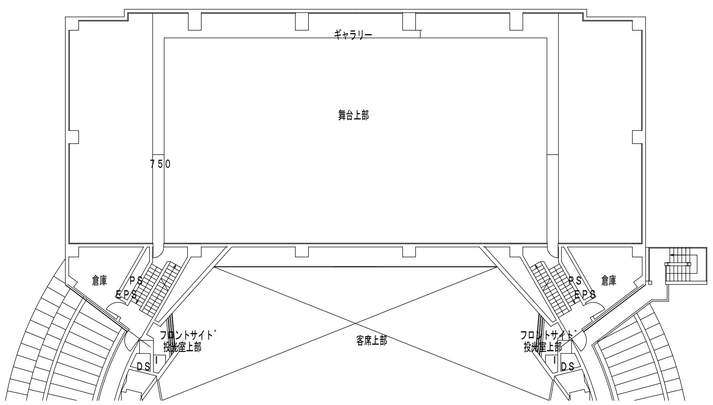
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 非常照明設備 2階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
			図面番号 E-110



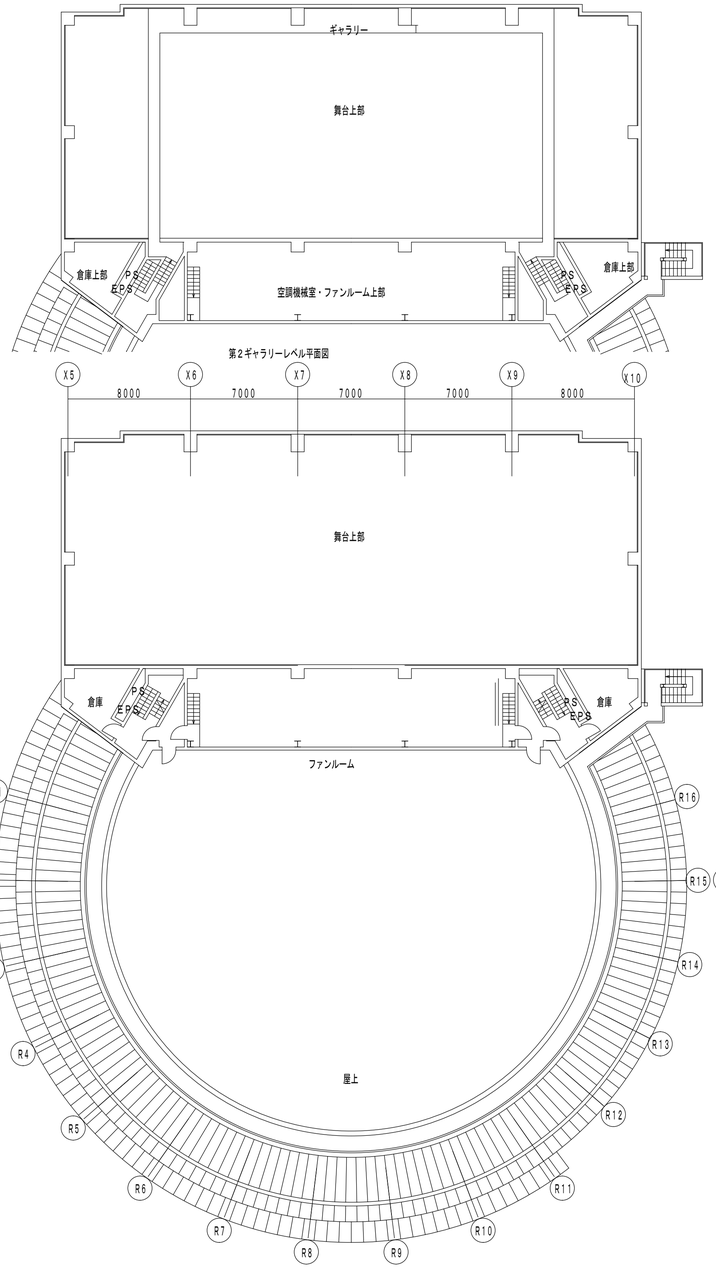
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 非常照明設備 3階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-111



客席シーリングレベル平面図

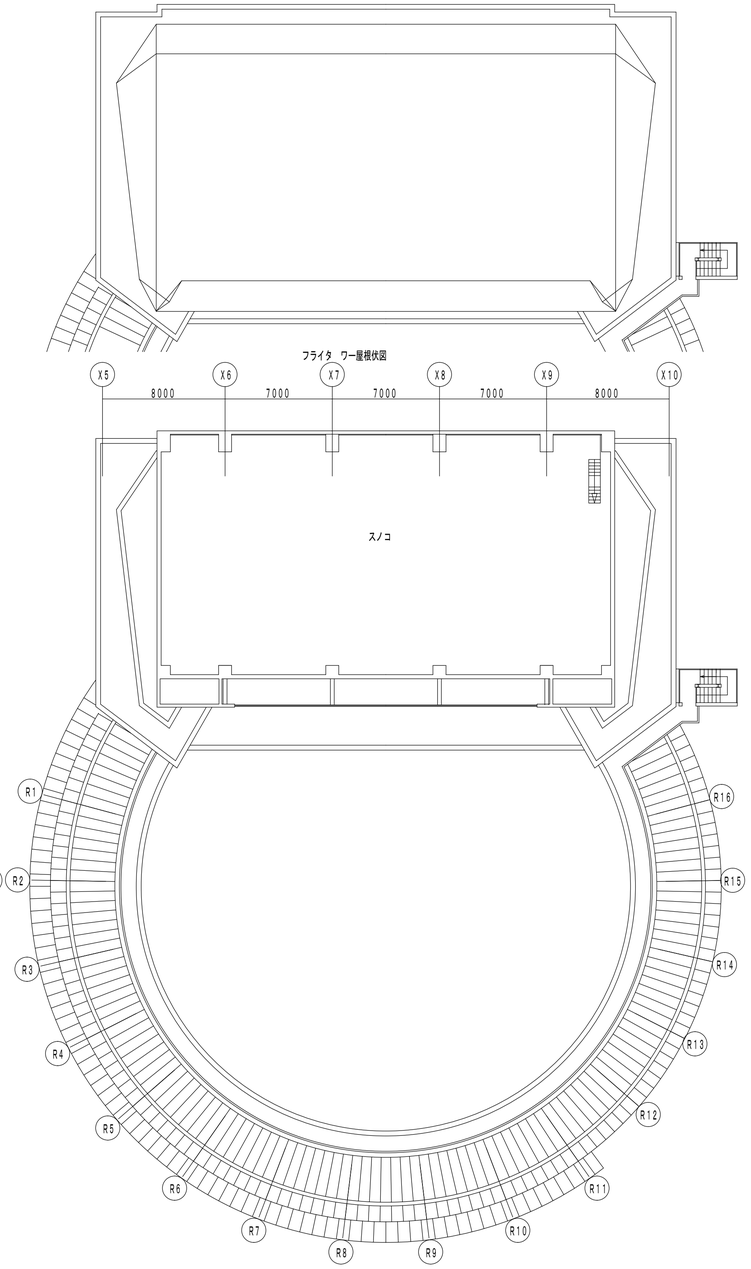


第1ギャラリーレベル平面図



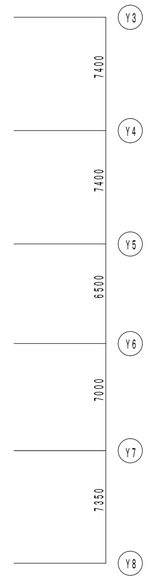
第2ギャラリーレベル平面図

ファンルーム・空調機械室レベル平面図

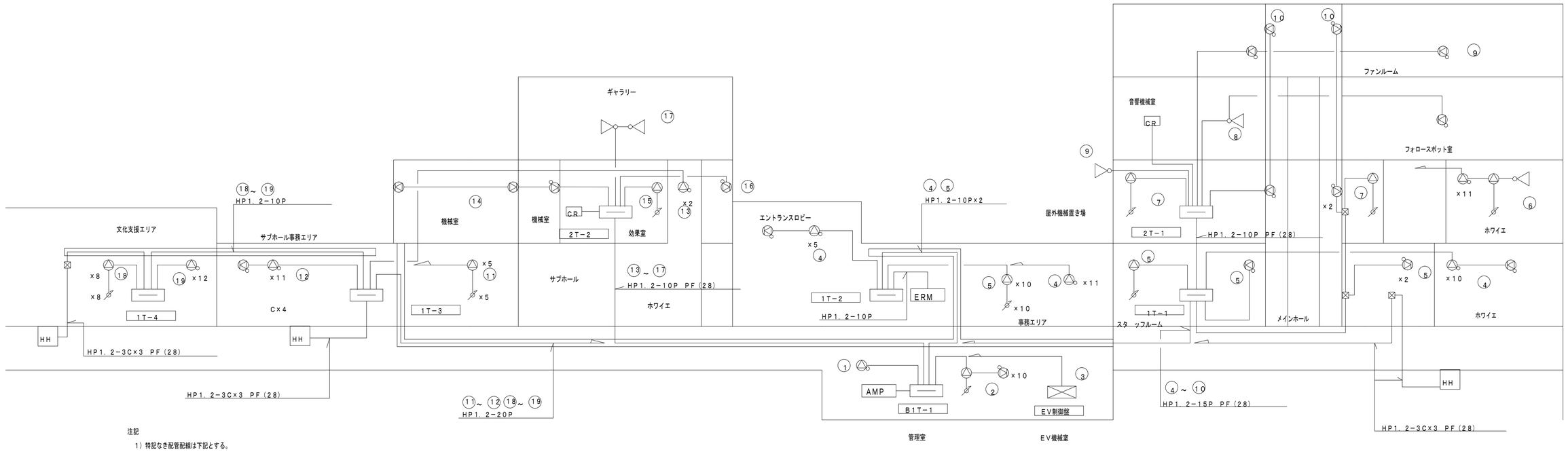


フライタ ワー屋根伏図

スノコレベル平面図



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 非常照明設備 R階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/600 A3:1/1200 / 図面番号 E-112



注記

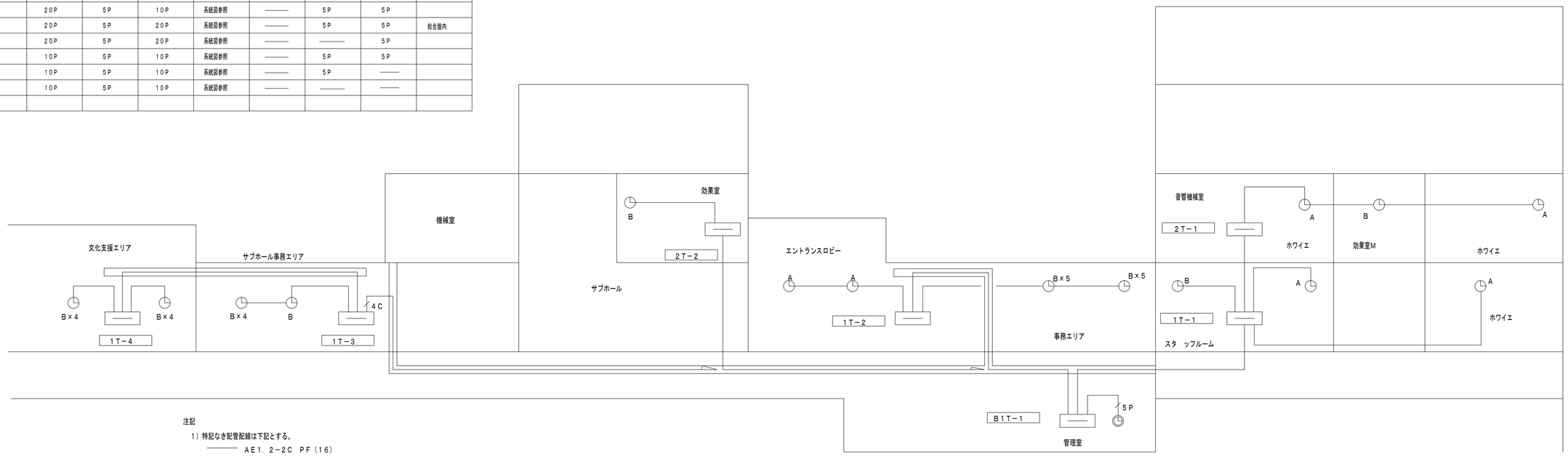
1）特記なき配管配線は下記とする。

——— HP1．2－3C PF（16）
——— HP1．2－3C （ラック上）

非常放送設備系統図

端子盤内訳

端子盤名称	非常放送	時計	TEL	TV	ITV	インター ホン	トイレ呼び出し	備考
B1T－1	80P	5P	50P	系統図参照	———	5P	5P	総合盤内
1T－1	20P	5P	10P	系統図参照	———	5P	5P	
1T－2	20P	5P	20P	系統図参照	———	5P	5P	総合盤内
1T－3	20P	5P	20P	系統図参照	———	———	5P	
1T－4	10P	5P	10P	系統図参照	———	5P	5P	
2T－1	10P	5P	10P	系統図参照	———	5P	———	
2T－2	10P	5P	10P	系統図参照	———	———	———	



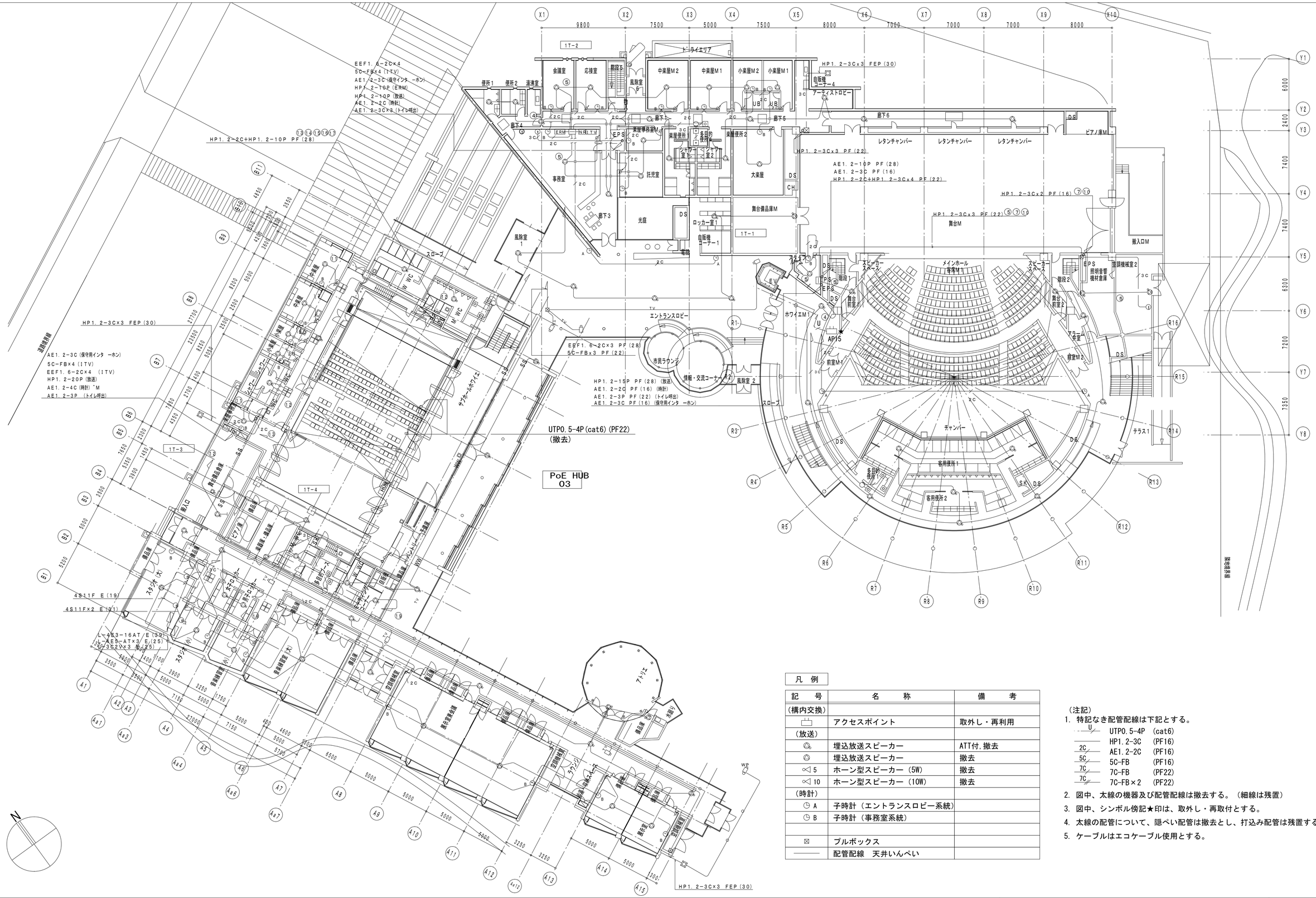
注記

1）特記なき配管配線は下記とする。

——— AE1．2－2C PF（16）
——— AE1．2－2C （ラック上）
／4C AE1．2－4C PF（16）
／4C AE1．2－4C （ラック上）
／10P AE1．2－10P PF（16）
／10P AE1．2－10P （ラック上）
／5P AE1．2－5P （総合盤内）

電気時計設備系統図

記事		業務名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事設計業務	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 弱電設備系統図（参考）	縮尺 A1:N/S A3:N/S	図面番号 E-113



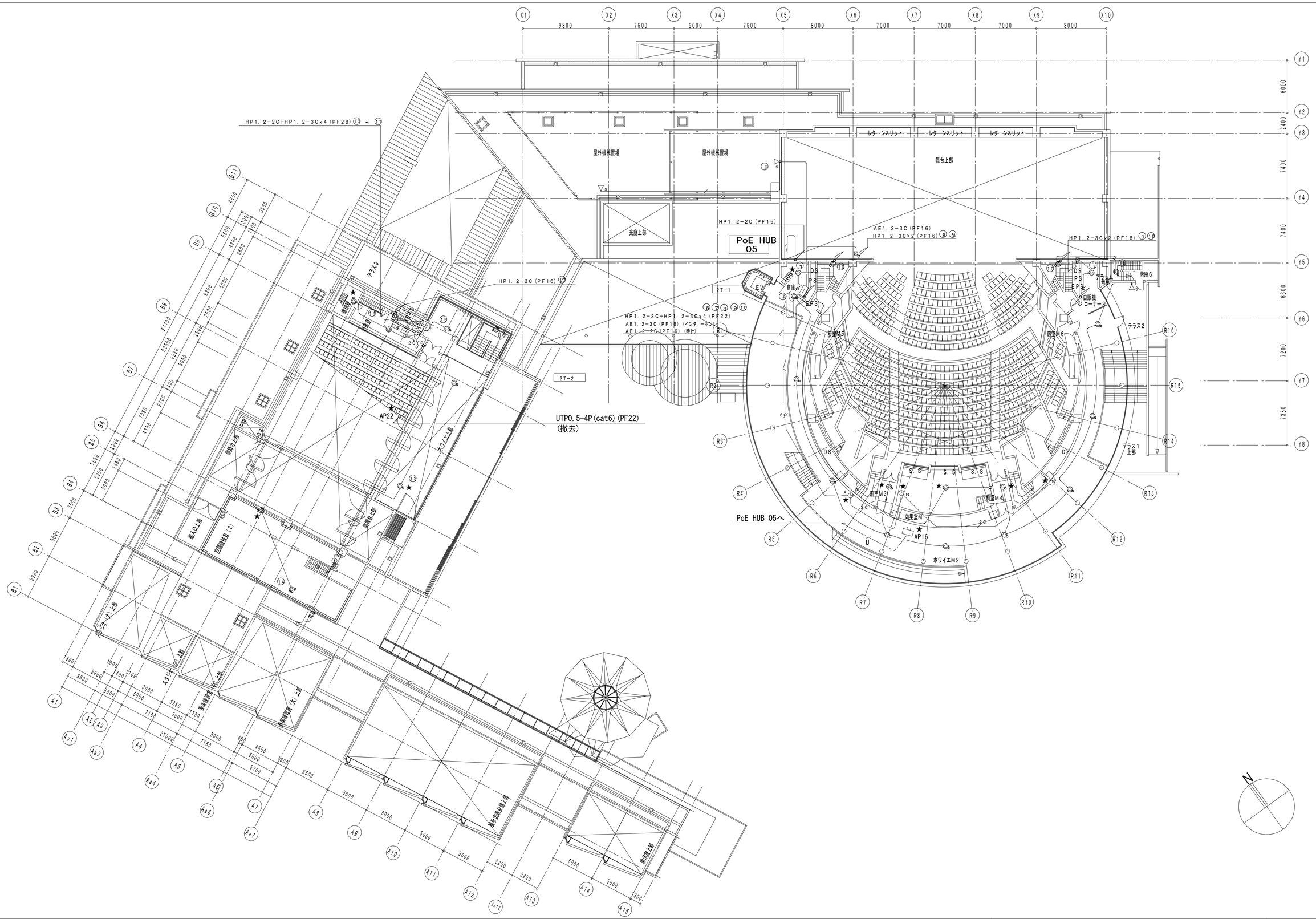
凡　例

記　号	名　称	備　考
(構内交換)		
	アクセスポイント	取外し・再利用
(放送)		
	埋込放送スピーカー	ATT付,撤去
	埋込放送スピーカー	撤去
◁ 5	ホーン型スピーカー (5W)	撤去
◁ 10	ホーン型スピーカー (10W)	撤去
(時計)		
A	子時計 (エントランスロビー系統)	
B	子時計 (事務室系統)	
⊠	プルボックス	
———	配管配線　天井いんぺい	

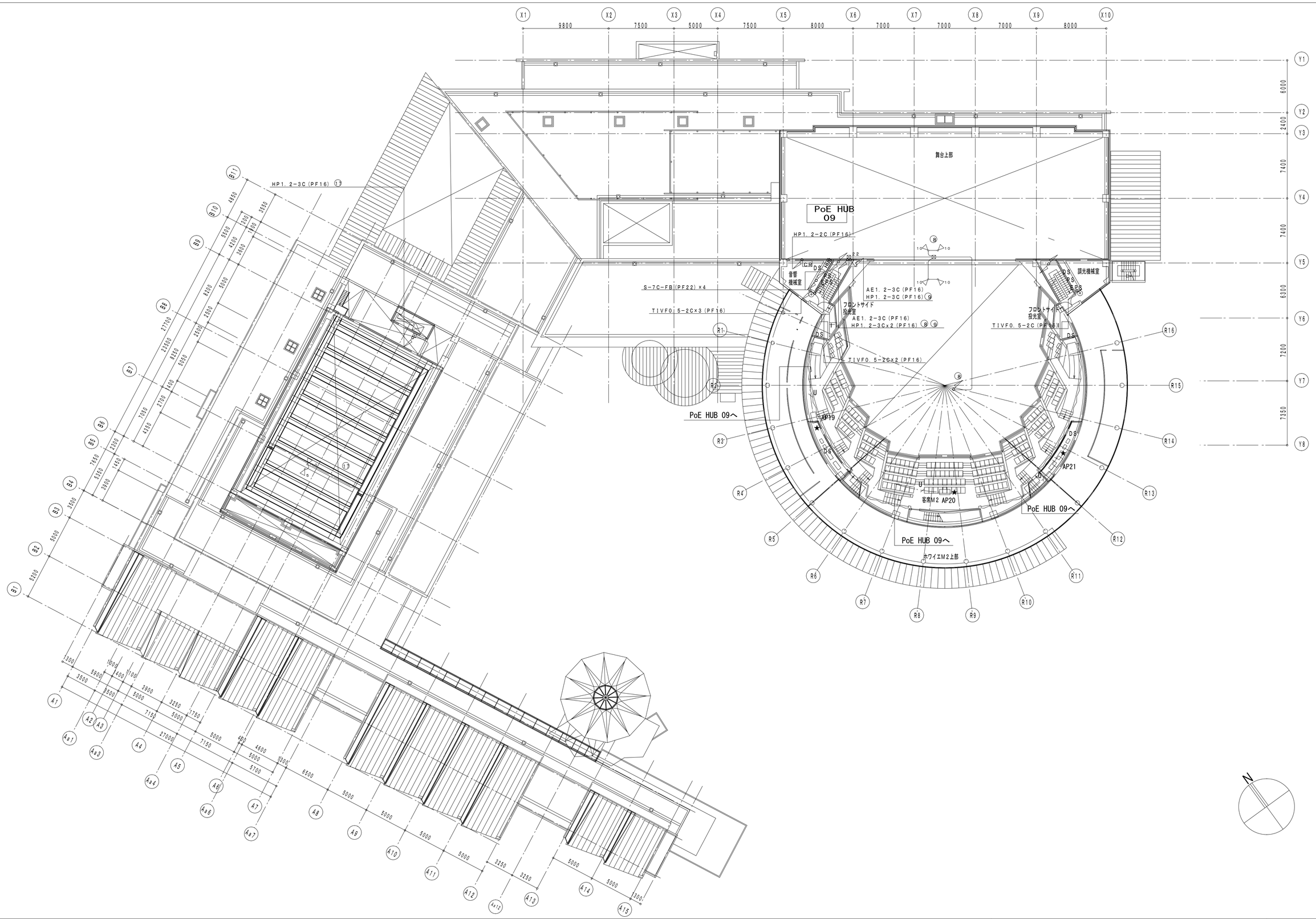
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - U — UTP0.5-4P (cat6)
   - HP1.2-3C (PF16)
   - 2C — AE1.2-2C (PF16)
   - 5C — 5C-FB (PF16)
   - 7C — 7C-FB (PF22)
   - 7C — 7C-FB×2 (PF22)
2. 図中、太線の機器及び配管配線は撤去する。(細線は残置)
3. 図中、シンボル傍記★印は、取外し・再取付とする。
4. 太線の配管について、隠ぺい配管は撤去とし、打込み配管は残置する。
5. ケーブルはエコケーブル使用とする。

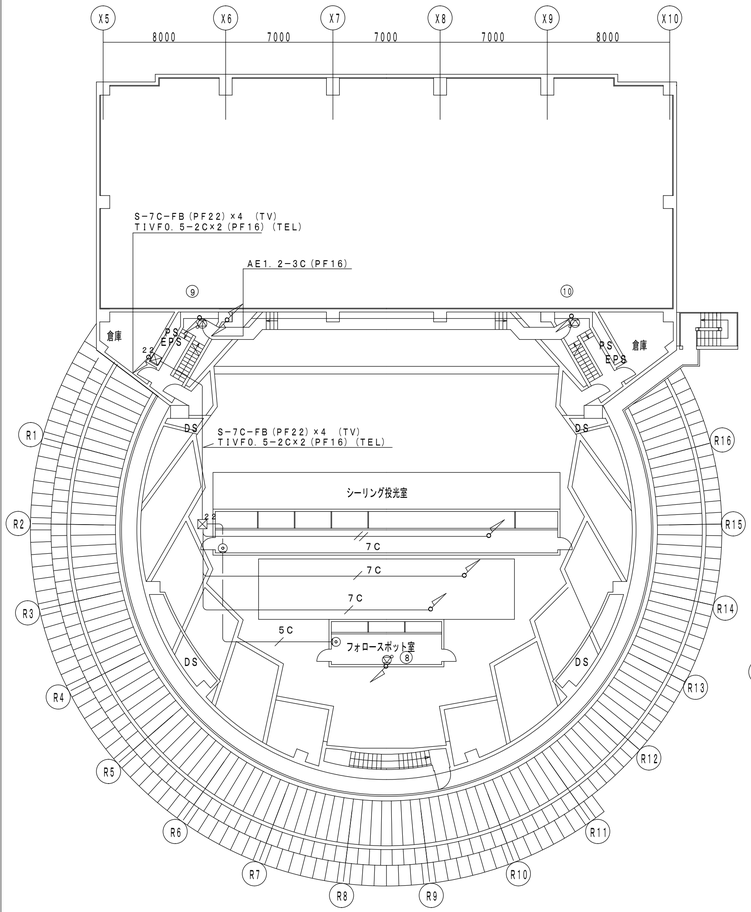
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号　一級建築士 (大臣) 第289686号　管理建築士 樋口 勉　印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称: 弱電設備(電話・テレビ・放送) 1階平面図(撤去)	縮尺: A1:1/200 A3:1/400
			図面番号: E-114



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第269686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 弱電設備(電話・テレビ・放送) 2階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 / 図面番号 E-115

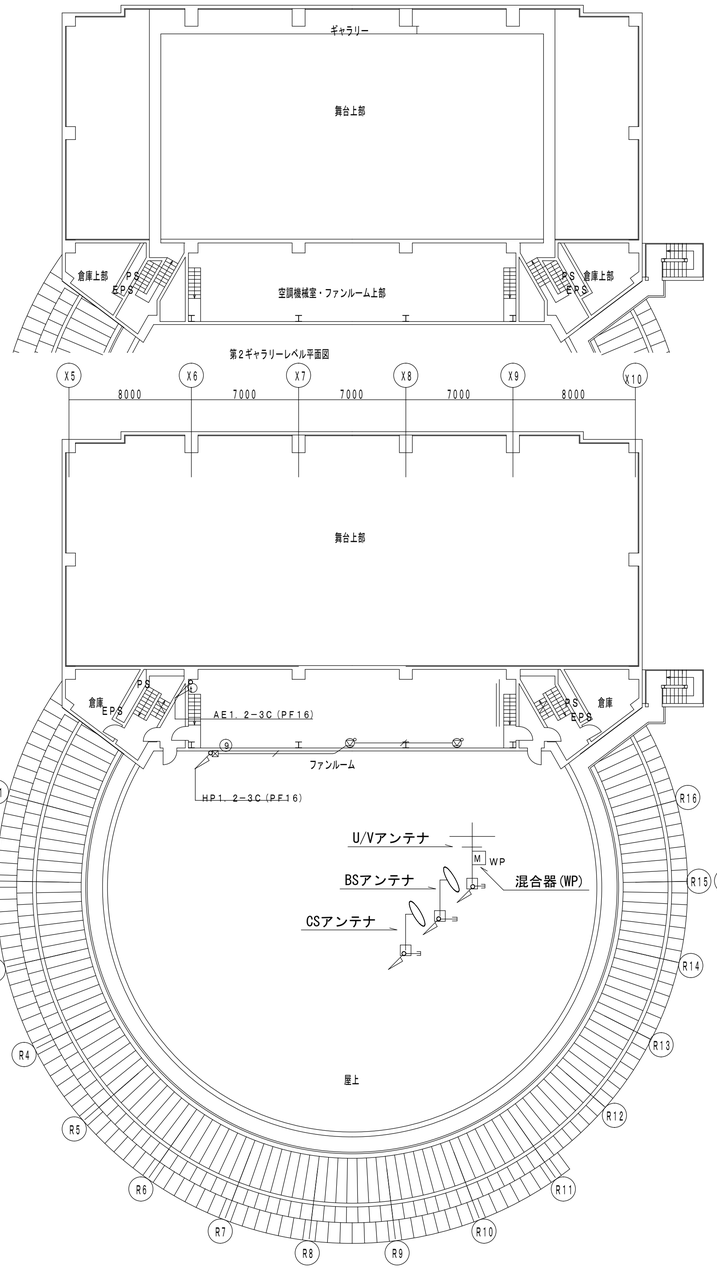


記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 弱電設備(電話・テレビ・放送) 3階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 / 図面番号 E-116



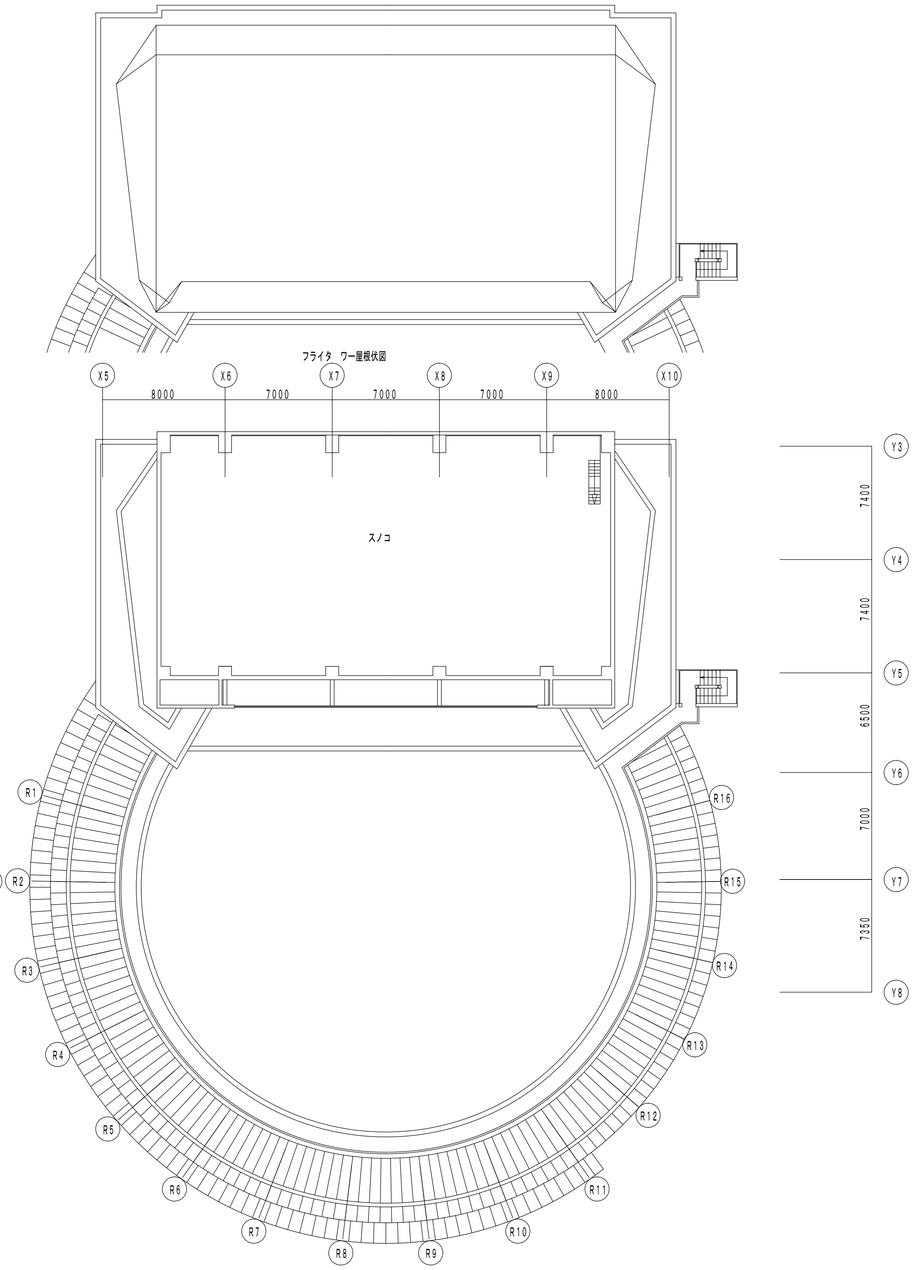
客席シーリングレベル平面図

第1ギャラリーレベル平面図



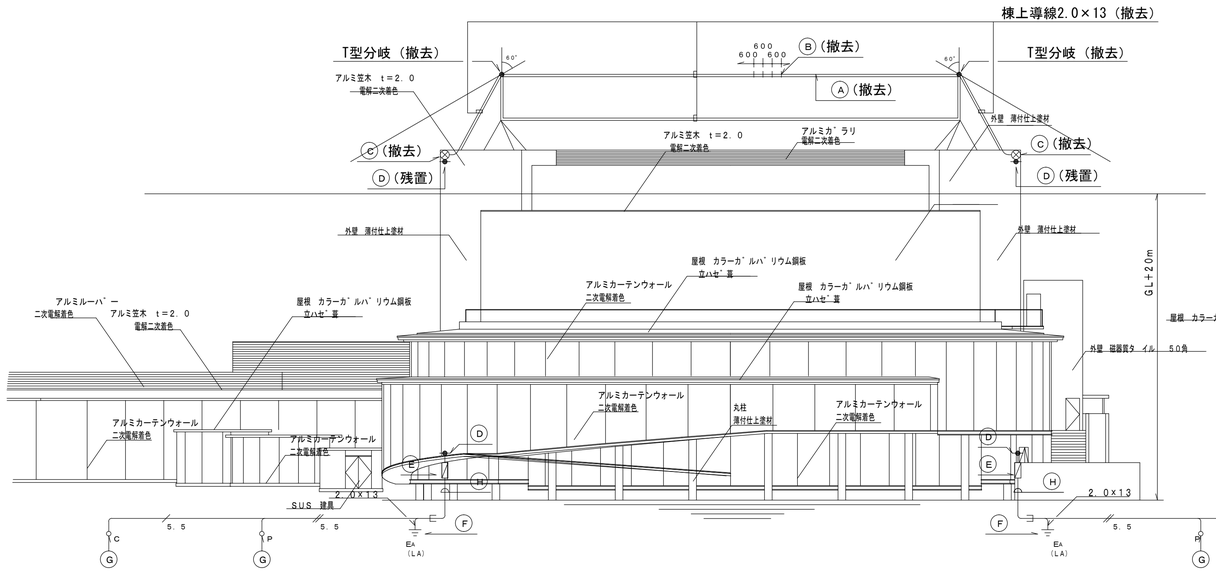
第2ギャラリーレベル平面図

ファンルーム・空調機械室レベル平面図

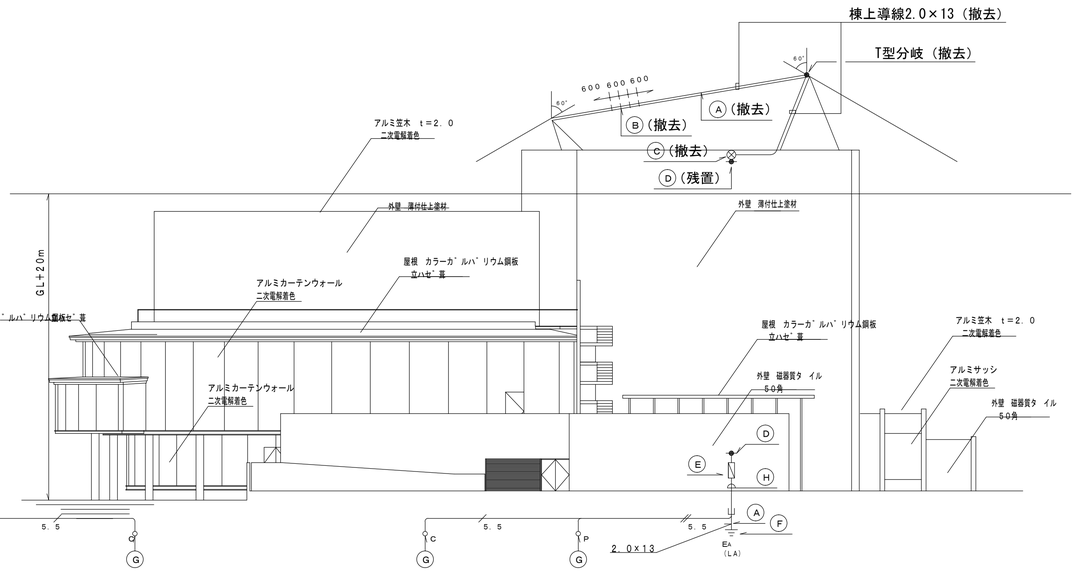


スノコレベル平面図

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 弱電設備(電話・テレビ・放送) R階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 / 図面番号 E-117



メインホール南西側立面図



メインホール南東側立面図

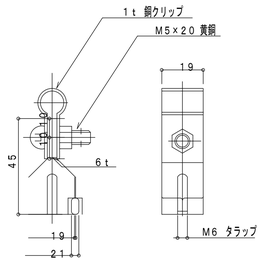
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

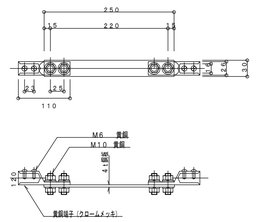
※図中、太線の機器配管配線を撤去する。

避雷設備機器姿図

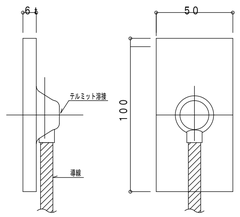
導線支持金具



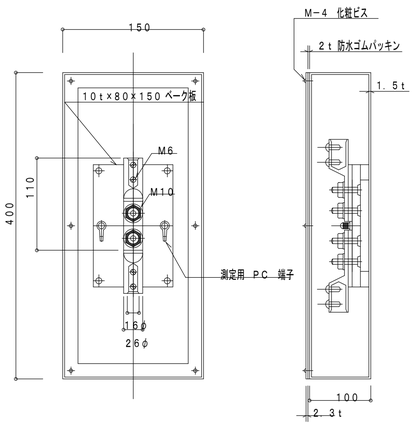
水切端子 ： パラペット用



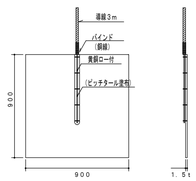
鉄骨用アース金具 （テルミット溶接式）



試験用端子函 ： ＶＥ 製 露出型



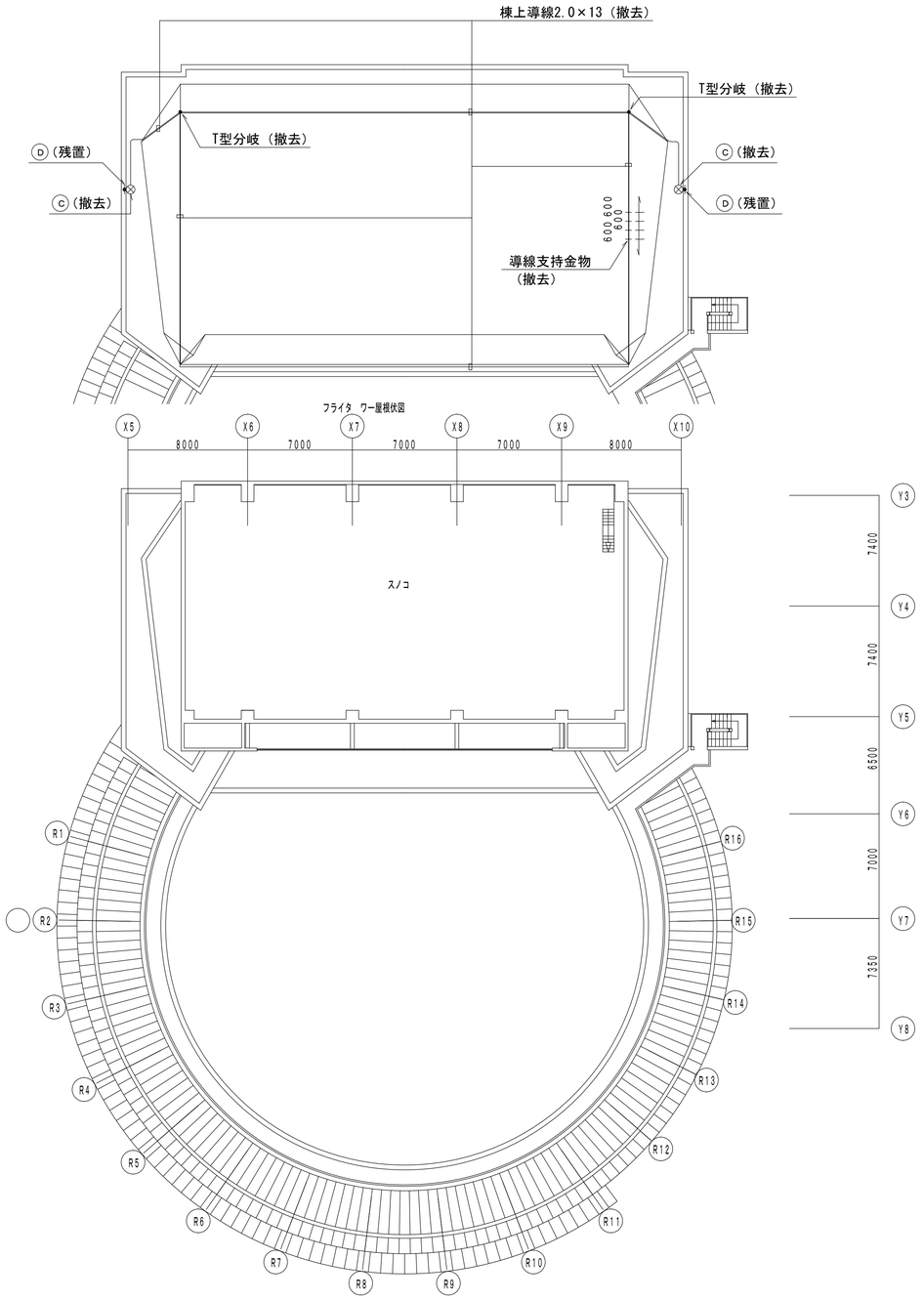
接地銅板 ： 黄銅ロー付



凡 例

Ⓐ	棟上導線	2．0×13
Ⓑ	導線支持金物	
Ⓒ	水切端子	（パラペット用）
Ⓓ	鉄骨用アース金具	（テルミット溶接式）
Ⓔ	試験用端子函	（ＶＥ 製、露出型
Ⓕ	接地銅板	（900□×1．5ｔ）
Ⓖ	測定用補助棒	（14□×1．5ｔ）
Ⓗ	保護管	（VE28）

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
		図面名称 避雷針設備 機器姿図・立面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
			図面番号 E-118



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 避雷針設備 R階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-119

凡例

記号	名称	備考
	複合型受信機盤	註記－1参照
AMP	非常放送設備	（放送設備工事）
	防災副受信機盤	註記－2参照
	防災中継器盤	註記－3参照
	機器収容箱	補助散水栓組込型 ▼◐Ⓟ収容
	機器収容箱	補助散水栓組込型 ◐Ⓟ収容
	機器収容箱	埋込型　縦型 ▼◐Ⓟ収容
▼	感知器用中継器	火報警戒1回線用
▼	感知器用中継器	火報警戒1回線用（鉄箱入）
◐	表示灯	AC24V 0.5W LED
Ⓟ	発信機	P型 1級 R型 用
S_A	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種レベル 露出型
S_A	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種レベル 壁付用点検口付
S_A	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種レベル 露出型 防排煙連動専用
S_A	光電アナログ式スポット型感知器	1～3種レベル 露出型 防排煙連動兼用
D_A	熱アナログ式スポット型感知器	特種レベル 45～80℃ 防水型 防排煙連動兼用
S	光電式スポット型感知器	2種 露出型
D_b	定温式スポット型感知器	特種 防水型 60℃
○	定温式スポット型感知器	1種 70℃
D	定温式スポット型感知器	1種 防水型 70℃
Ω	終端器	
Ⓓ	自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式
Ⓢ	自動閉鎖装置	防火シャッター用 （建築工事）
Ⓒ	圧電ブザー	防火シャッター降下警報用
Ⓦ	自動降下装置	防煙たれ壁用（建築工事）
◪	自動開放装置	排煙口用 電気式 遠隔復帰（空調工事）
⊠	自動開放装置	排煙ダンパー用 （同上）（空調工事）
⊠	手動開放装置	排煙口・排煙ダンパー用（空調工事）
／	排煙機制御盤	（空調工事）
SP R	スプリンクラーポンプ制御盤	移報器2A内蔵 表示灯電源供給用（衛生工事）
△	スプリンクラー自動警報弁	（衛生工事）
G	ガス漏れ検知器	DC24V 天井付 都市ガス用
EV	エレベーター制御盤	（エレベーター工事）
誘導	誘導灯信号装置	（電気工事）
⊠	キューピクル	
———	配管配線	天井いんぺい
— — —	配管配線	床いんぺい
—·—	ケーブル配線	天井いんぺい
	配管配線	立上がり・素通し・引下げ
□	ジョイントボックス	
—E	配管つき出し	
—•—	警戒区域境界線	
◯	警戒区域番号	自火報用
△	警戒区域番号	ガス漏れ警報用
◇D	制御番号	防火戸用
◇S	制御番号	防火シャッタ 一用
◇W	制御番号	防煙たれ壁用
◇D	制御番号	排煙口用
◇M·D	制御番号	排煙ダンパー用
◇	感知器番号	防排煙連動用
◇SP	表示番号	スプリンクラー用

註記

1 複合型 受信機盤仕様（B1階 中央監視室設置）
- 1）形式　複合盤 GR型 蓄積式
  壁掛型
- 2）電源　a）主電源　AC100V
  b）予備電源　DC 24V（6Ah）
- 3）回線数　255AD
- 4）表示方式　a）デジタル表示部（7セグメントLED）
  ・火報　4桁×2窓
  ・ガス漏れ　4桁×2窓
  ・防排煙、諸表示　4桁×2窓
  b）液晶表示部（バックライト付）
  漢字、カナ、英数字メッセージ
  20文字×15行
  ・警報表示
  ・故障表示
- 5）警報　スピーカー、ブザー及び音声警報
- 6）機能　a）アナログ感知器の自動感度切替機能付
  b）音声非常放送連動対応
  c）漢字プリンター内蔵
  ・漢字・カナ・英数字　16桁
  ・感熱シリアル式　紙幅58mm
  d）保守モード機能　・プリンタ 停止
  ・内部音響停止
  ・回線マスク／ オープン
  e）自動試験機能付　・火災表示試験機能
  ・電源試験機能
  ・電路試験機能
  ・感知器試験機能
  ・記録 機能
- 7）回線内訳

・火災表示	124L
（アナログ式感知器	98L）
（感知器用中継器	26L）
・アナログ式感知器 防排煙連動専用	2L
・ガス漏れ	1L
・防火戸	7L
・防火シャッター	5L
・防煙たれ壁	2L
・排煙口（制御）	2L
・排煙口（復帰）	2L
・排煙ダンパー（制御）	1L
・排煙ダンパー（復帰）	1L
・排煙機制御盤 始動	3L
・排煙機制御盤 故障	3L
・スプリンクラー自動警報弁	7L
・スプリンクラー制御盤 起動	1L
・スプリンクラー制御盤 故障	1L
・スプリンクラー制御盤 呼水槽減水	1L
合計	163L

- 8）移信内訳
  出力
  a）非常放送設備　階別火災信号10L（無電圧a接点）
  火災確認信号 1L（無電圧a接点）
  b）エレベーター制御盤　火災代表信号 1L（無電圧a接点）
  c）誘導灯信号装置　火災代表信号 3L（無電圧a接点）
  d）キューピクル　火災代表信号 1L（無電圧a接点）

合計	16L

註記

2 防災副受信機盤仕様（1階 事務室設置）
- 1）形式　壁掛型
- 2）電源　DC24V（??%d合型 より供給）
- 3）表示方式　液晶表示（バックライト付）
- 4）回線内訳　複合盤と同一

3 防災中継器盤仕様
- 1）形式　壁掛型
- 2）収容機器　ガス漏れ・防排煙・入出力中継器ユニット
- 3）機能　防排煙制御系のトラブルをローカル毎に切り離すことが可能な機能を組込む。
- 4）回線数　回線数表参照
- 5）各中継器ユニット
  ・ガス漏れ用　2回線／ 2アドレス
  ・防排煙用　6回線／ 2アドレス

4 連動機器制御方式
- ・防火戸　アナログ式感知器連動（連動表参照）
- ・防火シャッター　アナログ式感知器連動（連動表参照）
- ・防煙たれ壁　アナログ式感知器連動（連動表参照）
- ・排煙口　現場手動開放及び遠隔起動
- ・排煙ダンパー　現場手動開放及び遠隔起動
- ・排煙機制御盤　排煙口及び排煙ダンパー開放信号により始動

5 圧電ブザーは、防火シャッター降下時鳴動とし、シャッターに内蔵するリミットスイッチにより降下後停止とする。（リミットスイッチ別途工事）

6 地区警報は、非常放送設備の音声警報によるものとし、鳴動方式は直上階・出火階鳴動方式とする。

7 複合盤はエレベーター制御盤に火災代表信号を移信する。

8 複合盤は誘導灯信号装置に火災代表信号を移信する。

9 複合盤はキューピクルに火災代表信号を移信する。

10 アナログ式及び自動試験機能付感知器は、感知器1個に対して1警戒区域を設定できるものとする。
但し、図面上は600m²以内で1グループ1警戒として表現する。

11 特記なき配管配線は下記とする。

（火報）
- AE0.9−2C ころがし　AE0.9−2C（PF16）
- AE0.9−4C ころがし　AE0.9−4C（PF16）
- AE0.9−2C（E19） 露出
- AE0.9−4C（E19） 露出
- HP1.2−1P ころがし　HP1.2−1P（PF16）
- HP1.2−1P（E19） 露出

（ガス漏れ）
- AE1.2−4C ころがし　AE1.2−4C（PF16）
- AE1.2−5C ころがし　AE1.2−5C（PF16）

（防排煙・消火）
- HP1.2−2C ころがし　HP1.2−2C（PF16）
- HP1.2−3C ころがし　HP1.2−3C（PF16）
- HP1.2−5C ころがし　HP1.2−5C（PF16）

※アナログ式感知器廻りの配線は、全てHP1.2− 1Pとする。
※図中（CR）とはケーブルラックを示す。

階別回線数表

階	火報 感知器中断器Ω	火報 アナログ式感知器 防排煙連動専用	火報 アナログ式感知器	防災中断器盤 名称・設置階	ガス漏れ ガス漏れ	防排煙 防火戸	防排煙 防火シャッター	防排煙 防煙たれ壁	防排煙 排煙口 制御	防排煙 排煙口 復帰	防排煙 排煙ダンパー 制御	防排煙 排煙ダンパー 復帰	防排煙 排煙機制御盤 始動	防排煙 排煙機制御盤 故障	諸表示・その他 スプリンクラー 自動警報弁	諸表示・その他 スプリンクラー制御盤 起動	諸表示・その他 スプリンクラー制御盤 故障	諸表示・その他 スプリンクラー制御盤 呼水槽減水	系統番号
15			R3F	R−1−1（1階設置）															1
9		2	R2F						1	1			2	2					
1		4	R1F								1	1			1				
33		3	3F																
8		2	2F			4	1								1				
5		7	1F			2									2				
		2	B1F	R−B−1（B1階設置）	1										1	1	1	1	
71		20	小計		1	6	1		1	1	1	1	2	2	5	1	1	1	
12			3F	R−1−2（1階設置）															1
10			2F						1	1			1	1	1				
5	2	6	1F			1	4	2							1				
27		6	小計			1	4	2	1	1			1	1	2				
98	2	26	合計		1	7	5	2	2	2	1	1	3	3	7	1	1	1	

防火戸連動表

防火戸No ◇D	連動感知器No ◇
7	20，21
6	8，14
5	7，12
4	6，10
3	5，9
2	3，4
1	1，2

防火シャッター連動表

防火シャッターNo ◇S	連動感知器No ◇
5	19，20
4	26
3	15，24
2	22，23
1	11，13

防煙たれ壁連動表

防煙たれ壁一No ◇W	連動感知器No ◇
2	25，26
	18，19
1	16，17

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号　一級建築士（大臣）第269686号　管理建築士 樋口 勉

印

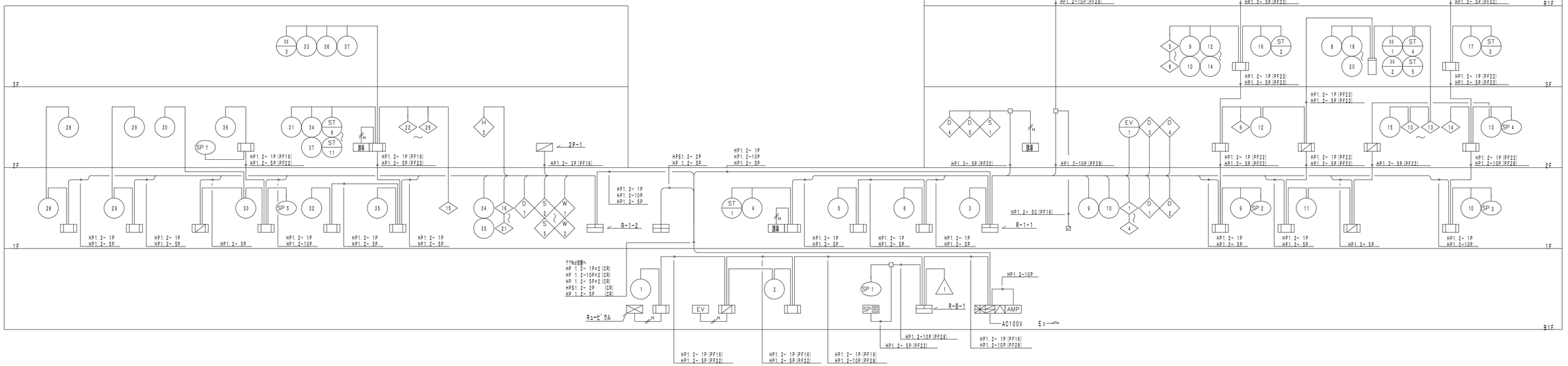
工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称　自動火災報知設備 凡例・註記

縮尺　A1:N/S　A3:N/S

図面番号　E-120


R3F
R2F
R1F
3F
2F
1F
B1F
RP-1
2P-1
R-1-2
R-1-1
R-B-1
HP1. 2- 5P (PF22)
HP1. 2- 1P (PF22)
HP1. 2- 5P (PF22)
HP1. 2- 5C (PF16)
HP1. 2-10P (PF28)
HP1. 2- 1P (PF16)
HP1. 2- 5P (PF22)
HP1. 2- 3P (PF16)
HPS1. 2- 2P
HP 1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2-10P
HP1. 2- 5P
HP1. 2-10P (PF28)
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2-10P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2-10P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2-10P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5P
HP1. 2- 1P
HP1. 2- 5

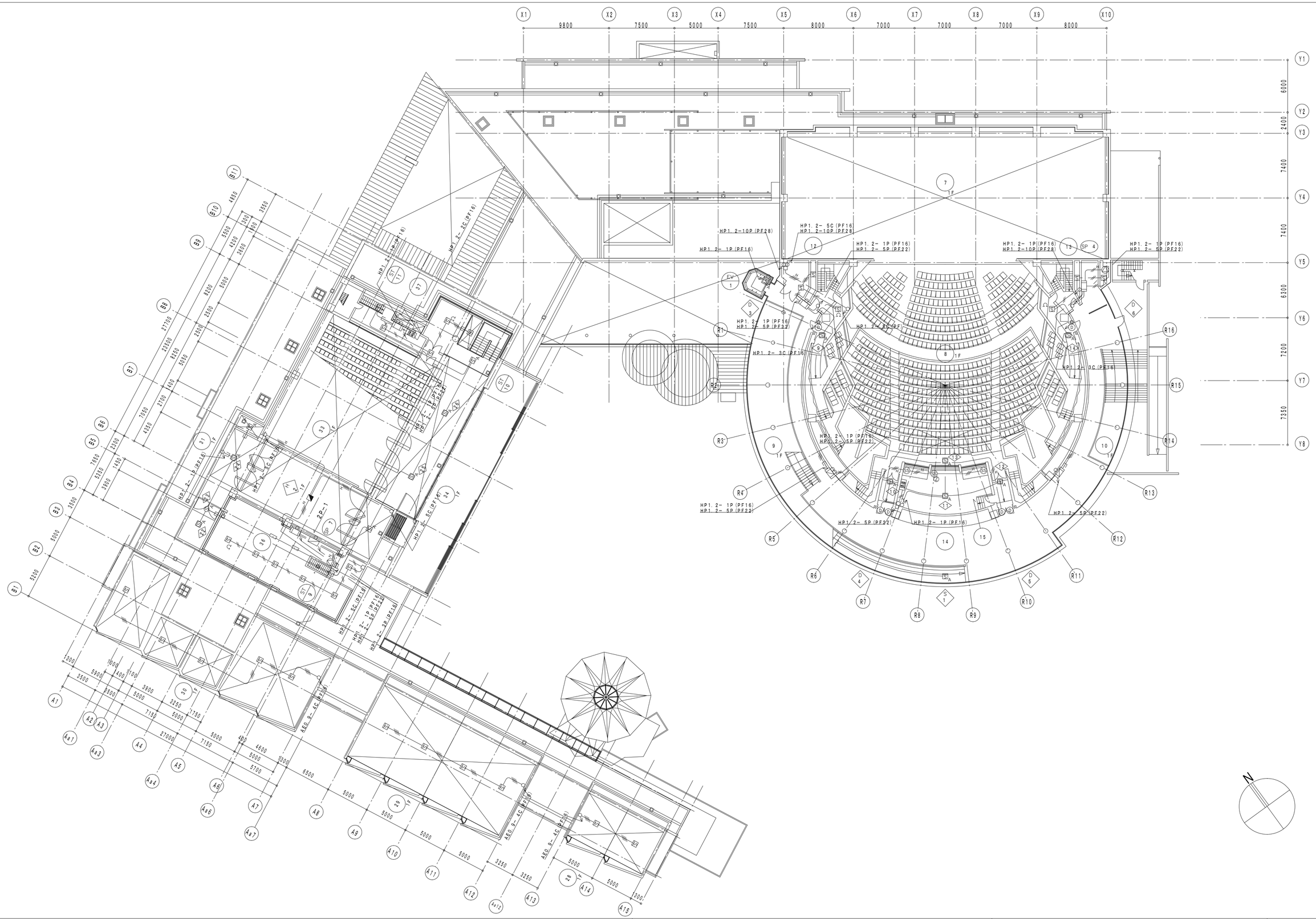
凡　例

記　号	名　称	備　考
S A	光電アナログ式スポット型感知器	2種 露出
S A	光電アナログ式スポット型感知器	2種 露出 防排煙連動
	機器収容箱内機器(発信器,表示灯,ﾍﾞﾙ)	補助散水栓組込

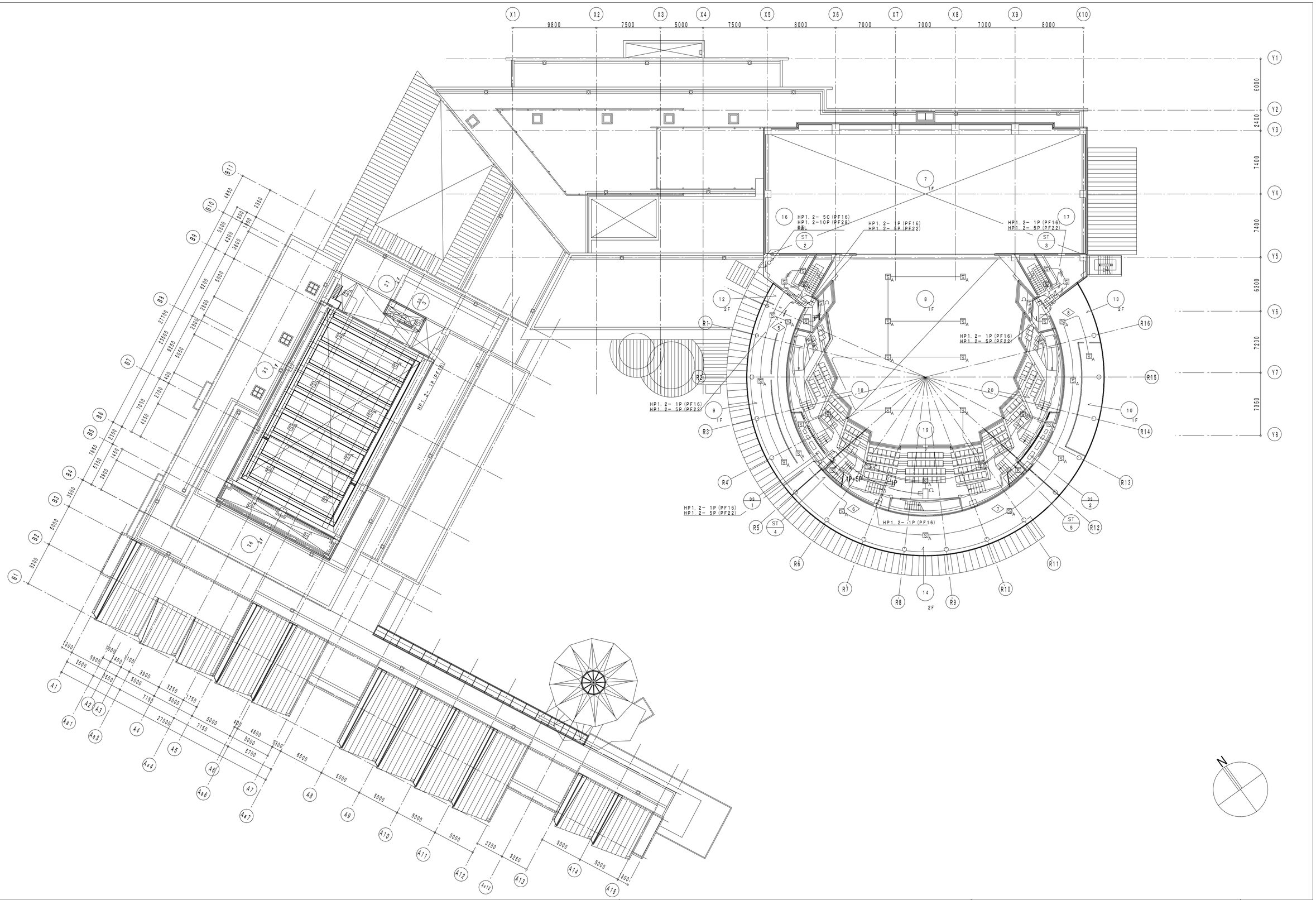
（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   - H — HP1.2-3C (PF16)
   - H — HP1.2-5C (PF22)
   - 1P+5P — HP1.2-1P (PF16)
   - HP1.2-5P (PF22)
   - AE1.2-4C (PF16)
   - AE1.2-2C (PF16)
2. 図中、太線の機器及び配管配線は撤去する。（細線は残置）
3. 太線の配管について、隠ぺい配管は撤去とし、打込み配管は残置する。
4. ケーブルはエコケーブル使用とする。

記事	業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	自動火災報知設備 1階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/570 A3:1/1140 / 図面番号 E-122



記事	業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	自動火災報知設備 2階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/550 A3:1/1100 / 図面番号 E-123



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士 (大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 自動火災報知設備 3階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/590 A3:1/1180	図面番号 E-124

【凡　例】

記　号	仕　　様	改修内容
L	コンセントボックス：制御信号コネクタ（LAN 1個付）	残置養生
C 1+L	コンセントボックス：C型30Aコンセント 1個付 制御信号コネクタ（LAN 1個付）	残置養生
C 62+平	コンセントボックス：C型60Aコンセント 2個付 平行15Aコンセント 2個付	残置養生
JB S	ジョイントボックス　信号線用	残置養生
JB	ジョイントボックス	残置養生
	ケーブルリール	残置養生

客S	客席サスペンションライト
CL	シーリングライト
CS	センターピンスポットライト

ケーブルの撤去を示す

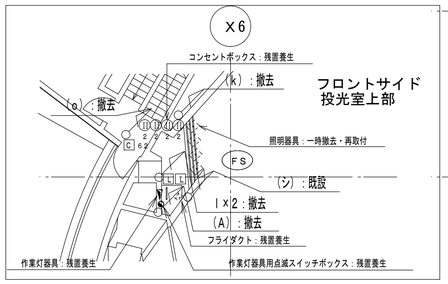
既設P.B

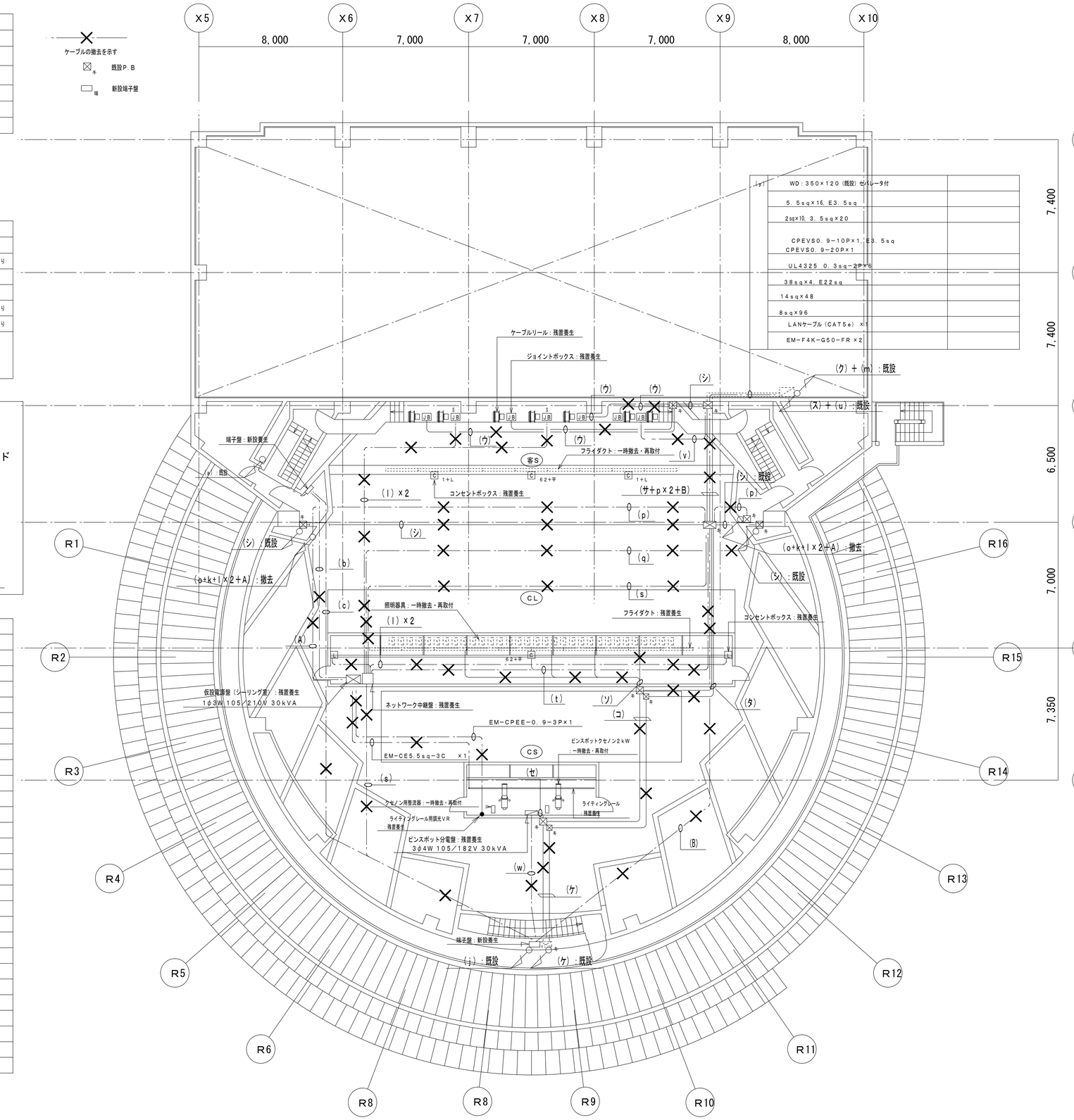
新設端子盤

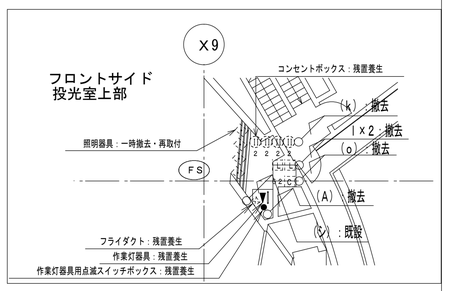
配線記号

(k)	EM−CE5.5sq −3C　× 1	調光盤より
(o)	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	調光盤より
(l)	LANケーブル（CAT5e） ×1	ネットワーク中継盤より
(p)	EM−CE5.5sq −3C　× 3	調光盤より
	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	調光盤より
(q)	LANケーブル（CAT5e） ×2	ネットワーク中継盤より
(s)	EM−F4K−G50−FR ×2	ネットワーク中継盤より
(t)	EM−CE5.5sq −3C ×3 EM−CE14sq −2C ×2 EM−CE5.5sq −2C ×1	調光盤より

(m)	WD：300×150（既設）セパレータ付	
	EM−CE5.5−3C ×2	
	EM−CE8−2C ×10	
	EM−CE8−3C ×10	
	EM−CE14−2C ×14	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(u)	WD：400×200（既設）セパレータ付	
	EM−CE5.5sq−2C ×18	
	EM−CE8sq−2C　×12	
	EM−CE14sq −2C ×20	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(v)	EM−CE14sq −2C ×4　E5.5sq	調光盤より
(j)	EM−CE5.5sq −2C × 2	調光盤より
	EM−CE5.5sq −3C × 5	調光盤より
	EM−CE8sq −3C × 2	調光盤より
	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	調光盤より
	LANケーブル（CAT5e） ×2	
	EM−CPEE−0．9−5P×1	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
	EM−CET150sq ×1　E22sq	
	EM−CET150sq ×1　E8sq	
(w)	EM−CPEE−0．9−5P×1	
(A)	EM−CE5.5sq −3C × 1	
	EM−CPEE−0．9φ−3P × 1	
(B)	EM−CE5.5sq −2C × 1	
	EM−CE5.5sq −3C × 5	
	EM−CE8sq −3C × 2	
	EM−CE14sq −2C ×2　E5.5sq	
	LANケーブル（CAT5e） ×1	







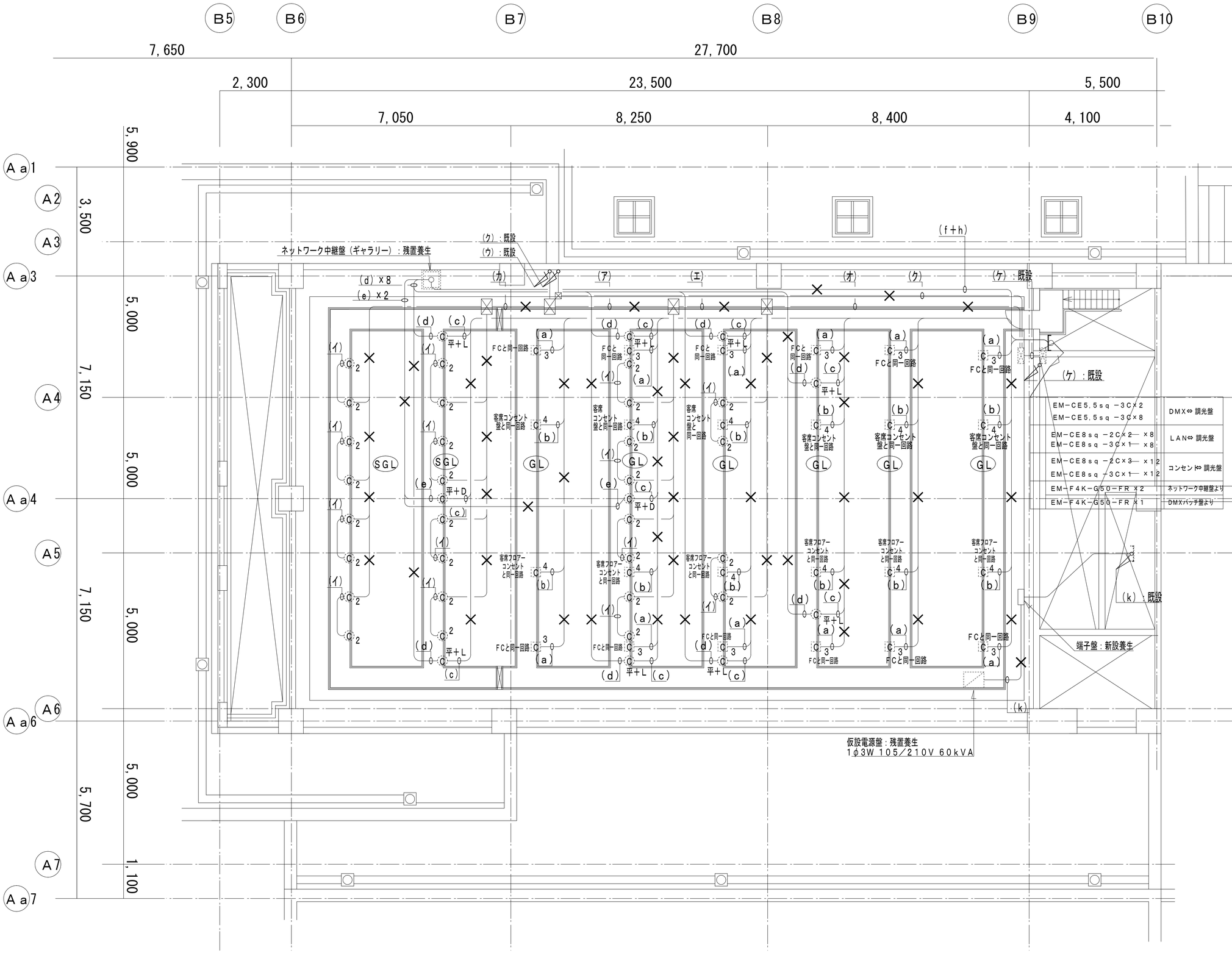
配線記号

(ケ)	5．5sq×16，E3．5sq（E51）	調光盤より
	2sq×10，3．5sq×20（E51）	調光盤より
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq CPEVS0．9−20P×1，（E51）	調光盤より
	UL4325 0．3sq−2P×6（E51）	
	−C　（E51）	
(セ)	38sq×4，E5．5sq（E51）	
(コ)	5．5sq×16，E3．5sq（E51）	
	2sq×10，3．5sq×20（E51）	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq CPEVS0．9−20P×1，（E51）	
	UL4325 0．3sq−2P×6（E51）	
	38sq×4，E5．5sq（E51）	
	−C　（E51）	
(ス)	WD 400×200（セパ付）	
	2sq×10	
	38sq×4 E38sq	
	14sq×56	
	8sq×256	
	5．5sq×16 E3．5sq	
	3．5sq×20	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq	
	CPEVS0．9−20P×2	
	UL4325 0．3sq−2P×6	

(タ)	5．5sq×16，E3．5sq（E51）	
	2sq×10，3．5sq×20（E51）	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq CPEVS0．9−20P×1，（E51）	
	UL4325 0．3sq−2P×6（E51）	
	38sq×4，E5．5sq（E51）	
	14sq×8（E51）×4	
	−C　（E51）	
(サ)	WD 300×150（セパレータ付）	
	5．5sq×16，E3．5sq	
	2sq×10，3．5sq×20	
	CPEVS0．9−10P×1，E3．5sq CPEVS0．9−20P×1	
	UL4325 0．3sq−2P×6	
	38sq×4，E22sq	
	14sq×32	
	8sq×64	
	LANケーブル（CAT5e） ×1	
	EM−F4K−G50−FR ×2	
(シ)	8sq×16，E3．5sq（E51）	
	8sq×16（E51）	
(ウ)	8sq×8，E3．5sq（E39）	
(ソ)	14sq×8，E3．5sq（E51）	
	14sq×8（E51）	

(a)	EM−CPEE−0．9−3P×1		舞台袖操作盤へ
	EM−CET150sq ×1	E22sq	舞台照明盤より
	EM−CET150sq ×1	E8sq	舞台照明盤より
(b)	EM−CPEE−0．9−3P×1		
	EM−CET150sq ×1	E8sq	
(c)	EM−CET150sq ×1	E22sq	仮設電源盤［L−7］

記事		業務名称	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事
		印		図面名称	舞台照明設備 客席シーリングレベルメインホール平面図（撤去）
		縮尺	A1：1/120 A3：1/240	図面番号	E−125
		設計年月			



【凡 例】

記 号	仕 様	改修内容
Ⓒ 2	フロアーコンセント：C型20Aコンセント 2口用 コンセント交換	残置養生
Ⓒ 3	コンセントボックス：C型30Aコンセント 3口用	残置養生
Ⓒ 4	コンセントボックス：C型30Aコンセント 4口用	残置養生
Ⓒ平+L	コネクタボックス：平行15Aコンセント 1個付 制御信号コネクタ（LAN 1個付）	残置養生
Ⓒ平+D	コネクタボックス：平行15Aコンセント 1個付 制御信号コネクタ（DMX 1個付）	残置養生

SGL	ステージギャラリーライト
GL	ギャラリーライト

配 線 記 号

(a)	EM−CE8sq −2C×2 EM−CE8sq −3C×1	調光盤より
(b)	EM−CE8sq −2C×3 EM−CE8sq −3C×1	調光盤より
(c)	EM−CE5.5sq −3C×1	調光盤より
(d)	LANケーブル（CAT5e） ×1	ネットワーク中継盤より
(e)	KK−2P−9 ×1	ネットワーク中継盤より
(f)	EM−F4K−G50−FR ×1	ネットワーク中継盤より
(h)	EM−F4K−G50−FR ×2	DMXパッチ盤より
	EM−CE5.5sq −3C×1	調光盤より
	EM−CE5.5sq −3C×1 KK−2P−9 ×1	調光操作卓より
(k)	EM−CE150sq ×1 E22sq ×1	

	EM−CE5.5sq −3C×2 EM−CE5.5sq −3C×8	DMX⇔ 調光盤
	EM−CE8sq −2C×2— ×8 EM−CE8sq −3C×1— ×8	LAN⇔ 調光盤
	EM−CE8sq −2C×3— ×12 EM−CE8sq −3C×1— ×12	コンセント⇔ 調光盤
	EM−F4K−G50−FR ×2	ネットワーク中継盤より
	EM−F4K−G50−FR ×1	DMXパッチ盤より

配 線 記 号

(ア)	8sq×16，（E51）×5 E8sq（E25）	
(イ)	8sq×4，E3．5sq（E31）	
(ウ)	8sq×16（E51）×2 8sq×16 E3．5sq（E51）	調光盤より
(エ)	8sq×16，（E51）×6 E8sq（E25）	
(オ)	8sq×16，（E51）×6 8sq×8，E8sq（E51）	
(カ)	8sq×16（E51） 8sq×16 E3．5sq（E51）	調光盤より
(ク)	CPEVS0．9−15P×1，E3．5sq（E39）	
(ケ)	8sq×16，（E51）×6 8sq×8，E8sq（E51） CPEVS0．9−15P×1，E3．5sq（E39）	

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 舞台照明設備 3階ﾏﾙﾁﾎｰﾙ平面図（撤去） 縮尺 A1：1/60 A3：1/120	図面番号 E-126

（仮称）市民文化会館　太陽光発電フィールドテスト事業設備工事
仕　様　書

1. 一般事項

1.1　適用範囲

本仕様書は、（仮称）市民文化会館太陽光発電フィールドテスト事業設備工事における系統連系用太陽光発電システムについて適用する。

1.2　納入場所

埼玉県富士見市大字鶴馬1804番地1

1.3　納入期限

工期　：　平成14年　2　月　15　日

1.4　適用規格・法規等

本工事の設計・施工にあたっては、下記の法令・規格等に基づくものとし、また、電力系統への連系は、系統連系技術要件ガイドライン（H10.3.10　改訂）によるものとする。

（1）労働基準法
（2）労働安全衛生法
（3）電気事業法
（4）電気設備技術基準
（5）消防関係法規
（6）建築基準法
（7）日本工業規格（JIS）
（8）日本電機工業会標準規格（JEM）
（9）日本電気規格調査会標準規格（JEC）
（10）日本電線工業会規格（JCS）
（11）建設大臣官房庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書

1.5　保証条件

検収後1年以内に、設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不具合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理または、良品と交換するものとする。

なお、上記保証期間を経過した後に、機器製作不良等工事者の責に帰すると判断される原因により事故が生じた場合、その修理・取り替えに要する費用については、協議の上決定するものとする。

2. システム概要

2.1　設備の概要

名称	：	（仮称）市民文化会館太陽光発電フィールドテスト事業 電気設備工事
所在地	：	埼玉県富士見市大字鶴馬1804番地1
連系する電力系統	：	高圧一般配電線（三相　3線，6.6kV，50Hz）
発電設備の種類	：	太陽電池発電所
設備容量	：	太陽電池容量　　30kW以上 インバータ容量　30kW
逆潮流の有無	：	逆潮流有り

※共同研究期間中は太陽光発電設備の運転を制約しない。

2.2　システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、接続箱、インバータ、連系保護装置、データ収集装置及び表示装置等より構成する。

①太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これを接続箱で集電する。
②インバータは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給する。
③余剰電力が生じた場合には、当該電力は電力会社側電力系統に供給する。
④連系保護装置等により、インバータ及び系統の異常時には連系を遮断する。
⑤運転データ等は、データ収集装置により収集する。

2.3　運転方式

インバータは、下記の通り全自動運転を行うものとする。

①太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとインバータを自動的に起動する。
②太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止する。
③太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として昼間のみを対象とする。昼間に日射不足により給電不能となる場合は自動的に運転を停止させる。
④太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を設って行い、不要な高頻度のポンピングを避ける。
⑤交流系統に事故が発生した場合やインバータ故障時は、速やかに商用系統との連系接続を解列し確実に停止する。
⑥商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば確認時間後自動的に再投入して運転を再開する。

2.4　系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、「系統連系技術要件ガイドライン」（H10.3.10　改訂）に沿って設置するものとする。

下表に保護継電器の種類、設置相数、検出場所を示す。（高圧連系、逆潮流有り）

保護継電器の種類	設置相数	検出場所
①地絡過電圧継電器（OVGR）	零相回路	受電点又は検出可能な場所
②過電圧継電器　（OVR）	一相	インバータ出力点など 低圧回路の検出可能な場所 （受動点等の高圧部としない）
③不足電圧継電器　（UVR）	三相	
④周波数上昇継電器（OFR）	一相	
⑤周波数低下継電器（UFR）	一相	
⑥単独運転検出機能（受動・能動）	——	

2.5　データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、別途定める「システム計測指針」に基づき、（1）に示す機器により、（2）に示す条件で、（3）に示すデータを自動的に収集し、定められたデータフォーマットに従って蓄積及び抽出できる計測システムを構築すること。

（1）使用機器
- パーソナルコンピュータ　：1式
- 日射計　：1組（傾斜面用）
- 温度計　：1組
- データ検出用機器及び信号変換器：1式

（2）測定周期、演算周期、データ格納周期
- 測定周期　：6秒程度
- 演算周期　：6秒程度（1時間の場合も有り）
- データ格納周期　：1分間

（3）データ収集項目

項　目		測定点数	データ格納
・日射量（傾斜面）		1点	○
・気　温		1点	○
・インバータ出力電圧	（直接電力計による測定でも可）	1点	—
・インバータ出力電流		1点	—
・インバータ出力電力		1点	○
・太陽電池電圧		1点	—
・太陽電池電流		1点	—
・太陽電池出力電力		1点	○

3. 機器仕様

3.1　太陽電池モジュール

- 種類　：アモルファス太陽電池
- 容量　：30kW以上
- 外形寸法　：添付図面の屋根の上に設置可能な寸法とする。
- 重量　：添付図面の屋根の上に設置可能な重量とする。
- 強度　：添付図面の屋根の上に設置可能な強度とする。
- 設置場所　：添付図面参照
- その他　：予備品、ダミー等は仕様に含まない。

モジュールの容量合計は、JISに基づく測定値の合計がこの値以上であること。

3.2　架台

建物一体型の為、建材の支持物と見なせる物は建築工事側で施工する。

- 構造　：
- 外形寸法　：
- 重量　：
- 材質　：
- 強度　：
- 設置場所　：
- その他　：

} 該当せず

3.3　接続箱

- 構造　：屋内壁掛式
- 材質　：メーカー標準
- 外形寸法　：メーカー標準
- 設置場所　：R3FLファンルーム
- 回路数　：入力回路数はユニットアレイに対応した構成とする。
- 収納機器　：入力回路断路端子（もしくは簡易なスイッチ）
  逆流防止ダイオード、配線用遮断器、誘導雷保護器　等

3.4　インバータ

- 種類　：屋内用系統連系ユニットインバータ（並列運転対応型）
- 容量　：10kW×3台
- 運転入力電圧範囲　：DC250～480V程度
- 出力電圧　：三相　3線　210V
- 電力変換効率　：90%以上
- 出力基本波力率　：0.95以上
- 高調波許容範囲　：電流総合　5%、各次　3%以下
- 制御方式　：最大電力追従制御
- 運転／停止　：「2.3運転方式」による。
- 保護機能　：「2.4系統連系保護方式」による。
- 外形寸法　：メーカー標準とする。
- 重量　：メーカー標準とする。
- 設置場所　：電気室に設置する。
- 周囲条件　：温度−10～40℃

3.5　連系保護装置

- 種類　：高圧一般配電線用逆潮流有り方式
- 運転制御機能　：構内及び系統異常による連系遮断
- 収納保護継電器　：「系統連系技術要件ガイドライン」（H10.3.10）に沿って設置
- 外形寸法　：メーカー標準とする。
- 重量　：メーカー標準とする。
- 設置場所　：インバーターに組込み
- 周囲条件　：メーカー標準とする。
- 指示計　：下記の機能を有すること
  直流電圧計（太陽電池出力）　×1
  直流電流計（太陽電池出力）　×1
  交流電力計（インバータ出力）　×1
  電力量計　（インバータ出力）　×1
- 制御用直流電源　：継電器用制御電源
- 保護機能　：「2.4系統連系保護方式」による

3.6　データ収集装置

- 使用機器　：パーソナルコンピュータ
  仕様は、別途定める「システム計測指針」を満足するものとする。
- 外形寸法　：メーカー標準とする。
- 重量　：メーカー標準とする。
- 使用周囲温度　：メーカー標準とする。
- 相対湿度　：メーカー標準とする。
- 電源　：AC100V
- 設置場所（屋内）　：事務室に設置すること。
- その他　：停電等の場合においても、復旧後速やかにデータ計測を再開可能なシステム構成とすること。

3.7

日射計

- 対象　：傾斜面日射量
- 感度　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 応答速度　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 温度特性　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 入斜角特性　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 波長範囲　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 精度　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 内部抵抗　：ISOsecond　class相当の機器を使用のこと。
- 外形寸法　：メーカー標準とする。
- 重量　：メーカー標準とする。
- 設置場所　：太陽電池屋根近辺に設置

3.8

気温計

- 種類　：測温抵抗体
- センサー　：Pt　100Ω相当以上
- 形状　：簡易シェルター付き
- 外形寸法　：メーカー標準とする。
- 設置場所　：太陽電池屋根下部に設置

4. 工事範囲

4.1　基礎関係工事

（1）太陽電池架台用基礎工事
　建材一体型の為、工事無し。
（2）インバータ盤等用基礎工事
　屋内設置の為、工事無し。
（3）屋上等防水処理工事
　別途建築工事にて施工。

4.2　据付・配線工事

（1）装置据付工事
- 太陽電池　：置台上部屋根工事
- 接続箱　：R3FLファンルーム
- インバータ　：電気室に据付
- 計測システム　：管理室に据付

（2）配線配管工事
　接続箱以降の配線配管は別途建築工事にて実施し事業対象外とする。
　取引用軽量器の配線配管は別途工事にて実施し事業対象外とする。

4.3　改造工事

無し

4.4　接地工事

太陽電池及び接続箱への接地配線工事。

5. 試運転・完成検査項目

5.1　モジュール出力検査

（1）各モジュールの試験成績表の出力値がJISに適合していること。
（2）出力の合計値が3.1に示す容量の合計値以上であること。但し、モジュール検査が不可能な場合においては、両者協議の上、セル出力検査値の合計で上記合計値を代替可能とする。

5.2　試運転・完成検査は、下表の項目を実施する。

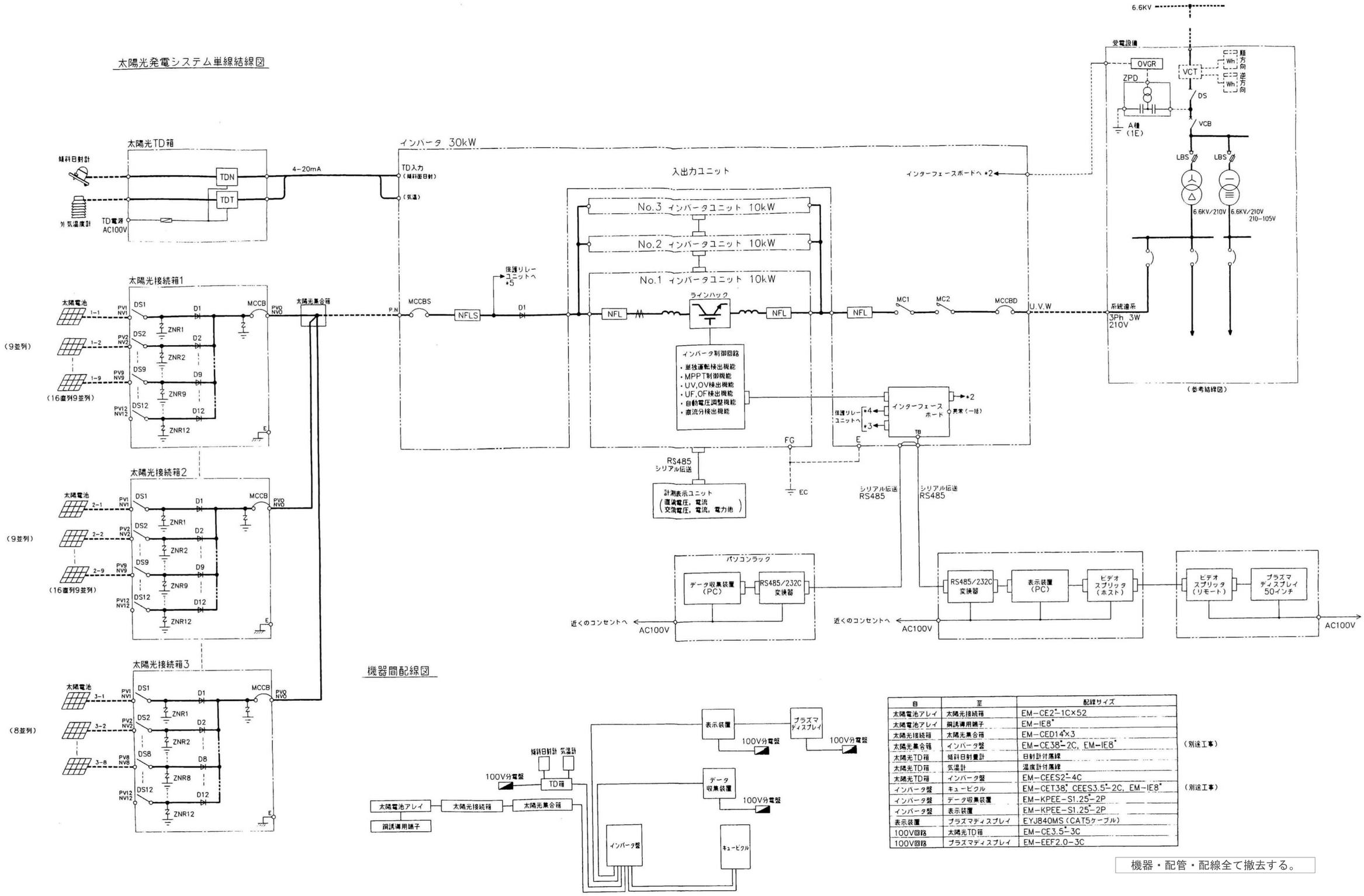
項　目	太陽電池 接続箱	インバータ	連系保護 装置	配線 ケーブル	計測 システム
外観検査	○	○	○	○	○
絶縁抵抗測定	○注1	○注1		○	
絶縁耐圧	○注1	○注1			
保護装置特性		○注1	○注1		
システム動作		○	○		○注2

注1）現地検査又は工場検査のいずれかで可。
注2）計測誤差の評価も併せて実施。

機器・配管・配線全て撤去する。

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事 図面名称：太陽光発電設備 システム仕様書（撤去）	縮尺 A1:N/S A3:N/S 図面番号 E-127

太陽光発電システム単線結線図



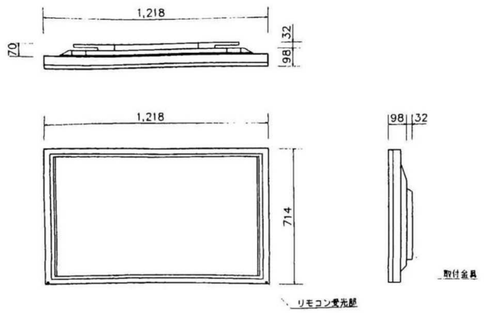
機器間配線図

自	至	配線サイズ	
太陽電池アレイ	太陽光接続箱	EM-CE2*-1C×52	
太陽電池アレイ	調試運用端子	EM-IE8*	
太陽光接続箱	太陽光集合箱	EM-CED14*×3	
太陽光集合箱	インバータ盤	EM-CE38*-2C, EM-IE8*	(別途工事)
太陽光TD箱	傾斜日射量計	日射計付属線	
太陽光TD箱	気温計	温度計付属線	
太陽光TD箱	インバータ盤	EM-CEES2*-4C	
インバータ盤	キュービクル	EM-CET38*, CEES3.5*-2C, EM-IE8*	(別途工事)
インバータ盤	データ収集装置	EM-KPEE-S1.25*-2P	
インバータ盤	表示装置	EM-KPEE-S1.25*-2P	
表示装置	プラズマディスプレイ	EYJ840MS (CAT5ケーブル)	
100V回路	太陽光TD箱	EM-CE3.5*-3C	
100V回路	プラズマディスプレイ	EM-EEF2.0-3C	

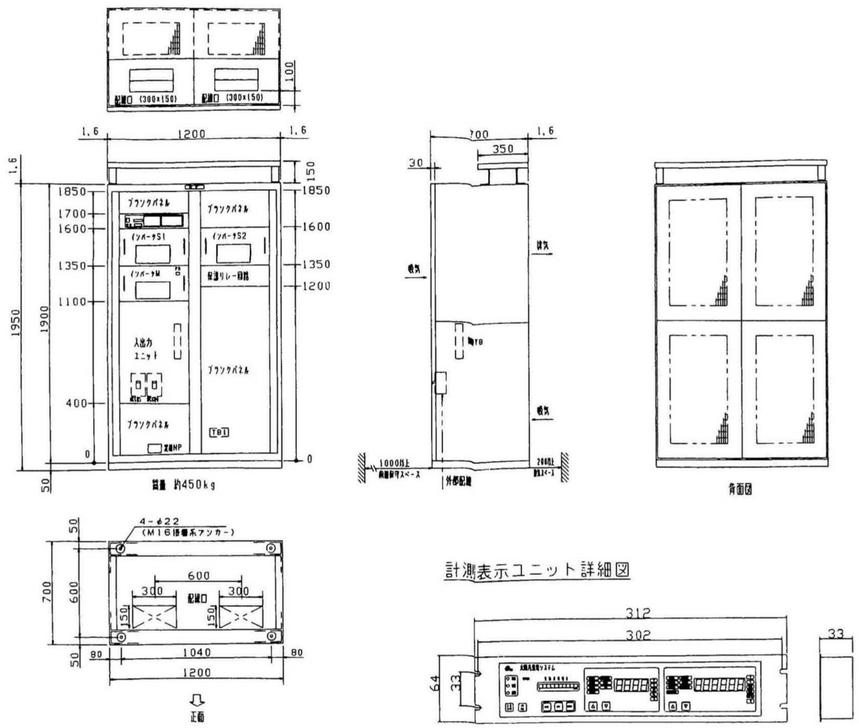
機器・配管・配線全て撤去する。

記事		業務名称	工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
			図面名称 太陽光発電設備 システム単線結線図 (撤去)	縮尺 A1:N/S A3:N/S
				図面番号 E-128

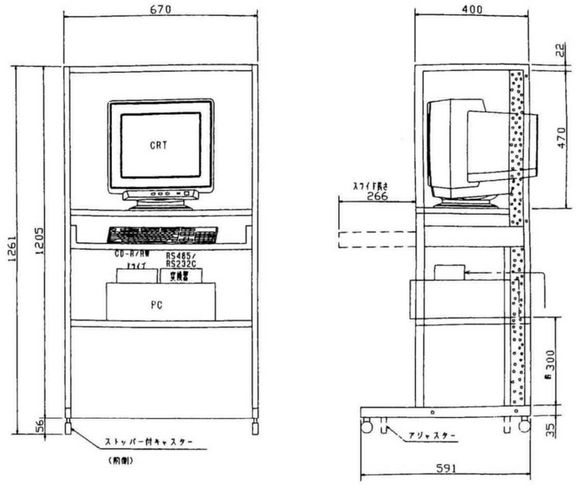
プラズマディスプレイ外形図



インバータ外形図



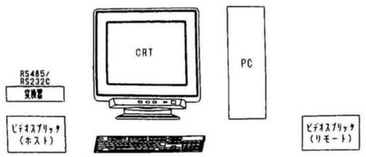
データ収集装置外形図



フック仕様

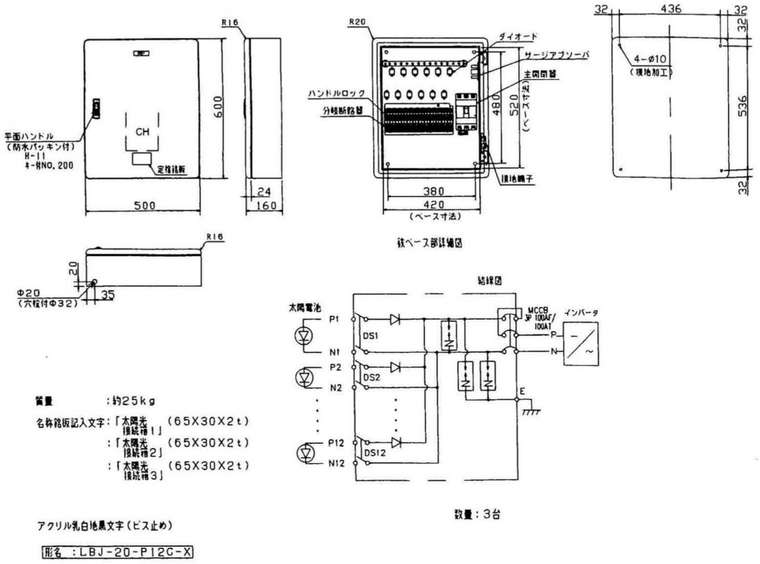
- サイズ：W670xD591xH1261mm
- 仕様：ノックダウン組立式
- 部材・キーボードテーブル：鋼板メラミン焼付塗装
- フレーム：鋼板メラミン焼付塗装

表示装置



計測表示ユニット詳細図

接続箱外形図



質量　：約25kg

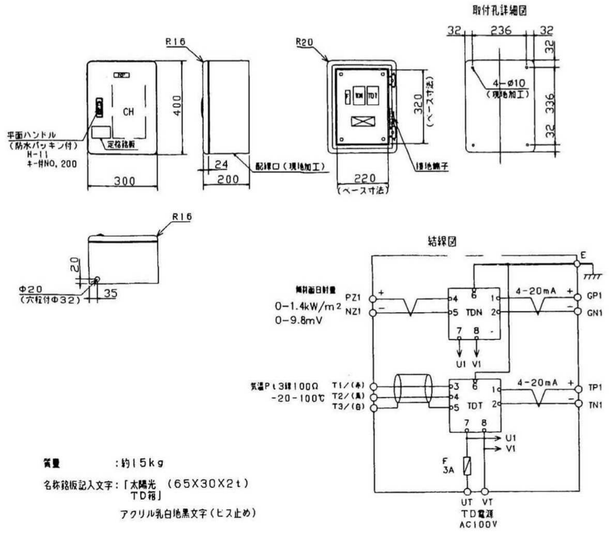
名称銘板記入文字：「太陽光接続箱1」（65X30X2t）
：「太陽光接続箱2」（65X30X2t）
：「太陽光接続箱3」（65X30X2t）

アクリル乳白地黒文字（ビス止め）

形名 ：LBJ-20-P12C-X

数量：3台

TD箱外形図



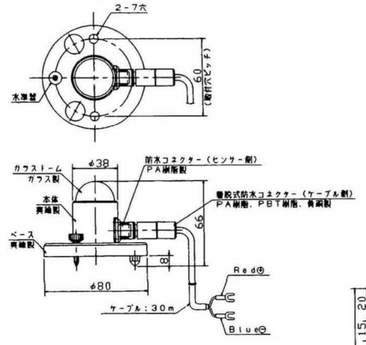
質量　：約15kg

名称銘板記入文字：「太陽光 TD箱」（65X30X2t）

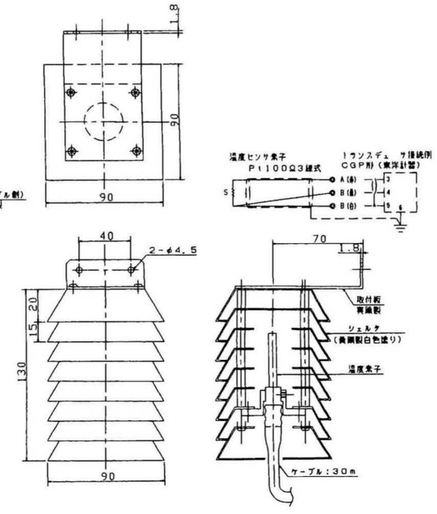
アクリル乳白地黒文字（ビス止め）

形名 ：TD-NT-100A-X

日射計外形図

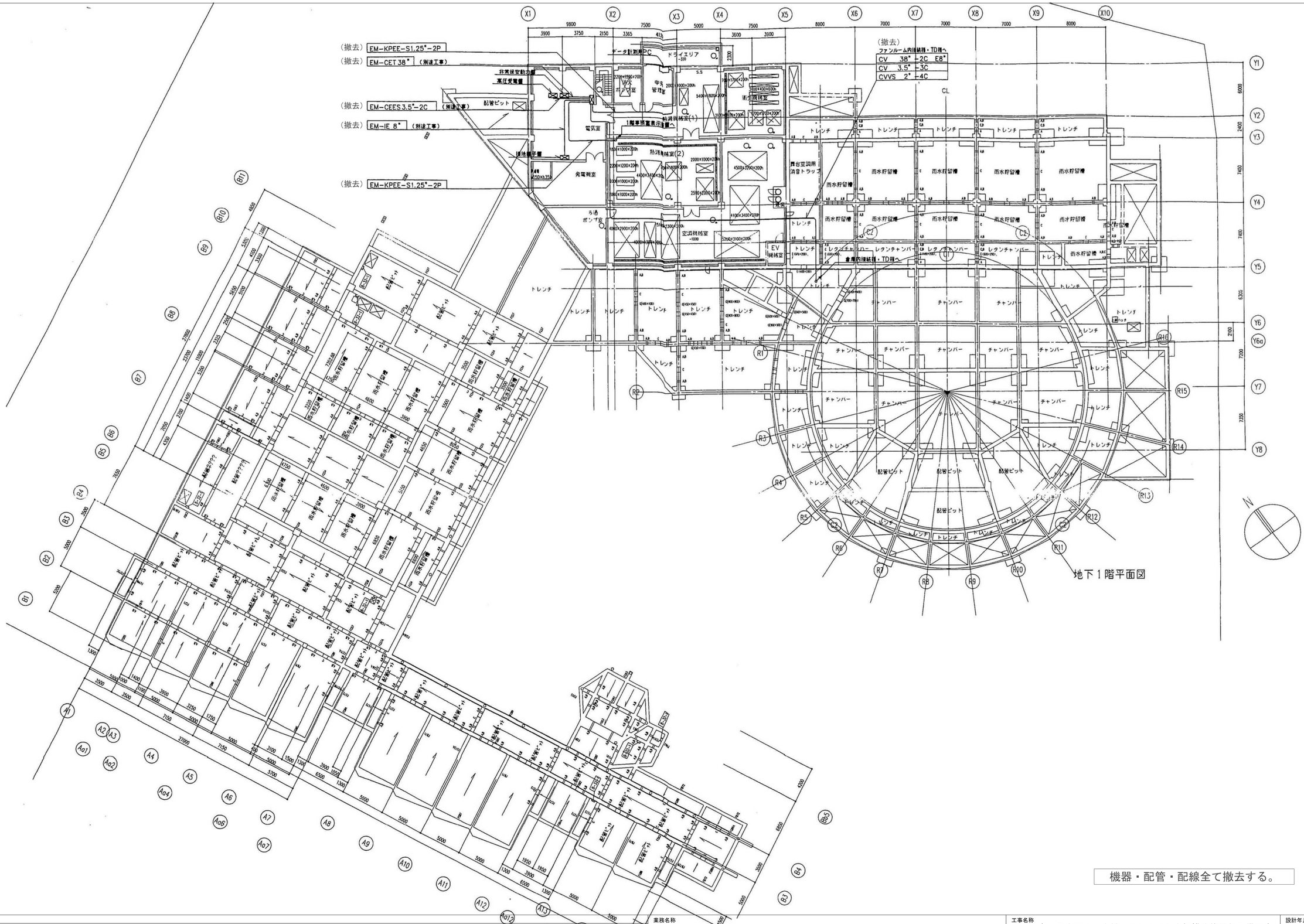


気温計形外形図



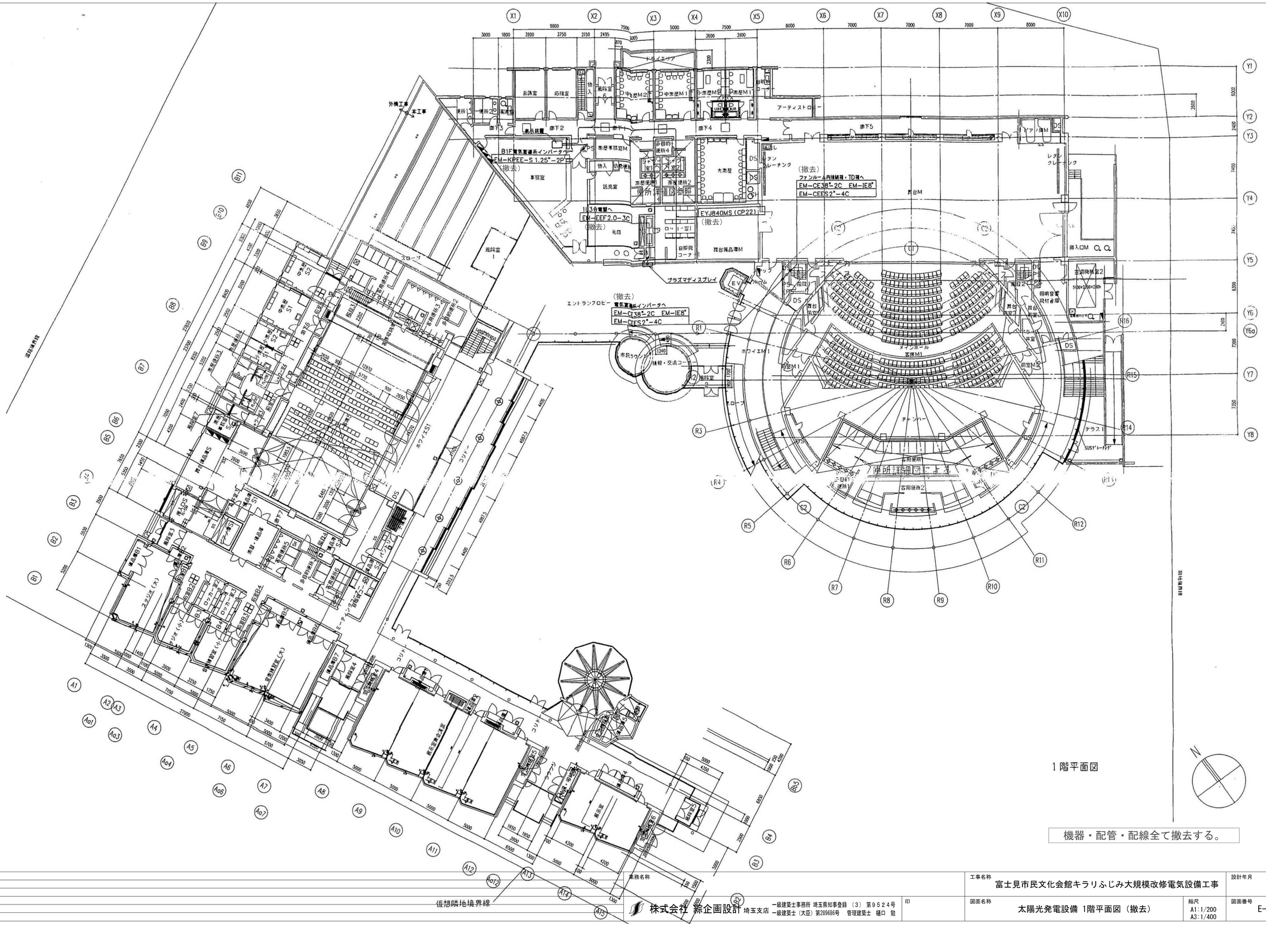
機器・配管・配線全て撤去する。

記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第9524号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
	印	図面名称 太陽光発電設備 システム機器外形図（撤去）	縮尺 A1:N/S A3:N/S
			図面番号 E-129



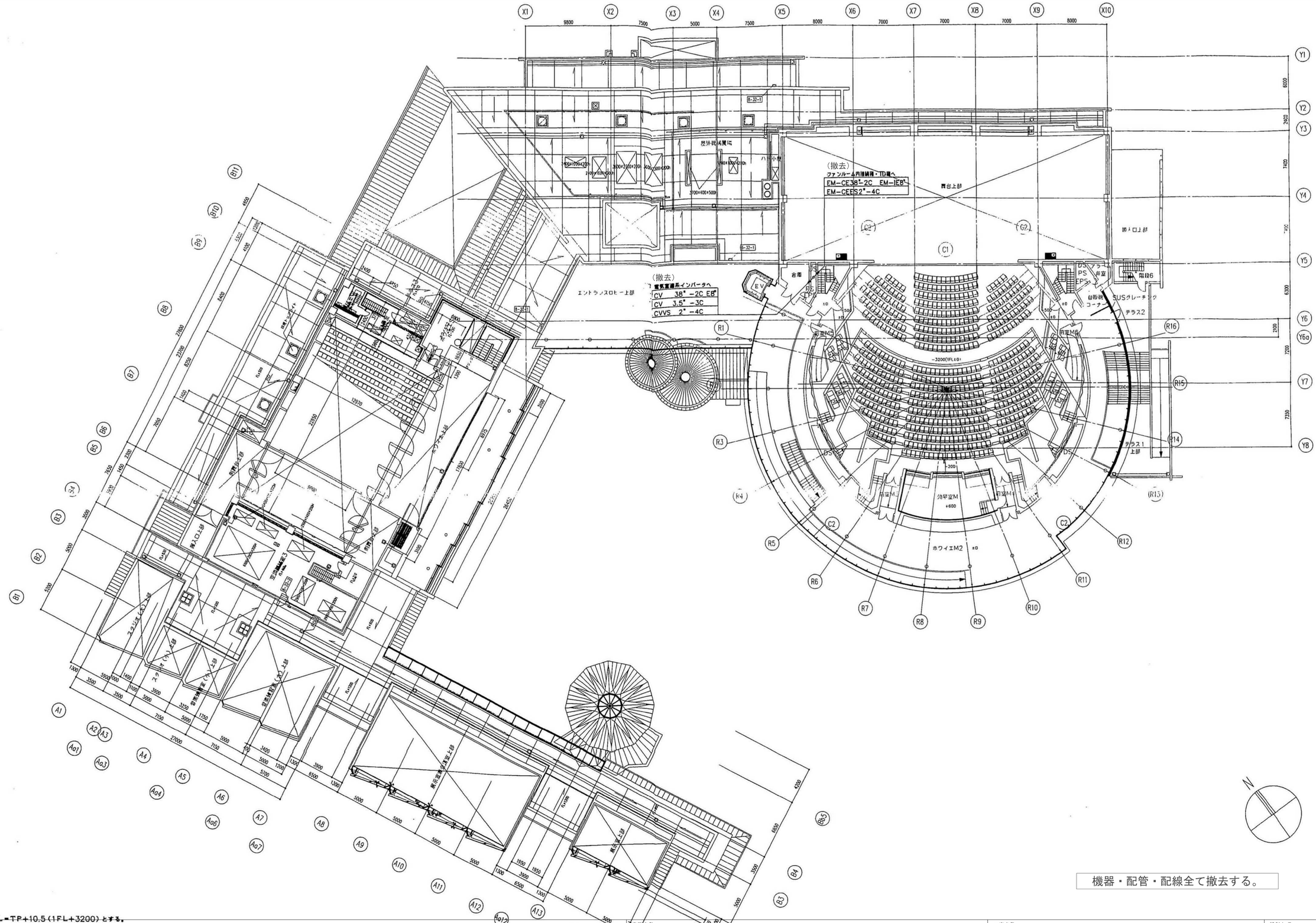
機器・配管・配線全て撤去する。

記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称 太陽光発電設備 地下1階平面図（撤去）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-130
		印			



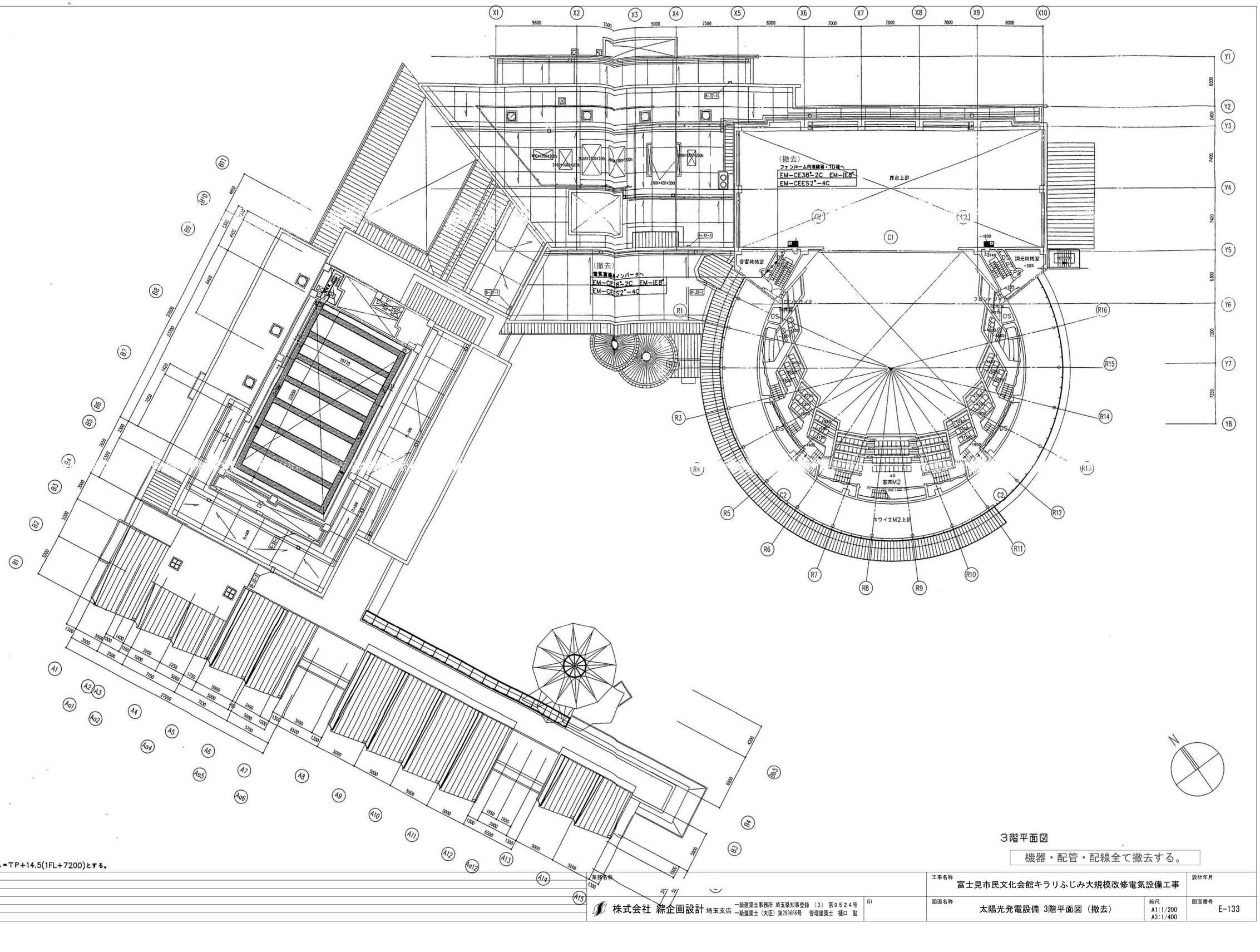
記事		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月	
	業務名称	図面名称 太陽光発電設備 1階平面図（撤去）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号	E-131

株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉



※基準2FL=TP+10.5(1FL+3200)とする。

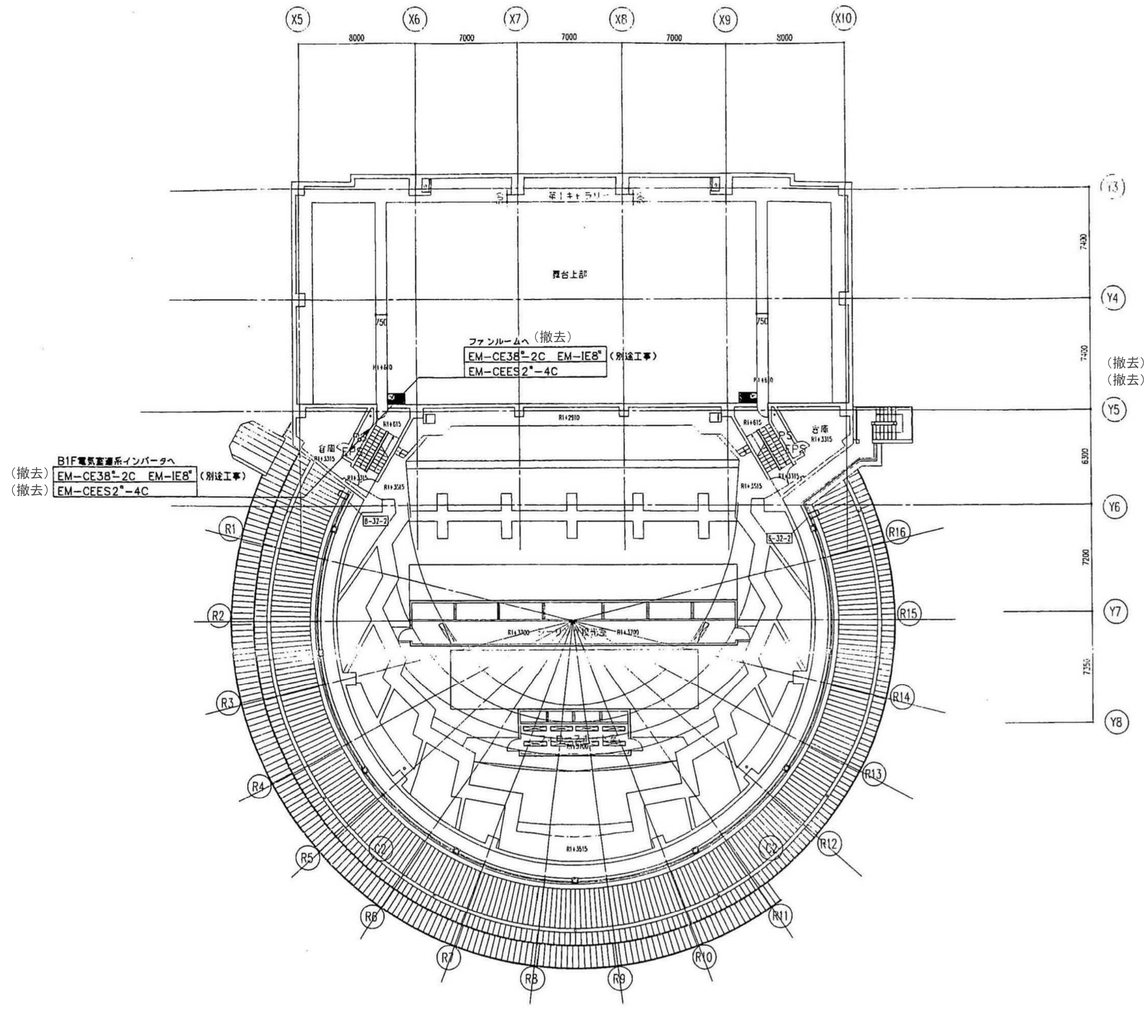
記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 太陽光発電設備 2階平面図(撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 E-132	



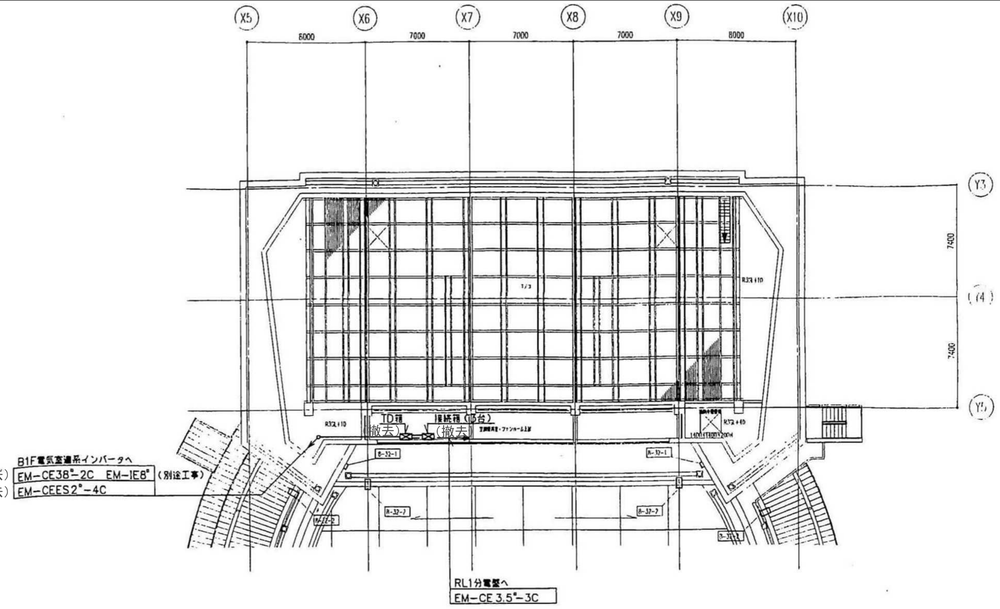
3階平面図

機器・配管・配線全て撤去する。

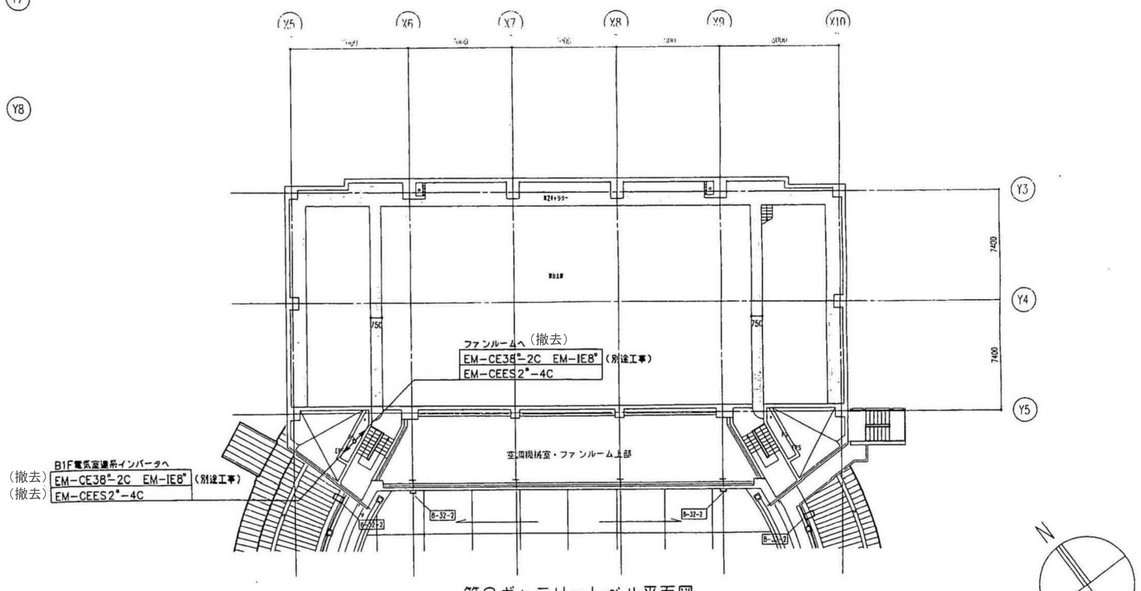
記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 3階平面図 (撤去)	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 / 図面番号 E-133



客席シーリングレベル平面図



R3FL平面図

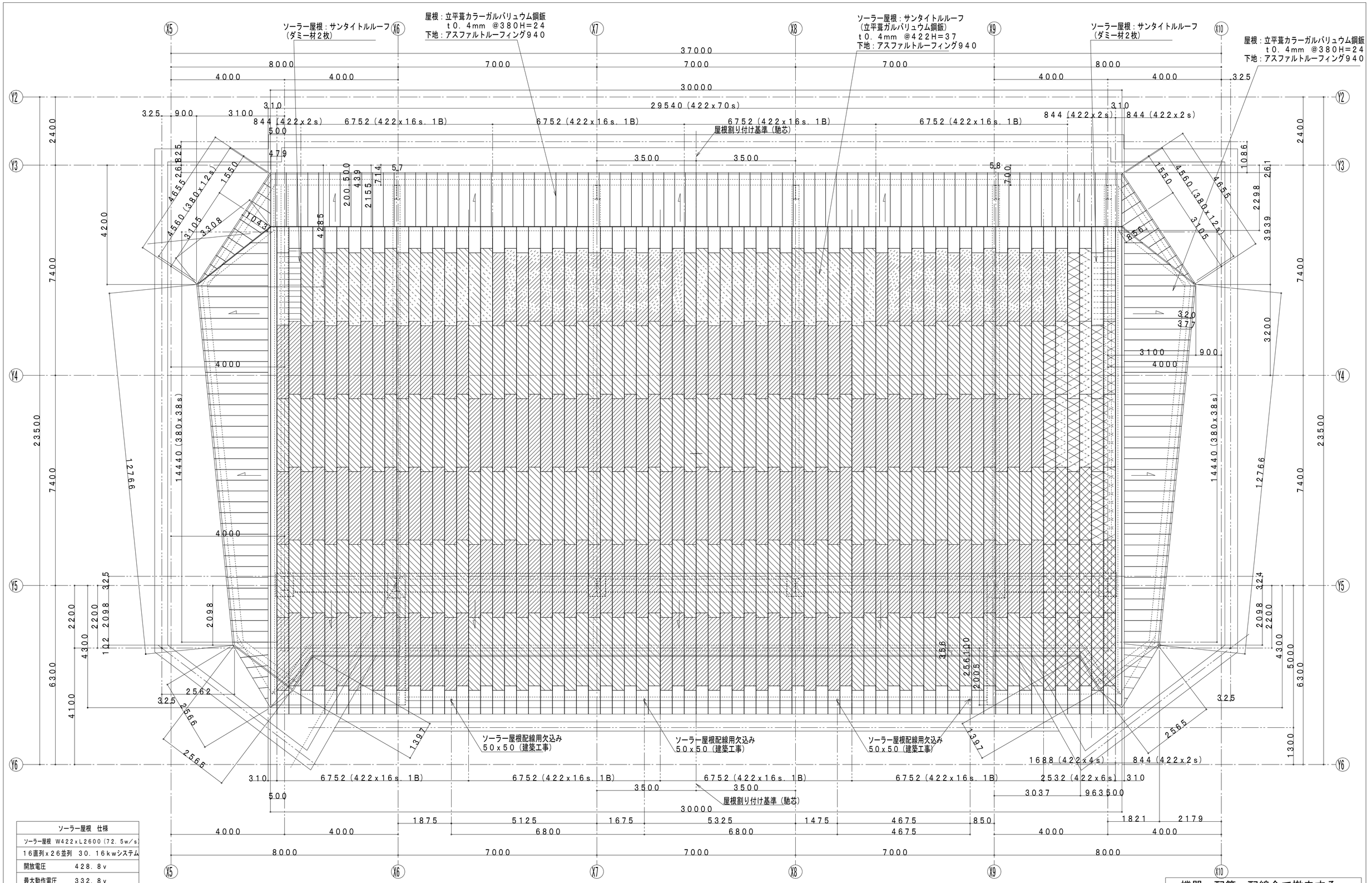


第2ギャラリーレベル平面図

※R1SL＝TP+17.2(1FL+9900)とする。
※R2SL＝TP+24.2(1FL+16900)とする。
※R3SL＝TP+28.3(1FL+21000)とする。

機器・配管・配線全て撤去する。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 R階平面図（撤去）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
				図面番号 E-134



ソーラー屋根　仕様
ソーラー屋根　W422xL2600（72．5w／s）
１６直列ｘ２６並列　３０．１６ｋｗシステム
開放電圧　　４２８．８ｖ
最大動作電圧　　３３２．８ｖ

機器・配管・配線全て撤去する。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録（３）第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

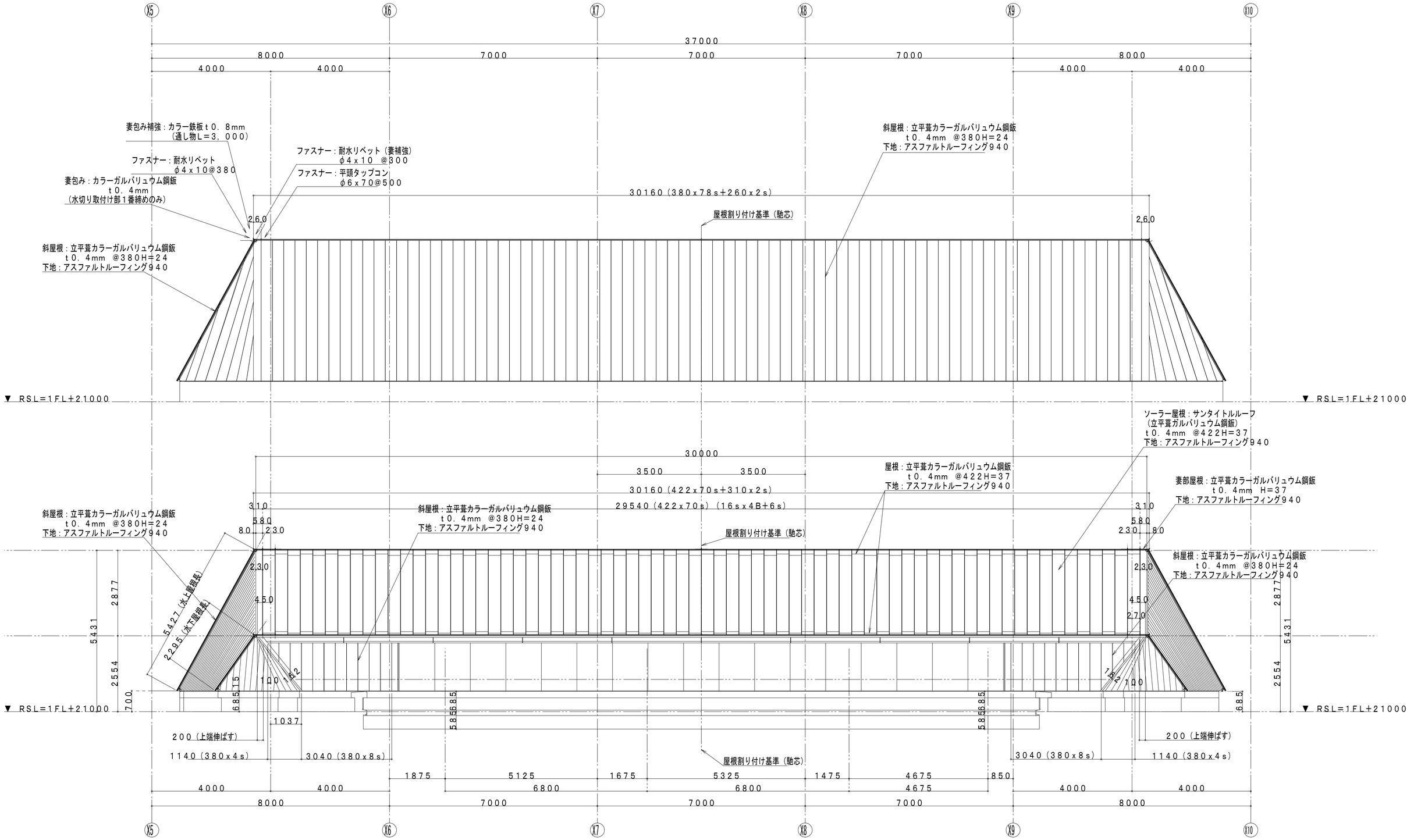
工事名称
富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事

設計年月

図面名称
太陽光発電設備　太陽光パネル取付平面図（撤去）

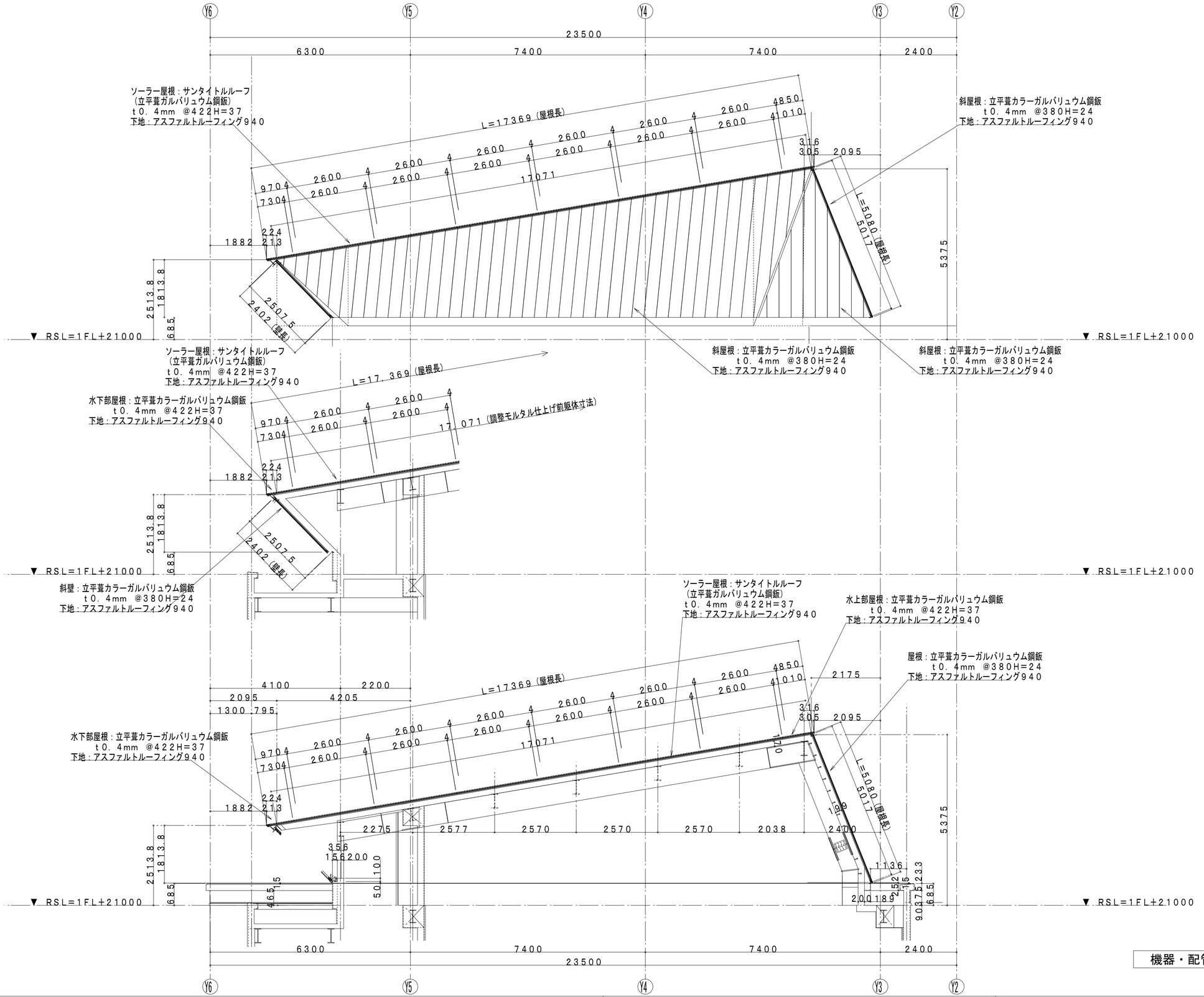
縮尺
A1:1/60
A3:1/120

図面番号
E-135



機器・配管・配線全て撤去する。

記事		業務名称	工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事	
			図面名称 太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図(1)（撤去）	縮尺 A1:1/60 A3:1/120
				図面番号 E-136



記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事		設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 太陽光発電設備 太陽光パネル取付断面図(2)（撤去）	縮尺 A1:1/60 A3:1/120	図面番号 E-137